

岩出市住民アンケート調査
結果報告書

～目次～

1:調査概要	1
2:調査結果	2
問1:性別	2
問2:年齢	2
問3:世帯人員	3
問4:通算居住年数	3
問5:居住地区	4
問6:職業	4
問7:日常の移動手段	6
問8:現在の岩出市のイメージ	14
問9:現在の岩出市の魅力	15
問10:お住まいの生活環境について	16
問11:岩出市の将来イメージ	19
問12:今後進めてほしいこと	20
問13:特に取り組んでほしいと思うこと	26
問14:まちづくりに関してのご意見(自由回答)	28
3:調査結果まとめ	40
4:クロス集計結果(年齢別)	42
問1:性別	42
問3:世帯人員	42
問4:通算居住年数	43
問5:居住地区	43

問6:職業	44
問7:日常の移動手段	45
問8:現在の岩出市のイメージ	54
問9:現在の岩出市の魅力	57
問10:お住まいの生活環境について	60
問11:岩出市の将来イメージ	64
問12:今後進めてほしいこと	67
5:クロス集計結果(地区別)	89
問1:性別	89
問2:年齢	89
問3:世帯人員	90
問4:通算居住年数	90
問6:職業	91
問7:日常の移動手段	92
問8:現在の岩出市のイメージ	100
問9:現在の岩出市の魅力	102
問10:お住まいの生活環境について	104
問11:岩出市の将来イメージ	107
問12:今後進めてほしいこと	109
3:調査結果まとめ	122

1. 調査概要

(1) 調査目的

まちづくりとくらしに関する基本的な方針となる「岩出市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、岩出市民の意見等を把握し、その結果を反映させていくことを目的にアンケート調査を実施した。

(2) 回収状況

岩出市在住の18歳以上の市民1,500人を無作為に抽出し、アンケート票を配布し、以下の票数を回収した。

対象者数:1,500人、有効票数:596票、回収率:39.7%

(3) 調査項目

以下の項目で調査を行った。

- ・回答者の属性(性別、年齢、世帯人員、通算居住年数、居住地域、職業)
- ・日常の移動手段について
- ・岩出市のくらしについて
- ・岩出市の将来について(将来のイメージ、期待する取り組み)
- ・自由意見

(4) 集計方法

各設問に対して単純集計を行った。また、問10に関しては岩出市周辺の満足度と重要度について集計したものをCS(満足度)分析した。

各設問の%は小数点第二位において四捨五入しているため、合計しても「計」欄の100%と一致しない場合がある。

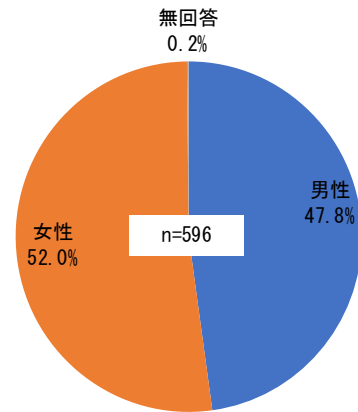
アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、割合の合計が100%を上回る場合がある。

2. 調査結果

【回答者の属性】

◆問1 あなたの性別を教えてください。〈1つだけに○〉

区分	計	割合
男性	285	47.8%
女性	310	52.0%
無回答	1	0.2%
合計	596	

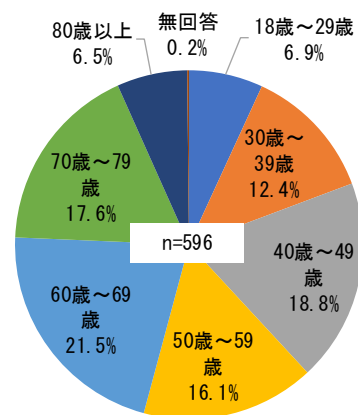


○問1 性別

回答者の性別は「男性」が47.8%、「女性」が52.0%と女性の方が多い。

◆問2 あなたの年齢を教えてください。〈1つだけに○ 令和3年9月1日時点〉

区分	計	割合
18歳～29歳	41	6.9%
30歳～39歳	74	12.4%
40歳～49歳	112	18.8%
50歳～59歳	96	16.1%
60歳～69歳	128	21.5%
70歳～79歳	105	17.6%
80歳以上	39	6.5%
無回答	1	0.2%
合計	596	

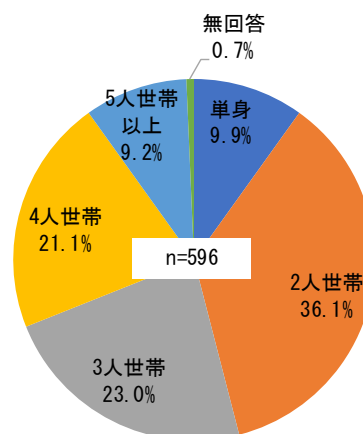


○問2 年齢

回答者の年齢は60歳代が21.5%で最も多い。以下、40歳代が18.8%、70歳代が17.6%、50歳代が16.1%、30歳代が12.4%となっている。

◆問3 あなたは何人世帯でお住まいになっていますか。〈1つだけに○〉

区分	計	割合
単身	59	9.9%
2人世帯	215	36.1%
3人世帯	137	23.0%
4人世帯	126	21.1%
5人世帯以上	55	9.2%
無回答	4	0.7%
合計	596	

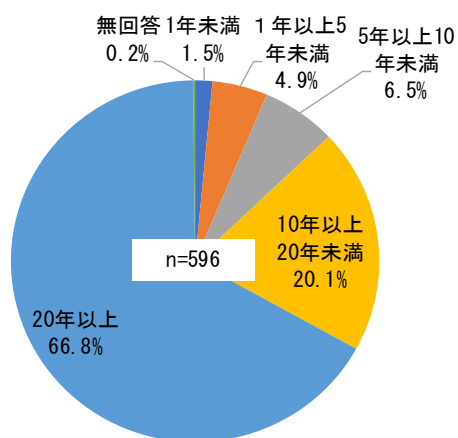


○問3 世帯人員

回答者の世帯人員は「2人世帯」が36.1%で最も多い。以下「3人世帯」が23.0%、「4人世帯」が21.1%となっている。

◆問4 あなたは岩出市に通算で何年お住まいになっていますか。〈1つだけに○〉

区分	計	割合
1年未満	9	1.5%
1年以上5年未満	29	4.9%
5年以上10年未満	39	6.5%
10年以上20年未満	120	20.1%
20年以上	398	66.8%
無回答	1	0.2%
合計	596	

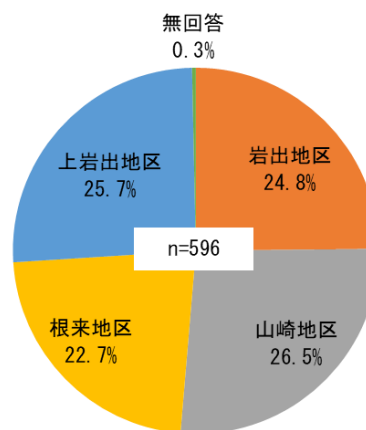


○問4 通算居住年数

回答者の岩出市での通算居住年数については「20年以上」が66.8%で最も多い。以下「10年以上20年未満」が20.1%、「5年以上10年未満」が6.5%となっている。

◆問5 お住まいの地区を教えてください。〈1つだけに○〉

区分	計	割合
岩出地区	148	24.8%
山崎地区	158	26.5%
根来地区	135	22.7%
上岩出地区	153	25.7%
無回答	2	0.3%
合計	596	

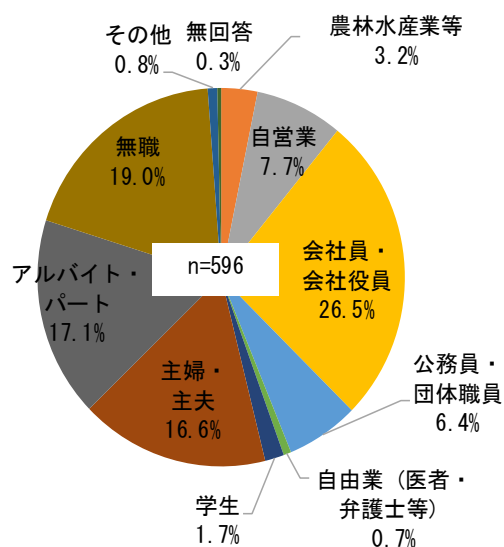


○問5 居住地区

回答者の居住地域は「山崎地区」が 26.5%で最も多い。以下「上岩出地区」が 25.7%、「岩出地区」が 24.8%、「根来地区」が 22.7%となっており、回答の地域偏在は発生していない。

◆問6 あなたの職業を教えてください。〈1つだけに○〉

区分	計	割合
農林水産業等	19	3.2%
自営業	46	7.7%
会社員・会社役員	158	26.5%
公務員・団体職員	38	6.4%
自由業(医者・弁護士等)	4	0.7%
学生	10	1.7%
主婦・主夫	99	16.6%
アルバイト・パート	102	17.1%
無職	113	19.0%
その他	5	0.8%
無回答	2	0.3%
合計	596	



○問6 職業

回答者の職業については「会社員・会社役員」が 26.5%で最も多い。以下「無職」が 19.0%、「アルバイト・パート」が 17.1%、「主婦・主夫」が 16.6%となっている。

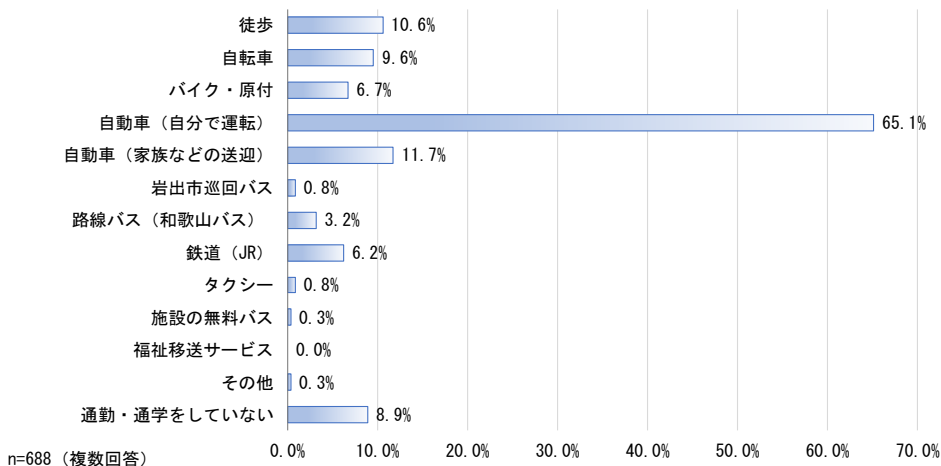
◆問7 あなたの日常の移動手段について教えてください。

①通勤・通学する場合（習い事も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車（自分で運転）	自動車（家族などの送迎）	岩出市巡回バス	路線バス（和歌山バス）	鉄道（JR）	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	合計
計	63	57	40	388	70	5	19	37	5	2	0	2	53	688
割合	10.6%	9.6%	6.7%	65.1%	11.7%	0.8%	3.2%	6.2%	0.8%	0.3%	0.0%	0.3%	8.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示

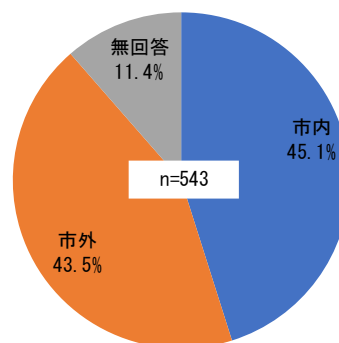


○問7-①-1 交通手段（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の交通手段については「自動車（自分で運転）」が65.1%で最も多い。以下「自動車（家族などの送迎）」が11.7%、「徒歩」が10.6%、「自転車」が9.6%となっている。

2) 主な目的地（市外の場合は市町村名）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
市内	245	45.1%
市外	236	43.5%
無回答	62	11.4%
合計	543	



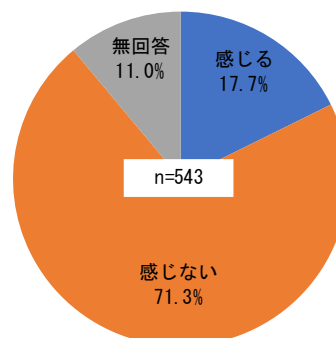
○問7-①-2 目的地（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の目的地は「市内」が45.1%、「市外」が43.5%、「無回答」が11.4%であった。

また、「市外」と回答があったうち、主な目的地は「和歌山市」が53.7%、「紀の川市」が22.0%であった。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
感じる	96	17.7%
感じない	387	71.3%
無回答	60	11.0%
合計	543	



○問7-①-3 移動に不便を感じる（通勤・通学する場合）

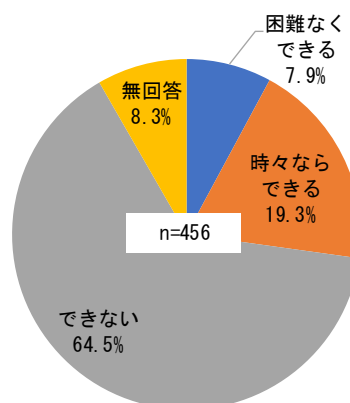
回答者の通勤・通学する場合の移動に不便を感じているかについては「感じる」が 17.7%、「感じない」が 71.3%、「無回答」が 11.0%であった。

また「感じる」と回答があったうち、主な意見は「バスが不便（バス停・便数）」「公共交通機関が不便（少ない・遠い）」など公共交通に関する意見が 48.2%、「渋滞」「狭い道が多い」「歩道が少ない」など道路に関する意見が 27.1%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計	割合
困難なくできる	36	7.9%
時々ならできる	88	19.3%
できない	294	64.5%
無回答	38	8.3%
合計	456	



○問7-①-4 公共交通への変更（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性については「できない」が 64.5%で最も多い。以下、「時々ならできる」が 19.3%、「困難なくできる」が 7.9%、「無回答」が 8.3%となっている。

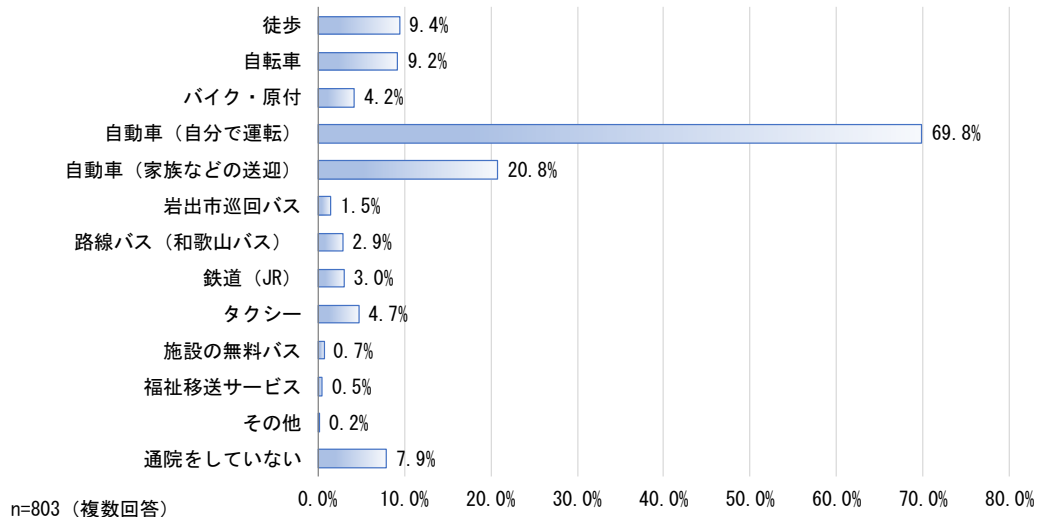
また「できない」と回答があったうち、主な意見は「駅・バス停が遠い（ない）」が 46.6%、「不便なため（便数・乗り換え等）」が 21.4%、「時間がかかる（遠回りになる）」が 8.8%であった。

②通院する場合

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車（自分で運転）	自動車（家族などの送迎）	岩出市巡回バス	路線バス（和歌山バス）	鉄道（JR）	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通院をしていない	合計
計	56	55	25	416	124	9	17	18	28	4	3	1	47	803
割合	9.4%	9.2%	4.2%	69.8%	20.8%	1.5%	2.9%	3.0%	4.7%	0.7%	0.5%	0.2%	7.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示

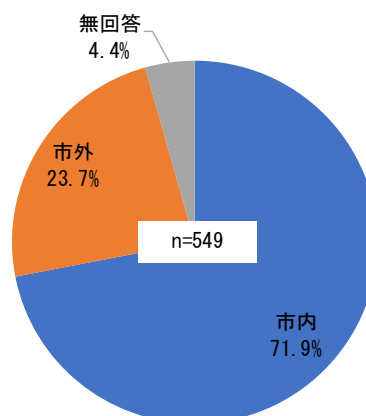


○問7-②-1 交通手段（通院する場合）

回答者の通院する場合の交通手段については「自動車（自分で運転）」が69.8%で最も多い。以下「自動車（家族などの送迎）」が20.8%、「徒歩」が9.4%、「自転車」が9.2%となっている。

2) 主な目的地（市外の場合は市町村名）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
市内	395	71.9%
市外	130	23.7%
無回答	24	4.4%
合計	549	

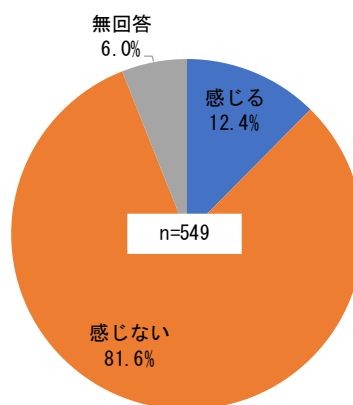


○問7-②-2 目的地（通院する場合）

回答者の通院する場合の目的地は「市内」が71.9%、「市外」が23.7%、「無回答」が4.4%であった。「市外」と回答があったうち、主な目的地は「和歌山市」が62.0%、「紀の川市」が31.4%であった。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
感じる	68	12.4%
感じない	448	81.6%
無回答	33	6.0%
合計	549	



○問7-②-3 移動に不便を感じる (通院する場合)

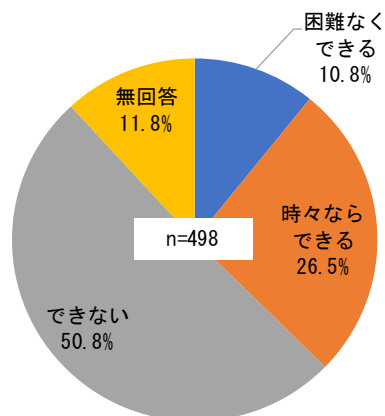
回答者の通院する場合の移動に不便を感じているかについては「感じる」が 12.4%、「感じない」が 81.6% 「無回答」が 6.0%であった。

また「感じる」と回答があったうち、主な意見は「バスが不便 (バス停・便数)」「公共交通機関が不便 (少ない・遠い)」など公共交通に関する意見が 38.7%、「渋滞」「狭い道が多い」など道路に関する意見が 16.1%、「車がないと移動できない」が 8.1%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計	割合
困難なくできる	54	10.8%
時々ならできる	132	26.5%
できない	253	50.8%
無回答	59	11.8%
合計	498	



○問7-②-4 公共交通への変更 (通院する場合)

回答者の通院する場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性については「できない」が 50.8%で最も多い。以下「時々ならできる」が 26.5%、「困難なくできる」が 10.8%、「無回答」が 11.8%となっている。

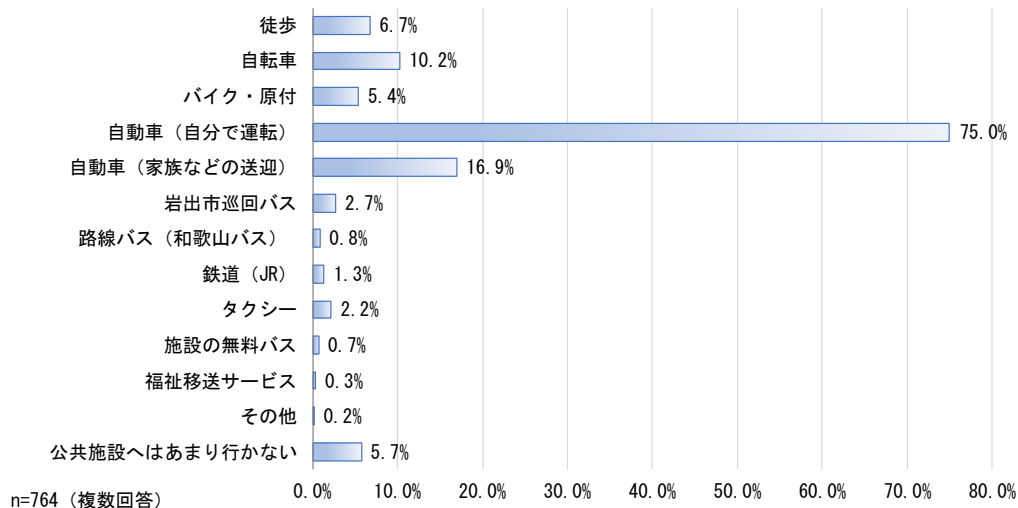
また、「できない」と回答があったうち、主な意見は、「駅・バス停が遠い (ない)」が 37.6%、「不便なため (便数・乗り換え等)」が 25.7%、「時間がかかる (遠回りになる)」が 8.0%であった。

③公共施設に行く場合（市役所など）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車（自分で運転）	自動車（家族などの送迎）	岩出市巡回バス	路線バス（和歌山バス）	鉄道（JR）	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	公共施設へはあまり行かない	合計
計	40	61	32	447	101	16	5	8	13	4	2	1	34	764
割合	6.7%	10.2%	5.4%	75.0%	16.9%	2.7%	0.8%	1.3%	2.2%	0.7%	0.3%	0.2%	5.7%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示

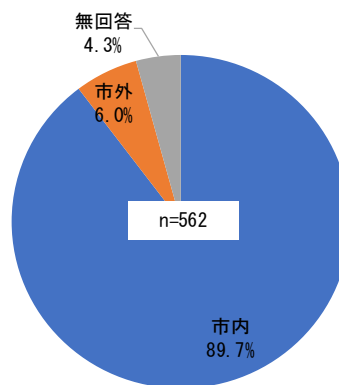


○問7-③-1 交通手段（公共施設に行く場合）

回答者の公共施設に行く場合の交通手段は「自動車（自分で運転）」が75.0%で最も多い。以下「自動車（家族などの送迎）」が16.9%、「自転車」が10.2%、「徒歩」が6.7%となっている。

2) 主な目的地（市外の場合は市町村名）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
市内	504	89.7%
市外	34	6.0%
無回答	24	4.3%
合計	562	

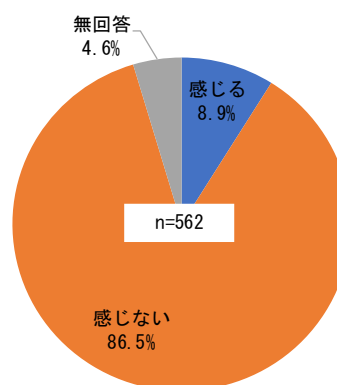


○問7-③-2 目的地（公共施設に行く場合）

回答者の公共施設に行く場合の目的地は「市内」が89.7%、「市外」が6.0%、「無回答」が4.3%であった。「市外」と回答があったうち、主な目的地は「和歌山市」が65.5%、「紀の川市」が10.3%であった。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに〇〉

区分	計	割合
感じる	50	8.9%
感じない	486	86.5%
無回答	26	4.6%
合計	562	



○問7-③-3 移動に不便を感じる（公共施設に行く場合）

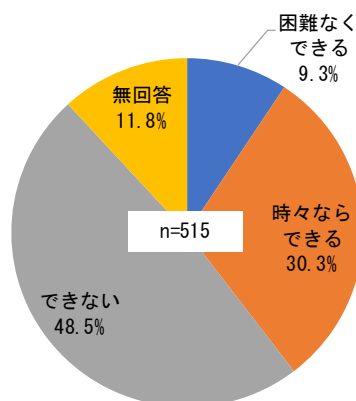
回答者の公共施設に行く場合の移動に不便を感じているかについては「感じる」が 8.9%、「感じない」が 86.5%、「無回答」が 4.6%であった。

また「感じる」と回答があったうち、主な意見は「バスが不便（バス停・便数）」「公共交通機関が不便（少ない・遠い）」など公共交通に関する意見が 42.9%、「交通の便が悪い」「道路事情悪い」など道路に関する意見が 14.3%、「車以外の交通手段が少ない」が 7.1%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに〇〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計	割合
困難なくできる	48	9.3%
時々ならできる	156	30.3%
できない	250	48.5%
無回答	61	11.8%
合計	515	



○問7-③-4 公共交通への変更（公共施設に行く場合）

回答者の公共施設に行く場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性については「できない」が 48.5%で最も多い。以下「時々ならできる」が 30.3%、「困難なくできる」が 9.3%、「無回答」が 11.8%となっている。

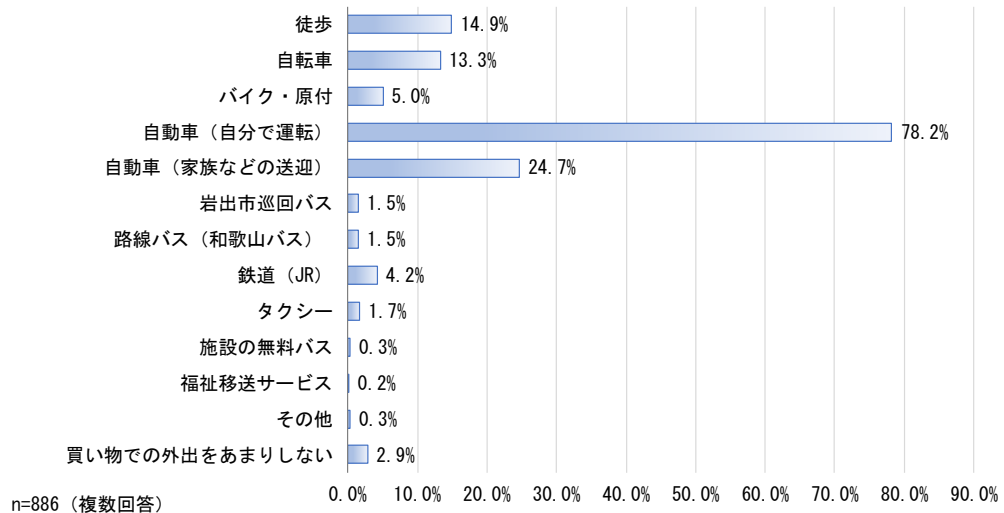
また「できない」と回答があったうち、主な意見は「不便なため（便数・乗り換え等）」が 28.6%、「駅・バス停が遠い（ない）」が 28.2%、「時間があわない」が 8.5%、「車の方が便利」「時間がかかる（遠回りになる）」が 7.0%であった。

④買い物に行く場合（外食など余暇や娯楽目的の外出も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車（自分で運転）	自動車（家族などの送迎）	岩出市巡回バス	路線バス（和歌山バス）	鉄道（JR）	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	買い物での外出をあまりしない	合計
計	89	79	30	466	147	9	9	25	10	2	1	2	17	886
割合	14.9%	13.3%	5.0%	78.2%	24.7%	1.5%	1.5%	4.2%	1.7%	0.3%	0.2%	0.3%	2.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示

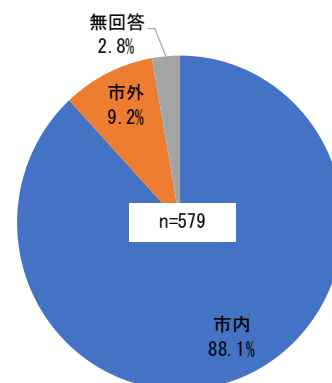


○問7-④-1 交通手段（買い物に行く場合）

回答者の買い物に行く場合の交通手段は「自動車（自分で運転）」が78.2%で最も多い。以下「自動車（家族などの送迎）」が24.7%、「徒歩」が14.9%、「自転車」が13.3%となっている。

2) 主な目的地（市外の場合は市町村名）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
市内	510	88.1%
市外	53	9.2%
無回答	16	2.8%
合計	579	

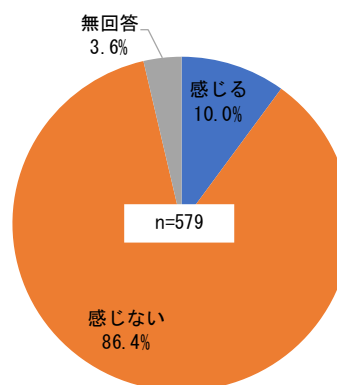


○問7-④-2 目的地（買い物に行く場合）

回答者の買い物に行く場合の目的地は「市内」が88.1%、「市外」が9.2%、「無回答」が2.8%であった。「市外」と回答があったうち、主な目的地は「和歌山市」が61.7%、「泉南市」が12.8%であった。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計	割合
感じる	58	10.0%
感じない	500	86.4%
無回答	21	3.6%
合計	579	



○問7-④-3 移動に不便を感じる(買い物に行く場合)

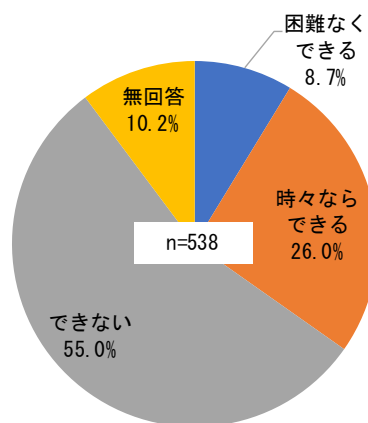
回答者の買い物に行く場合の移動に不便を感じているかについては「感じる」が 10.0%、「感じない」が 86.4%「無回答」が 3.6%であった。

また、「感じる」と回答があったうち、主な意見は「電車が不便(駅・本数)」「バスが不便(バス停・便数)」「公共交通機関が不便(少ない・遠い)」など公共交通に関する意見が 44.9%、「交通の便が悪い」「渋滞」など道路に関する意見が 24.5%、「車がないと不便(荷物が多い、小さい子どもがいるなど)」が 12.2%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計	割合
困難なくできる	47	8.7%
時々ならできる	140	26.0%
できない	296	55.0%
無回答	55	10.2%
合計	538	



○問7-④-4 公共交通への変更(買い物に行く場合)

回答者の買い物に行く場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性については「できない」が 55.0%で最も多く、以下「時々ならできる」が 26.0%、「困難なくできる」が 8.7%、「無回答」が 10.2%となっている。

「できない」と回答があったうち、主な意見は「駅・バス停が遠い(ない)」が 25.2%、「不便なため(便数・乗り換え等)」が 21.7%、「荷物が多い」が 17.7%、「時間があわない」が 10.2%であった。

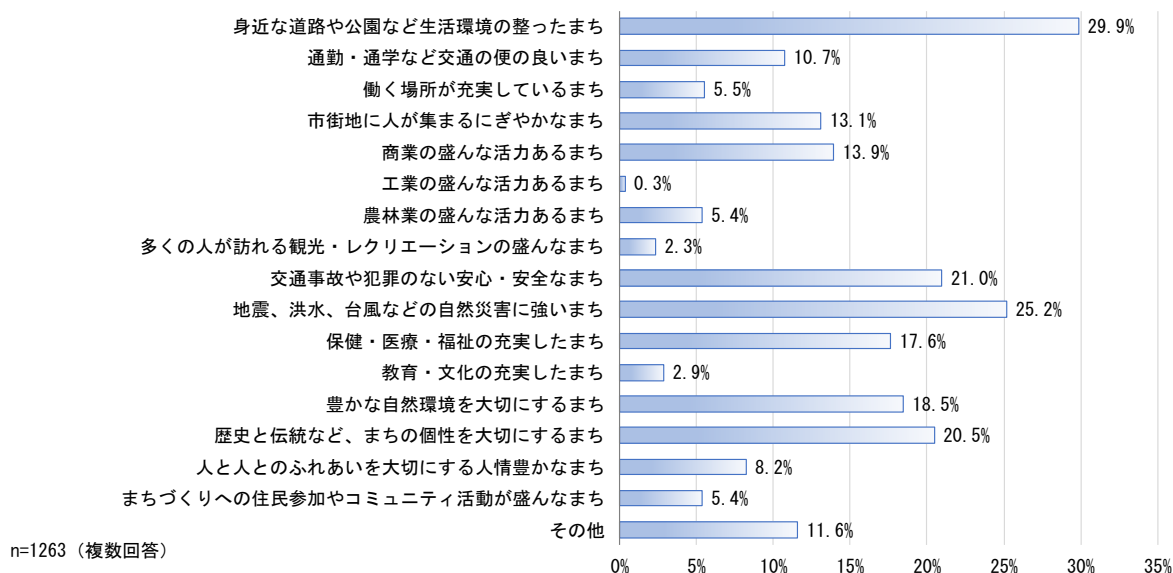
【岩出市の暮らしについて】

◆問8 あなたにとって、現在の岩出市のイメージは、次のうちどれですか。〈3つまで〉

区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
計	178	64	33	78	83	2	32	14	125
割合	29.9%	10.7%	5.5%	13.1%	13.9%	0.3%	5.4%	2.3%	21.0%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にするまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にするまち	人と人とのふれあいを大切にする人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
150	105	17	110	122	49	32	69	1,263
25.2%	17.6%	2.9%	18.5%	20.5%	8.2%	5.4%	11.6%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



○問8 現在の岩出市のイメージ

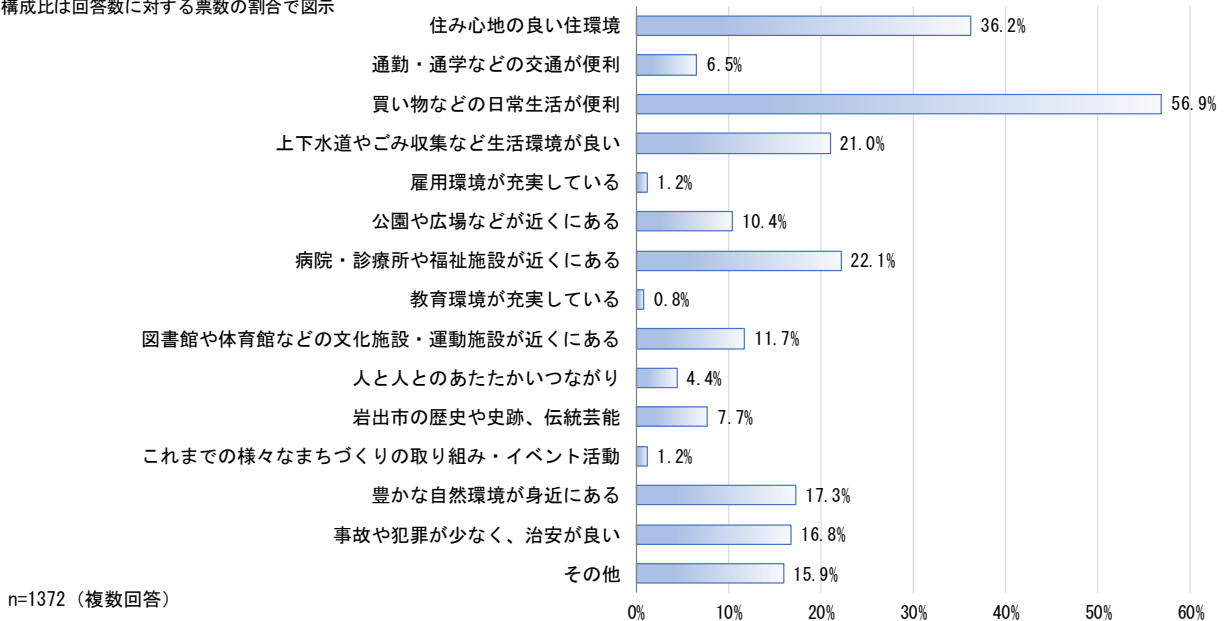
現在の岩出市のイメージについては「身近な道路や公園など生活環境の整ったまち」が29.9%で最も多かった。次いで「地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち」が25.2%、「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」が21.0%、「歴史と伝統など、まちの個性を大切にするまち」が20.5%で続く。

◆問9 あなたにとって、現在の岩出市の魅力は、次のうちどれですか。〈3つまで〉

区分	住み心地の良い住環境	通勤・通学などの交通が便利	買い物などの日常生活が便利	上下水道やごみ収集など生活環境が良い	雇用環境が充実している	公園や広場などが近くにある	病院・診療所や福祉施設が近くにある	教育環境が充実している
計	216	39	339	125	7	62	132	5
割合	36.2%	6.5%	56.9%	21.0%	1.2%	10.4%	22.1%	0.8%

図書館や体育館などの文化施設・運動施設が近くにある	人と人とのあたたかいつながり	岩出市の歴史や史跡、伝統芸能	これまでの様々なまちづくりの取り組み・イベント活動	豊かな自然環境が身近にある	事故や犯罪が少なく、治安が良い	その他	合計
70	26	46	7	103	100	95	1,372
11.7%	4.4%	7.7%	1.2%	17.3%	16.8%	15.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示

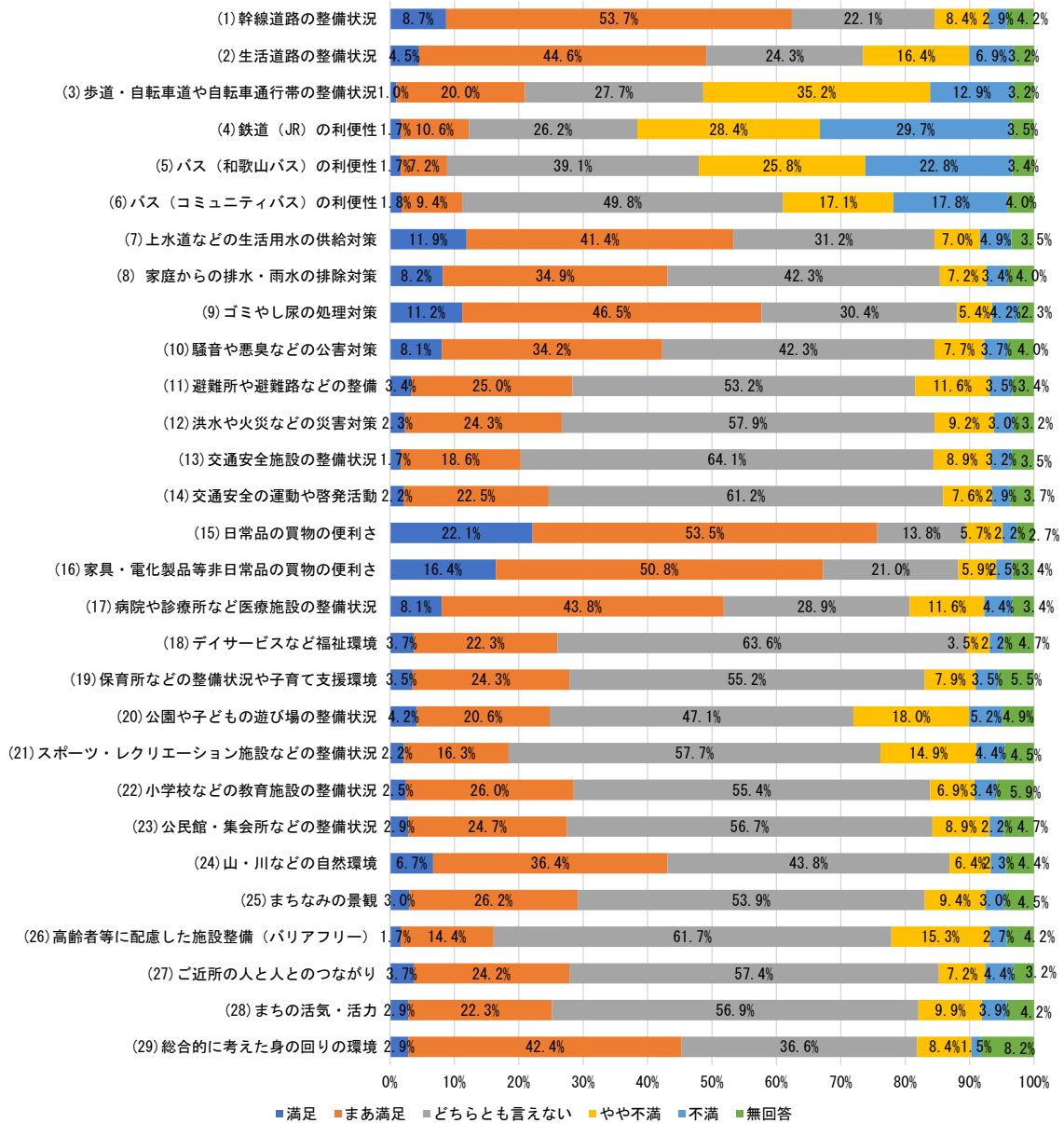


○問9 現在の岩出市の魅力

現在の岩出市の魅力については「買い物などの日常生活が便利」が 56.9%で最も多かった。次いで「住み心地の良い住環境」が 36.2%、「病院・診療所や福祉施設が近くにある」が 22.1%、「上下水道やごみ収集など生活環境が良い」が 21.0%となっている。

◆問 10 あなたは現在のお住まいの生活環境について、(1)～(29)のそれぞれの項目についてどの程度満足されていますか。また、どれくらい重要であると思われますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

【満足度】

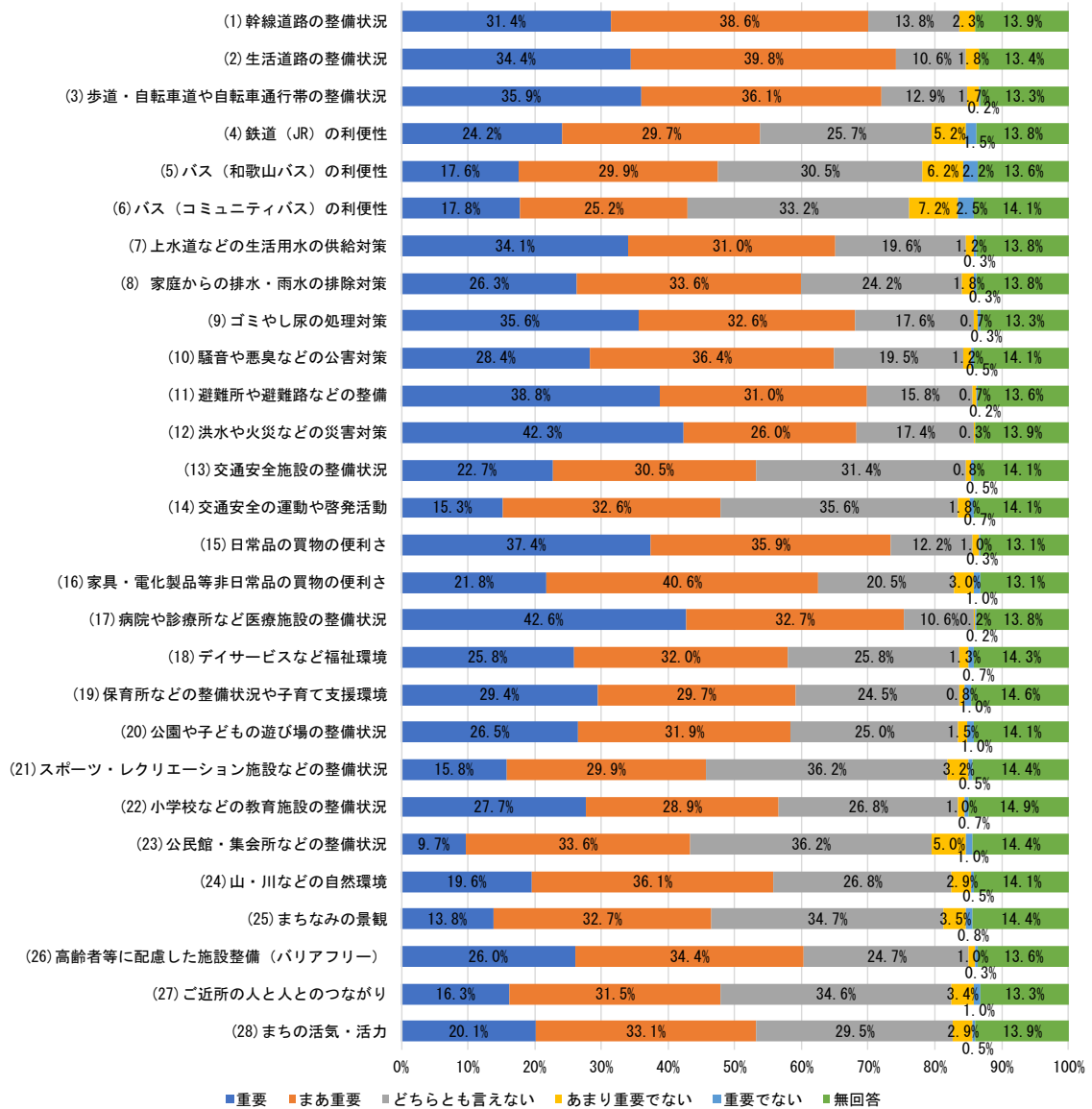


○問 10 生活環境の満足度

お住まいの生活環境の満足度について“満足”(満足+まあ満足)と答えた人が最も多かった項目は「(15) 日常品の買物の便利さ(75.7%)」であった。次いで「(16)家具・電化製品等非日常品の買物の便利さ(67.3%)」「(1)幹線道路の整備状況(62.4%)」となっている。

“不満”(不満+やや不満)と答えた人が最も多かった項目は「(4)鉄道(JR)の利便性(58.1%)」であった。次いで「(5)バス(和歌山バス)の利便性(48.7%)」「(3)歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況(48.2%)」となっている。

【重要度】

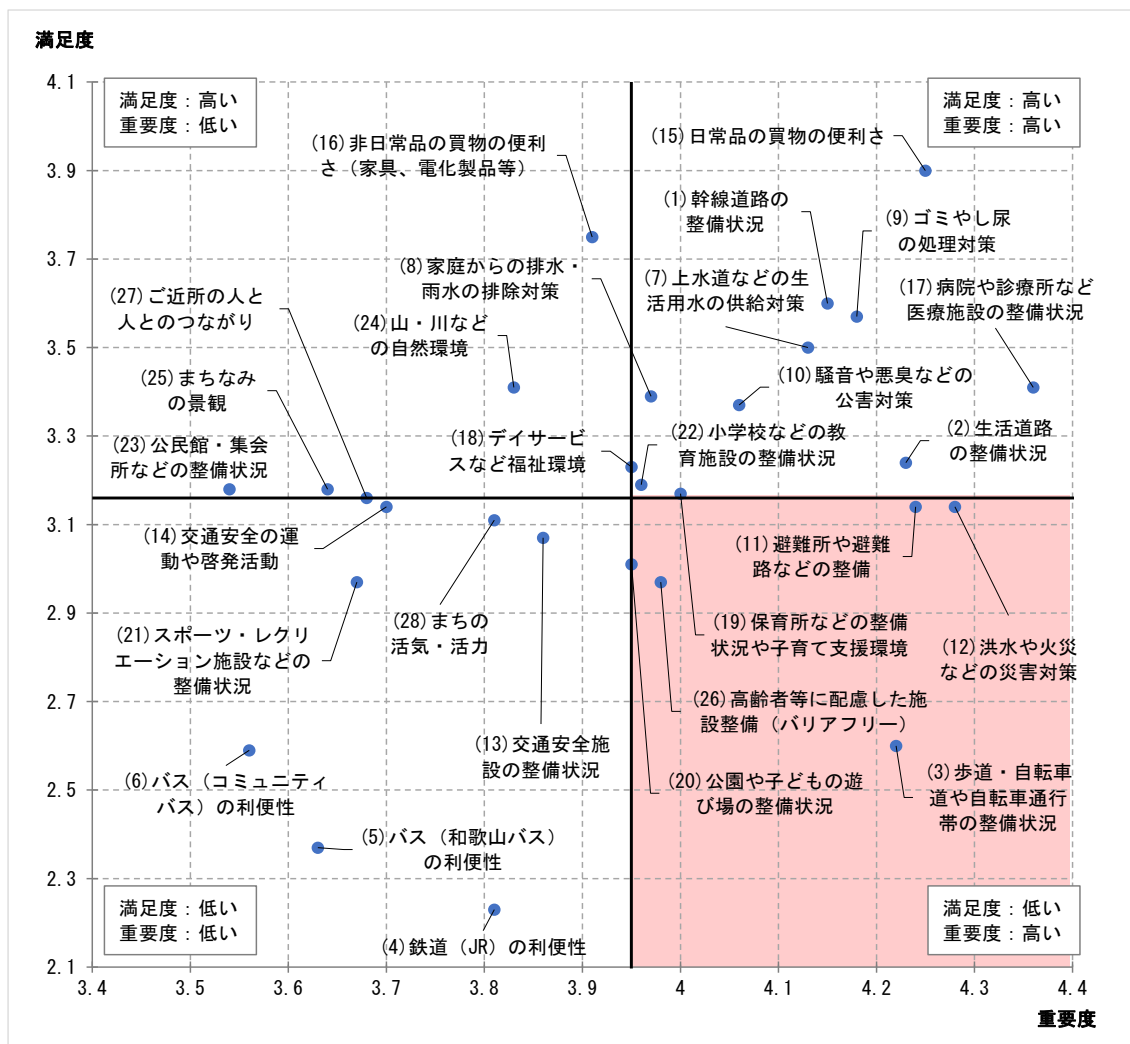


○問 10 生活環境の重要度

お住まいの生活環境の重要度について、“重要”（重要+まあ重要）と答えた人が最も多かった項目は「(17) 病院や診療所など医療施設の整備状況 (75.3%)」であった。次いで「(2) 生活道路の整備状況 (74.2%)」「(15) 日常品の買物の便利さ (73.3%)」となっている。

“重要でない”（重要でない+あまり重要でない）と答えた人が最も多かった項目は「(6) バス (コミュニティバス) の利便性 (9.7%)」であった。次いで「(5) バス (和歌山バス) の利便性 (8.4%)」「(4) 鉄道 (JR) の利便性 (6.7%)」となっている。

【CS グラフ】



○問 6 CS グラフ

満足 「+5」、やや満足 「+4」、どちらとも言えない「+3」、やや不満 「+2」、不満 「+1」
 重要 「+5」、やや重要 「+4」、どちらとも言えない「+3」、あまり重要でない 「+2」、重要でない 「+1」

回答のあったお住まいの生活環境の満足度と重要度について、項目別に加重平均を行い、CS グラフを作成した。グラフは縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、各項目を点数化したものをプロットした。満足度の平均値は 3.16、重要度の平均値は 3.95 となり、2 軸にプロットした。

「(3)歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」は、満足度が 2.60、重要度が 4.22 にプロットされており、特に重要な改善項目として挙げられる。次いで、「(11)避難所や避難路などの整備」「(12)洪水や火災などの災害対策」「(26)高齢者等に配慮した施設整備 (バリアフリー)」も、それぞれ、満足が 3.14、3.14、2.97、重要度が 4.24、4.28、3.98 にプロットされており、改善項目であると言える。

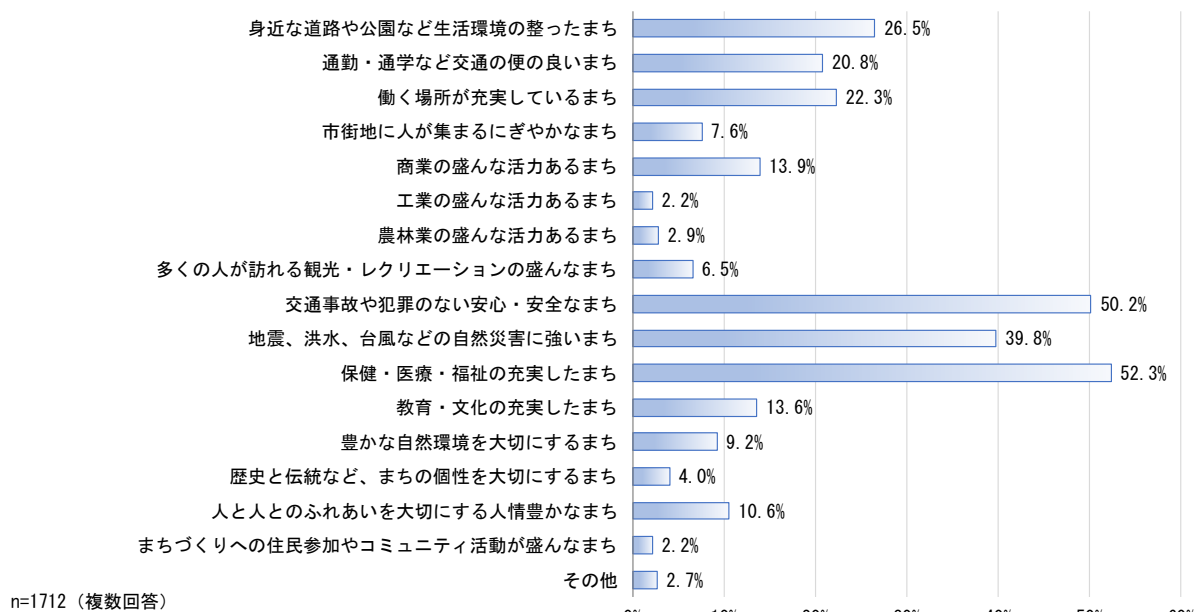
【岩出市の将来について】

◆問 11 あなたが「こうなって欲しい」と思う岩出市の将来イメージを教えてください。(3 つまで)

区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
計	158	124	133	45	83	13	17	39	299
割合	26.5%	20.8%	22.3%	7.6%	13.9%	2.2%	2.9%	6.5%	50.2%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にするまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にするまち	人と人とのふれあいを大切にする人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
237	312	81	55	24	63	13	16	1,712
39.8%	52.3%	13.6%	9.2%	4.0%	10.6%	2.2%	2.7%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で示す



○問 11 岩出市の将来イメージ

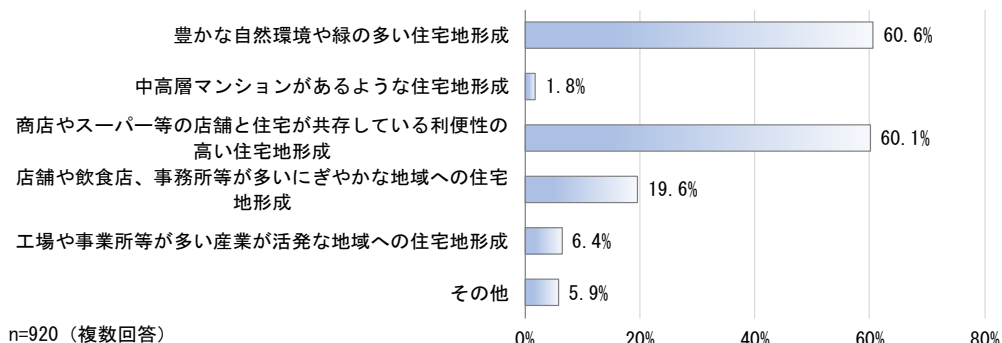
岩出市の将来イメージについては「保健・医療・福祉の充実したまち」が52.3%で最も多かった。次いで、「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」が50.2%、「地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち」が39.8%、「身近な道路や公園など生活環境の整ったまち」が26.5%となっている。

◆問 12 あなたがお住まいの地区について、今後進めてほしいことを分野ごとに教えてください。

【住宅地】〈2 つまで〇〉

区分	豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成	中高層マンションがあるような住宅地形成	商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成	店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成	工場や事業所等が多い産業が活発な地域への住宅地形成	その他	合計
計	361	11	358	117	38	35	920
割合	60.6%	1.8%	60.1%	19.6%	6.4%	5.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



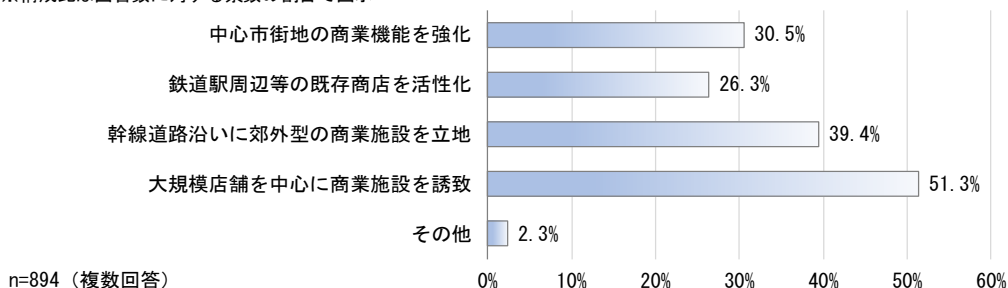
○今後、進めてほしいと思うこと【住宅地】

住宅地の分野については「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」が 60.6%で最も多かった。次いで「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」が 60.1%、「店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成」が 19.6%となっている。

【商業地】〈2 つまで〇〉

区分	中心市街地の商業機能を強化	鉄道駅周辺等の既存商店を活性化	幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地	大規模店舗を中心に商業施設を誘致	その他	合計
計	182	157	235	306	14	894
割合	30.5%	26.3%	39.4%	51.3%	2.3%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



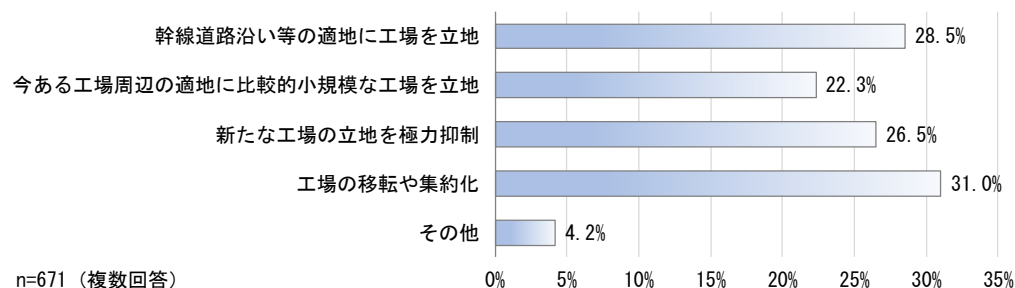
○今後、進めてほしいと思うこと【商業地】

商業地の分野については「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」が 51.3%で最も多かった。次いで「幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地」が 39.4%、「中心市街地の商業機能を強化」が 30.5%となっている。

【工業地】〈2 つまで〇〉

区分	幹線道路沿い等の適地に工場を立地	今ある工場周辺の適地に比較的小規模な工場を立地	新たな工場の立地を極力抑制	工場の移転や集約化	その他	合計
計	170	133	158	185	25	671
割合	28.5%	22.3%	26.5%	31.0%	4.2%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



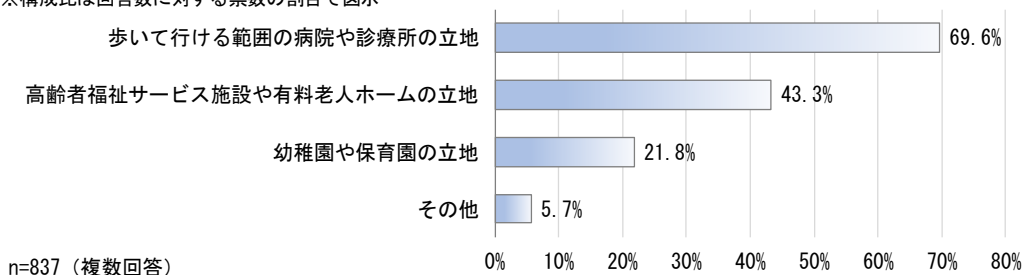
○今後、進めてほしいと思うこと【工業地】

工業地の分野については「工場の移転や集約化」が 31.0%で最も多かった。次いで「幹線道路沿い等の適地に工場を立地」が 28.5%、「新たな工場の立地を極力抑制」が 26.5%となっている。

【生活サービス施設等】〈2 つまで〇〉

区分	歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地	高齢者福祉サービス施設や有料老人ホームの立地	幼稚園や保育園の立地	その他	合計
計	415	258	130	34	837
割合	69.6%	43.3%	21.8%	5.7%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



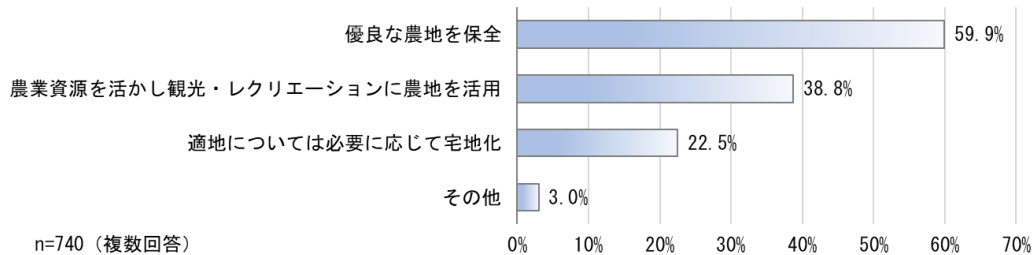
○今後、進めてほしいと思うこと【生活サービス施設等】

生活サービス施設等の分野については「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が 69.6%で最も多かった。次いで「高齢者福祉サービス施設や有料老人ホームの立地」が 43.3%、「幼稚園や保育園の立地」が 21.8%となっている。

【農地】〈2つまで〇〉

区分	優良な農地を保全	農業資源を活かし観光・レクリエーションに農地を活用	適地については必要に応じて宅地化	その他	合計
計	357	231	134	18	740
割合	59.9%	38.8%	22.5%	3.0%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



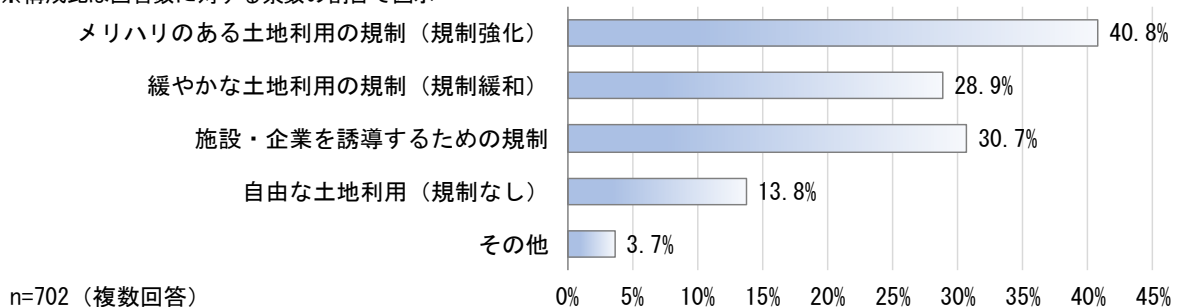
○今後、進めてほしいと思うこと【農地】

農地の分野については「優良な農地を保全」が 59.9%で最も多かった。次いで「農業資源を活かし観光・レクリエーションに農地を活用」が 38.8%、「適地については必要に応じて宅地化」が 22.5%となっている。

【土地利用の規制・誘導】〈2つまで〇〉

区分	メリハリのある土地利用の規制（規制強化）	緩やかな土地利用の規制（規制緩和）	施設・企業を誘導するための規制	自由な土地利用（規制なし）	その他	合計
計	243	172	183	82	22	702
割合	40.8%	28.9%	30.7%	13.8%	3.7%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



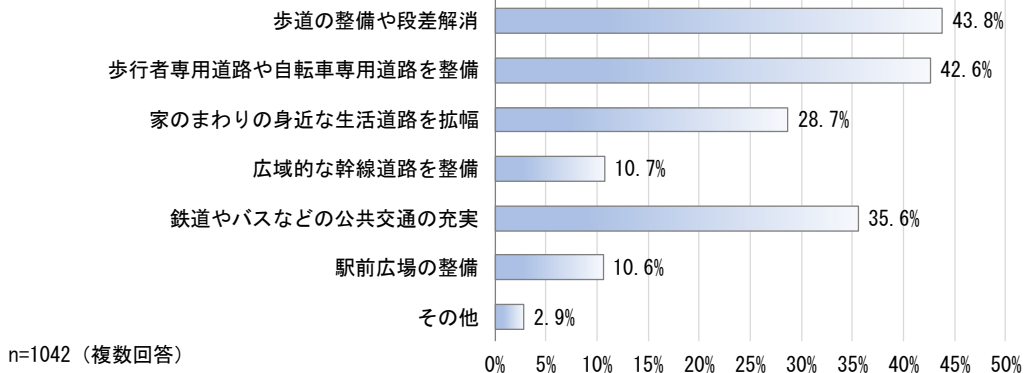
○今後、進めてほしいと思うこと【土地利用の規制・誘導】

土地利用の規制・誘導の分野については「メリハリのある土地利用の規制（規制強化）」が 40.8%で最も多かった。次いで「施設・企業を誘導するための規制」が 30.7%、「緩やかな土地利用の規制（規制緩和）」が 28.9%となっている。

【道路交通】〈2つまで〇〉

区分	歩道の整備や段差解消	歩行者専用道路や自転車専用道路を整備	家のまわりの身近な生活道路を拡幅	広域的な幹線道路を整備	鉄道やバスなどの公共交通の充実	駅前広場の整備	その他	合計
計	261	254	171	64	212	63	17	1042
割合	43.8%	42.6%	28.7%	10.7%	35.6%	10.6%	2.9%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



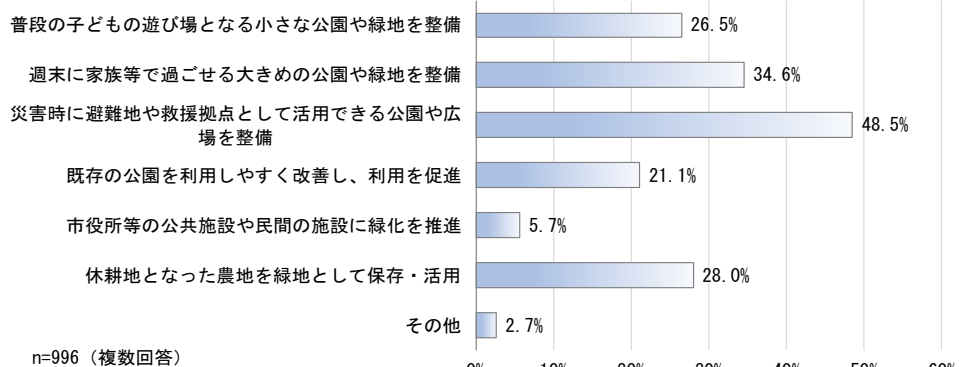
○今後、進めてほしいと思うこと【道路交通】

道路交通の分野については「歩道の整備や段差解消」が 43.8%で最も多かった。次いで「歩行者専用道路や自転車専用道路を整備」が 42.6%、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が 35.6%となっている。

【公園・緑地】〈2つまで〇〉

区分	普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備	週末に家族等で過ごせる大きめの公園や緑地を整備	災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備	既存の公園を利用しやすく改善し、利用を促進	市役所等の公共施設や民間の施設に緑化を推進	休耕地となった農地を緑地として保存・活用	その他	合計
計	158	206	289	126	34	167	16	996
割合	26.5%	34.6%	48.5%	21.1%	5.7%	28.0%	2.7%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



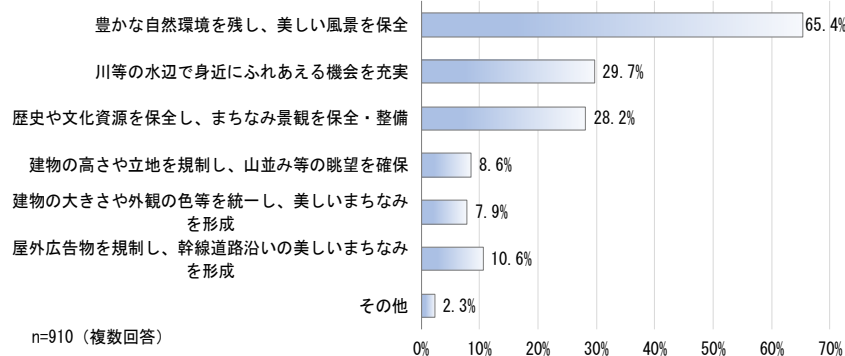
○今後、進めてほしいと思うこと【公園・緑地】

公園・緑地の分野については「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備」が 48.5%で最も多かった。次いで「週末に家族等で過ごせる大きめの公園や緑地を整備」が 34.6%、「休耕地となった農地を緑地として保存・活用」が 28.0%となっている。

【水や緑の自然環境、景観】〈2 つまで〇〉

区分	豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全	川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実	歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備	建物の高さや立地を規制し、山並み等の眺望を確保	建物の大きさや外観の色等を統一し、美しいまちなみを形成	屋外広告物を規制し、幹線道路沿いの美しいまちなみを形成	その他	合計
計	390	177	168	51	47	63	14	910
割合	65.4%	29.7%	28.2%	8.6%	7.9%	10.6%	2.3%	

※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



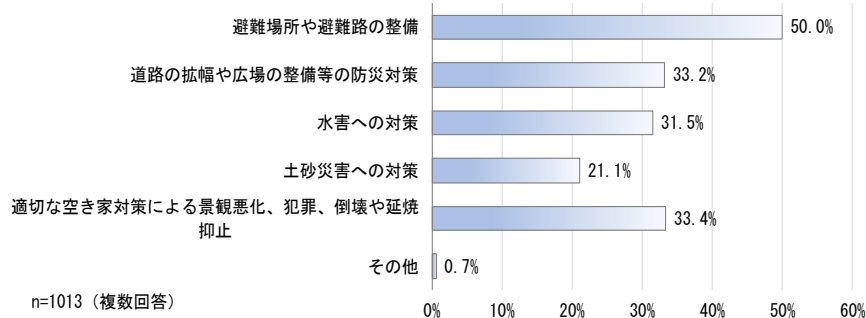
○今後、進めてほしいと思うこと【水や緑の自然環境、景観】

水や緑の自然環境、景観の分野については「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」が 65.4%で最も多かった。次いで「川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実」が 29.7%、「歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備」が 28.2%となっている。

【防災・減災】〈2 つまで〇〉

区分	避難場所や避難路の整備	道路の拡幅や広場の整備等の防災対策	水害への対策	土砂災害への対策	適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止	その他	合計
計	298	198	188	126	199	4	1013
割合	50.0%	33.2%	31.5%	21.1%	33.4%	0.7%	

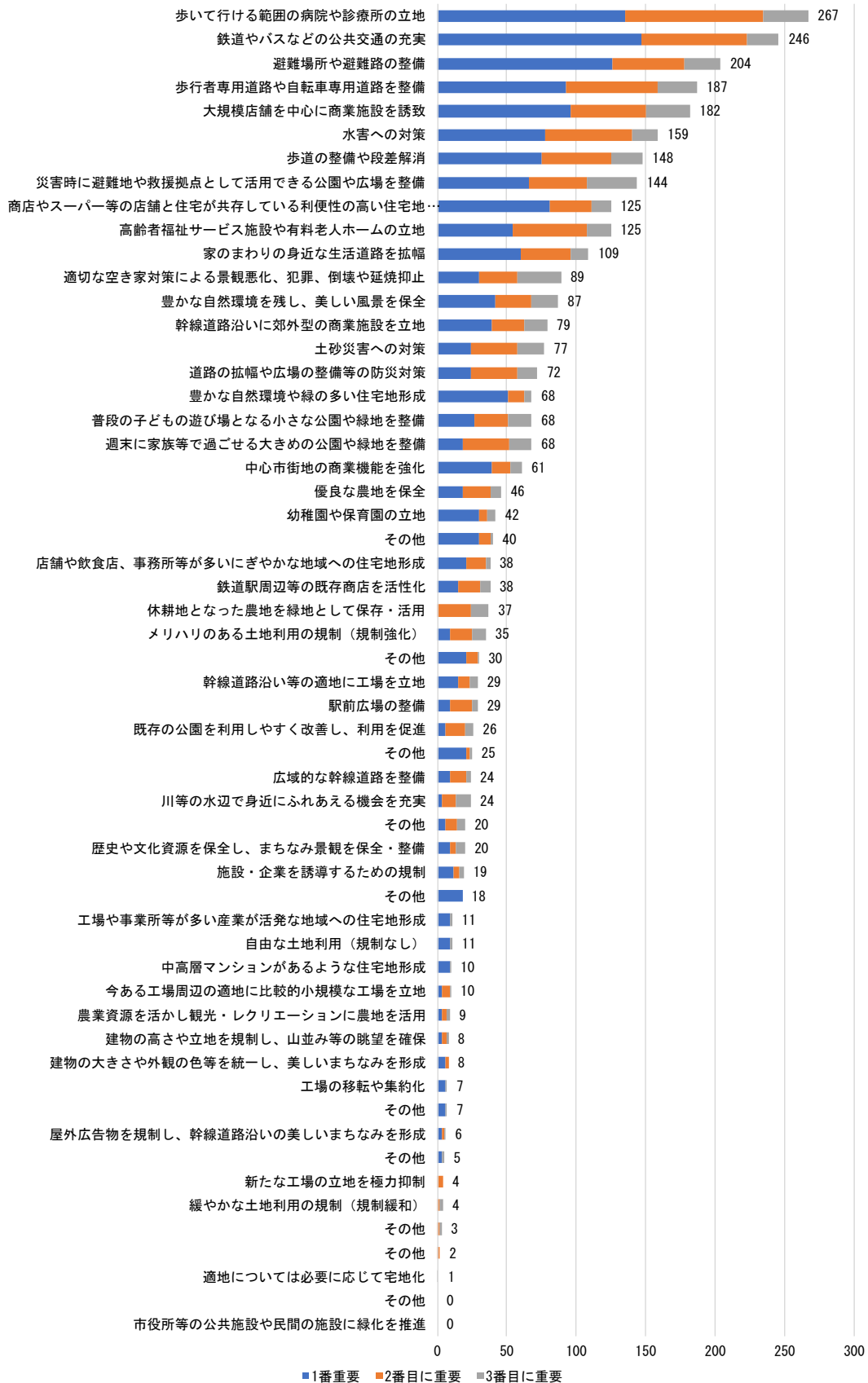
※構成比は回答数に対する票数の割合で図示



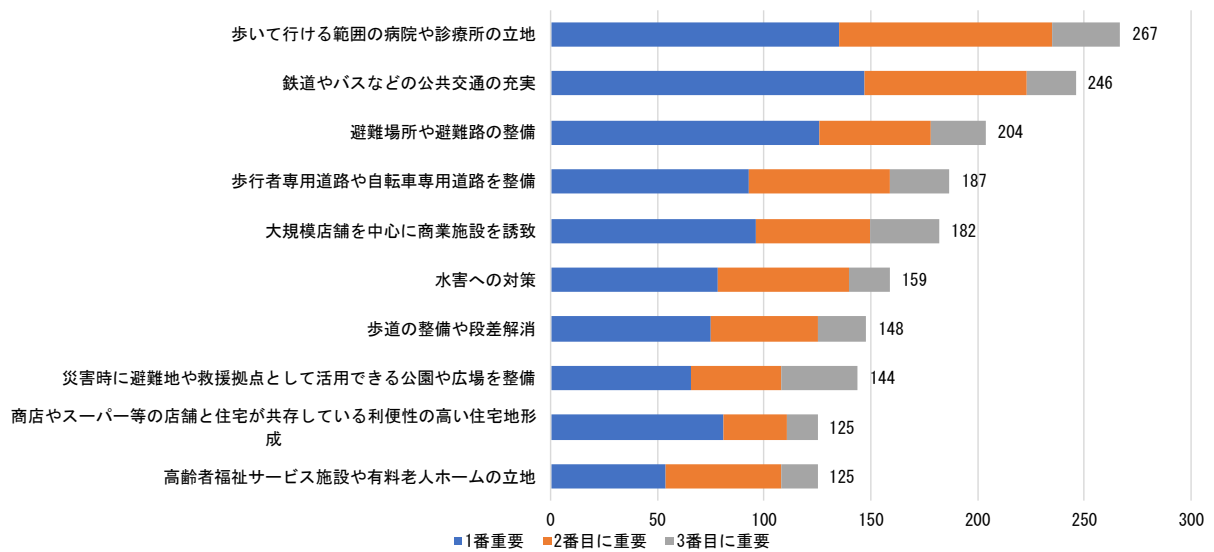
○今後、進めてほしいと思うこと【防災・減災】

防災・減災の分野については「避難場所や避難路の整備」が 50.0%で最も多かった。次いで「適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止」が 33.4%、「道路の拡幅や広場の整備等の防災対策」が 33.2%、となっている。

◆問 13 今後、あなたが特に取り組んでほしいと思うことをお答えください。〈上位 3 つ〉



【上位 10 項目：全体】



○問 13 今後、取り組んでほしいことについて

特に取り組んでほしいことについて得点化した結果、「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が 267 ポイントで最も多く、次いで、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が 246 ポイント、「避難場所や避難路の整備」が 204 ポイントで続く結果となった。

また、得点化の計算方法として、「1 番重要」とした項目に 3 ポイント、「2 番目に重要」に 2 ポイント、「3 番目に重要」に 1 ポイントを振り当て指数化した上で、グラフで表している。

◆問 14 まちづくりに関して、ご意見がありましたらご記入ください。(自由回答)

意見の内容は以下のとおりです。なお、回答者の意図等が変わらないように、できるだけ回答者の表記のとおり記載していますが、誤記等について最小限の修正を行っています。

<p>ミレニアシティが閉鎖され、岩出市内には大型の商業施設がなくなりました。不便です。なんとか市内に大型施設の誘致をお願いします。それと、大きな病院も市内にはないので、これも市民病院など考えてもらえると嬉しい限りです。</p>
<p>・風吹峠の暗さをなんとかしてほしい。外灯を設置してほしい。 ・道の駅根来さくらの里の前の信号で赤で待っていると道の駅を経由し信号無視する車が早朝に多すぎて危ない。 ・道の駅をまた作ってほしい。 ・役場がきたなすぎる。紀の川市ほどまで行かなくてももうちょっと見た目や内装を良くしてほしい。 ・市役所の立地が不便 ・市内の店が、パチンコ店、車屋が多すぎてつまらない。 ・生ごみ袋がすぐにやぶれるので改善してほしい。</p>
<p>・家族でショッピングを楽しめるような大型商業施設の誘致実現を希望します。</p>
<p>とにかく近隣市町とは道路行政が極めて遅れている。 福祉行政についても近隣市町に比べて無策である。</p>
<p>年よりにとっては巡回バスの利用をそくしんしてもらって高齢でも買い物に自由にバスによって行けるようにして下さい。</p>
<p>山田グリーンハイツ地区住宅地の道路ですが私道となり非常に困っている。 パチンコ店が多すぎる。減らして欲しい。 和歌山市から移住したが、住民税が高い。ゴミ袋が高い等、差があるのが不満。 水路沿いにガードレールが無く危険な道が多い。 今後の問題ですが空家問題に対処して欲しい。 空地の雑草、土地の持主に定期的に連絡を入れるように対応してほしい。 大型ショッピングモール・コストコなどができてほしい。</p>
<p>子どもが健全に幸せに暮らせる環境を整えてあげてほしいです。</p>
<p>私 74 才 主婦 免許ナシですから大へん自分一人で行動するのは不便です もう少し 市内 細かいところまでバス、コミュニティーバスなど巡回してほしいです。これから高齢でもっと不便になります。身近の方の協力なしではこの健康な体でも不便です。</p>
<p>魅力のない町なので、がんばってほしいです。</p>
<p>根来にある火葬場の老朽化が目立ちます。火葬場を新設したり、リフォームしてほしいです。きれいな環境において、最後の別れを望んでいる人はいるでしょう。</p>
<p>岩出市の道路整備 環境衛生等にはすごく出来ていて岩出住民として誇りに思います。 高速道路に通じる道路整備も充実されていて、県外に出るのにも大変便利です。 市の暮らしの変化や市の景観を保全整備が進んでいく中でなぜ岩出市役所がそのままなのか？です。岩出市にふさわしい建物になる事を望んでいます。</p>
<p>住宅街で車が対向できる道幅を確保してほしいです。スピード出しすぎの車が多いです。</p>
<p>岩出市からや岩出警察からの放送が聞き取りにくすぎます。耳を澄ませても自動車音等に遮られ全く何を言っているのか分からない時が多々あります。放送直後、スマホで確認できるように等検討して頂けたら助かります。</p>
<p>岩出市とは関係ないかも知れませんが紀の川の河川敷の堆積している土砂・栗石の除去を行ない河川整備をして欲しい!</p>
<p>岩出市に出来れば嬉しいと思うのは、総合病院と県民文化会館のような文化施設です。 今も住みよいですが、さらに安心して住めるまちなになればと願っています。</p>
<p>気軽に公園で利用できる体操器具等を揃えて下さい。高齢者の健康維持に活用できるものを。例えば、ぶらさがり器など</p>
<p>最近犬の散歩が自宅の回りでよくされていますが、後始末をして帰られる人が少ないように感じます。ドッグランや犬の散歩道の整備もしてほしいです。</p>
<p>以前、ミレニアシティがあった場所に映画館を作ると岩出市の住民だけでなく紀の川市の住民も訪れると思います。</p>
<p>普段自転車移動しているので車とすれちがう時や追いこされる時が怖いです。岩出は道の狭い所が多いし、水路など溝に落ちる危険があります。あと、夜は暗くて外灯をもっと増やしてほしいです。コウモリも家に入ってくるほど多いので対策をお願いしたいです。</p>
<p>地球温暖化にともない、今後益々自然災害がおきると予想されます。ゆえに防災や避難場所を増やし、人災は起きてからでは遅いので、その時点で徹底して取り組んでいただきたいと切に願います。</p>
<p>そうへいちゃんグッズでどの程度の利益を得ているのかわかりませんが、そのグッズ制作資金はもう少し、別の使い方をした方が良いと思います。 岩出市は、和歌山県内では子どもの多い市ですが、高齢者もいます。 車を運転できる世代にとっては不便な点は少なく住みやすいと感じていますが、車の運転できない世代へ、バスなどの公共交通の充実をしてくれると長く安心して生活しやすい市になると思うのでよろしく願います。</p>
<p>活性化!!人口増となる街造の。現状維持で停滞(発展する街に)</p>
<p>・車の大型化に伴い、生活道路の拡幅 ・各地区における商業の分散 ・公共交通の充実 ・目安として、千里ニュータウン、泉北ニュータウンの様な町作り</p>
<p>自然災害に強い町。医療、福祉の充実した自然豊かな岩出市であってほしい。</p>
<p>ペット可の公園や施設を増やしてほしい</p>
<p>とにかく子供が遊べる場所が少ない 公園を増やしてほしい プールも増やすべき 車移動が多いので運動施設は必要</p>
<p>孫と公園に行っても、草がボウボウだ 虫がいて中に入れない。夏は日陰もなくベンチもない公園が多くて困っています。 遊具もサビだらけでほったらかしです。 私達 70 代も公園のベンチで友達と会話を楽しめたら良いと思います。 公園もご近所の方とのコミュニティの場所だと思えます。</p>
<p>大阪方面に行く時は、ほぼ周りの方は和歌山市の紀伊駅や、大阪の和泉砂川、日根野の駅を利用しています。 山中谷と、紀伊駅の間には阪和線の駅があれば、岩出市は最高に住みやすい街になると思います。 駅が今の岩出駅だけというのが私の中では一番交通機関の利用(公共)が少ない原因だと思ひ、嫌なところです。</p>
<p>・ちいさな子供用と、高学年や中学生が集まる公園をなるべくわけてつくってほしい。 ・自然に触れあう機会として、浅瀬の小川で水あそびができる場所がほしい。 ・土曜日や雨の日、暑い日などに利用できる屋内の遊び場がほしい。</p>
<p>・幹線道路が充実している割に、生活道路がせまい。 ・未線引はさすがにマズイのでは？</p>

<p>・鉄道・バスは使える本数や停留所が少ない</p> <p>・泉佐野岩出線の府県境を越えたら、片側1車線になり、発展を阻害している要因の1つではないのか？</p>
<p>せまい街ですが、せまい街だからこそ一度に色んな所に行けて良いと思います。</p> <p>飲食業が多く、満足しています。(パン屋、イタリアン等)</p> <p>ですが、農面道路、24号線が車がふえてきており、渋滞している事も多々あります。(風吹峠を越える前、大阪方面へ向かう方、帰る方両方)</p> <p>ここ何十年ですごく発展しているなあと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>中学生までの医療費の無料化(近辺の市は無料化となっている)</p> <p>早期対応してほしい!</p>
<p>・歩道整備ありがとうございます。今後とも、学生通学路の歩道設置推進をお願いします。</p> <p>・信号機設置されていない横断歩道で車一旦停止の強化。</p>
<p>毎日のお仕事に感謝します。</p> <p>高齢者として、願望は年金での生活を充実する為の市政の見直し</p> <p>若者とのふれあいを多くし1人1人の声出しが出来たらいいと思います。</p>
<p>山の木々をあまりカットしないように</p> <p>災害の起こりにくい町づくりをお願いします。</p>
<p>1. JR 和歌山線の本数を元に戻すよう取り組んで下さい。鉄道の本数の減少=若者の減少ですよね。</p> <p>2. 長年見てきましたが、いつも同じようなところを工事している印象です。NTT 前などいまひとつ整備されていない足場の悪い歩道が多く、自転車で通るのがこわいです。だから整備された歩道(警察社宅前~24号線に続く道)を使って迂回することが多いです。あとNTTの建物はずっとあのままなのでしょくか？</p> <p>3. 岩出でそこそこ裕福な生活をしている家庭の職業は公務員がほとんどではないでしょうか？何か大きな企業(パナは嫌いだけれど、あいう会社の移転先の地として)なりが来てほしいです。このままでは若者はほとんど大阪市などの都会へ流れてしまわうでしょう。今実際そうなりつつあります。</p> <p>4. 根来のあたりで歴史あるたてものが移築され整備されています(歴史の丘という名称で)が、”岩出御殿”(老人ホームではなく昔の紀州藩の施設)はもう帰ってくることはないのでしょうか？大河ドラマ「吉宗」で”岩出御殿”の存在を知り、こちらへ来てから1度行ってみたいと調べたら影さえなくなっていて非常にがっかりした覚えがあります。一部がどこかへ(東京?)へ移築されたのですよね。昔の街道筋を復活!なんて無理なことは求めませんが、”歴史”を打ち出すなら「根来寺」だけでなく江戸時代の岩出の街道の繁栄をしのべるものがあればなあと思ったりします。</p> <p>5. たまにバスで風吹峠を通るのですが、山がごんごん切り崩されていて、いつか山崩れ、土砂災害が起きないか(特にさくら台の上のあたりとか)心配になることがあります。</p> <p>無理だろうな、どうせいろいろながらみで二の足を踏まざるを得ないだろうなと思いつつもせつかくの機会なので、いろいろ思ったことを書かせていただきました。</p>
<p>・総合病院及び大学病院の誘致→ぜひともお願いします。</p> <p>・高齢者が車を使わなくても行ける医療体制(町医者が多すぎる→信用出来る医者が少ない)</p> <p>・交通の利便をあげ、教育の充実、医療体制を強化すれば、必然と活気ある街になると思います。</p>
<p>医療費が(子供)岩出市では負担1割ありますが、中学校卒業まで無料とらならないでしょうか。</p> <p>他市町村は子供医療費補助がすすんでいるのに岩出市は子育てしにくいです。</p> <p>医療費負担を1割からゼロになるだけでもっと子育てしやすい環境、少子高齢化も防げ、岩出市の発展につながると思います。</p>
<p>・公立病院の建設</p> <p>・イオン等の大きな買い物施設建設</p> <p>・コロナ対応→PCRをすぐに受けれる環境、ワクチンをすぐに受けれる環境、入院もしくは隔離施設の充実</p>
<p>公園の利用時間が9:00~17:00というのは何故ですか。夏前後の日差しのきつい季節は早朝から開けていただきたいです。</p> <p>今回コロナになって周辺の市町村との住民サービスの差に驚きました。目に見えない所へ財源を使っていると思われるが、あまりにも差が大きいです。マイナンバーカードでの住民票をコンビニで出せるのはいつですか？周辺の市町村と比べ住みにくく感じます。</p>
<p>粉河加太線の一部の信号機で右折指示のない信号機は危険なので変更をお願いします。</p>
<p>コミュニティバスのバス停と時刻を増やし、充実してほしいです。</p>
<p>大型スポーツセンター(体育館など) つくっているんなスポーツの大会、合宿できる施設があればと思います。</p>
<p>岩出競馬場の建設希望。</p> <p>野焼きの禁止、もしくは曜日指定。</p>
<p>住んでいる地区限定の質問が多くて満足のいく回答ができなかった。</p> <p>伝えたいことを伝えることが出来ていません。</p>
<p>・岩出駅は不便で、JRの駅を作ってほしいです。紀伊駅に行くのも少し遠く、紀伊駅と岩出駅の間に駅を作ってほしい。</p> <p>・子供を産みやすい環境をもっと作ってほしい。(総合的に)</p> <p>・小規模商業施設は沢山あるが、主となる大型の商業施設があれば、もっと活気が出ると思います。</p> <p>・企業の誘致を積極的に行ってほしい。</p> <p>・若者の遊ぶ場所を作ってほしい。</p>
<p>豊かな環境を残したまちづくり</p>
<p>近年、天候が変化してきて大雨が降りやすくなっています。</p> <p>家が紀ノ川に近いので、大雨や台風の際は心配しながら過ごしています。</p> <p>水害への対策、強化を特にすすめていただきたいと思っています。</p>
<p>岩出に住んで30年近くになります。ここに移って大満足。</p> <p>単独で市になり喜んでます。</p> <p>私は大阪に住む友人達数人に岩出に移っておいでと声掛けしています。彼らも前向きに検討中であり、それだけ岩出には満足しています。</p> <p>市役所、保健所の人の対応も私は満足しています。</p> <p>これからも市民目線で声を聞いて頂ける岩出市政であることを願います。</p> <p>感謝。</p>
<p>はやく下水道整備してほしい</p> <p>し尿汲み取り料が紀の川市に比べ異様に高い</p> <p>●ミゾバタ 家族3人朝8時~夜7時まで留守、土日もほぼ同じ なんて7000以上もいるのか？(会社のある)紀の川市 打田興業は、そんなになかったのにとても不満</p>
<p>大型のなんでもそろそろスーパーを作り集客をして近くに公園を作って家族で後楽しめる様な所があればよい</p>
<p>・未成年も健全な育成に対して不満があります。</p> <p>・バイクの騒音、商業施設での不良少年が目立ちます。</p> <p>・道路の整備状況に関しては、歩行者を守る為、歩車分離式信号の設置拡大をしていただきたい。</p> <p>・小学校の通学路にガードレール設置を強く望みます。</p>
<p>大阪から岩出市に来てから12~13年になります。</p> <p>自然がたくさんあっていいですが、何より交通の便が悪いです。</p> <p>未だに思います。特に、車優先なのか、歩道が整備されていない所が多く、歩行者が不便だと思っています。</p>

<p>車の運転が荒い人も多いと思います。 歩行者にとって、もっと安心できるような道にすれば車だけでなく徒歩、自転車を利用する人も増えると思います。</p>
<p>岩出市は若い人も多く、これからますます産婦人科の需要が高まると思いますので整備をお願いします。</p>
<p>安全、安心を第一に！いろいろなハード面、ソフト面からも取り組んでいただけるとありがたいです。 よろしく願い致します。</p>
<p>子供の医療費を1割負担ではなく中学校卒業までは無料にして欲しい。 パチンコ店が多い。これ以上増やしてほしくない。 ミレニアの跡地はパチンコ店ではなく公園か買い物ができる商業施設にしてほしい。公園が少ない。でも子供をもつファミリー層は多いので休日は公園に人が集中しすぎて思うように遊べない。 何ヶ所か新しく公園を作ってほしい。(小さな規模でいいので) 駅前商店街は廃れた印象しかないので、場所を貸して(レンタルスペースみたいな)カフェのお店にしたり産直市場にしたりワークショップを開催したり色々できそうな気がします。あとは近所の人たちが集う休憩所を作るとか？ あとコインランドリーふわふわ館岩出水酒店の前の道がカーブで車道に出る時にとても危ないのでカーブミラーをつけてほしいです。</p>
<p>地域の発展には若い人の力が必要。(無関心の人が多い) リーダーの育成に取り組んでいただきたい</p>
<p>自然環境を出来るだけ維持して欲しい</p>
<p>上下水道の一日も早い整備をよろしくお願いします。 あいあいセンター公民館の座布団の入れ替え、畳の張り替えをお願いします。</p>
<p>要望 ・各地域に主要となる公園がない為、そういう公園の増設(公園内には遊具だけでなく、体力づくりのできるような簡易な設備を設置してほしい。) ・市内の生活道路には、歩道、自動車道が少なく、車の通る横を歩いて通学している学生が多く危険が多いので安全な生活道路の構築をお願いしたい。 ・住宅地と工場地の隣接はやめてほしい。(騒音等で困る)</p>
<p>岩出図書館や体育館等気持ちよく利用させていただいています。特に図書館は建物そのものも魅力的で、週末の良い気分転換になります。岩出市の魅力のひとつです。 緑化センターや根来寺等もずっと大好きな場所です。紀の川の川沿いを散歩するのも楽しみなので、あの景観は残してほしいです。 商業施設としては、スーパーもいろいろあって買い物がしやすいですが、ミレニアムシティオークワがなくなったことは大きな損失のように感じています。ほしいもの(食料品以外のさまざまなもの)がすぐに手に入る便利な場所だったのにとっても残念です。 (イオンモールと違って)適当な大きさをすぐに買い物できる便利さがありました。 今ある岩出市の良さを残しつつ、充実したまちづくりに期待します。建物の建設だけでなく、文化コース・スポーツコースなど、講座等の開設もお願いします。</p>
<p>将来を担う子どもたちの教育にお金を投入して欲しい 子どもたちが大人になったら岩出市に残って岩出市を活性化するための人材育成に取り組んでほしい そのための魅力あるまちづくりを期待しています</p>
<p>子どもたちが通学する道路は狭く、車はスピードをゆるめることなく通行しています。 市がもっと子どもたちを大事にしたまちづくりに取り組んでもらえれば住民の意識も変わっていくと思います。 横断歩道を渡ろうとする人がいても、ほとんどの車は止まりません。他県から来た人が、ぜんぜん止まらないねと驚いていました。 普段車で移動することの多いので、今まであまり感じませんでした。子どもと歩くと危険な道路が多いことに気が付きました。 安全な道路と歩行者に優しい車の運転の啓発をお願いしたいです。 また、市役所に行くといつも応対が悪くとても悲しい気持ちになります。 他市に住んだこともありますが、とても丁寧でびっくりしました。 帰ってきた岩出市は昔のままの役所だと感じています。</p>
<p>人間から先に直して行かなければなりませんか？ 人と人の出会いのあいさつ。いまは学校へ行く子供たちがおはようございます。 こちらから言わなくても先に「おはよう」が言う子供がいます。 やっぱり、どんな場所でもあいさつが一番大事だと思います。 最初の一言で心が大きく開くお年寄りもたくさんいますよ。 小さなひと言が大きな話題になると思います。</p>
<p>2021年1月に岩出市にきました。 とても生活しやすいまちだと感じております。 一方で、子どもが多い岩出市なのに、子どもの医療費が1割負担にはおどろきました。少子化が問題とされている中でそこから税を取ろうとするのは、いかかかと思えます。 また、中学校については人口に対する学校の数が少なく、県下で荒れている学校としても有名です。 校数を増やし、子どもを教育する大人の人数、環境を整えることは必要ではないのでしょうか。 中高一貫校のブームが来た時に岩出市でそのような学校ができなかったこと、私立学校がないことから教育に対する熱が低いのかなと感じます。</p>
<p>道路整備など地域により偏りが多い</p>
<p>クリニックはたくさんありますが、例えば出産ができる病院がないので、遠くまで検診に行っているとか、脳神経外科が少ないとか、偏りがあるように思えます。 せっかく若い世代が増えなくても、産婦人科が近くにないと安心して子どもを増やそうと思えないかもしれません。 幹線道路から少し入ると狭い生活道路も多く、年配者が増えてくると車の運転が大変だし、すれ違うこともしにくいので、せめて、車がすれ違える程度の広さは欲しいと思います。 とくに、子供が通学する道は、通勤の時間であるから、車が多いので、少し広めにするか、時間帯で通行禁止にしたほうがよさそうです。 そして、家族宛にも自分宛にもこのようなアンケートが何度か届いているが、それはどのように反映されているのかと疑問です。</p>
<p>都市計画税を払っているが、なんに使われているのかギモン 岩出市の都市計画のビジョンがわからない 住宅地の中に店舗があったり、用途が混在した目にキレイな街に見えない 行き当たりばったりを感じる 市長や担当課は将来岩出市はどうあるべきと思っているのでしょうか。 メリハリのある街づくりをしてほしい</p>
<p>キャンプ場があればいいと思います。</p>
<p>自転車の通行を指導し交通事故を少なくしてほしい。</p>
<p>・狭い岩出市にありながらも、日常生活に必要なスーパー、教育関係等ありますので、生活に特別な不自由は現在のところ感じていません。 ・バス等の公共機関を要望するか否かの質問が数多くありました。70才後半となった私自身ではありますが、免許返納は道路の拡張、商業施設の充実した都会の話であり、現在の岩出市に於いては無理だと思います。 ・バス、コミュニティバス等に於いては、岩出市内のみの想定ではなく、那賀郡又は和歌山市迄をも広げ、本数も増やしての計画が必要ではないでしょうか。</p>
<p>今の所車は乗れるのですが、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いや逆走したり、と言われているなか、いつれ免許を返納する時が来た場合・・・！ シニアカーも晴れの日が良いけども雨の時は出られないから。 タクシーの割引券などを出すから、高齢者の自信のなくなった人に返納を勧めたら、事故が少なくなるのではないのでしょうか？</p>

ゆるやかな気持ち、のんびりとできる環境で毎日を過ごしたい。この目的に沿って街作りをしていてもらいたい。低所得の人間にまで税の負担を生活をしんどくさせる程にまで徴収しないでください。街作りもいいですが、税金を高くしないでください。適度に徐々に街作りをしていてください。
私宅前の市道の道路整備は良いことですが、それによりガレージと道路に段差ができ、車種によっては前下部が道路に当たり、車、バックで車庫入れすると、前、下部が地面に触れる
空家が多いように思いますが、別のところではアパートなど新しく建築されるところも多いと思います。少子化で将来人口が減ったとき、ゴーストタウンのような町になるのではと不安になります。
岩出市にはイベントとか文化を発展する公共の場が体育館しかない。これでは充分ではないと思います。また、市民が一体となってやるイベントがない。今はコロナで無理だけれど、いつもの花火だけではなく・・・公園や広場を整備してもう少し、華やかさをプラスしてイルミネーションをつける。夕方でも安心して楽しく散歩もできる。お正月、お月見、お花見、クリスマスの時だけでも明るいイメージでみんなが気軽に集まれるような場所を作る。また高齢者も増えて、私達は山の手に住んでいます。免許を安心して返納できるように考えて欲しい。例えば、バスが近くまでこれないのなら、もっとタクシーを月極で活用できるとか、ネットで予約したら同じ方面へ行くなら互いに乗り合える。それが実行できる部署の会社作るとか斬新な改革して欲しい。
問11の17の取り組みを強化してください。児童発達支援先を桃郷ばかりにすると、桃郷の職員は児童の保護者(特に母親)に対してへの人権意識が薄まり、マザーハラスメント・マタニティハラスメントが濫用しているのが現状です。これでは子育て支援とは真逆の一途を辿るばかりです。早く民間の児童発達支援先とも仲介を積極的にとってもらえる岩出市センターになってください。ちゃんと市民の声を聞いてください。
公園に関しては、自治体がないためボランティアで草引きを行っている。ゴミとなる草は、有料でゴミ袋を購入して、ゴミの日に出している。各公園が荒れていては、防災や遊び場にもならないし、治安も悪い。もう少し、管理に力を入れて欲しい。せめて、ゴミ袋の配布くらいして欲しいものである。使用したゴミ袋をスマホで撮影して申請するなどの方法はいかがでしょうか。ご検討ください。
ミレニアの跡地にユニクロやGU、コストコなどが欲しい。パーベQや、グランピングなどが欲しい。(場所)
・岩出駅は交通の便として利用するには不満があります。岩出駅に行くまで、遠く行きにくい。JRがあれば、和歌山駅、大阪駅に行きやすいため、JRが岩出にあればいいです。 ・歩道がせまい所やない所には、安全のため歩道をつくってほしい。(交通公園の前の道)
・他県から移住してきました。遊具が1~2個しかない狭い公園が多すぎます。草も伸び放題で誰も遊んでいないし、防犯上も見た目も全くよくありません。全くメリットが無いのに作り続けるのは無駄ではないでしょうか。 ・バスの利便性を上げて欲しいです。バスが不便なため、高齢になっても車の運転を続けなければならないと思います。バスが安価(スイカなど使用可)で巡回数も多く、バス停が家から近いなど、自家用車を使用するよりメリットが多ければ利用者が増える可能性もあると思います。
岩出市はパチンコが多すぎると思います。身内や、友人、やめてほしい、やめようとしている人にとっては悪影響だし、町のイメージも悪くなると思います。利益があるのかもしれないですが、やめてほしいです。道路の歩道の整備ですが、小学生の子が横断歩道を渡ろうとしているのに、誰もとまる車はありません。歩道もない道を小学生の子1人で帰るのはとても危険だと思います。改善願います。
子どもの数が減少、人口下り坂の日本、将来の和歌山、岩出の為、老人対策は重要であるが、若者たちに夢を与える政策、人口をとにかく増やして伸びてゆく、岩出、和歌山、日本の為、お金を使用することが必要。子供1人当り10万。20万と税金をあげても、増やすことが国力を高めるまづ一歩だと思ふ。もっと出会いのあるようにしてください。
子育てがしやすいように、コロナ対策の給付金の支給や、子どもの医療費の無償化を検討して欲しい。また、市長が変わらないと、岩出市は住み良いまちにならない。
年金生活者が安心して生活できる町 ↓ 公共料金の減額 バス停を増設
これを市役所で精査するのに書き写すのですか? 税金の無駄づかい! 早急にマークシートに変更を検討してください。 一般企業ではありえないアナログアンケートです。
ゴミ回収の網(カラス・ネコよけ)が必要なくなるように対策してほしい。 黄色の網でカラスがこないなら、ゴミ袋を黄色に変更する等お願いします。
20年後ならどうしても岩出~大阪に直通できる鉄道ができればいいと思う。 工場など作るにはもっと広い土地が必要。 自然があり、安心安全なベッドタウンしかないのでは。 古い建物を整理し、きれいな市営住宅を建設してほしい。 歴史ある根来寺をもっと魅力的にさせる岩出市に。 ミレニアシティの跡地は何になるのかな。 パチンコとか言ってる人もいるが、そのようなものは必要ない。 できれば役所とか町の中心となる物を持ってきた方がいいのでは。 道路の整備が全く良くなく、狭いところでも車が入ってきて通行するのにすごく怖い。 せっかく根来に図書館を作ってくれているのに、図書館へ行くまでの道が、自転車や歩行者には大変です。 そして、図書の本にコミック本もいろいろと置いてくれたらと。
市営のスポーツジムなど施設の充実 遊ぶ場所も少なく、生活していく中では満足していますが、娯楽に関しては物足りません。 スーパーなどは充実していると思いますが、道路の整備も甘く感じます(出入りが不便)
堤防、道路などの草刈りが必要 ドライバーにとって視野が狭くなる為
企業誘致、若者が岩出市内で働ける環境整備で長く安心して暮らせる町にして欲しい。岩出市内には石垣を積んでその上からモルタル、アスファルト等で仕上げた水路が多々あります。水利組合と兼ね合いがあるのかもしれませんが、早急に修復して欲しい。石垣が崩れてきたら、水路に穴があいたりして湿気があがり住宅地に悪影響を与えていると思います。
図書館について 岩出図書館の利用がとても不便だと思う。 図書館での自習学習が禁止されている。 入館前には手荷物をロッカーにあずけなくてはいけない。

<p>紀の川市の図書館では上記のことが許可されているので、週末には大人～学生が自習机に向かって学習しており、満員です。満員の場合は、別の空いている部屋も解放しており、図書館を訪れる住民が多い。</p> <p>和歌山県立図書館も同様です。</p> <p>(海南市のノビノスや和歌山市駅にある図書館は別として、)</p> <p>岩出図書館は立地が山側にあるので利用しにくいですが、子供たちの教育のために開放する方が良いと思います。</p> <p>和歌山市はそれぞれのコミュニティセンターにも自習ブースが設置されていて、予約することが難しいほどの日もあります。</p>
<p>住み良い生活環境の充実</p>
<p>犯罪抑止の観点からも防犯カメラ設置の助をして、子どもや高齢者が安心して住める様お願いしたいです。事件、事故が起きて、被害者が出てから考えるのではなく・・・子育て世帯や、高齢者のみの世帯が多い所ですから・・・</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・狭い道をすべて広げるのは、無理だから、車の対抗できる場所を多く造る ・商業は多いが、工業がまったくない増してほしい。(若い人が出て行くよ) ・競輪・競馬・競艇・オートレースが全部買える場外売り場(根来山あたり) ・総合病院(那賀病院レベル)
<p>週末に家族で訪れられる商業施設や大きな公園がなく、岩出市外に出るしかありません。</p> <p>また、雨の日に子供を遊ばせられる場所もなく、雨が長くとなかなか気分転換させてあげられません。</p> <p>また、車があれば日常生活に必要な物の買い物はしやすいですが、公共交通があまり整備されていないため、車が乗れなくなると不安です。</p> <p>この先大きな災害が起こるため、防災・減災にも力を入れて欲しいですが、普段は主に上記について改善されないかなと思っていましたため、今回このような機会を設けていただき、とてもありがたいです。</p> <p>一生住み続けられる魅力的なまちづくりをよろしくお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが出来る環境(体育館増やす、スケボー施設、卓球施設、パスケなど)。子どもたち、大人、老人がつどえる場所をどうかどうか作ってください。 ・中高生がつどえる娯楽施設を作ってあげてください。 ・京奈和道の降り口の岩出市の看板が小さすぎる。もっと看板を大きくしたほうがよい。何市に来たのか分からない! ・市役所の働いている人、仕事なんだから「笑顔」「挨拶」「思いやる気持ち」大事にして下さい。出来る人は多数ですが、少数の人がいます。その少数の人でイメージが悪くなると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の建て替え ・駅前から市役所までの整備 <p>他から来た人にいつもいわれる</p> <p>市役所はどこですか?岩出駅はどこですか?</p> <p>また、くらいイメージ</p> <p>大きなフロアの空間の市役所を紀の川市役所みたいにしてほしい</p>
<p>高速も近くに有り、山・川など緑と自然が残る、場所的には良いのに、他府県から遊びにこれるような環境に出来ていないことが残念</p> <p>企業を誘致するのか?自然を活かして人を集約するのか?何かを考えないと老人ばかりでは今後何も出来ない為、人が減ることは有っても増えることがなく栄えないのが残念です</p>
<p>子供が転落しないように用水路に柵を付けたり農業用水路にも蓋を付けたりしてほしいです。</p> <p>家の近くが、用水路や農業用水路が多くて、柵など付いていないので転落しないか不安です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地内に小さな公園があるが、放置されているものを多々見ます。蚊等虫や動物が住みつき、誰も使用せず大変もったいないので、管理できる体制や、定期的に清掃する人を募ってほしいです。 ・観光面で岩出は何もないと思う。宿泊もなく、県外から来られた人の足を止めてもらえる物が無いと思います。 ・中学の質の悪さをたびたび耳にします。実際、目にもするのでもっと良くなるように改善してほしい ・雨がふると子どもをつれて行ける所がない。 ・お年寄りが他より元気な気がするの、これがつづいてほしい。お年寄りの方から、何かを教えてもらえたり、アドバイスをいただける機会があればと思う。(コロナ後に) ・どんな年齢の子どもものびのび遊びができる場所がほしい。大人数の中小さな子供の遊具で遊ぶ中学生くらいの子どもをたまに見るので、遊び分けてきればと思う。 ・子どもが安心して住める(犯罪のない)街の整備をお願いします。
<p>交差点での信号機の矢印表示を増やしてほしい。かなり混雑してしまうので、その為の道路整備も願いたい。</p>
<p>市立病院の設置</p>
<p>洗剤の泡のあふれる水路、雑草の生い茂る荒田、これからどうなるのでしょうか、真剣に考えて頂きたい</p>
<p>アンケートに答えることで、あらためて生活環境について考えるキッカケになりました。</p> <p>40代という自分の年齢から、老後車の運転ができなくなった時のことをよく考えます。徒歩でスーパー、病院、郵便局に行けるのが理想ですが、少し難しい。</p> <p>スーパー、病院、ATMの数が増えることと、同時に巡回バスの利便性をより良くしていただきたいです(増便、コース見直し)</p> <p>又、大阪への通学がもっと便利になってほしいと思います。</p> <p>JR和歌山駅を経由せずに大阪へ通学できれば岩出市の若者たちの進路選択肢は大きく広がると思います。バス利用で和泉砂川駅に行けますが、これも本数が少なく、困ります。</p> <p>他、気になるのは、近所の空き家です。住人なし、大家不明の空き家が数軒あり、雑草、ゴミ等で近所は困っています。見た目も悪く、物騒。犯罪や火事につながらないか心配です。</p> <p>警察のパトロールや岩出市で空き家の把握、大家さんへの連絡、注意をお願いしたいです。</p>
<p>毎年同じ様な道路を掘ったりめたりの繰り返してですが、何とかありませんか?</p> <p>夜間の人が少ない時に工事をしていただくとありがたいのですが!勝手申します。</p> <p>水道管のサビで水が赤く濁っているのが気になりますが・・・!我家だけでしょか?</p> <p>20年くらい前にはごっていませんしおいしい水でした。</p> <p>20年たったので、ソロンソク鉄管のさびでしょうか?</p> <p>2Lの水を容器にためると、赤い水、にごりが見えます。ガラスコップ1杯ではわかりません。</p> <p>岩出市の職員さん方、ありがとうございます。</p> <p>いろいろお世話になり、感謝してます。</p> <p>これからもよろしくお願ひいたします。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護等お年寄りも大事だが、少子化のことも考え、医療、教育等の手当を将来的な支援を充実させてもらいたい。 2. 分娩まで診てくれる産婦人科が他の市町村に比べて少なすぎると思う。 3. 街灯が少なすぎる為、夜暗くなると危ない場所が多すぎるので増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・大型の総合病院や魅力ある複合商業施設を誘致してより住みやすい環境を作ってください。 ・岩出市役所改修しませんか?行く度に暗い気持ちになります。
<p>今コロナにたいしてまじめにみつめているのに対して岩出市ももう少し考えてほしい。人が多いし車も多いので買い物や公共施設に行くのがこわいです。</p> <p>まじめにコロナに対して取り組んでいるのにそれに対しての冒涔だと思えます。</p> <p>和歌山は他の県とは違い、コロナに対して甘いと思います。コロナで会社が休みなのに家に待機していない人ばかりなのでもっと真剣に取り組んでほしいです。岩出市の市町に対してもっと真剣に考えて下さい。</p> <p>自分はアンケート調査いいことだと思います。ありがとう。</p>

<p>岩出橋より南側の住民も住みやすいまちを作ってほしい。 商業施設、病院、保育園、コンビニなど立地してほしい。 下水や都市ガスを通してほしい。 家庭のゴミを自宅敷地前に出せるようにしてほしい。</p>
<p>施設、学校の体育館等の照明のLED化 市のがん検診の充実 脳ドッグも検診可能にしてほしい(今は国保の人のみなので・・・)</p>
<p>最近、売り出された家に見知らぬ外国人が生活していることを知りました。 ご近所が高齢化し、認知症のお年寄りがゴミを間違えて捨てていました。 リクリエーションや旅行など、人のお世話をするような地区のお付き合いは正直時間や仕事の都合で出来ず、班には入っていません。 でも、せめてご近所にどんな人がいるかぐらいはわかる、そんな町であって欲しいと思います。 子供やお年寄りが住み良い町になってほしいです。</p>
<p>岩出は割と生活するうえで便利な町だと思います。 最近ペットを飼われている方も多く思われますが、そういう動物と楽しめる施設が全くないのが悲しいです。 今、保護犬、猫などの問題も大変多い中、岩出にもそういった動物に対してもやさしいまちづくりをしていただけたらありがたいです。 人だけでなく、動物も幸せに生きる権利があるとおもうので充実させてほしいと思います。 土地の余ってる所に保護施設などできることはたくさんあると思います。 無駄にスーパーや飲食店ばかりはどうかと思います。最近特に多いように思います。 もっと命を大切にしたい町を作ってほしいです。</p>
<p>岩出市には大規模店舗がなく(和泉市イオンのような)いまひとつ活気がないような気がします。ぜひ誘致していただきたいです。</p>
<p>買い物等少し遠くの店に行く時巡回バスだと往復に時間がかかるし、次のバスの時刻を気にしているとうっかりできないという不便もあるので、乗合タクシー的な物を考えて頂けたら有難いです。</p>
<p>一部分は整備されていますが、歩道が狭い所、ほぼぼぼない所が多いです。 これは、こちらに来た時から感じていました。 特に通学路の歩道がない場所では、子供たちが安全に歩くのは難しいと思います。 市の職員さん、一度ご自分の足で歩いてみたらいかがでしょうか。 どれだけ危ないか理解できると思います。</p>
<p>岩出市にはドッグランがないのでぜひ作っていただきたいです。</p>
<p>電動キックボード等新しいものに対応できるようなまちづくりをお願いします。</p>
<p>いつも市民のために働いて下さりありがとうございます。 明石市のような皆が子育てしやすい市になりますように</p>
<p>・岩出市は交通量が多すぎる。川尻～セリア(つくし)まででも信号待ちでつまる時もある。 ・マツゲン中迫店とコマダの間の道 マツゲンから出て北へ右折する車が中央より大ききはみでて道を塞いでしまい、「つくし」方面への右折ができず右折を待つ間後方が渋滞する。 マツゲン敷地内からコマダ付近の出入り口から歩行者、自転車、車(通行中すべて)が危険。 マツゲンとコマダの間の出入口(交差点)側の閉鎖を指導してほしい。 もしくは信号を設置してほしい。 ・岩出市森側から見て、牛角、セリアの交差点 右折の車が多く渋滞がすごく不便。右折レーンをつくってほしい。</p>
<p>・岩出小学校の移転を強く希望します。紀の川のすぐそばで、1階部分が堤防下にあり、洪水が心配です。近くに避難施設もなく不安です。 ・ミレニアステイ跡地になぜ移転の決断がされなかったのか残念でなりません。 ・岩出市のゴミ処理についてですが、土曜の畑や家庭菜園でのゴミについてお願いします。 現在、平日しか取扱えないので、兼業農家は持っていき日がなく困っています。 どうか土曜にも畑のゴミ(つるや茎)の収集したものを引き取ってくださるようお願いいたします。(きちんとお金を払っています) 「畑で焼くな、堤防に捨てるな」をきちんと実践して、道路脇の草やゴミまで掃除しているの何卒よろしくお願いします。</p>
<p>下水道と都市ガスの整備(市という名にふさわしい) 税金につながる企業の誘致 市民ファーストの考え(市長、市議)方を持つ 生きた費用の使い方(ケチくさい市長)と決断 最低賃金が安い、大阪に流れる人流を防いでほしい 以上</p>
<p>農業と工業、商業、住宅との共存するのは、どうしても、相反する所があり、例えば、農業をしていると、消毒や糞糞等の被害が出ることもあり、気を使わなくてはならない。逆に住宅や人が多くなると、用水路が汚れるし、沿道の田には、空缶やレジ袋等ゴミが多く入れられる、モラルの問題ではありますが、ただそれだけで片付けられてはすまないと思います。低学年の時から学校で教育することが必要と思う。</p>
<p>各家庭に車がなくてもよい町にしてください。それが、環境、死亡事故、犯罪に繋がると思います。</p>
<p>計画的な都市開発(狭い住宅地が点在、又道路整備についても南北道路の拡張を進めて安全な町づくりを進めて欲しい)</p>
<p>保育所を増やしてほしい。待機児童が多すぎる。 兄弟で保育所が分かれるのはおかしい。 保育所入所のポイントの意味がわかりません。 働いている母親の為に保育所になっていない。 自宅にいる母親の子どもが、どうして保育所に入所できているのか?</p>
<p>子どもが多い割に子育ての補助が少ない。これからの子供のために補助を充実させた方がいいと思う。そして、岩出で育った子達が、ここでいたいとおもえる町にしていかなければならないと思う。(若い人たちに対する金銭的な補助等) また、今私達の親世代が介護世代に入っていくが、大きな病院がなく、不便に感じている。入院するとすれば、他自治体にいかなければならないことに不安を感じている。 自然災害(台風、大雨)などあまりなく、そのあたりはアピールしていけたらと思う。 他自治体よりも警報も出にくく、保育所や小学校のお迎えが少なくて済むところは、仕事をしている主婦としてはありがたかった。</p>
<p>街灯がない所があるので設置してほしい</p>
<p>市内に皮膚科の病院が少なすぎます。稲田皮膚科なんていつも人が外にまであふれているくらいです。小さな子供を持つ親としては病院が不便であることは非常にストレスに感じます。また我家はもう子供が生まれる予定はないですが、岩出市は若い世代も多く住んでいる街なのに、産婦人科も少なく市外での出産がほとんどだと思います。那賀病院も出産ができなくなったので、市として子供を増やしていきたいのであればこれは大きな問題ではないかと思えます。妊娠中は心配事も多く、検診にも何度も行かないといけないので、家の近くで出産できるというのはとても大事なことだと思います。 4年前に市外から引っ越してきましたが、岩出市は自治体がきちっとしているのか、小さな公園でもよく整備されているなど感じました。(夏場の草等は仕方ないですが)これはすごく素敵なことなので、これからもこのまま自治会がきちんと機能している街であってほしいと思います。</p>
<p>パチンコ店が多すぎ 大小様々な川が汚く臭う</p>

<p>まだまだアホな暴走族がいまだに多い。 近隣の紀の川市などからも岩出によく走ってくる。 お願いだから一掃して暮らやすくしてほしい。</p>
<p>旧ミレニアシティの空地をどう有効化するかが未来の岩出市に掛かっていると思う。 特に、今、コロナ禍でペットを飼われている人が多く、日々の散歩は出来てもリードをはずして思いっきり走らせてあげることが出来ず、和歌山市の河川敷にあるドッグランまで30分～40分かけて連れて行くこともあります。 大層な設備は求めておらず、小型、中型犬用と大型犬用の柵があるだけで良いのです。 和歌山市のドッグランは柵の中にベンチを2～3ヶ所おいてくださったり、飼い主さん同士お話ししたり、交流しておられます。 一度、検討していただけないでしょうか。 よろしく願いいたします。</p>
<p>年齢関係なく自宅のゴミ、車内のゴミ、駐車場(スーパー、コンビニ等)での食べた後のポイ捨て、たばこの吸いがらのポイ捨てなどが多く、目立つ。たばこ購入時は、身分証明提示がなければ購入できない等してほしい。 未成年の午後8時9時など友達とフラフラ遊んでいるのを見かけるが、家庭で親たちは無関心なのだろうか?心配ではないのか?そういう子供たちに見回る人たちはいないのだろうか。犯罪につながるのではないのか?今そういうことがとても気になります。 近くの田畑を残してほしい</p>
<p>病気になるコロナの対策よろしく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活のしやすい街!!これが一番優先(利便性・安全性等) →結果人口の定住の促進に繋がる(「個人の満足だけでなく」という意味) 何かあれば住みやすいと思うのは人それぞれになるので難しい ・自然を生かした観光レクリエーション要素を!! ただのフルーツ狩りだけでなく、BBQやアスレチックもあり、グラススキーやふれあい動物園を楽しめる。駐車場・入場料無料で、利用するコーナーのみの料金を支払う。動物は小動物ではなくポニーなどの乗馬体験や牛の乳しぼりも体験出来る 絞った牛乳でバター作りも体験でき、持ち帰りもよし、そこでつかう(BBQのコーナー)のもよし 初期投資が目玉を引くものでないとしよばせて観光客の呼び込みが見込めない、維持費もかかるので難しい。 ・老人・保育・学童といった別々の施設ではなく複合施設で!! ある程度元気なシルバーさんに学童(放課後児童)を預けられる場所があれば、シルバーの雇用と子育てで世代の親が働きやすい条件で社会進出できる。看護師、保育士資格を持った親が職場に子供を預ける場所がありながら他の子どもも仕事として保育できる。そういう働きやすい環境が整った岩出になると良いと思う
<p>子育てで世代なので、子供のためではないですが、公園がもう少しあれば、嬉しいです。 さぎのせ公園も十分に遊べる公園ですが、大きい公園が他にないので人がたくさんすぎて今のご時世だと密です。 車も止められなかったりするので、もうすこしこの大きさの公園を増やしてほしいです。岩出地区、山崎地区、根来地区、上岩出地区で1つあってもいいとおもいます。 あと、歩道の草刈りなどもうすこし回数を増やしてほしい。車からだ草で小さい子どもや犬が散歩しているのを見えづらい所もあり危険だと思ったりもします。 そして、こどもの医療費を中学生まで無料にしてほしいです。小学生なんて沢山けがして病院に行くことも増えてしまいます。もう少し病院に行きやすくなるように考えてほしいです。</p>
<p>京奈和道が出来て、交通量が増えて、道がわからず県外人が住宅地にはいつてきたりします。県外の人にわかるように看板が必要だと。 大きな病院も必要だと思います。個人病院が多いですが、 ペットかatterる人もおおくなるので、空き地にドッグランを作してほしいです。お金をとってでもドッグランがあると行く人はたくさんいると思います。</p>
<p>岩出市に大型商業施設を希望</p>
<p>コロナで病院も大変だと思いますが、特に小児や三次救急に力を入れて欲しいと思います。道路の整備やまちなみ等も必要かもしれませんが、那賀病院には産科もなくなり、子どもが救急車で運ばれた際は、和歌山市の休日夜間センターまで行き、40～50分かかりました。一刻を争うような時に今の現状では助からないことも出てくるかもしれません。ぜひとも医療面の強化、よろしく願いいたします。</p>
<p>・住民税が高い割に何に使っているのか、まったく分かりません。 ・オリンピック選手の四十住さくらさんが金メダルを獲ったにも関わらず、岩出市は何も祝福していないのはなぜですか。こういう時に税金を使って祝福すべきではないでしょうか。個人的にはそう思います。 人口ばかりが増えていく一方で、マナーを守れない人が多すぎます。住んでいる地域に至っては特に常識的なゴミ出しのルールすら守ることができない家庭が半数を占めています。非常に住みづらい環境です。生活環境課にも何度も相談し、注意書き等の張り紙で対策したが、まったく状況は変わらない。虫の増殖や悪臭に耐えながら生活しています。 ・国道24号線の西野西交差点から那賀高校前交差点にかけて休日の渋滞で交通状況が非常に悪い。改善してください。 ・市のゴミ袋が高すぎます。税金をつかって、もう少し安値に改定してほしいです。ゴミ袋を少しでも節約しようとして、容量オーバーに成る程のゴミを詰め込んで開け口を閉めずに捨てる等、迷惑行為につながる人が増えます。 ・商業施設ばかりを増やさずに、もっと大企業を誘致すれば、岩出から出て行かずに仕事が出来て岩出市の税収も増えるのではないのでしょうか。現状、岩出市の求人募集はサービス業が大半を占めているように感じます。もっと企業からの求人が多くあれば、岩出から出て行かずに済みます。 以上のことを一意見として取り入れていただき、岩出市のまちづくりに全力で取り組んでいただきたいです。</p>
<p>岩出市では住宅地が以前の勢いではありませんがまだまだ開発されてきています。それに伴い、児童等の増加がされます。子どもたちにとって安全な通学が第一の環境整備かと思えます。歩道や自転車道の整備をお願いします。特に岩出駅一市役所間の朝夕の交通量は多く必要かと思えます。 岩出市には体育館がありますが、音楽や劇場鑑賞などのできるホールがありません。大阪や和歌山へ行かずとも身近に触れることができる環境づくりとして文化ホールの建設を要望します。</p>
<p>歩道の段差をなくし歩道幅を広くしてほしい。歩道脇の草などの剪定してほしいです。 公共施設の窓口等に従事する人は不快な対応をしないようにしていただけるとありがたいです。</p>
<p>路上駐車が多すぎる。月極パーキングなど作ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールに長い滑り台がほしい ・小学生まで医療費助成 ・子供の人数に伴う手当(第三子が第四子以降は児童手当増額等) ・支援学校を近くに
<p>地理的に便利な場所にある為、今案えていると思いますが、私が子供なら大きくなればいずれ出ていくと思います。子供が出来てから他の町に住んだことはありませんが、他の市町村に比べ、子育てで世帯が住んで、ここがよかった、ここが優れている、こんな手当があつていいよねという点は全くありません。 今はまだ大丈夫だけど、これから年齢を重ねると、免許返納に伴う不便さや不安です。近所の友達は免許を返してしまつと何処にも行けない不安を訴えています。市のバスももう少し幹線道路だけじゃなく細く入り組んだ道も通るようにしてほしいです。</p>
<p>岩出市も人口が増え、住宅もふえました。新しい住宅地には、駐車場がしっかりとられているが、古い住宅地にはじゅうぶんな駐車場がとられていない。いまだに軽自動車に車庫証明がいらぬのはおかしい。夜など家の前、道路側などカーブや道が狭くても駐車されています。いい加減、軽自動車も車庫証明が必要にしてもらいたい。岩出に引っ越してきてからずっと思っています。もっと住宅地の駐車禁をとりしまつてほしい。</p>
<p>高齢者、障害者など弱者にたいして優しいまちづくりを希望します。一人暮らしであれば乗り物がなければ外出できない。私は10日に1度の買い物です。冷凍して使用しています。ほとんど外出できない、身近な乗り物巡回バスなどもう少し回数が多くなれば嬉しいです。</p>
<p>岩出はパチンコと車屋が多すぎます。人口も増えてきて活気づいてきたので飲食店をもっと増やしてほしいです。休日等どこに行っても混雑しているので、分散できるようにしてほしいです。大きな商業施設がないと人は集まりません。イオン、らぽーと、コストコのような施設がほしいです。若い人たちによく聞かれるのは遊びに行く所がないということです。ちょっとした買物なら岩出市内で充分ですが、休日遊びに行くところがないです。</p>

<p>まちにポイ捨てゴミやゴミステーションに残ったゴミが多い。ゴミ収集車の方も、臨機応変にゴミを収集して行ってほしい!!指定ゴミ袋に入っていないと残されていたり、道端のポイ捨てゴミをゴミステーションに集めて置いて残されていたり、せつかく町をきれいにしようとしてゴミを拾っても、ステーションに放置されたままで、余計に汚れてきたりしない現象になる。ペットの糞をナイロン袋に入れて通り返すゴミステーションに捨てていく人も多い!それを収集車の人も、指定ゴミ袋に入っていないからか、そのまま放置。町が汚くて、ポイ捨てのしやすい雰囲気になりますよね!!</p>
<p>周辺地域に比べると子育て世帯への支援が手薄であり、子育て世帯にはやさしくない地域なのかなと感じます。妊娠期から出産、子育て、そして小学校、中学校の子供たちを育てる親への支援拡充をして、働きながら子育てをしている世帯にもやさしい岩出市になってくれると嬉しいです。日常生活を送るうえでスーパーや様々な商店、飲食店等が多くあり、物がある程度手に入りやすく、困ることが少ないです。ただ、ミレニアシティがなくなり、少し活気がなくなったのかなと感じます。また、大型の商業施設が出来てくれるとさらに生活が便利となり、ありがたいです。</p>
<p>岩出市はこどもの医療が保育所まで無料となっていますが、なぜですか?他の市では小学校や中学校までになっている所も多いのにとでも不満です。保育所の開所時間も7:30~となっており、となりの紀の川市は7:00~です。土曜日もお昼までとなっており、仕事をする親としてはとても不便です。これから娘が大人になり結婚した時は、子供は小さい間は福祉の充実した市を勧めようと思います。岩出市は(市長)母親が病院をコンビニ代わりに使うと思われるので聞いていたのでショックでした。岩出市に出産できるところも作ってほしいです。</p>
<p>たくさん質問があって回答に統一がなかったように思います。すみません。60数年、生まれて育った岩出、これからも住み続ける岩出、子供たちが育ちみんな岩出から出て行ってしまいました。これから先の20年。子供たちがふるさとに帰って来たくないように、豊かな自然が残る、岩出に帰ってきたらパワー充電できるようなところになってほしいなあと思います。とはいえ住み続ける自分にとってはほどほどに便利な岩出でもありたいと思います。</p>
<p>以前に「まいなあが」で紀の川市と岩出市の特集のような記事があり、それを見て紀の川市は市民の暮らしやすさ、福祉や補助金等市民が生活していくうえで直接的な恩恵の多い市だと感じました。一方、岩出市は歴史や文化遺産などへの投資を重んじている市のように感じました。歴史資料館や旧和歌山県会議事堂などの予算の一部を市民の生活の為に利用してほしいです。</p> <p>例)インフルエンザ予防注射への補助金(高齢者限定ではなく全市民に補助金がほしいです。)</p> <p>市民が気軽に利用できる体育館(スポーツや既存のチームの利用が多く、利用したくても予約がとれない)</p> <p>一般の高さのバスケットゴールの設置がある体育館が岩中、岩出二中、市体育館、中央小学校だけで数が少ない。利用したくてもほかのスポーツで利用して使えない。総合体育館にバスケットゴールがほしい</p> <p>高齢者ばかりでなくこれから未来ある子どもたちへも支援やより良い生活環境を充実させてほしいです。</p>
<p>老人にやさしい町づくりとして歩道の横に溝がある場所の完全手すり化をお願いしたい</p>
<p>子どもの頃から岩出市に住んでいて、適度に田舎で適度に都会であるバランスがすごくいいなと思っています。自家用車がないと移動の不便さがまだまだあると思うので、公共交通機関やサービスの充実をお願いしたいです。</p> <p>土地利用の規制をしっかりとらえて、外国に買い漁られないようにしてもらいたいです。治安の悪化を心配しています。水道の運営権を民間化することは絶対に反対です。全国で始まった県もありすごく不安になります。</p> <p>これからもずっと岩出市で生活していきたいと思っており、よりよいまちづくりに協力していけたらと思います。</p>
<p>・生ごみ用の袋と資源ごみ用の袋のサイズを現在あるサイズ(大中小)より小さなサイズを作って頂きたいと思っています。理由(一人世帯の場合に不便なため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所がどこかよくわからない ・第二中学校前交差点通りもって、(あと3m横幅)広げてほしい。今のうちです。
<ul style="list-style-type: none"> ・区長の年齢下げて活動的にする、視野を広げる ・スポゴミを定期的に開催し、美しいまちづくりをする ・スポゴミを巻き込んでまちづくり、ランニングをする人は毎日同じコースを走っているの、河川のゴミをチェックしながら学校の近くの人は子供たちの安全とか市公認ステッカーを作成しそれをつけて走る。
<p>水に触れる機会や、場所が少ないと感じます。紀の川をテーマにした施設や遊び場など安全に川に触れられればいいと思います。水の大切さや怖さなど、自然に対して身近に感じられるのかなと思います。一か所で全ての買い物ができる場所がほしいです。ミレニアシティがなくなり、大変不便を感じます。</p>
<p>自治体を脱会した場合、可燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみを捨てる場所がないと聞きましたが、本当ですか?家庭でのゴミ出しに困難になる高齢者になる不安が大きい中で心配です。グリーンセンターまで運べますか?福祉サービスはないのですか?</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1.優良な農地は保護すべきである。土地利用については、規制強化を図るべきである。岩出市の現状では乱開発が目に見えるものがある。 2.農地転用に至っては、出来るだけ許可をしない方がいい。 3.工業用地としては、根来の松源の物流センターは岩出市の活力となり非常に良かったと思います。当市として企業の誘致は実施してほしいと考えます。ただし、場所については慎重に検討してください。
<p>車の台数が年々増加している様で交通事故数が増加しないかとても心配です。安全な通学路で通ってほしいです。</p>
<p>巡回バスを紀伊駅やスーパーイーズミヤまで行けるようにしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動への支援不足を感じており、市民の活性化が出来ていないので、一考して欲しい。 ・法人税を下げて大企業の誘致をするべき ・総合病院を設置して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・5年10年すると交通を利用するのでバス(コミュニティバス)をもう少し時間を考えてほしいです。 ・今は車の時代ですが、自転車の走る道をつくってほしいです。 ・災害時の避難場所を人口も多くなって来ているのでもう少し広い場所があればいいと思います。
<p>近隣市は子供の医療費が中学校まで無償である。職場の同僚にあっても、今の岩出市に魅力を感じていないので紀の川市や他市に家を建てようとしている。私も子供が多く、子どもの医療費が月々かなりかかっています。子供を育てるには住みにくいと感じます。他市と同様の対策をしていかないと岩出市で子育てする人が減少し岩出市の人口増加も減少していくのではないかと思います。まだ人口が増加しているうちに対策をとっておかなければ減少しはじめてからでは遅いと思います。</p>
<p>最近、異常気象による水害が増加している。現状では水害が発生しても天災だから仕方がないように扱われているがとんでもない。きちんと調べて対策を講じていけば防止出来るはずだ。自然環境の中でも水害は人災だと思う。最近の地球環境を見た場合、過去の経緯は参考にならない。想定を超える降雨で堤防が決壊したとは言いつてもいい。本県を含め他県の災害事例も参考にして想定を見直し対策を講じるべきである。更にはその想定をも超える事態が発生した場合の対策も検討しておくべきである。先月の降雨で和歌山市北島橋下流で堤防の一部破損が損壊する事態が発生した。紀の川全域において同様の問題が発生しないか早急に調査するよう要望すべきである。また内水氾濫についても調査すべきである。現在、住吉川の改修工事が進められているが住吉川が氾濫水位に達する前に鴨沼川が氾濫する。岩出市の上で大規模な太陽光発電所ができていてその下にため池がある。想定外の大雨が降った時に雨水が一気にため池に流れ込み溢れるもしくは最悪ため池の堤防が決壊するようなことがないか懸念される。吉田地区も昔はよくあった浸水被害が無くなり行政に感謝している。今後も水害のない良い街にしていってくださるようお願いしたい。</p>
<p>農免道路や粉河加太線は道が狭く歩道や自転車専用道路が整理されると先日の交通事故のような事故を事前に防ぐことが出来ると思います。また、災害が今後考えられるので、水害対策(用水路)整備がすすむとより良い市になると考えます。</p>
<p>JR 和歌山駅とJR 岩出駅の環状線化計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の暴走族(騒音)を取り締まってほしい ・岩出市内に総合病院を作してほしい ・岩出市の北部に駅をつくってほしい ・市役所の閉まる時間を6:30(18:30)までに延長してほしい ・放送が聞き取りにくい ・水栖公園に駐車場をつくってほしい ・花火大会を復活してほしい ・ゴミ袋の値段を下げてほしい ・大雨洪水警報がでるのが遅い、少ないように感じる

<p>道路の舗装が悪い所をその都度早急に修繕して頂きたいです。長期間工事している所はどうなっているのかと思います。</p> <p>岩出市には根来寺という一年を通して景観が楽しめるすばらしいお寺があります。桜、新緑、ホタル、紅葉など、一年を通して観光客を呼ぶ事が出来ます。しかし、最近では、整備が全く行き届いておらず散歩をしてもがっかりします。もみじ谷では草が生え放題でした。コロナ禍で人を呼ぶことが難しいかと思いますが、屋外の景観だけでも美しくすれば、今は SNS の発信などが情報源となりますので、訪れたいと思う人がきっと増えると思います。京都の人氣のお寺等は、御朱印、御手水舎、禅座、写経等にも力を入れて人を集めています。まず、環境整備を優先し、その後根来寺を知ってもらうための工夫が必要と思われまます。せっかくの素晴らしい国宝、重要文化財をもっと活用していただきたいと思ひます。</p>
<p>私の子どもは高校生ですが、多動症と診断され長い間薬を飲んでいました。今は内服薬もなく、年に2回通院するのみ療養手帳もないくらい軽い障害だと思ひます。そんな子が将来働けるのか不安です。学力もコミュニケーションもスムーズに取ることができないので、親としては仕事ができるのかと…そういうグレイゾーンな子どもたちを支援してくれるような福祉はないものだろうかと思ひています。</p>
<p>パチンコ店などこれ以上増やさないでほしい</p> <p>昭和30年代後半より、住居建設が進み、団地が多数出来ましたが、住居優先でその団地に小さな公園すらない。各団地では高齢化が進み、公民館、自治会館等まで行くことができない方が多くなっている。各団地に小公園を造っていただき、井戸端会議等の出来る場所をお願いします。</p>
<p>先日巡回バスに乗った時に運転手さんとの話です。ミレニアがなくなり巡回バスの利用者も少なくなったような話をしていました。市の中心部に商業施設がなくなり、中心部がいかにか大切なものか身にしみて感じました。</p>
<p>幹線道路の設備は整ってきているが、子どもたちが使用する通学路の設備が整っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい用水路にも関わらずガードレールがない ・夕方～夜になると街灯がなくなるとにかく暗い <p>子どもたちにとって危険だと思うので早急にご対応して頂きたいです。</p>
<p>指示器を出さないで右折左折する車が非常に多く、交通事故が多い。警察と組んで啓発活動を増やし安心安全な町づくりを望みます。</p> <p>問12にも記入しましたが、街灯の整備を至急すすめてもらいたいです。岡田のバイパスより一本南の道(エバーグリーンから斜めに入ってやまいクリニックに出る道)は交通量が意外に多く、そのわりに街灯がまったくないエリアがあり、夜ウォーキングやジョギングをする際、とても危険です。(当然歩道もあります)集合住宅やマンションもあり、子供も多いと思ひますので早急な対応をお願いしたいです。</p>
<p>他の市町村での住いは無い為、比較する事は出来ない</p> <p>にぎやかで活気がある市街地と緑が多い環境との調和したまちがいいと思ひます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整える上で、野良猫に餌をやるため街路樹の植込みに空き缶を置く人がいます。フンはうちの庭でするため、困っています。近くで、同じ様な事案で市の方へ相談したが、介入できないと言われたそう。まちづくりの一環として条例を作るなり対策をしてほしい。 ・ゴミを捨てる時、缶・ビンコンテナを出すとき、他人の袋を勝手に開けてゴミを捨てる人がいます。缶・ビンについても他人のコンテナに自分の缶を入れて捨てたり、段ボールやペットボトルを袋にも入れず、そのままゴミステーションに捨てます。 ・まちづくり、大事だと思ひます。大きな事より小さな事も取りあげてほしいです。 ・バスの利便性が悪いです。通学に子どもが使っているのですが、駅からバス停まで車で数分の距離ですが、駅での待ち時間長いです。帰ってくるのに30分以上待たなければならぬこともあります。交通の便、駅が不便な所にしかないでせめてバスの利便性をよくなければまちづくり、環境づくりと言うにはほど遠く、道幅の狭い所も多いです。国道や県道以外の道はやはり田舎の道で大きい車には不便。発展するには広い道が必要
<p>夏でも暑さをしのげる樹木があつて、季節を問わず歩いてめぐる美しい街並み。道路沿いにはグルメ店が集約されているエリアがあり、サイクリストが休憩したくなる街であつて、河原でキャンプが出来る超一流の設備が整っていて、電車でも車でも自転車でも訪れて、いやされて、楽しかったと思える街づくりに、その中心となるのは人の心を引きつける美しい街並みと食の楽しみ。</p>
<p>和歌山県内では発展を遂げていて、便利で住みやすい街です。しかし、人口が増え、交通量も増えた為、事故が多すぎると思われる。</p> <p>幹線道路の整備が着実に進むにつれ、スピードを出し走行、信号無視をしてしまう車が多すぎて、自分がいつ巻き込まれるかわからない程、交通ルール違反が多い!!車道は増えてどんどん便利になっていくが、それだけ学生さんは守られているだろうか?小学生の集団登下校が徹底されていないので、子どもたちも危険。岩出市の一番よくない所は小学生からの指導だと思ひます。マンモス校になっていて、指導が追いついてない現状、他市では一列に並び登下校しているのをよくみかけるが、そういう指導はされていないのでしょうか?車の交通量、子供の人口、命にいつ危険が起きるか不安になり、送迎する保護者が増える、学校近辺の道が塞がれ通勤中の人に迷惑、悪循環である。お年寄りが散歩する安全な道もない。せいかつが便利な分、隠れた危険が多い。</p>
<p>いつも市の運営について、色々と考えてくださり、有難うございます。歩くことが多い私が気になるのが、川にゴミをたくさん捨てて汚れていることです。災害が多い近年、常日頃から地域ごとに溝のゴミや草を除去して、水が増えても流れやすい工夫。川は大規模なので、市として何らかの方策を行っていただければ、非常にうれしく思ひます。夕方になると、多くの人々が川べりを散歩し、足をため川を眺める姿をよく目にします。コロナ禍の今こそ、人々の憩いとなる自然環境を一人一人が守る取り組みが必要だと思ひます。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>空き家問題が全国各地で広がっているように、今後、ここ岩出市でも諸問題を含んでくる時代が来ると思われまます。景観悪化だけでなく、犯罪の温床となり、火災の元ともなる、また、台風などによる倒壊など、考えれば、怖いことばかりです。今のうちに、対処を考えておかねば…と思ひます。大変なことと思ひますが、よろしくお願ひ致します。又、空き地の草対策もよろしくお願ひ致します。</p>
<p>岩出に住むのが30年になりますが、今どこでも災害がくると、いつでも転機を見えますがいつも私の所は大丈夫かなと思ひますが災害マップでは見ますがあんまよくわかりません。もう少しマップが分かりにくいです。</p> <p>岩出橋が新しくなり道路がよくなり車の込み具合がよくなり道路の三叉路をもう少し広くしてほしい、いつも分かれ道で時差がよくあります矢印にしてほしいです。よく歩きますが歩道があるといひですが堤防をよく歩きに行きます歩けるところがたくさん有るといひです。</p>
<p>便利な場所が1箇所にかたよらずまち全体にそれなりにバラけて住みやすいまちになってほしい</p>
<p>ゴミ収集の件</p> <p>収集で置いていかれたゴミの処理はどうすればよいか</p> <p>商業施設がないため買物に困っています。スーパーでは買えないものが有り年配の女性達は交通の便も悪いしといひも話はそのことです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応 <p>どうして最初からかかりつけ医もできるようなしなかつたのか</p> <p>対応が全くダメでした</p> <p>他の市を見習ってほしい 不満だらけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの時刻 <p>那賀病院まで行ける時間とか…何年も変わっていない、検証してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道がほんとにせまい ・スーパーありすぎ ・公園を作ってください、大きな市民のいこいの場所を ・ゴミ袋のお金も下げてください <p>粗大ごみの出し方も</p> <p>和歌山市を見習って…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お買い物券?どうしていちいち分けるのか <p>どのお店でも使えるようにしてください。使い辛くて買いたくありません。</p>
<p>音響の良い文化会館がほしい</p> <p>有名な音楽や演劇に触れる機会がないのは残念です</p>
<p>総合病院の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在子ども医療費1割を無償化してほしい。 ・車でない移動手段が無くもつと駅(電車)があればと思ひます。

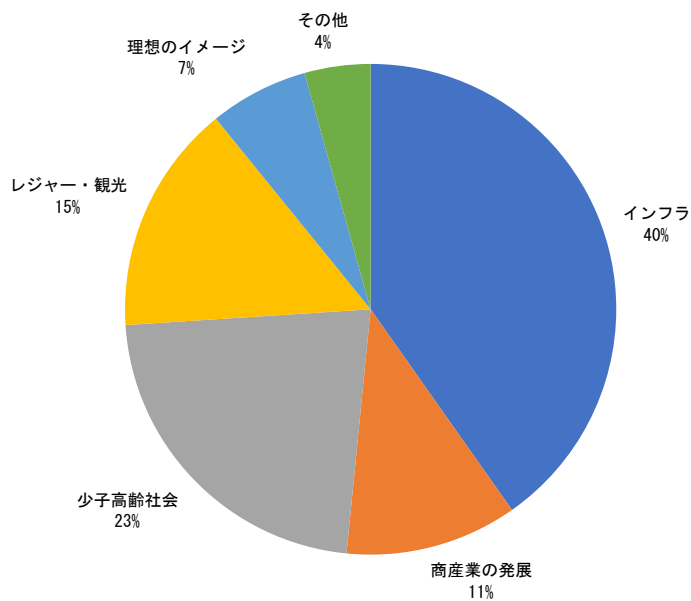
<p>・移動手段としてわたしは徒歩・バス・電車を主に利用しています。列車・バスの本数は実現性に乏しい為、列車とバスの連絡待ちの時間を15分以内にそれぞれして頂ければ、利便性も向上すると思います。ご検討ください。(要望を上げていただくだけでも助かります)</p> <p>・コミュニティバスについて、見ている限り車椅子の方が利用するのは不便そうに見えます。利用が全体的に少ないと思います。</p> <p>・市内各地で開発が進んでいますが、せめて住宅街の周辺だけでも自然を残していただけたらいいです。</p> <p>・駅前での車の列をよく見かけます。通学等で親御さんの負担も大きいように思えます。</p> <p>・制度上難しいかもしれませんが、コミュニティバスの活用はできないのでしょうか。可能であればご検討ください。</p> <p>・安上付近の土砂災害や船戸周辺の水害対策は重要だと思います。また、根来紀見台～山にかけての活断層も周知が必要だと思います。昔に購入する家を探す際、ビックリしたことがあります。また、自宅付近の根来川の土手の草刈りありがとうございました。</p> <p>・根来寺の周辺は徒歩で行くには勇気がいります。観光でハイキングコースとしてお考えであれば、歩道の整備が必要になるかもしれません。(地元の方は車かバスの利用が多いと思います)</p> <p>市内の商店街も寂しくなっています。割合としては飲食店が多いように思われます。コロナ禍で当面は自粛が続きますが、おさまった時には「日本酒」に関するイベントを行ってはいかがでしょうか。(市単独ではなく周辺自治体といっしょに行う。ex)和歌山線沿線など)</p> <p>・たまに救急車が右往左往しているのを見かけることがあります。いつも頭が下がる思いで見えています。特に夜間、受け入れ先がないためか、サイレンが止まないように思われます。救急の場合、時間の経過が命取りになりかねないため、可能であれば市内にも救急のクリニックを誘致してほしいと思います。</p>
<p>岩出市はとても住み良い場所だと思います。</p> <p>これからのまちづくりを期待しています。お願い致します。</p>
<p>人口が多くなって良いですが、田畑が減り淋しい気持ちです</p>
<p>子育て支援の充実。</p> <p>岩出市以外の周りの市は子供の医療費は市が全額負担、岩出市だけが親の1割負担。中学校が2校しかない、通学路が危ない。</p> <p>毎年冬～春にかけて道路の工事がたくさん行われているが、通学路等の整備は行われない。</p> <p>我家は今も環境保全型農業をかたくなに守って無農薬栽培に取り組んでいます。以前は県や市でも幅広く取り組んでおりましたが、だんだんと方向がかわって、土地が汚染されていくのは嘆かわしく思います。</p> <p>何かわからない病気が蔓延しております。</p> <p>かつては我が家のそばの小川にはドジョウやメダカやカニが澤山泳いでおりました。夜ともなれば、蛍が飛んでましたが今では蛍どころかドジョウやメダカも死滅してなにもおりません。</p> <p>かつては多勢の人が環境保全型農業に取り組んで居りましたが、段々と県や市の取り組みが変わっていくので若い人たちも変わっていくのはいいことですが、私達年寄りにとっては大変嘆かわしい限りです。どうか環境保全型農業にもご支援下さいますようお願い申し上げます。</p>
<p>駅の増設。大阪への仕事に出る人が多く、紀伊駅だけで不便。岩出駅は本数が少ない。</p> <p>・大型スーパーの増設。ミレニアシティに変わるような。(ex)イオン)</p> <p>・国道沿いの雑草の整備。雑木林の整備。</p>
<p>中学校の近くに歩道が少ないので子どもたちの通学時はすごくあぶない。</p> <p>中学→R24がつながったことにより、車が多くなったので、信号の設置をしてほしい。</p>
<p>子どもへの教育環境</p>
<p>キャンプ場があればいい</p>
<p>・病院(那賀病院のような)市民病院がほしい</p> <p>・公共交通機関をもっと充実してほしい</p> <p>・以前あったミレニアムシティのような商業施設がほしい</p> <p>・パチンコ以外の娯楽施設(シネコンとか)</p> <p>以上をふまえて、若者、お年寄り、障害者、皆が住みやすい町を希望します。</p>
<p>自宅の周辺の道路では下水道の工事が6月頃から始まりました。私達も工事をしてもらえんと思っていましたが、自宅周辺の道路が”私道”ということで工事の対象外だと市の担当者から言われました。”私道”でも道路に面している家全戸が必ず下水道を使うという誓約書を書けば無料で工事してくれるという説明がありました。何人かの方は是非やりたいという意見ですが、高齢の一人暮らしの方もおられ、なかなか話もできないのが現状です。金銭的なこともあるので無理にお願いもできません。自治会もなく、話し合う場もありません。他の方法を聞いたところ、”私道”を市に寄付するという方法もありますが、家を建てる時に抵当権が私道にまで設定されていて、それを抹消しないと寄付出来なくて、これもなかなか難しいです。このままだとこの一角は下水道事業から取り残されてしまうので心配しています。</p>
<p>・子供医療(小中学生)無料化</p> <p>・通学路の安全確保</p> <p>・自転車での移動がしづらい。車が多く危ない</p> <p>・車に頼った生活をしているので、JRやバスの利用促進や利便性向上が必要→岩出駅のバリアフリー化、無料駐輪場はとていい、自慢になる。安いコインパーキングなどあれば、パークアンドライドのように電車を使えるかもしれない。</p> <p>・農地のど真ん中に住宅地を建てるので、煙や音のトラブルになりやすい。私が以前住んでいた他県の自治体では、転入手続きの際、農作業の音、煙、消毒などに関して理解を求める案内があった。お互いが理解し合えるといいと思う。</p> <p>・パチンコの増加により、治安が悪化するのではと思っています。</p> <p>・大地震が来る前に、紀の川や山側など、避難できる場所が限られているのでは、と思ってしまう、避難場所の見直しが必要ではないかと思いました。又、1つの場所に避難できる人数も少ないと思いました。近所の方とそういう話をしたことがあります。ありがとうございました。</p>
<p>・道路の整備して車の運転が難しい高齢者にも簡単に移動できるようになり、より活気に満ちた街づくり</p> <p>・高齢者が集まって暮らす住居づくり</p> <p>・地域の人たちが集まれる公園や保育施設</p> <p>・交流が活発になれるような場所づくり</p> <p>・安心して暮らせる医療の充実したまちづくり</p> <p>・小農をやってさくらの里にお世話になっている者ですが、もう少しさくらの里の改装してもらえたらさくらの丘にくらべたらみずばらしさが感じられます。さくらの丘も岩出市の農作物の販売する場所があればもう少し活気がでるのでは</p>
<p>中学校、高校が少なく高いレベルの学校を作ることを考えてほしい</p>
<p>全国で子供が車にひかれる事故が多発、交通安全を守って通学しても相手のある事故なので防ぎようがない。通学路の安全の為、市役所には要望書を提出しています。早急な対応お願い致します。</p>
<p>いつも岩出市をよくする為にご尽力いただきありがとうございます。より岩出市を良くするために3つの提案があります。</p> <p>まず1つめは、風吹峠のラブホテルを移転して、豊かな自然、新鮮な野菜や果物を学び、体験してもらって食育活動の拠点となる施設を作って近くの学校や他の県から人を呼びこみます。(もちろん直販もあります)</p> <p>2つめは、ミレニアの跡地に、カルチャーセンターや老人大学を作り、岩出市民にもっと教養や、芸術、文化等学べる場を作ります。人との交流もうまれ、何歳になってもいろいろなことに挑戦する人を増やします。</p> <p>3つめは、今の図書館をもっと利用してもらうために、自習スペースを増やす部屋を気軽に無料で借りられるよう、空いている部屋にする・・・など考えてほしいです。</p> <p>(一度、和歌山市のキーノや海南ノビノスを訪れ今の図書館との違いを感じてほしいです)</p> <p>最後に、公民館をもっと簡単に借りられるようにしてほしいです。(いろいろボランティア活動子供食堂や外国人の方に学習ボランティアをしていますが、なせ部屋が小さくかわいそうです。放課後の小学校の教室とか貸してくれればと思います。</p> <p>又、参考にして頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。ありがとうございました。</p>
<p>プレミアム商品券だってそう。癒着まるわかり、今年から買ってない。市長が辞めなければ何も変わらない。</p> <p>公園の整備でもそう。緑化センターでは犬の散歩出来る</p>

他の市や町をもっと見て勉強してください。
同じ税金払っているのに非常に腹が立つ
一ついいところとすれば、道路の整備くらいですかね
ゴミ袋は高いし。住みにくい町です。
小学校の体操服だってそう。
特定の業者だけに売らせる。
より安く買えない。癒着のある町と言っても過言ではありません。
最後に何を書いても変わりません。
今回のアンケート記入は無駄な時間でした。

教育面に関して
公立の幼稚園が少なすぎる(現状なし)
何とかしてください。本当に何とかしてください。
もっと教育に注力してほしい。

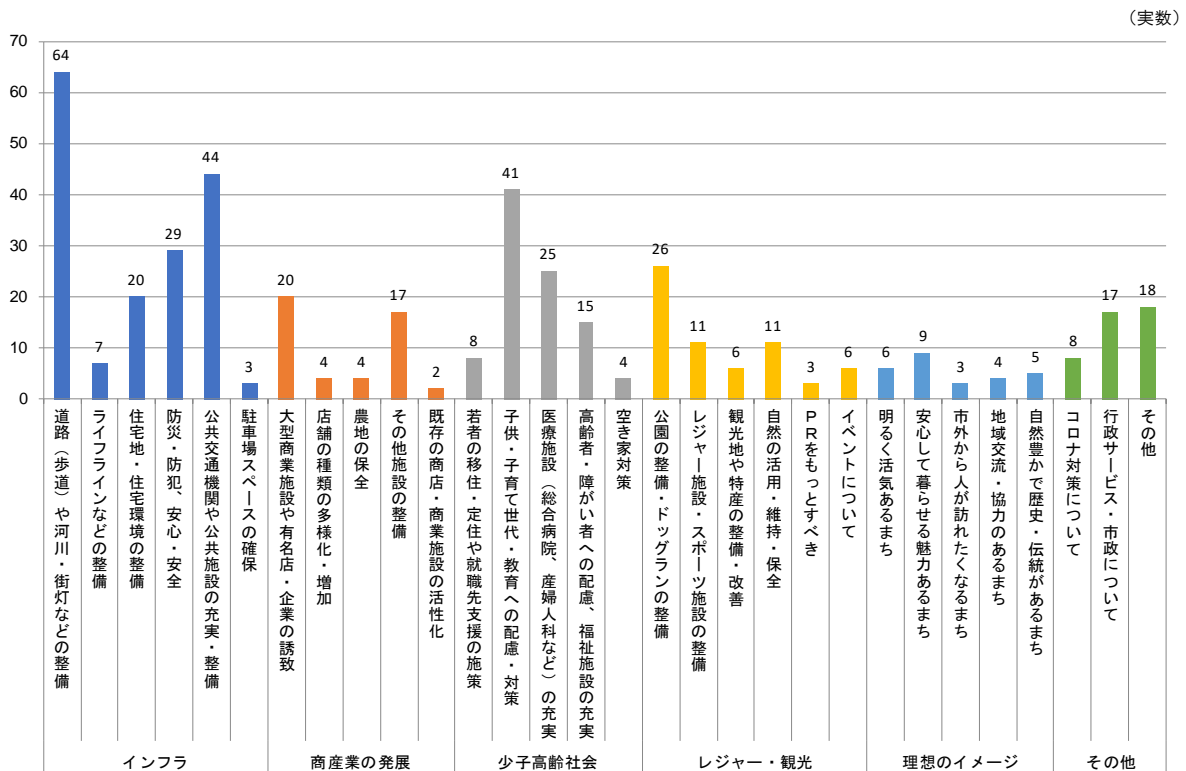
ミレニアシティの跡地の活用には興味があります。ショッピングモールとしては狭く、その他の単独活用では広すぎると思います。
映画館が誘致できたら、新たな集客があるかもしれませんが…

○問14 まちづくりについての自由回答



自由回答は 596 票中 218 票 (36.6%) に記入され、意見は大きく 5 つの項目に分類することができた。

交通の便の改善や防災対策の希望などの「インフラについて」、商業などに関する「商産業の発展」、福祉・医療など「少子高齢社会」に対応する意見、「レジャー・観光」のアイデア、“こんなまちになってほしい”という「理想のイメージ」に関する意見である。



市民が望む将来の岩出市の姿は、“道路(歩道)や河川・該当などの整備”が特に多かった。また、公共交通機関や公共施設の充実・整備、子育て世代への配慮・対策、公園の整備や高齢者への配慮、医療施設の充実を望む声も大きい。

3. 調査結果まとめ

【回答者の属性】

回答者は、女性の方が男性よりやや多く、年代については60歳代が多いものの極端な偏りはなく、比較的広い世代の意見が聞けている。世帯構成は、2人世帯が約3分の1を占めている。単身者は10%にも満たず、3人以上の世帯が半数以上を占めている。

居住年数は「20年以上」居住している方が最も多く約3分の2を占めており、次いで「10年以上20年未満」が多く、10年以上居住の割合は86.9%となっている。

居住地区は、山崎地区がやや多いものの、4地区満遍なく回答をいただいている。

勤務地または通学地については、岩出市内が最も多く45.1%を占めているが、市外も43.5%を占めている。

日常の移動手段は、通勤・通学については、自分で運転する場合と家族による送迎を合わせて、自動車によるものが76.8%と最も高く、電車や路線バス等の公共交通手段によるものは10.2%に過ぎない。通院、公共施設に行く場合、買い物等の外出はさらに自動車等による移動傾向が強く、公共交通機関による移動はさらに低下する傾向にある。

移動に不便を感じるかという設問に対しては、通勤・通学では71.3%が、それ以外では80%以上の方が不便を感じていないが、不便を感じていると回答した方は、公共交通手段の利用勝手の悪さを指摘している。

【岩出市の暮らしについて】

今回の調査では、岩出市の魅力については「買い物などの日常生活が便利」が56.9%で最も高く、次いで「住み心地の良い住環境」となっており、生活環境についても「日用品の買物の便利さ(75.7%)」「家具・電化製品等非日用品の買物の便利さ(67.3%)」「幹線道路の整備状況(62.4%)」の満足度が高く、自動車を利用した日常生活の利便性の高さが本市の強みとなっている。一方で「公共交通手段の利便性の悪さ」「歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」についての不満度が高くなっている。

アンケート結果を満足度と重要度の相関についてCS分析した結果から「歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」が、重要度が高いが満足度が低く、特に重要な改善項目となった。次いで「避難所や避難路などの整備」が改善項目となっており「洪水や火災などの災害対策」「高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)」も、改善項目となった。

【岩出市の将来について】

岩出市の将来イメージについては「保健・医療・福祉の充実したまち」「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」「地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち」が特に強く求められている。

土地利用については、“住宅地”における「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」、 “商業地”における「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」、 “農地”における「優良な農地を保全」がどれも50%を超える回答となった。

施設面等については、“生活サービス施設等”における「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」、 “水や緑の自然環境、景観”における「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」、 “防災・減災”における「避難場所や避難路の整備」が50%を超える回答となった。

特に取り組んでほしいことについて得点化した結果では「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が267ポイントで最も多く、次いで、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が246ポイント、「避難場所や避難路の整備」

が 204 ポイントで続く結果となった。

自由回答においては「道路(歩道)や河川・街灯の整備」「公共交通機関や公共施設の充実・整備」「子供・子育て世代・教育への配慮・対策」について、多くの方から意見をいただいている。分野としては「インフラに関すること」と「少子高齢社会に関すること」についての意見が多かった。

【アンケート結果のまとめ】

アンケートの結果からは、公共交通機関の利便性が低いにもかかわらず、移動に不便を感じておらず、買い物などの日常生活が便利となっており、自動車を利用した日常生活の利便性の高さが本市の魅力をささえており、満足度が高い結果となっています。しかしながら、公共交通手段の利便性の悪さや、歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況に関する取り組みへの要望が高くなっており、高齢化率の上昇により、主要な移動手段である自動車を運転することが困難になる方が増えることが想定されることや、子供・子育て世代・高齢者などへの関心が高まり、通学・通園する児童・園児や歩行者の安全確保など、今後もこの傾向は続くと考えられます。

また、優良な農地の保全や豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全の回答も非常に多く、日常生活の利便性を確保しつつ、良好な住環境や自然環境の確保が求められています。

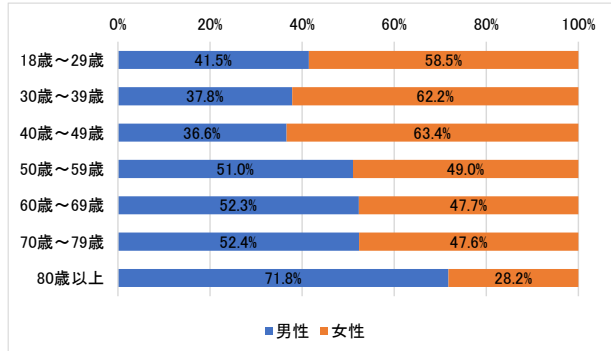
今後も「住んで良かったと思えるまちづくり」「安全で安心して暮らせるまちづくり」「にぎわいと輝きのあるまちづくり」に取り組むためには都市の環境整備においてバランスのとれたまちづくりが求められています。

4. クロス集計結果(年齢別)

【属性】

◆問1 あなたの性別を教えてください。(1つだけに○)

区分	計		割合	
	男性	女性	男性	女性
18歳～29歳	17	24	41.5%	58.5%
30歳～39歳	28	46	37.8%	62.2%
40歳～49歳	41	71	36.6%	63.4%
50歳～59歳	49	47	51.0%	49.0%
60歳～69歳	67	61	52.3%	47.7%
70歳～79歳	55	50	52.4%	47.6%
80歳以上	28	11	71.8%	28.2%

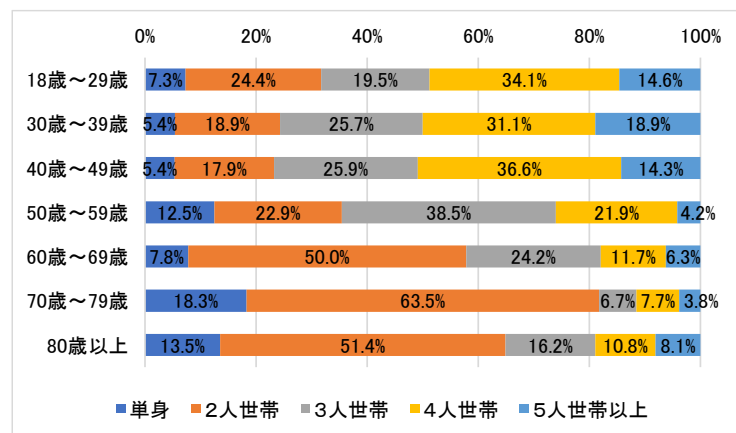


○問1 性別

回答者の性別は年齢が高くなるほど「男性」の回答率が高くなっている。

◆問3 あなたは何人世帯でお住まいになっていますか。(1つだけに○)

区分	計					割合				
	単身	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上	単身	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上
18歳～29歳	3	10	8	14	6	7.3%	24.4%	19.5%	34.1%	14.6%
30歳～39歳	4	14	19	23	14	5.4%	18.9%	25.7%	31.1%	18.9%
40歳～49歳	6	20	29	41	16	5.4%	17.9%	25.9%	36.6%	14.3%
50歳～59歳	12	22	37	21	4	12.5%	22.9%	38.5%	21.9%	4.2%
60歳～69歳	10	64	31	15	8	7.8%	50.0%	24.2%	11.7%	6.3%
70歳～79歳	19	66	7	8	4	18.3%	63.5%	6.7%	7.7%	3.8%
80歳以上	5	19	6	4	3	13.5%	51.4%	16.2%	10.8%	8.1%

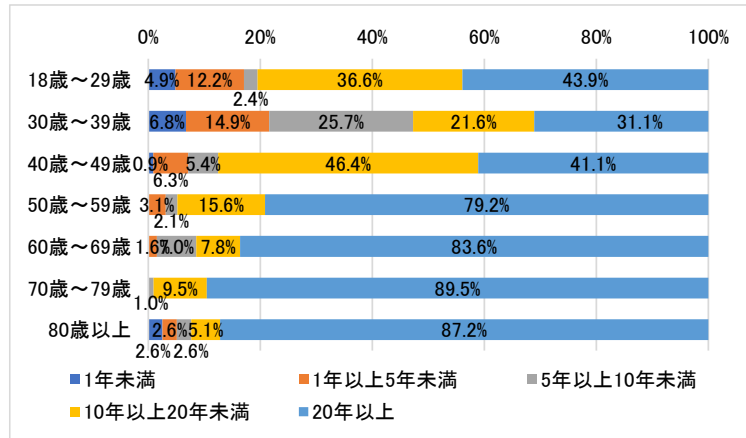


○問3 世帯人員

60歳以上の世代で、家族構成人員が少ない傾向が見られる。

◆問4 あなたは岩出市に通算で何年お住まいになっていますか。〈1つだけに○〉

区分	計					割合				
	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
18歳～29歳	2	5	1	15	18	4.9%	12.2%	2.4%	36.6%	43.9%
30歳～39歳	5	11	19	16	23	6.8%	14.9%	25.7%	21.6%	31.1%
40歳～49歳	1	7	6	52	46	0.9%	6.3%	5.4%	46.4%	41.1%
50歳～59歳	0	3	2	15	76	0.0%	3.1%	2.1%	15.6%	79.2%
60歳～69歳	0	2	9	10	107	0.0%	1.6%	7.0%	7.8%	83.6%
70歳～79歳	0	0	1	10	94	0.0%	0.0%	1.0%	9.5%	89.5%
80歳以上	1	1	1	2	34	2.6%	2.6%	2.6%	5.1%	87.2%

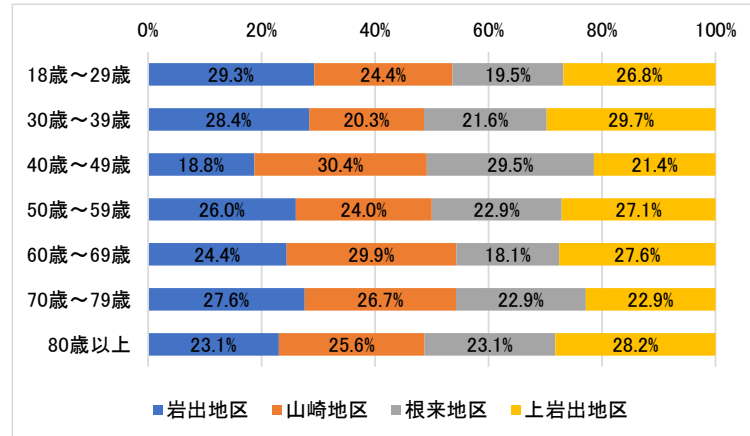


○問4 通算居住年数

30歳代の通算居住年数が短い傾向が出ており、30歳代に本市に移住してきているものと考えられる。それを裏付けるように、40歳代が「10年以上20年未満」の居住年数が最も高くなっている。

◆問5 お住まいの地区を教えてください。〈1つだけに○〉

区分	計				割合			
	岩出地区	山崎地区	根来地区	上岩出地区	岩出地区	山崎地区	根来地区	上岩出地区
18歳～29歳	12	10	8	11	29.3%	24.4%	19.5%	26.8%
30歳～39歳	21	15	16	22	28.4%	20.3%	21.6%	29.7%
40歳～49歳	21	34	33	24	18.8%	30.4%	29.5%	21.4%
50歳～59歳	25	23	22	26	26.0%	24.0%	22.9%	27.1%
60歳～69歳	31	38	23	35	24.4%	29.9%	18.1%	27.6%
70歳～79歳	29	28	24	24	27.6%	26.7%	22.9%	22.9%
80歳以上	9	10	9	11	23.1%	25.6%	23.1%	28.2%

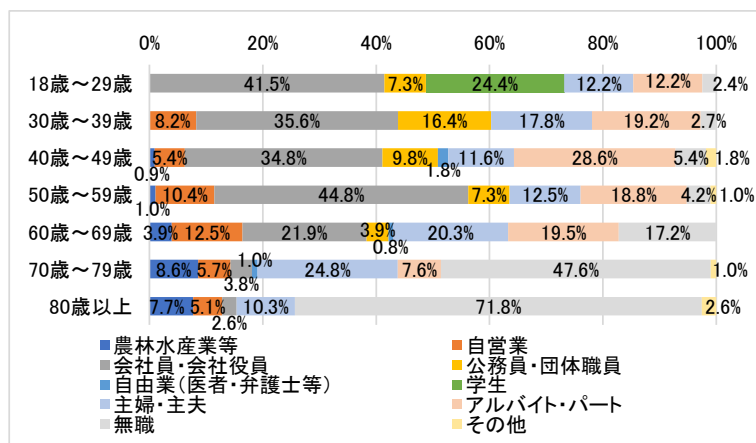


○問5 居住地区

年代による居住地域の大きな偏在は見られない。

◆問6 あなたの職業を教えてください。(1つだけに○)

区分	計									
	農林水産業等	自営業	会社員・会社役員	公務員・団体職員	自由業(医者・弁護士等)	学生	主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他
18歳～29歳	0	0	17	3	0	10	5	5	1	0
30歳～39歳	0	6	26	12	0	0	13	14	2	0
40歳～49歳	1	6	39	11	2	0	13	32	6	2
50歳～59歳	1	10	43	7	0	0	12	18	4	1
60歳～69歳	5	16	28	5	1	0	26	25	22	0
70歳～79歳	9	6	4	0	1	0	26	8	50	1
80歳以上	3	2	1	0	0	0	4	0	28	1
区分	割合									
18歳～29歳	0.0%	0.0%	41.5%	7.3%	0.0%	24.4%	12.2%	12.2%	2.4%	0.0%
30歳～39歳	0.0%	8.2%	35.6%	16.4%	0.0%	0.0%	17.8%	19.2%	2.7%	0.0%
40歳～49歳	0.9%	5.4%	34.8%	9.8%	1.8%	0.0%	11.6%	28.6%	5.4%	1.8%
50歳～59歳	1.0%	10.4%	44.8%	7.3%	0.0%	0.0%	12.5%	18.8%	4.2%	1.0%
60歳～69歳	3.9%	12.5%	21.9%	3.9%	0.8%	0.0%	20.3%	19.5%	17.2%	0.0%
70歳～79歳	8.6%	5.7%	3.8%	0.0%	1.0%	0.0%	24.8%	7.6%	47.6%	1.0%
80歳以上	7.7%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	71.8%	2.6%



○問6 職業

50歳代以下で「会社員・会社役員」が多く、70歳代から「無職」の比率が顕著に高まる。「農林水産業等」は高齢者によって支えられている傾向が顕著である。

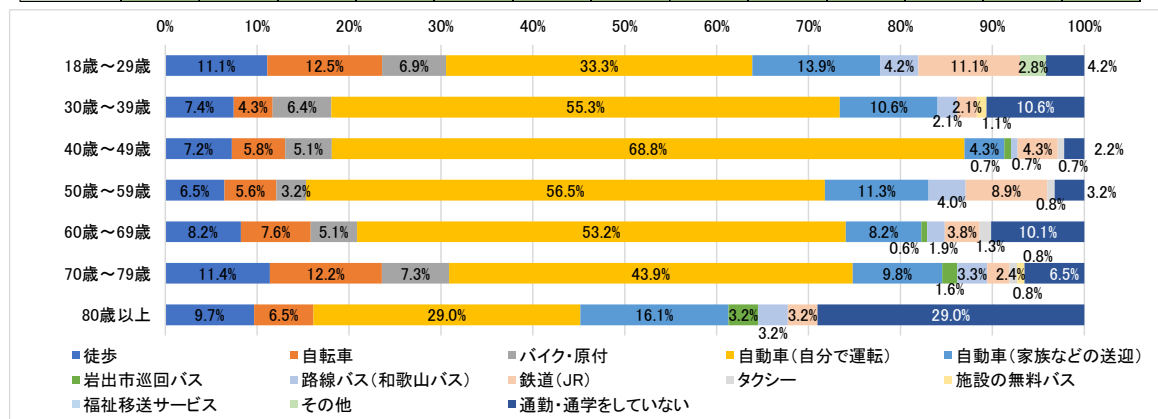
◆問7 あなたの日常の移動手段について教えてください。

①通勤・通学する場合（習い事も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	8	9	5	24	10	0	3	8	0	0	0	2	3
30歳～39歳	7	4	6	52	10	0	2	2	0	1	0	0	10
40歳～49歳	10	8	7	95	6	1	1	6	1	0	0	0	3
50歳～59歳	8	7	4	70	14	0	5	11	1	0	0	0	4
60歳～69歳	13	12	8	84	13	1	3	6	2	0	0	0	16
70歳～79歳	14	15	9	54	12	2	4	3	1	1	0	0	8
80歳以上	3	2	0	9	5	1	1	1	0	0	0	0	9

区分	割合												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	11.1%	12.5%	6.9%	33.3%	13.9%	0.0%	4.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	4.2%
30歳～39歳	7.4%	4.3%	6.4%	55.3%	10.6%	0.0%	2.1%	2.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	10.6%
40歳～49歳	7.2%	5.8%	5.1%	68.8%	4.3%	0.7%	0.7%	4.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
50歳～59歳	6.5%	5.6%	3.2%	56.5%	11.3%	0.0%	4.0%	8.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
60歳～69歳	8.2%	7.6%	5.1%	53.2%	8.2%	0.6%	1.9%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.1%
70歳～79歳	11.4%	12.2%	7.3%	43.9%	9.8%	1.6%	3.3%	2.4%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	6.5%
80歳以上	9.7%	6.5%	0.0%	29.0%	16.1%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.0%



○問7-①-1 交通手段(通勤・通学する場合)

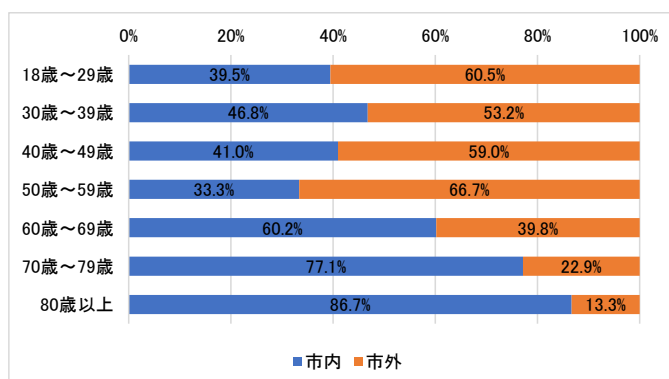
回答者の通勤・通学する場合の交通手段については70歳代以下の全ての世代で「自動車(自分で運転)」が顕著に多い。

80歳代でも「自動車(自分で運転)」が最も多いが、その割合は他の世代に比べ低くなっている。

公共交通機関を主たる移動手段としている者は、どの世代でも非常に少ない。

2) 主な目的地（市外の場合は市町村名）〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
18歳～29歳	15	23	39.5%	60.5%
30歳～39歳	29	33	46.8%	53.2%
40歳～49歳	43	62	41.0%	59.0%
50歳～59歳	29	58	33.3%	66.7%
60歳～69歳	62	41	60.2%	39.8%
70歳～79歳	54	16	77.1%	22.9%
80歳以上	13	2	86.7%	13.3%

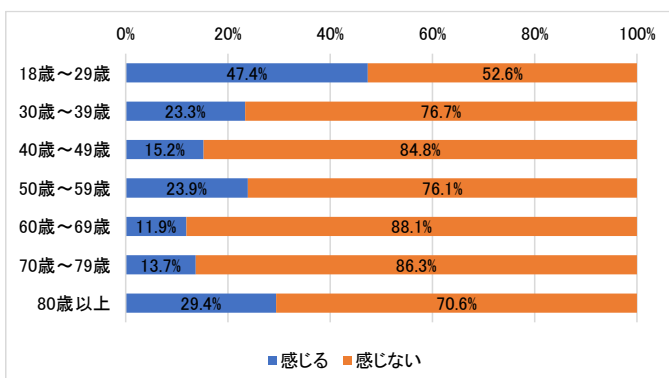


○問7-①-2 目的地（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の目的地は50歳代以下では「市外」が多く、60歳代から「市内」の割合が増加している。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
18歳～29歳	18	20	47.4%	52.6%
30歳～39歳	14	46	23.3%	76.7%
40歳～49歳	16	89	15.2%	84.8%
50歳～59歳	21	67	23.9%	76.1%
60歳～69歳	12	89	11.9%	88.1%
70歳～79歳	10	63	13.7%	86.3%
80歳以上	5	12	29.4%	70.6%



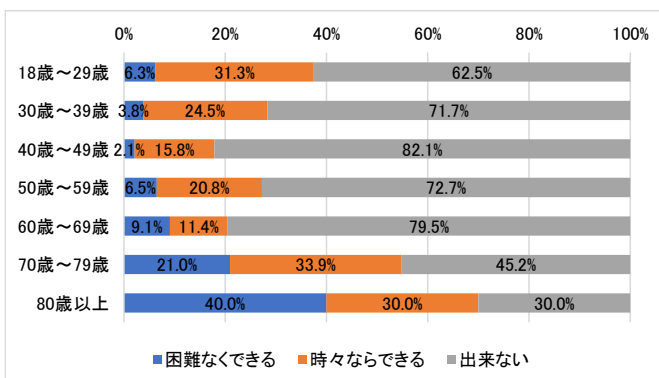
○問7-①-3 移動に不便を感じる（通勤・通学する場合）

全ての世代で移動に不便を感じていない結果となったが、20歳代以下のみが「不便を感じる」と回答した割合が顕著に多い。問7-①-1の交通手段において「自動車（自分で運転）」利用が他の世代に比べ相対的に低いことから、公共交通手段の不便が感じられる。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なく できる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
18歳～29歳	2	10	20	6.3%	31.3%	62.5%
30歳～39歳	2	13	38	3.8%	24.5%	71.7%
40歳～49歳	2	15	78	2.1%	15.8%	82.1%
50歳～59歳	5	16	56	6.5%	20.8%	72.7%
60歳～69歳	8	10	70	9.1%	11.4%	79.5%
70歳～79歳	13	21	28	21.0%	33.9%	45.2%
80歳以上	4	3	3	40.0%	30.0%	30.0%



○問7-①-4 公共交通への変更(通勤・通学する場合)

移動手段を公共交通へ変更することの可能性については、60歳代以下で「できない」が非常に多い。70歳代でも「できない」が最多となっている。

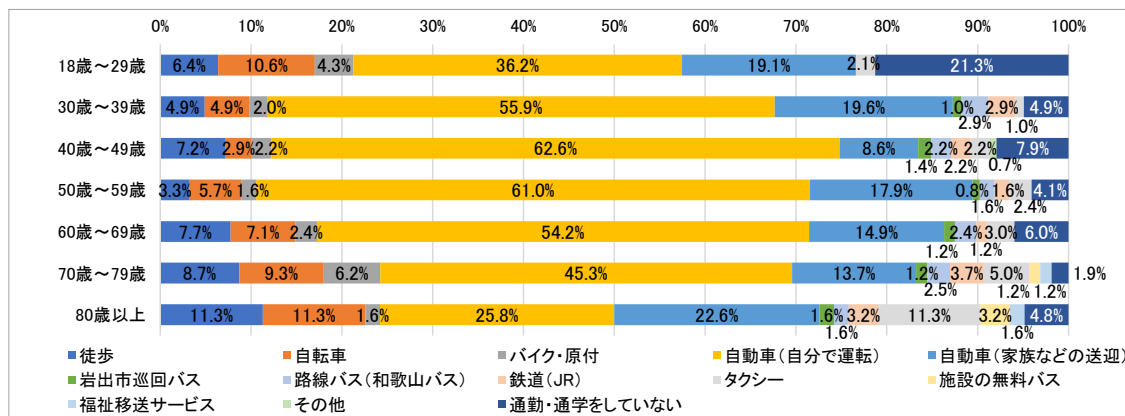
通勤や通学は時間的制約が大きいことから、公共交通への変更が困難なものとなっていることが伺える。

②通院する場合

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	3	5	2	17	9	0	0	0	1	0	0	0	0
30歳～39歳	5	5	2	57	20	1	3	3	1	0	0	0	5
40歳～49歳	10	4	3	87	12	2	3	3	3	0	0	1	11
50歳～59歳	4	7	2	75	22	1	2	2	3	0	0	0	5
60歳～69歳	13	12	4	91	25	2	4	2	5	0	0	0	10
70歳～79歳	14	15	10	73	22	2	4	6	8	2	2	0	3
80歳以上	7	7	1	16	14	1	1	2	7	2	1	0	3

区分	割合												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	6.4%	10.6%	4.3%	36.2%	19.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	21.3%
30歳～39歳	4.9%	4.9%	2.0%	55.9%	19.6%	1.0%	2.9%	2.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%
40歳～49歳	7.2%	2.9%	2.2%	62.6%	8.6%	1.4%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.7%	7.9%
50歳～59歳	3.3%	5.7%	1.6%	61.0%	17.9%	0.8%	1.6%	1.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
60歳～69歳	7.7%	7.1%	2.4%	54.2%	14.9%	1.2%	2.4%	1.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%
70歳～79歳	8.7%	9.3%	6.2%	45.3%	13.7%	1.2%	2.5%	3.7%	5.0%	1.2%	1.2%	0.0%	1.9%
80歳以上	11.3%	11.3%	1.6%	25.8%	22.6%	1.6%	1.6%	3.2%	11.3%	3.2%	1.6%	0.0%	4.8%

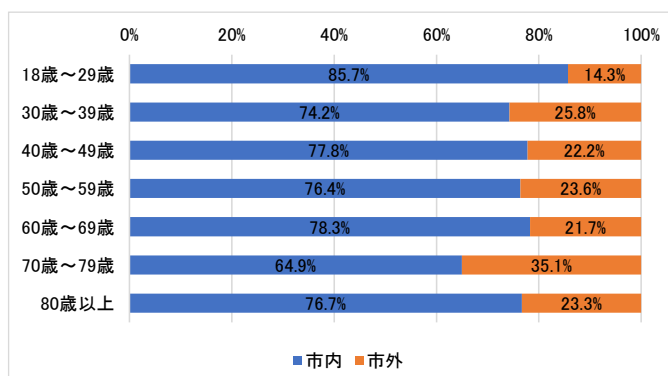


○問7-②-1 交通手段(通院する場合)

回答者の通院する場合の交通手段については「自動車(自分で運転)」が30歳代以上60歳代以下で50%を超えており、その他の世代でも最も多い。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
18歳～29歳	24	4	85.7%	14.3%
30歳～39歳	49	17	74.2%	25.8%
40歳～49歳	77	22	77.8%	22.2%
50歳～59歳	68	21	76.4%	23.6%
60歳～69歳	90	25	78.3%	21.7%
70歳～79歳	63	34	64.9%	35.1%
80歳以上	23	7	76.7%	23.3%

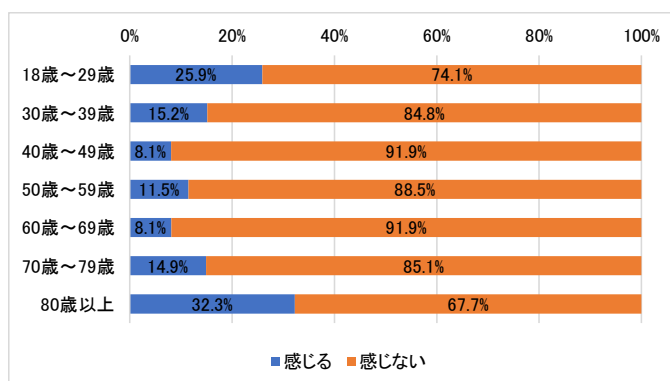


○問7-②-2 目的地(通院する場合)

回答者の通院する場合の目的地はどの世代でも「市内」が中心となっている。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに〇〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
18歳～29歳	7	20	25.9%	74.1%
30歳～39歳	10	56	15.2%	84.8%
40歳～49歳	8	91	8.1%	91.9%
50歳～59歳	10	77	11.5%	88.5%
60歳～69歳	9	102	8.1%	91.9%
70歳～79歳	14	80	14.9%	85.1%
80歳以上	10	21	32.3%	67.7%



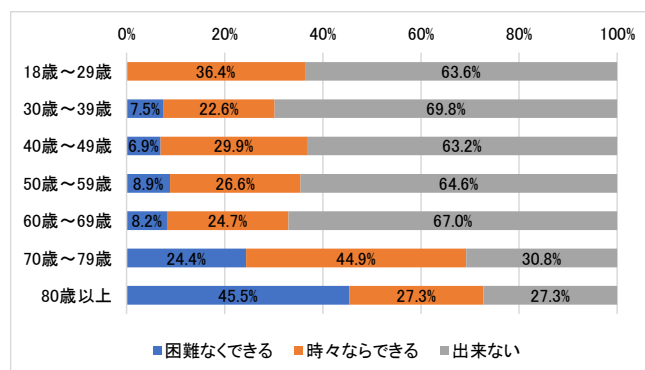
○問7-②-3 移動に不便を感じる（通院する場合）

「不便を感じる」と回答したのは、80歳以上が32.3%で最も多く、次いで、29歳以下が25.9%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに〇〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なく できる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
18歳～29歳	0	8	14	0.0%	36.4%	63.6%
30歳～39歳	4	12	37	7.5%	22.6%	69.8%
40歳～49歳	6	26	55	6.9%	29.9%	63.2%
50歳～59歳	7	21	51	8.9%	26.6%	64.6%
60歳～69歳	8	24	65	8.2%	24.7%	67.0%
70歳～79歳	19	35	24	24.4%	44.9%	30.8%
80歳以上	10	6	6	45.5%	27.3%	27.3%



○問7-②-4 公共交通への変更（通院する場合）

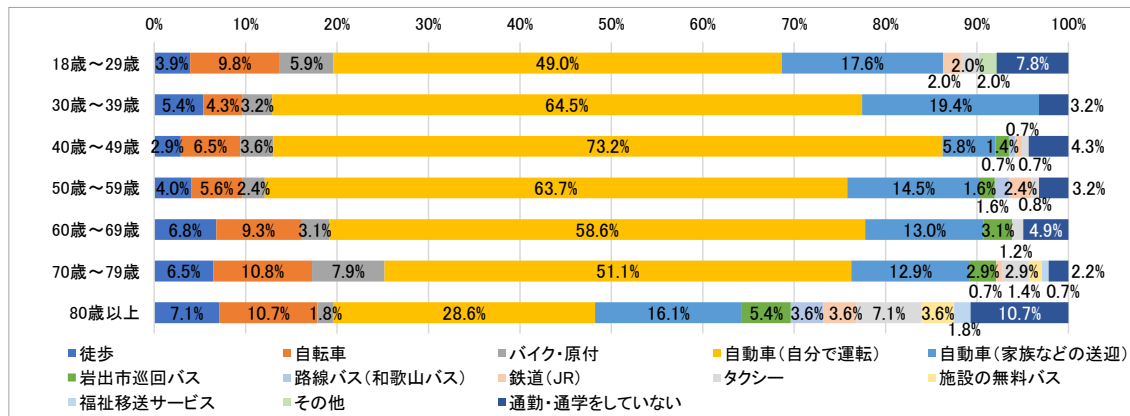
「困難なくできる」「時々ならできる」と回答したのは80歳以上が70%以上と多く、次いで、70歳～79歳が70%弱となった。69歳以下では60%以上が「出来ない」と回答している。

③公共施設に行く場合（市役所など）

1）利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	2	5	3	25	9	0	0	1	1	0	0	1	4
30歳～39歳	5	4	3	60	18	0	0	0	0	0	0	0	3
40歳～49歳	4	9	5	101	8	2	1	1	1	0	0	0	6
50歳～59歳	5	7	3	79	18	2	2	3	1	0	0	0	4
60歳～69歳	11	15	5	95	21	5	0	0	2	0	0	0	8
70歳～79歳	9	15	11	71	18	4	0	1	4	2	1	0	3
80歳以上	4	6	1	16	9	3	2	2	4	2	1	0	6

区分	割合												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	3.9%	9.8%	5.9%	49.0%	17.6%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	7.8%
30歳～39歳	5.4%	4.3%	3.2%	64.5%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
40歳～49歳	2.9%	6.5%	3.6%	73.2%	5.8%	1.4%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
50歳～59歳	4.0%	5.6%	2.4%	63.7%	14.5%	1.6%	1.6%	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
60歳～69歳	6.8%	9.3%	3.1%	58.6%	13.0%	3.1%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%
70歳～79歳	6.5%	10.8%	7.9%	51.1%	12.9%	2.9%	0.0%	0.7%	2.9%	1.4%	0.7%	0.0%	2.2%
80歳以上	7.1%	10.7%	1.8%	28.6%	16.1%	5.4%	3.6%	3.6%	7.1%	3.6%	1.8%	0.0%	10.7%

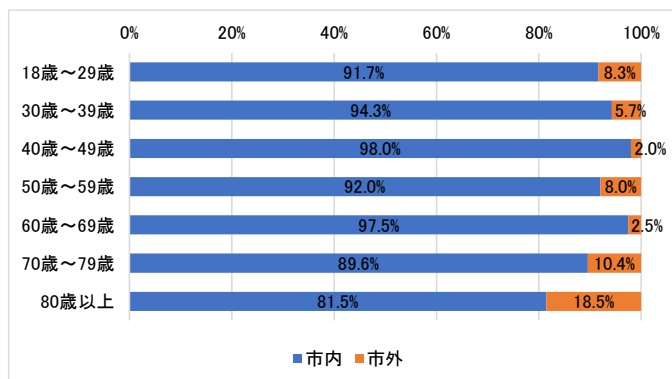


○問7-③-1 交通手段(公共施設に行く場合)

全ての世代で「自動車(自分で運転)」が最も多く、30歳～79歳では「自動車(自分で運転)」50%を超えており、中でも40歳～49歳は73.2%と最も多い。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
18歳～29歳	33	3	91.7%	8.3%
30歳～39歳	66	4	94.3%	5.7%
40歳～49歳	99	2	98.0%	2.0%
50歳～59歳	81	7	92.0%	8.0%
60歳～69歳	116	3	97.5%	2.5%
70歳～79歳	86	10	89.6%	10.4%
80歳以上	22	5	81.5%	18.5%

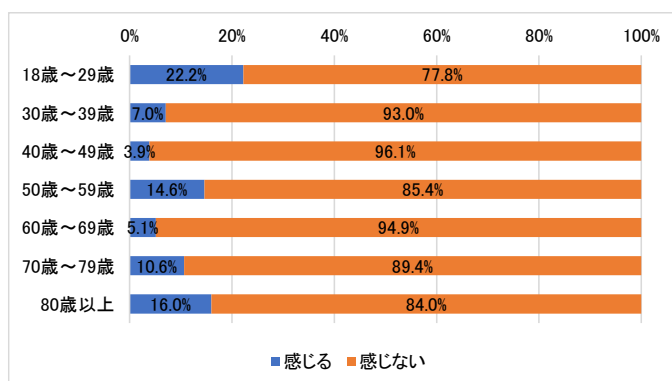


○問7-③-2 目的地(公共施設に行く場合)

公共施設に行く場合の主な目的地はどの世代でも「市内」が中心となっている。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
18歳～29歳	8	28	22.2%	77.8%
30歳～39歳	5	66	7.0%	93.0%
40歳～49歳	4	99	3.9%	96.1%
50歳～59歳	13	76	14.6%	85.4%
60歳～69歳	6	111	5.1%	94.9%
70歳～79歳	10	84	10.6%	89.4%
80歳以上	4	21	16.0%	84.0%



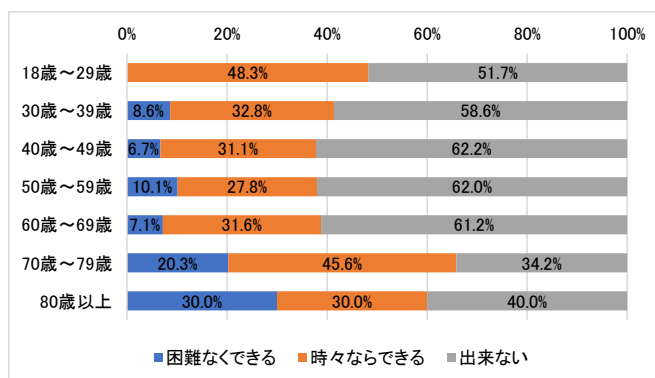
○問7-③-3 移動に不便を感じる（公共施設に行く場合）

「不便を感じる」と回答したのは、29歳以下が22.2%で最も多く、次いで、80歳以上が16.0%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なく できる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
18歳～29歳	0	14	15	0.0%	48.3%	51.7%
30歳～39歳	5	19	34	8.6%	32.8%	58.6%
40歳～49歳	6	28	56	6.7%	31.1%	62.2%
50歳～59歳	8	22	49	10.1%	27.8%	62.0%
60歳～69歳	7	31	60	7.1%	31.6%	61.2%
70歳～79歳	16	36	27	20.3%	45.6%	34.2%
80歳以上	6	6	8	30.0%	30.0%	40.0%



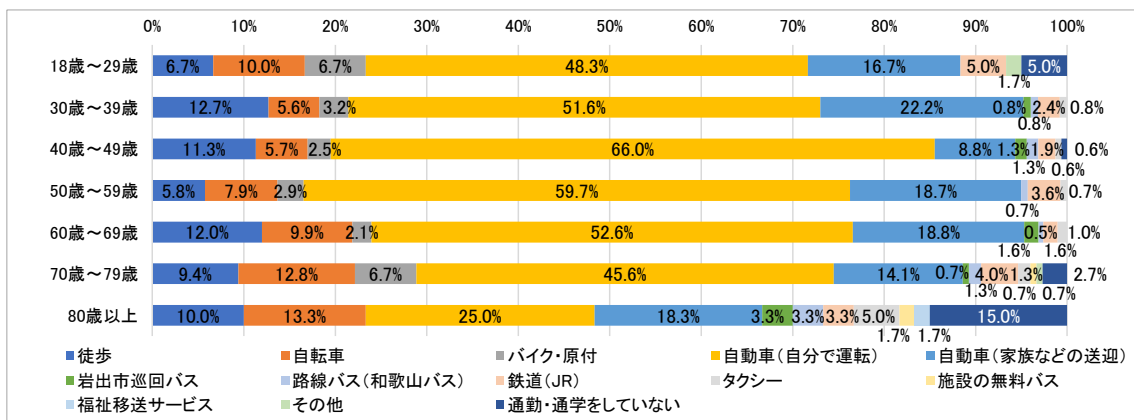
○問7-③-4 公共交通への変更（公共施設に行く場合）

「困難なくできる」「時々ならできる」と回答したのは、70歳～79歳が65%以上と多く、次いで、80歳以上が60%となった。69歳以下では50%以上が「出来ない」と回答している。

④買い物に行く場合（外食など余暇や娯楽目的の外出も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	4	6	4	29	10	0	0	3	0	0	0	1	3
30歳～39歳	16	7	4	65	28	1	1	3	1	0	0	0	0
40歳～49歳	18	9	4	105	14	2	2	3	1	0	0	0	1
50歳～59歳	8	11	4	83	26	0	1	5	1	0	0	0	0
60歳～69歳	23	19	4	101	36	3	1	3	2	0	0	0	0
70歳～79歳	14	19	10	68	21	1	2	6	2	1	0	1	4
80歳以上	6	8	0	15	11	2	2	2	3	1	1	0	9
区分	割合												
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない
18歳～29歳	6.7%	10.0%	6.7%	48.3%	16.7%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	5.0%
30歳～39歳	12.7%	5.6%	3.2%	51.6%	22.2%	0.8%	0.8%	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳～49歳	11.3%	5.7%	2.5%	66.0%	8.8%	1.3%	1.3%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
50歳～59歳	5.8%	7.9%	2.9%	59.7%	18.7%	0.0%	0.7%	3.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳～69歳	12.0%	9.9%	2.1%	52.6%	18.8%	1.6%	0.5%	1.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳～79歳	9.4%	12.8%	6.7%	45.6%	14.1%	0.7%	1.3%	4.0%	1.3%	0.7%	0.0%	0.7%	2.7%
80歳以上	10.0%	13.3%	0.0%	25.0%	18.3%	3.3%	3.3%	3.3%	5.0%	1.7%	1.7%	0.0%	15.0%

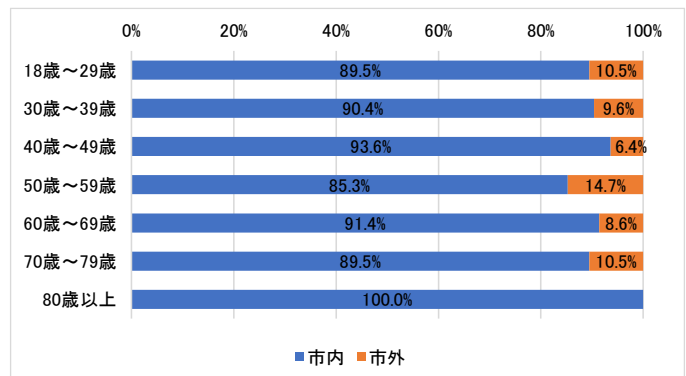


○問7-④-1 交通手段(買い物に行く場合)

全ての世代で「自動車(自分で運転)」が最も多く、30歳～69歳では「自動車(自分で運転)」50%を超えており、中でも40歳～49歳は66.0%と最も多い。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
18歳～29歳	34	4	89.5%	10.5%
30歳～39歳	66	7	90.4%	9.6%
40歳～49歳	103	7	93.6%	6.4%
50歳～59歳	81	14	85.3%	14.7%
60歳～69歳	117	11	91.4%	8.6%
70歳～79歳	85	10	89.5%	10.5%
80歳以上	23	0	100.0%	0.0%

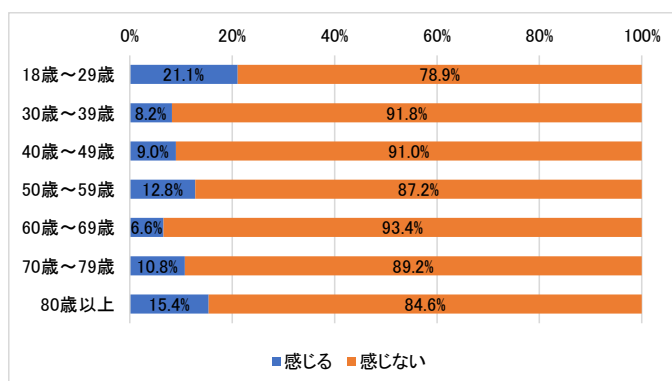


○問7-④-2 目的地(買い物に行く場合)

買い物に行く場合の主な目的地はどの世代でも「市内」が中心となっている。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに〇〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
18歳～29歳	8	30	21.1%	78.9%
30歳～39歳	6	67	8.2%	91.8%
40歳～49歳	10	101	9.0%	91.0%
50歳～59歳	12	82	12.8%	87.2%
60歳～69歳	8	114	6.6%	93.4%
70歳～79歳	10	83	10.8%	89.2%
80歳以上	4	22	15.4%	84.6%



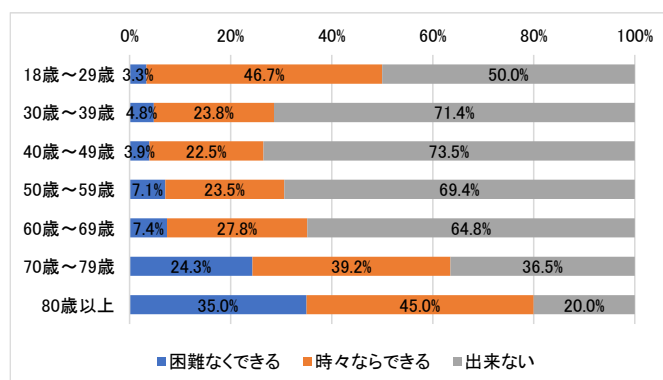
○問7-④-3 移動に不便を感じる（買い物に行く場合）

「不便を感じる」と回答したのは、29歳以下が21.1%で最も多く、次いで、80歳以上が15.4%であった。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きます。〈1つだけに〇〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なくできる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
18歳～29歳	1	14	15	3.3%	46.7%	50.0%
30歳～39歳	3	15	45	4.8%	23.8%	71.4%
40歳～49歳	4	23	75	3.9%	22.5%	73.5%
50歳～59歳	6	20	59	7.1%	23.5%	69.4%
60歳～69歳	8	30	70	7.4%	27.8%	64.8%
70歳～79歳	18	29	27	24.3%	39.2%	36.5%
80歳以上	7	9	4	35.0%	45.0%	20.0%



○問7-④-4 公共交通への変更（買い物に行く場合）

「困難なくできる」「時々ならできる」と回答したのは、80歳以上が80%と多く、次いで、70歳～79歳が60%以上となった。69歳以下では50%以上が「出来ない」と回答している。

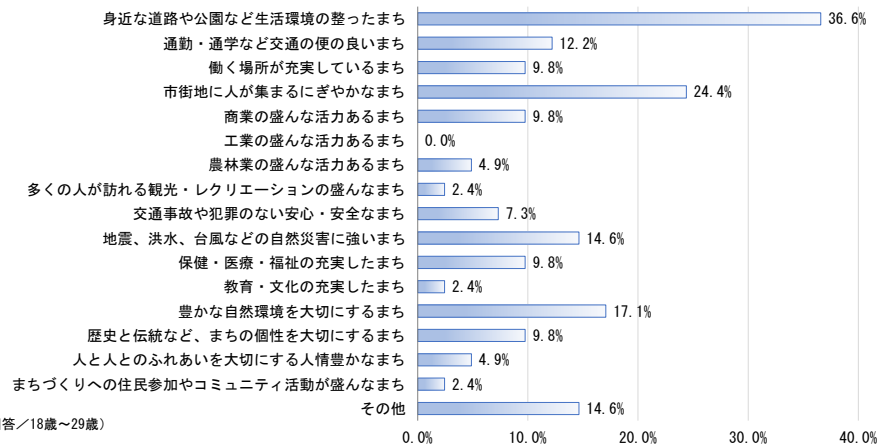
【岩出市の暮らしについて】

◆問8 あなたにとって、現在の岩出市のイメージは、次のうちどれですか。〈3つまで〉

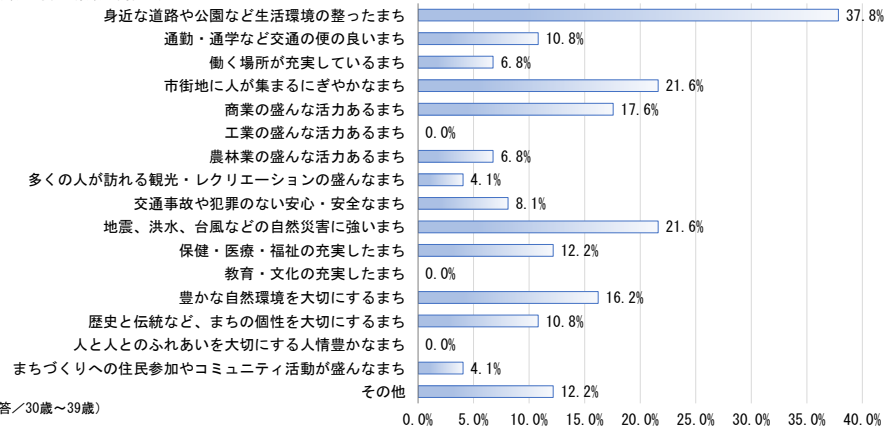
区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
18歳～29歳	計 15	計 5	計 4	計 10	計 4	計 0	計 2	計 1	計 3
	割合 36.6%	割合 12.2%	割合 9.8%	割合 24.4%	割合 9.8%	割合 0.0%	割合 4.9%	割合 2.4%	割合 7.3%
30歳～39歳	計 28	計 8	計 5	計 16	計 13	計 0	計 5	計 3	計 6
	割合 37.8%	割合 10.8%	割合 6.8%	割合 21.6%	割合 17.6%	割合 0.0%	割合 6.8%	割合 4.1%	割合 8.1%
40歳～49歳	計 37	計 14	計 9	計 14	計 12	計 0	計 3	計 2	計 15
	割合 33.0%	割合 12.5%	割合 8.0%	割合 12.5%	割合 10.7%	割合 0.0%	割合 2.7%	割合 1.8%	割合 13.4%
50歳～59歳	計 25	計 16	計 6	計 15	計 12	計 0	計 8	計 3	計 16
	割合 26.0%	割合 16.7%	割合 6.3%	割合 15.6%	割合 12.5%	割合 0.0%	割合 8.3%	割合 3.1%	割合 16.7%
60歳～69歳	計 40	計 9	計 6	計 16	計 22	計 0	計 11	計 3	計 25
	割合 31.3%	割合 7.0%	割合 4.7%	割合 12.5%	割合 17.2%	割合 0.0%	割合 8.6%	割合 2.3%	割合 19.5%
70歳～79歳	計 27	計 8	計 1	計 5	計 15	計 1	計 1	計 2	計 45
	割合 25.7%	割合 7.6%	割合 1.0%	割合 4.8%	割合 14.3%	割合 1.0%	割合 1.0%	割合 1.9%	割合 42.9%
80歳以上	計 6	計 4	計 2	計 2	計 5	計 1	計 2	計 0	計 15
	割合 15.4%	割合 10.3%	割合 5.1%	割合 5.1%	割合 12.8%	割合 2.6%	割合 5.1%	割合 0.0%	割合 38.5%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にするまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にするまち	人と人とのふれあいを大切にする人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
計 6	計 4	計 1	計 7	計 4	計 2	計 1	計 6	計 75
割合 14.6%	割合 9.8%	割合 2.4%	割合 17.1%	割合 9.8%	割合 4.9%	割合 2.4%	割合 14.6%	
計 16	計 9	計 0	計 12	計 8	計 0	計 3	計 9	計 141
割合 21.6%	割合 12.2%	割合 0.0%	割合 16.2%	割合 10.8%	割合 0.0%	割合 4.1%	割合 12.2%	
計 25	計 11	計 5	計 23	計 32	計 6	計 5	計 17	計 230
割合 22.3%	割合 9.8%	割合 4.5%	割合 20.5%	割合 28.6%	割合 5.4%	割合 4.5%	割合 15.2%	
計 14	計 9	計 2	計 19	計 19	計 4	計 6	計 17	計 191
割合 14.6%	割合 9.4%	割合 2.1%	割合 19.8%	割合 19.8%	割合 4.2%	割合 6.3%	割合 17.7%	
計 32	計 27	計 5	計 26	計 32	計 9	計 5	計 13	計 281
割合 25.0%	割合 21.1%	割合 3.9%	割合 20.3%	割合 25.0%	割合 7.0%	割合 3.9%	割合 10.2%	
計 39	計 26	計 3	計 16	計 22	計 19	計 8	計 6	計 244
割合 37.1%	割合 24.8%	割合 2.9%	割合 15.2%	割合 21.0%	割合 18.1%	割合 7.6%	割合 5.7%	
計 18	計 19	計 1	計 7	計 5	計 9	計 4	計 1	計 101
割合 46.2%	割合 48.7%	割合 2.6%	割合 17.9%	割合 12.8%	割合 23.1%	割合 10.3%	割合 2.6%	

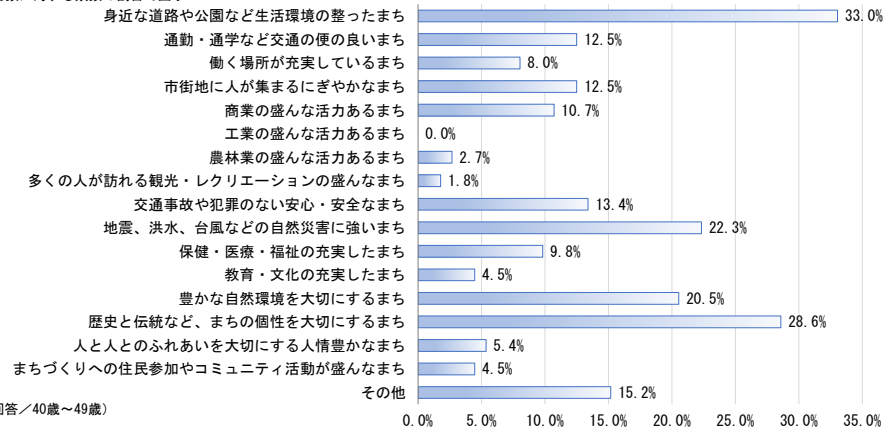
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



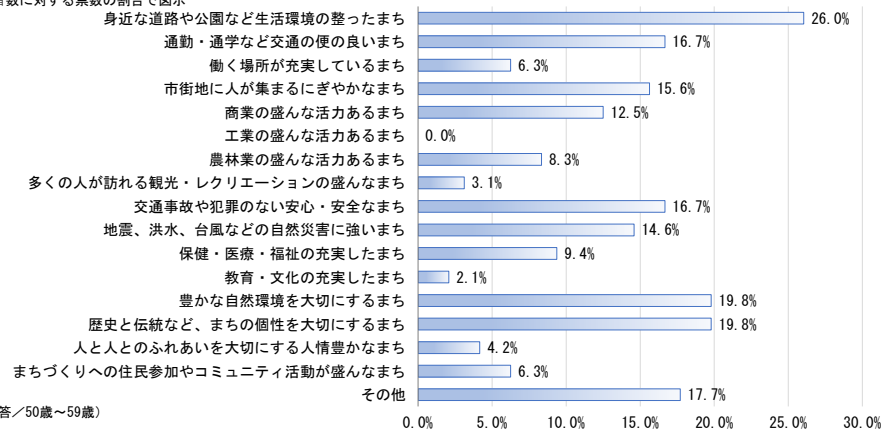
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



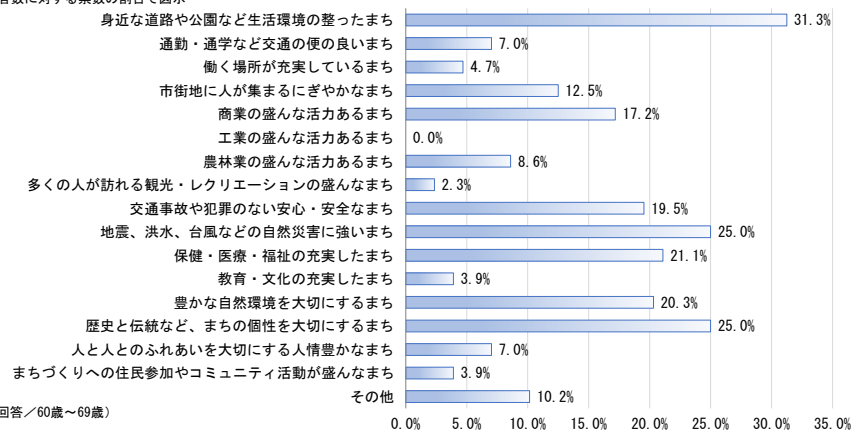
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示

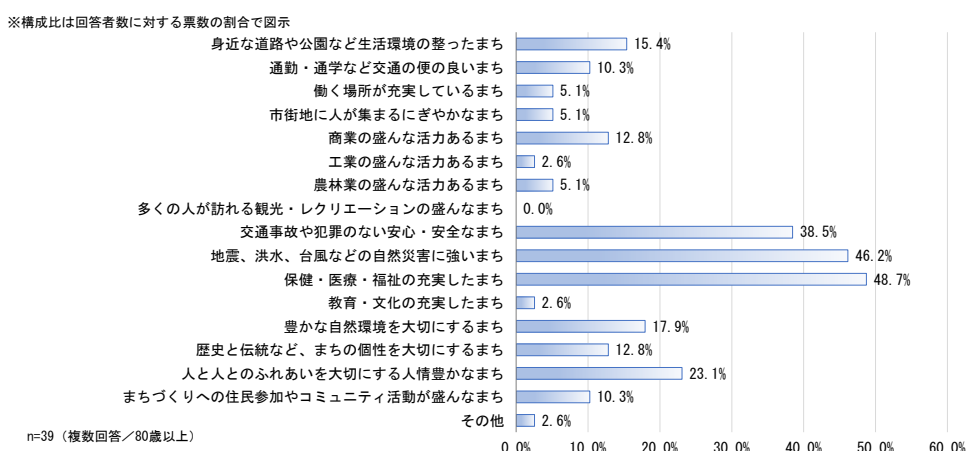
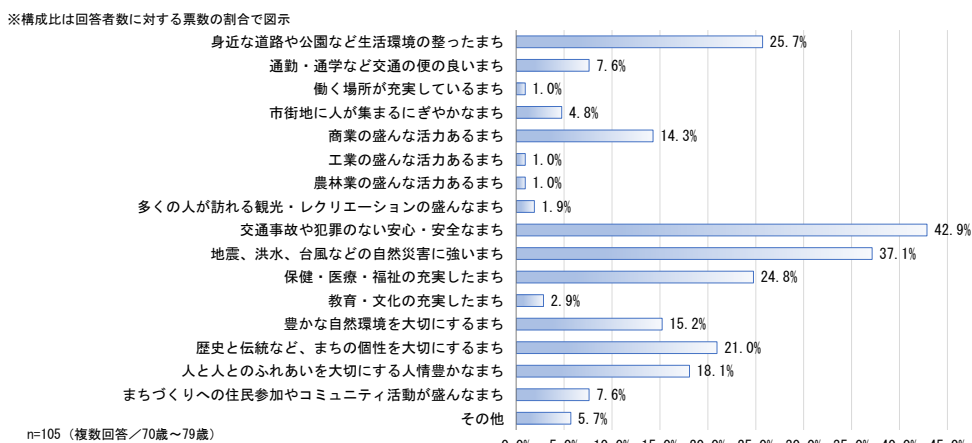


※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示





○問8 現在の岩出市のイメージ

現在の岩出市のイメージについては18歳～69歳では「身近な道路や公園など生活環境の整ったまち」が最も多く、70歳～79歳では「交通安全や犯罪のない安心・安全なまち」、80歳以上では「保健・医療・福祉の充実したまち」がそれぞれ最も多かった。

30歳代以下では「市街地に人が集まるにぎやかなまち」が2番目に多い一方で、40歳代以上においては、同項目があまり評価されていない。

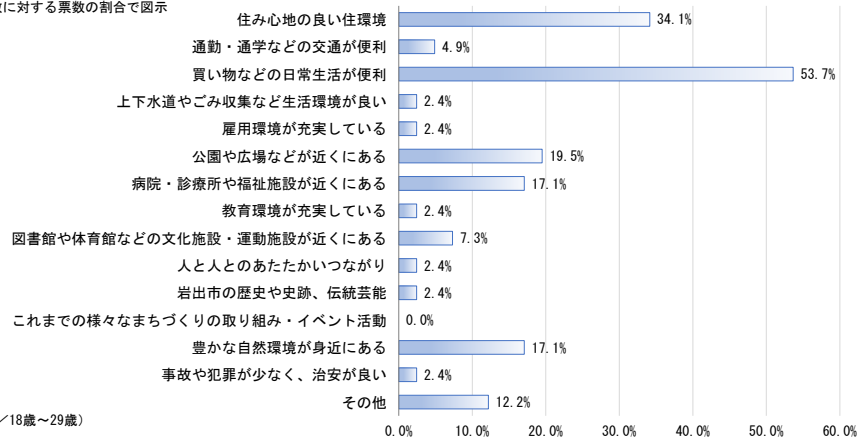
30歳代以上では「地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち」も評価が高い項目となっている。

◆問9 あなたにとって、現在の岩出市の魅力は、次のうちどれですか。〈3つまで〉

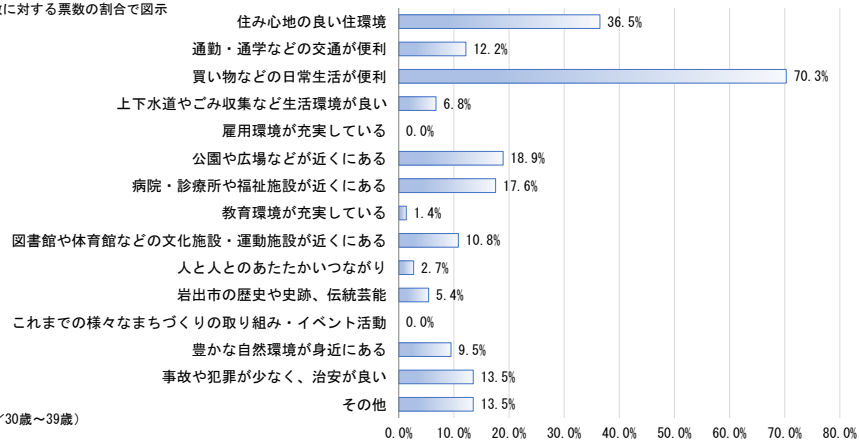
区分	住み心地の良い住環境	通勤・通学などの交通が便利	買い物などの日常生活が便利	上下水道やごみ収集など生活環境が良い	雇用環境が充実している	公園や広場などが近くにある	病院・診療所や福祉施設が近くにある	教育環境が充実している
18歳～29歳	計 14 割合 34.1%	計 2 割合 4.9%	計 22 割合 53.7%	計 1 割合 2.4%	計 1 割合 2.4%	計 8 割合 19.5%	計 7 割合 17.1%	計 1 割合 2.4%
30歳～39歳	計 27 割合 36.5%	計 9 割合 12.2%	計 52 割合 70.3%	計 5 割合 6.8%	計 0 割合 0.0%	計 14 割合 18.9%	計 13 割合 17.6%	計 1 割合 1.4%
40歳～49歳	計 37 割合 33.0%	計 12 割合 10.7%	計 59 割合 52.7%	計 20 割合 17.9%	計 0 割合 0.0%	計 8 割合 7.1%	計 15 割合 13.4%	計 1 割合 0.9%
50歳～59歳	計 36 割合 37.5%	計 9 割合 9.4%	計 56 割合 58.3%	計 13 割合 13.5%	計 2 割合 2.1%	計 7 割合 7.3%	計 21 割合 21.9%	計 1 割合 1.0%
60歳～69歳	計 49 割合 38.3%	計 1 割合 0.8%	計 75 割合 58.6%	計 31 割合 24.2%	計 3 割合 2.3%	計 14 割合 10.9%	計 36 割合 28.1%	計 0 割合 0.0%
70歳～79歳	計 41 割合 39.0%	計 3 割合 2.9%	計 60 割合 57.1%	計 35 割合 33.3%	計 1 割合 1.0%	計 7 割合 6.7%	計 30 割合 28.6%	計 1 割合 1.0%
80歳以上	計 12 割合 30.8%	計 3 割合 7.7%	計 15 割合 38.5%	計 20 割合 51.3%	計 0 割合 0.0%	計 4 割合 10.3%	計 10 割合 25.6%	計 0 割合 0.0%

図書館や体育館などの文化施設・運動施設が近くにある	人と人とのあたたかいつながり	岩出市の歴史や史跡、伝統芸能	これまでの様々なまちづくりの取り組み・イベント活動	豊かな自然環境が身近にある	事故や犯罪が少なく、治安が良い	その他	合計
3	1	1	0	7	1	5	74
7.3%	2.4%	2.4%	0.0%	17.1%	2.4%	12.2%	
8	2	4	0	7	10	10	162
10.8%	2.7%	5.4%	0.0%	9.5%	13.5%	13.5%	
19	4	8	1	25	15	15	239
17.0%	3.6%	7.1%	0.9%	22.3%	13.4%	13.4%	
11	4	9	2	18	16	9	214
11.5%	4.2%	9.4%	2.1%	18.8%	16.7%	9.4%	
18	2	12	2	23	15	21	302
14.1%	1.6%	9.4%	1.6%	18.0%	11.7%	16.4%	
8	9	9	1	18	30	22	275
7.6%	8.6%	8.6%	1.0%	17.1%	28.6%	21.0%	
3	4	3	1	5	13	13	106
7.7%	10.3%	7.7%	2.6%	12.8%	33.3%	33.3%	

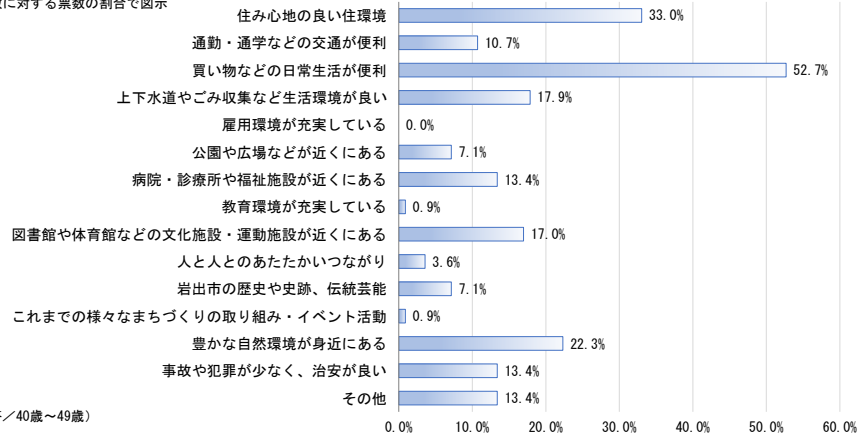
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



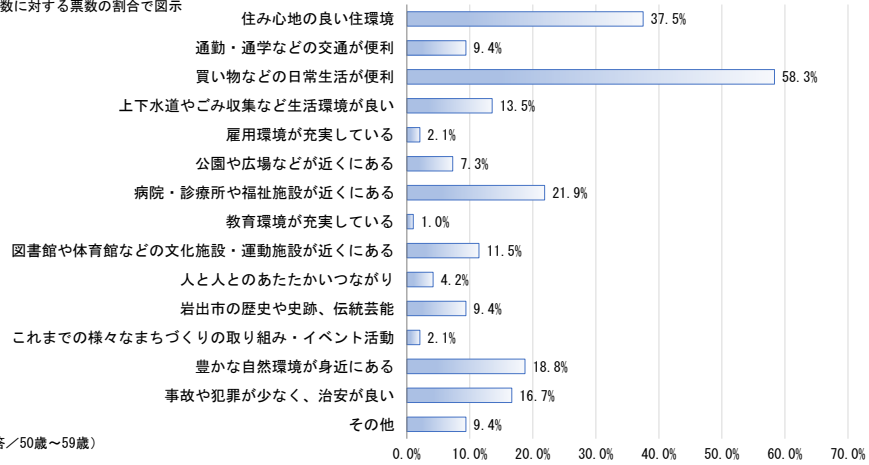
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



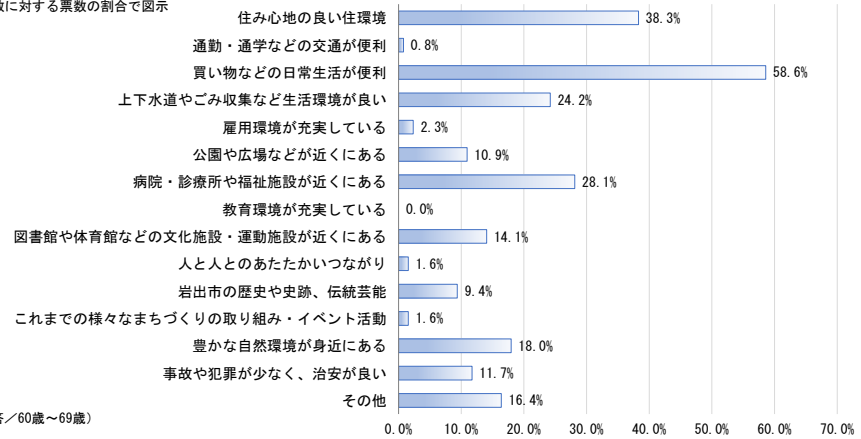
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示

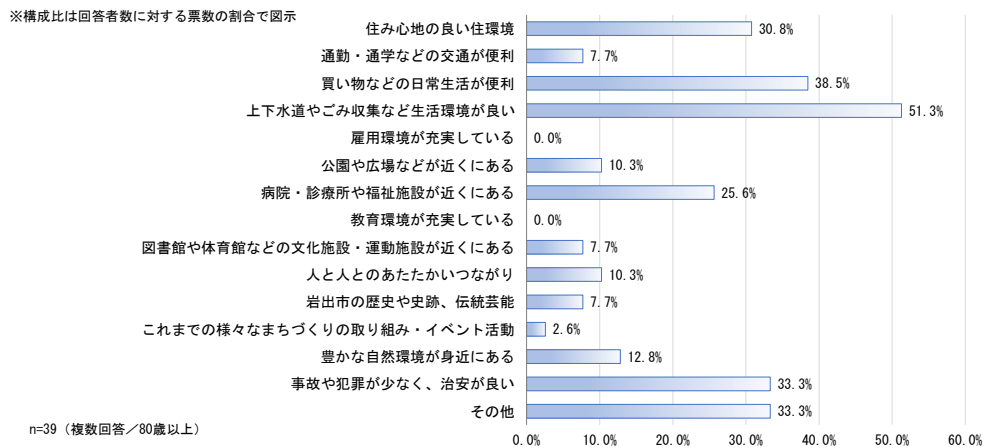
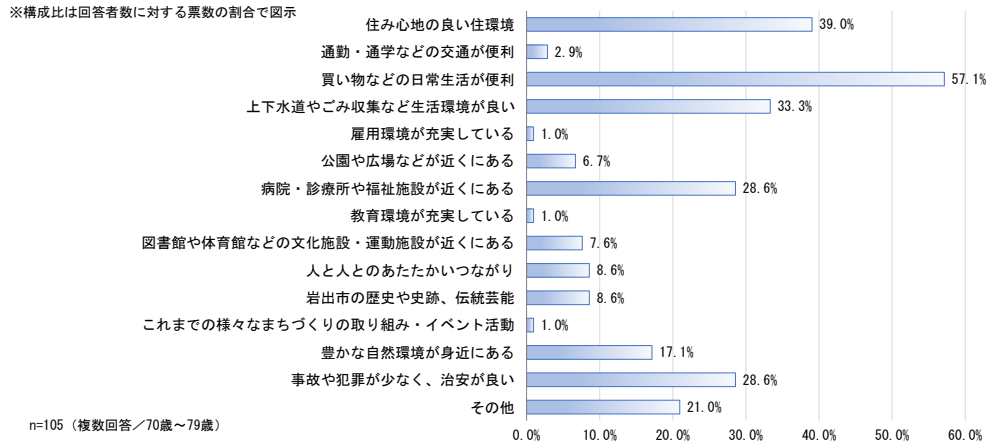


※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示





○問9 現在の岩出市の魅力

現在の岩出市の魅力については18歳~79歳では「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、80歳以上でも2番目に高い評価となっている。

80歳以上では「上下水道やごみ収集など生活環境が良い」が最も多かった。

また、すべての世代で30%以上が「住み心地の良い住環境」と回答している。

◆問 10 あなたは現在のお住まいの生活環境について、(1)～(29)のそれぞれの項目についてどの程度満足されていますか。また、どれくらい重要であると思われますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

○【CS グラフ】

満足 「+5」、やや満足 「+4」、どちらとも言えない「+3」、やや不満 「+2」、不満 「+1」
 重要 「+5」、やや重要 「+4」、どちらとも言えない「+3」、あまり重要でない 「+2」、重要でない 「+1」

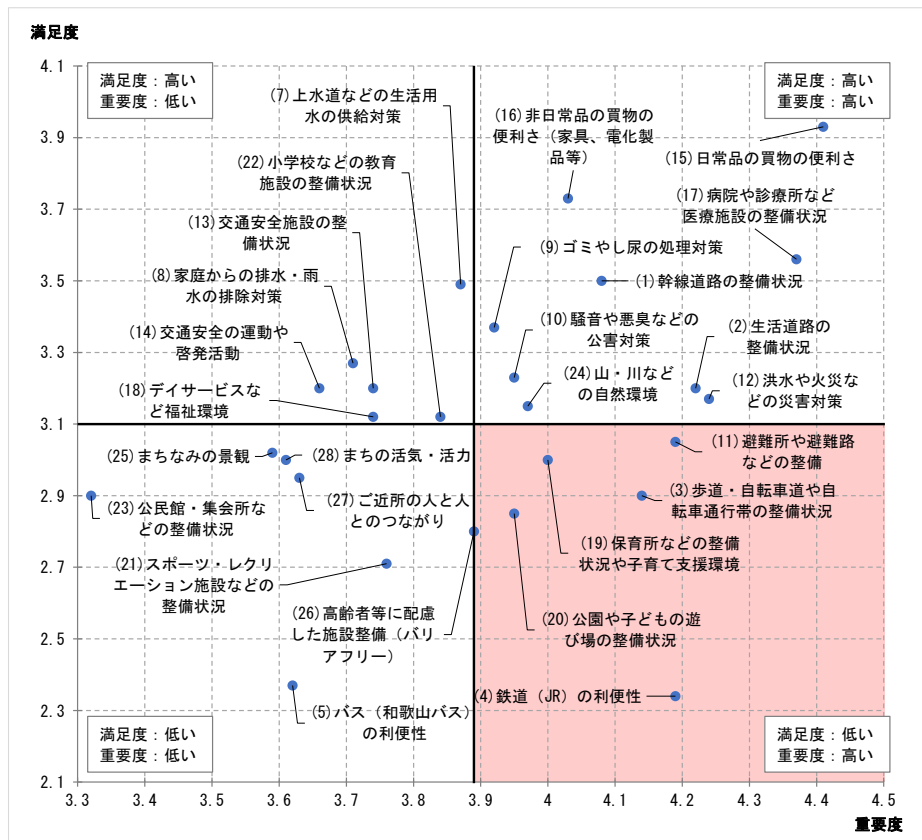
回答のあったお住まいの生活環境の満足度と重要度について、項目別に加重平均を行い、CS グラフを作成した。グラフは縦軸に満足度、横軸に重要度をとり、各項目を点数化したものをプロットした。満足度・重要度の平均値をそれぞれ2軸にプロットした。

18 歳～79 歳では「(3)歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」の満足度が低く、重要度が高いと回答しており、80 歳以上でも重要度は平均以下ではあるが満足度が低くなっており、特に重要な改善項目として挙げられる。

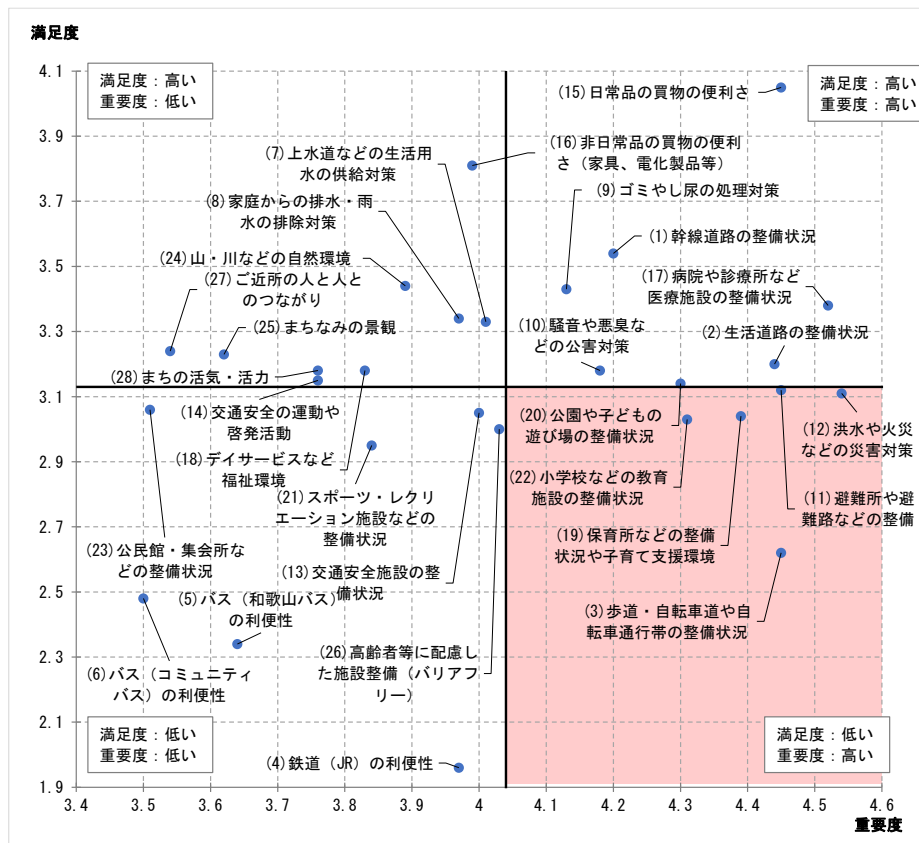
「(11)避難所や避難路などの整備」「(12)洪水や火災などの災害対策」についても、ほとんどの年代で満足度が低い、もしくは重要度が高いと回答している。

また、18 歳～49 歳では「(19)保育所などの整備状況や子育て支援環境」「(20)公園や子供の遊び場の整備状況」が、50 歳～79 歳では「(26)高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)」が、改善項目として挙げられている。

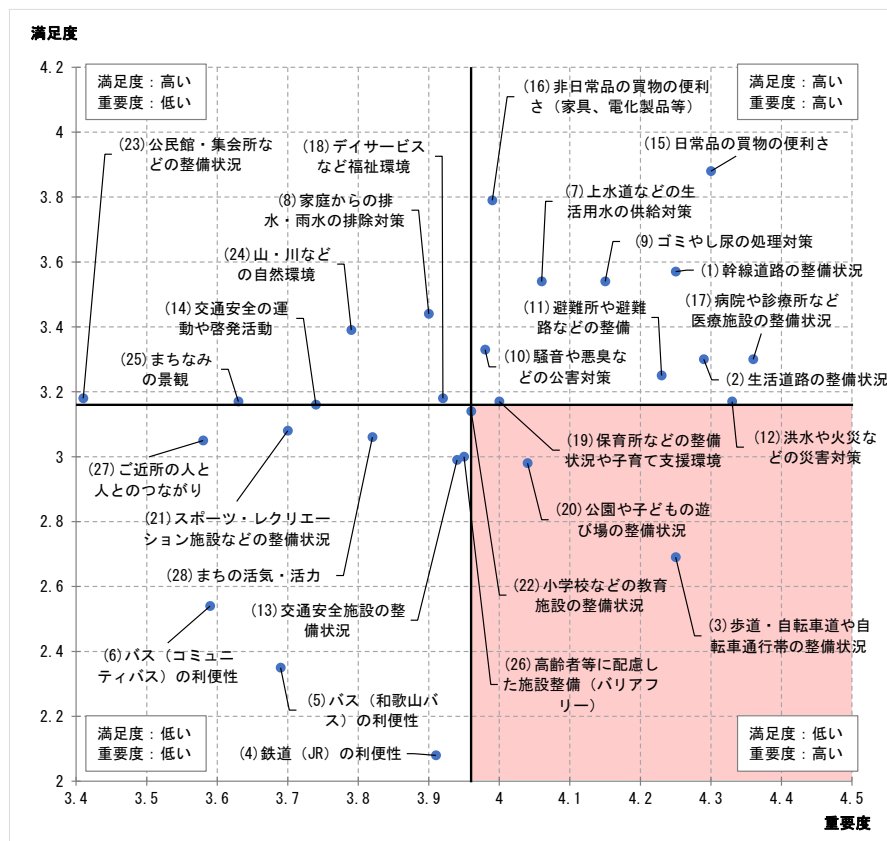
18 歳～29 歳



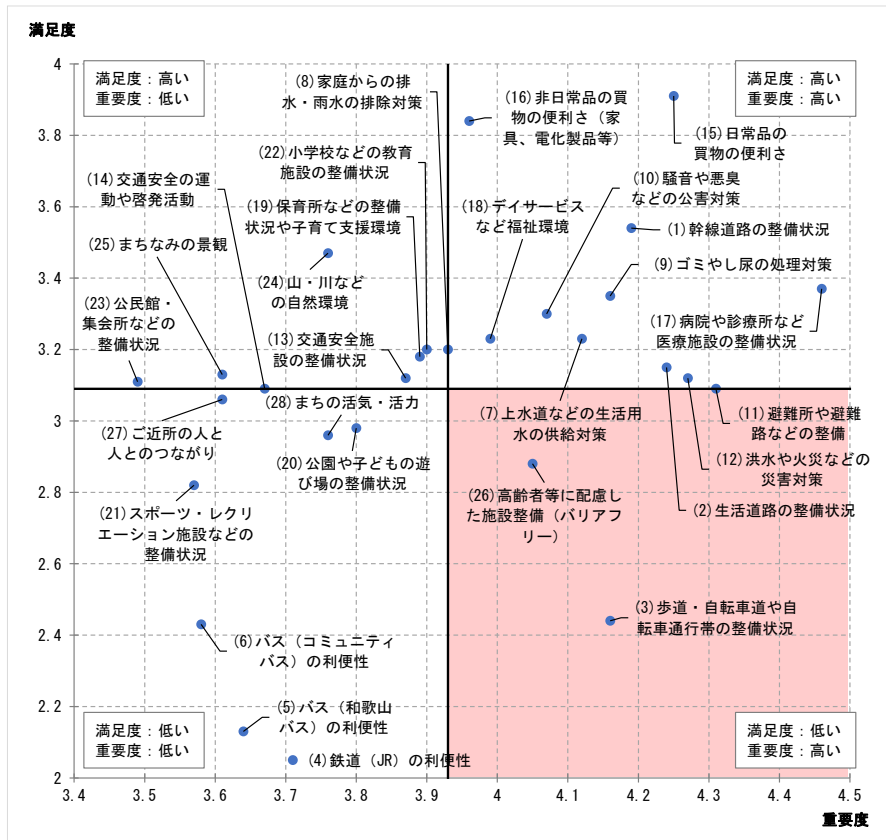
30歳～39歳



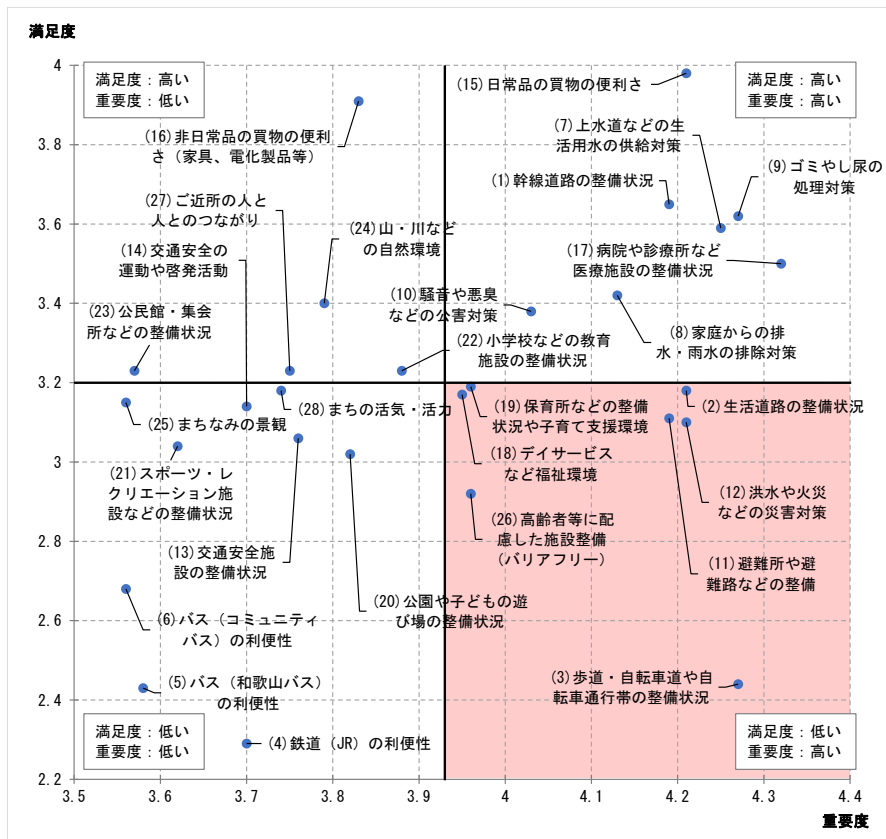
40歳～49歳



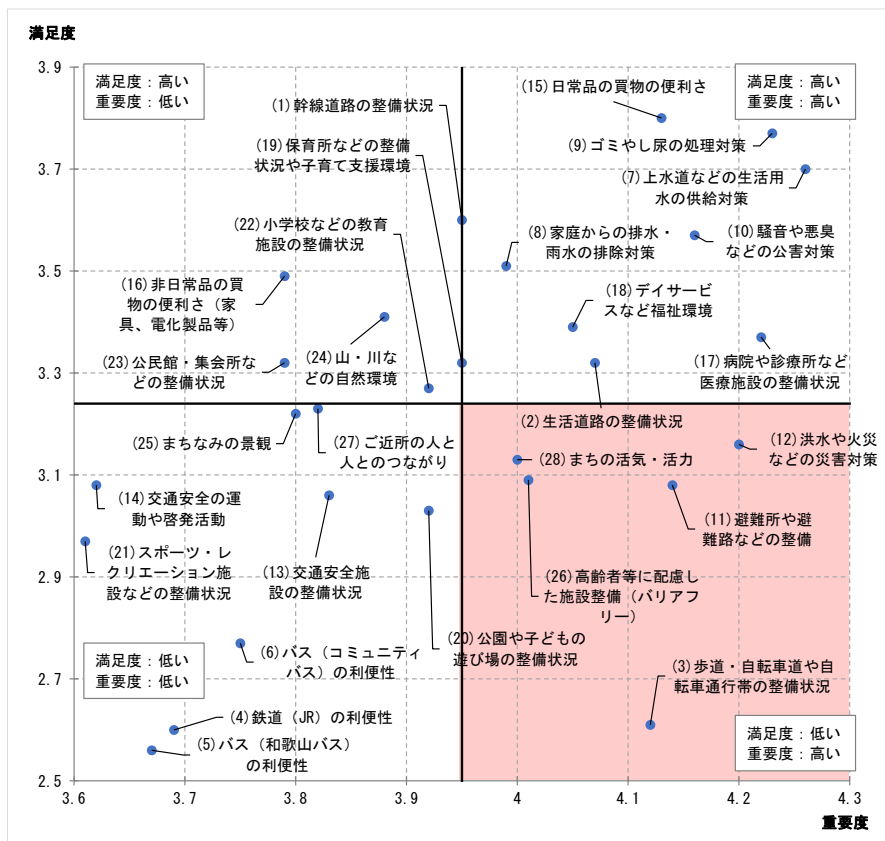
50歳～59歳



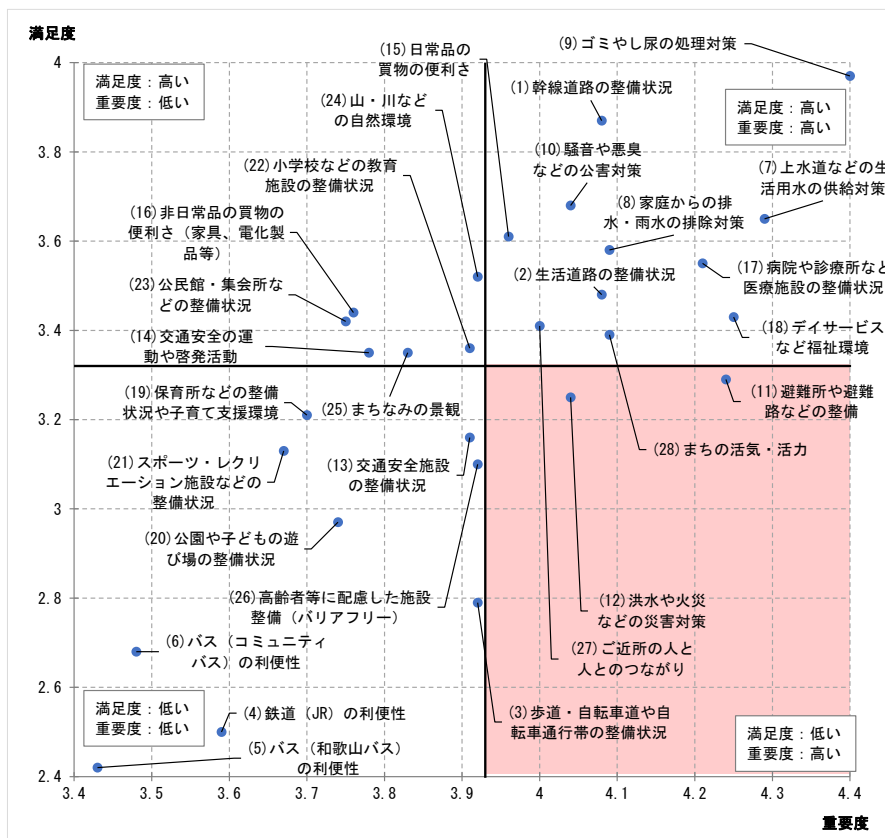
60歳～69歳



70歳~79歳



80歳以上



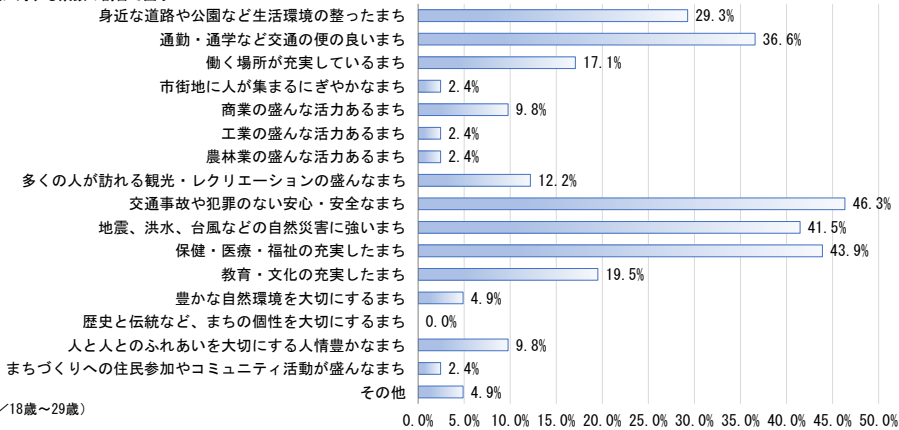
【岩出市の将来について】

◆問 11 あなたが「こうなって欲しい」と思う岩出市の将来イメージを教えてください。(3つまで)

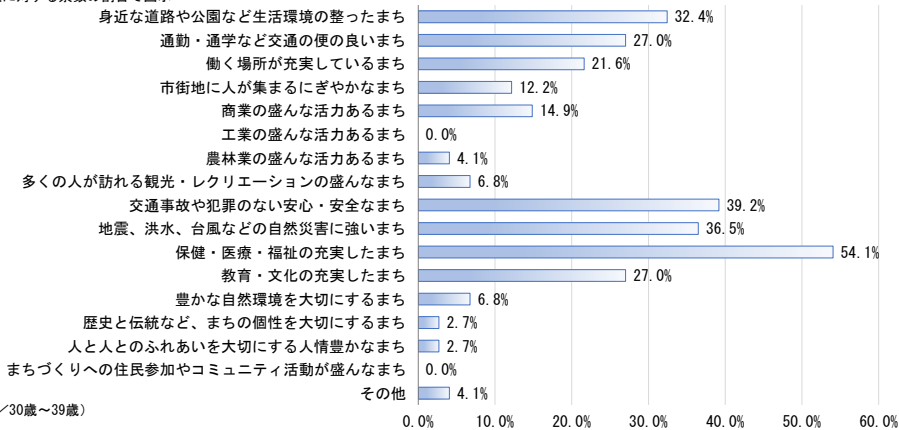
区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
18歳～29歳	計 12 割合 29.3%	計 15 割合 36.6%	計 7 割合 17.1%	計 1 割合 2.4%	計 4 割合 9.8%	計 1 割合 2.4%	計 1 割合 2.4%	計 5 割合 12.2%	計 19 割合 46.3%
30歳～39歳	計 24 割合 32.4%	計 20 割合 27.0%	計 16 割合 21.6%	計 9 割合 12.2%	計 11 割合 14.9%	計 0 割合 0.0%	計 3 割合 4.1%	計 5 割合 6.8%	計 29 割合 39.2%
40歳～49歳	計 26 割合 23.2%	計 34 割合 30.4%	計 30 割合 26.8%	計 10 割合 8.9%	計 22 割合 19.6%	計 1 割合 0.9%	計 1 割合 0.9%	計 5 割合 4.5%	計 50 割合 44.6%
50歳～59歳	計 29 割合 30.2%	計 21 割合 21.9%	計 22 割合 22.9%	計 10 割合 10.4%	計 13 割合 13.5%	計 1 割合 1.0%	計 2 割合 2.1%	計 6 割合 6.3%	計 47 割合 49.0%
60歳～69歳	計 31 割合 24.2%	計 21 割合 16.4%	計 23 割合 18.0%	計 6 割合 4.7%	計 18 割合 14.1%	計 4 割合 3.1%	計 5 割合 3.9%	計 8 割合 6.3%	計 76 割合 59.4%
70歳～79歳	計 25 割合 23.8%	計 9 割合 8.6%	計 27 割合 25.7%	計 5 割合 4.8%	計 10 割合 9.5%	計 6 割合 5.7%	計 3 割合 2.9%	計 8 割合 7.6%	計 62 割合 59.0%
80歳以上	計 11 割合 28.2%	計 4 割合 10.3%	計 8 割合 20.5%	計 4 割合 10.3%	計 5 割合 12.8%	計 0 割合 0.0%	計 2 割合 5.1%	計 2 割合 5.1%	計 16 割合 41.0%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にすするまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にすするまち	人と人とのふれあいを大切にすする人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
計 17 割合 41.5%	計 18 割合 43.9%	計 8 割合 19.5%	計 2 割合 4.9%	計 0 割合 0.0%	計 4 割合 9.8%	計 1 割合 2.4%	計 2 割合 4.9%	計 117
計 27 割合 36.5%	計 40 割合 54.1%	計 20 割合 27.0%	計 5 割合 6.8%	計 2 割合 2.7%	計 2 割合 2.7%	計 0 割合 0.0%	計 3 割合 4.1%	計 216
計 45 割合 40.2%	計 54 割合 48.2%	計 19 割合 17.0%	計 12 割合 10.7%	計 1 割合 0.9%	計 5 割合 4.5%	計 0 割合 0.0%	計 4 割合 3.6%	計 319
計 33 割合 34.4%	計 49 割合 51.0%	計 8 割合 8.3%	計 10 割合 10.4%	計 5 割合 5.2%	計 10 割合 10.4%	計 2 割合 2.1%	計 4 割合 4.2%	計 272
計 63 割合 49.2%	計 73 割合 57.0%	計 14 割合 10.9%	計 15 割合 11.7%	計 7 割合 5.5%	計 8 割合 6.3%	計 1 割合 0.8%	計 1 割合 0.8%	計 374
計 32 割合 30.5%	計 54 割合 51.4%	計 10 割合 9.5%	計 8 割合 7.6%	計 7 割合 6.7%	計 23 割合 21.9%	計 7 割合 6.7%	計 1 割合 1.0%	計 297
計 20 割合 51.3%	計 24 割合 61.5%	計 2 割合 5.1%	計 3 割合 7.7%	計 2 割合 5.1%	計 11 割合 28.2%	計 2 割合 5.1%	計 1 割合 2.6%	計 117

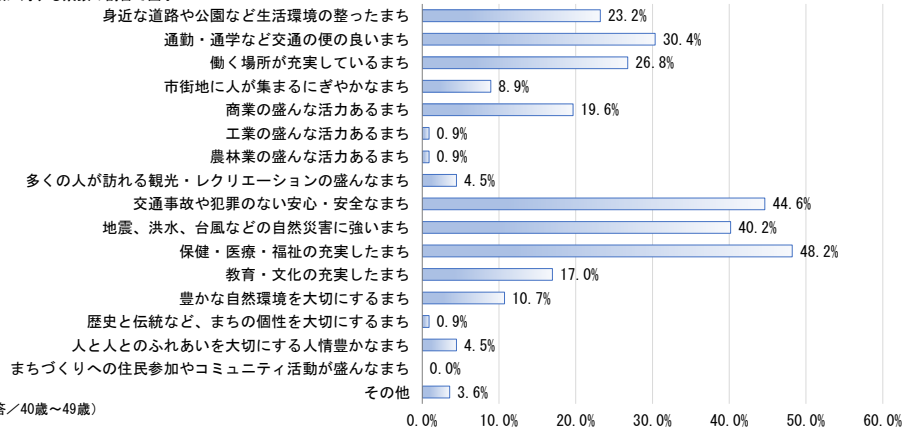
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



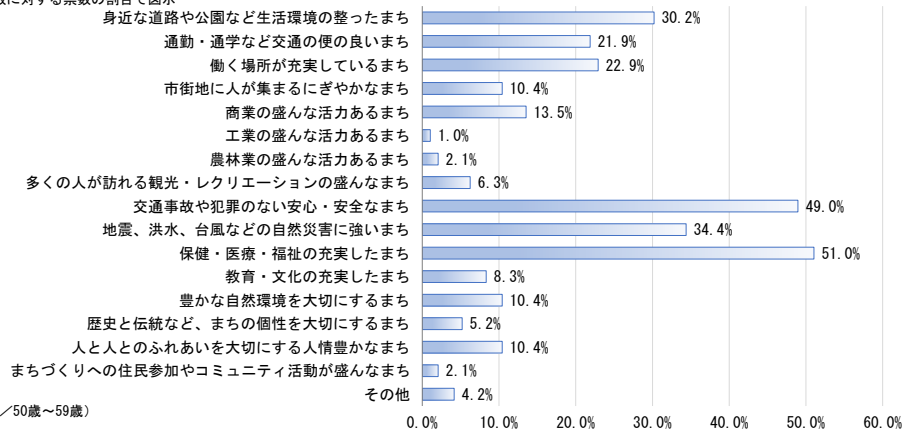
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



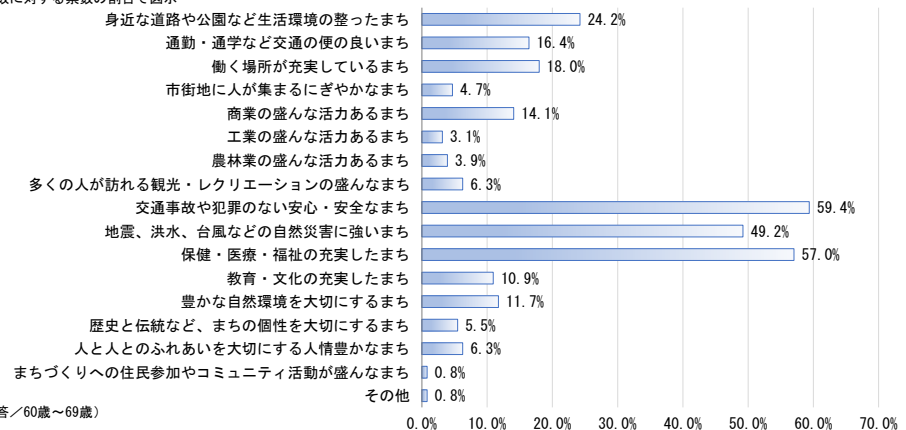
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



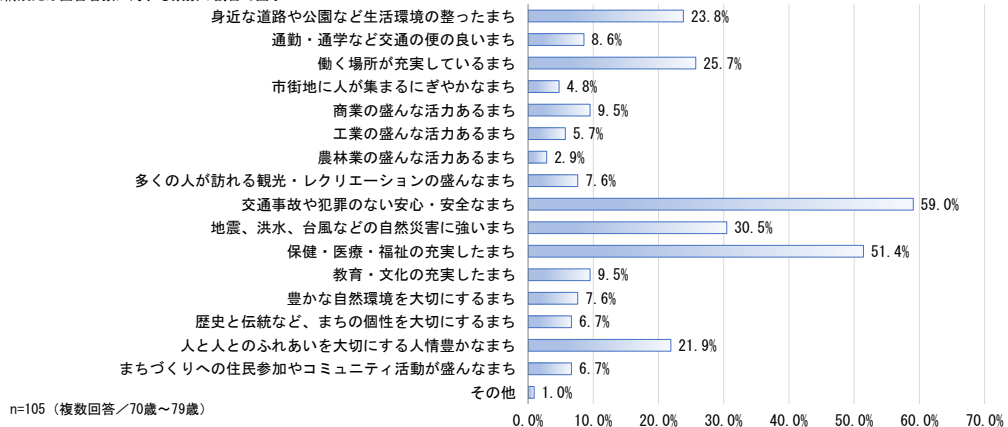
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



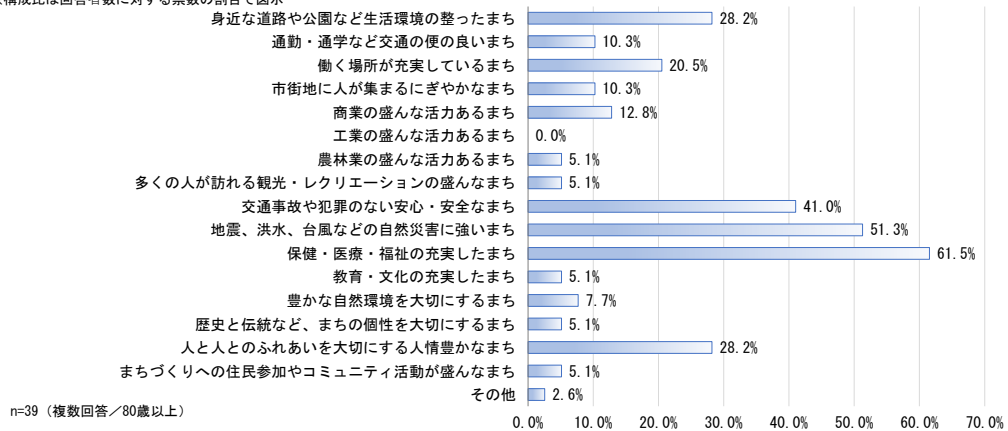
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



○問 11 岩出市の将来イメージ

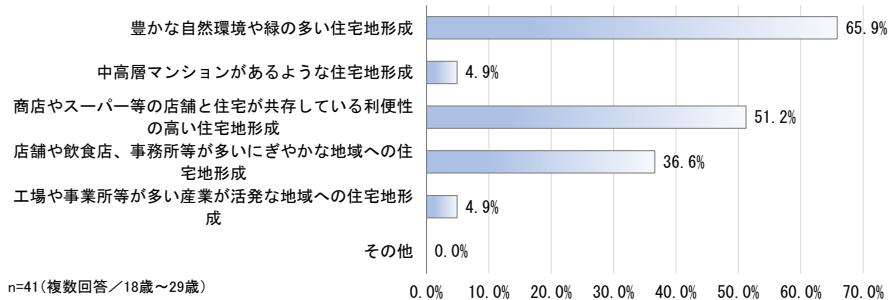
岩出市の将来イメージについては、29歳以下、60歳～79歳では「交通安全や犯罪のない安心・安全なまち」が、30歳～59歳、80歳以上では「保健・医療・福祉の充実したまち」がそれぞれ40%以上と最も多かった。また、29歳以下、40歳～49歳では「通勤・通学など交通の便の良いまち」の回答が他の年代に比べ多くなっている。

◆問12 あなたがお住まいの地区について、今後進めてほしいことを分野ごとに教えてください。

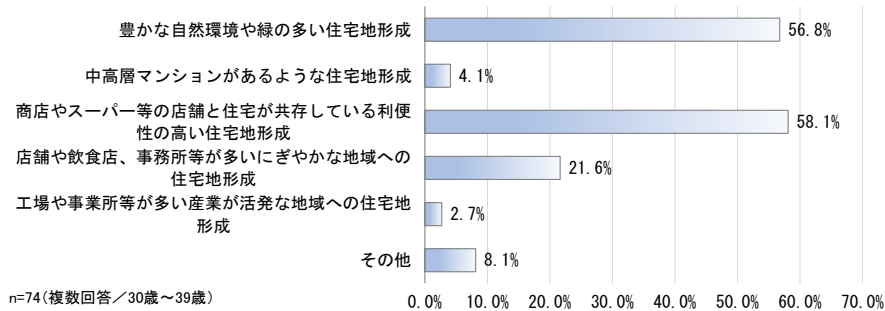
【住宅地】〈2つまで〇〉

区分		豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成	中高層マンションがあるような住宅地形成	商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成	店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成	工場や事業所等が多い産業が活発な地域への住宅地形成	その他	合計
18歳～29歳	計	27	2	21	15	2	0	67
	割合	65.9%	4.9%	51.2%	36.6%	4.9%	0.0%	
30歳～39歳	計	42	3	43	16	2	6	112
	割合	56.8%	4.1%	58.1%	21.6%	2.7%	8.1%	
40歳～49歳	計	56	3	62	23	6	15	165
	割合	50.0%	2.7%	55.4%	20.5%	5.4%	13.4%	
50歳～59歳	計	56	1	54	20	6	8	145
	割合	58.3%	1.0%	56.3%	20.8%	6.3%	8.3%	
60歳～69歳	計	89	1	81	19	9	3	202
	割合	69.5%	0.8%	63.3%	14.8%	7.0%	2.3%	
70歳～79歳	計	66	0	67	18	11	1	163
	割合	62.9%	0.0%	63.8%	17.1%	10.5%	1.0%	
80歳以上	計	25	1	30	6	2	2	66
	割合	64.1%	2.6%	76.9%	15.4%	5.1%	5.1%	

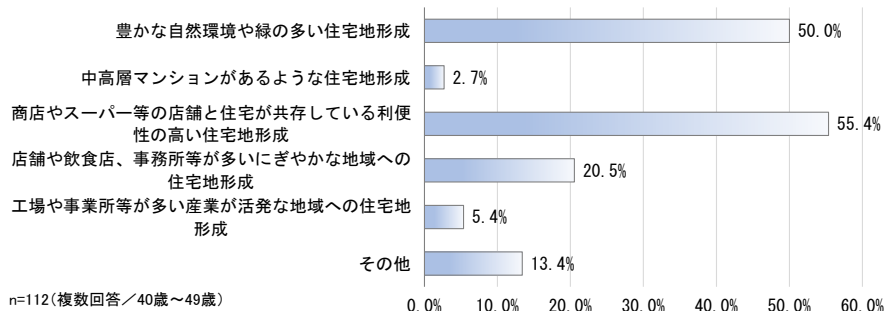
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



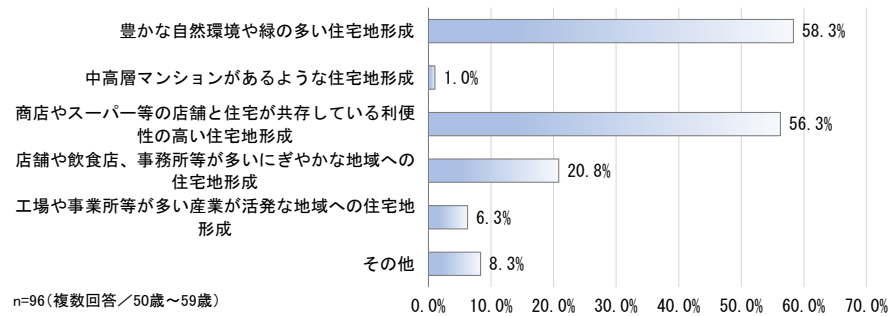
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



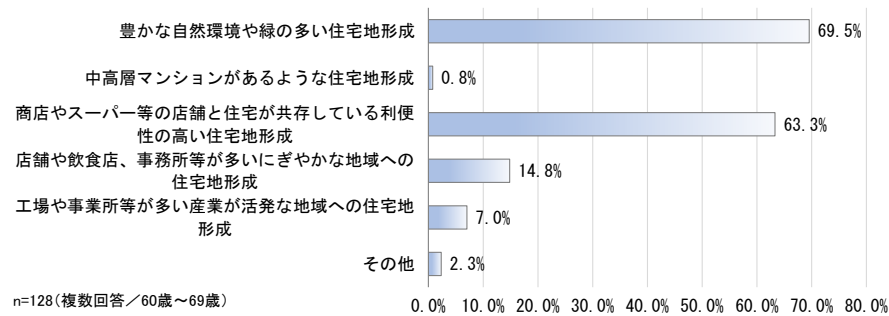
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



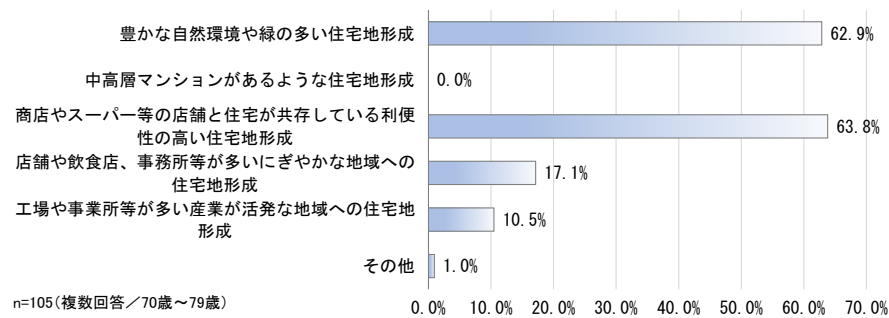
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



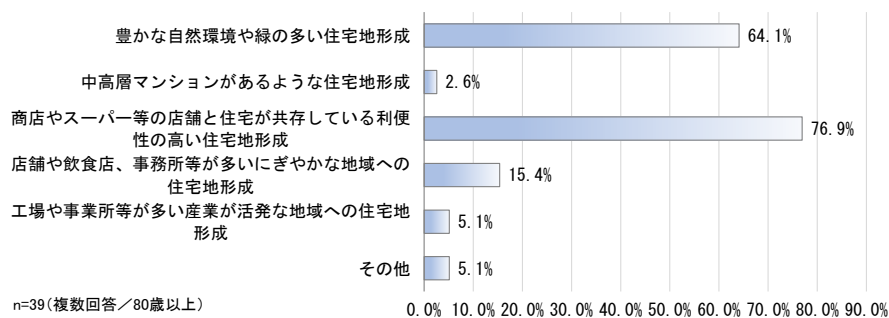
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



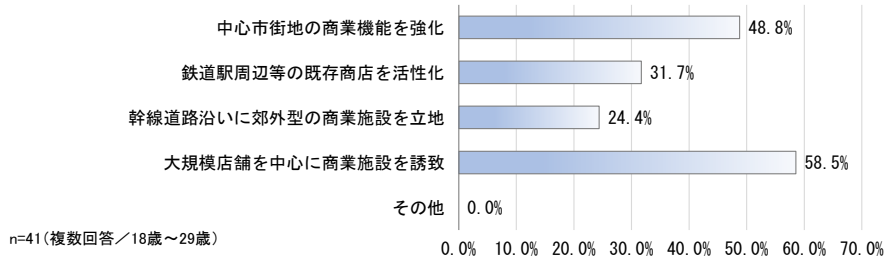
○今後、進めてほしいと思うこと【住宅地】

住宅地の分野については 29 歳以下、50 歳~69 歳では「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」が、30 歳~49 歳、70 歳以上では「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」がそれぞれ 50%以上と最も多かった。また、29 歳以下で「店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成」が他の年齢に比べ多くなっている。

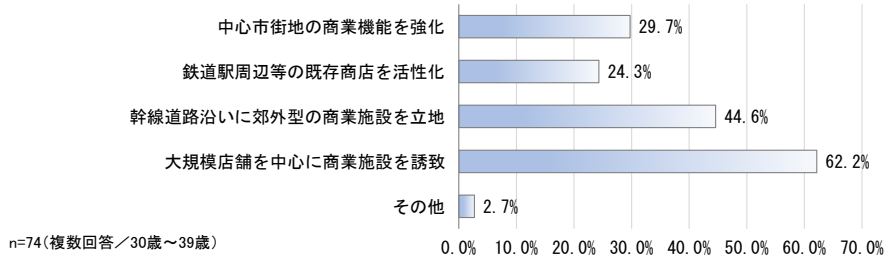
【商業地】〈2つまで〇〉

区分		中心市街地の商業機能を強化	鉄道駅周辺等の既存商店を活性化	幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地	大規模店舗を中心に商業施設を誘致	その他	合計
18歳～29歳	計	20	13	10	24	0	67
	割合	48.8%	31.7%	24.4%	58.5%	0.0%	
30歳～39歳	計	22	18	33	46	2	121
	割合	29.7%	24.3%	44.6%	62.2%	2.7%	
40歳～49歳	計	30	25	46	57	5	163
	割合	26.8%	22.3%	41.1%	50.9%	4.5%	
50歳～59歳	計	29	25	42	43	5	144
	割合	30.2%	26.0%	43.8%	44.8%	5.2%	
60歳～69歳	計	44	34	55	65	1	199
	割合	34.4%	26.6%	43.0%	50.8%	0.8%	
70歳～79歳	計	19	33	35	54	1	142
	割合	18.1%	31.4%	33.3%	51.4%	1.0%	
80歳以上	計	18	9	14	17	0	58
	割合	46.2%	23.1%	35.9%	43.6%	0.0%	

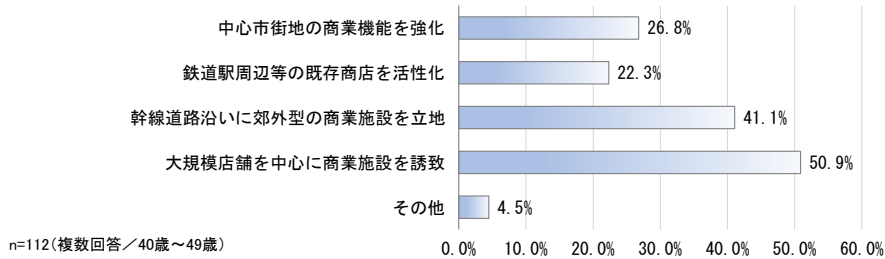
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



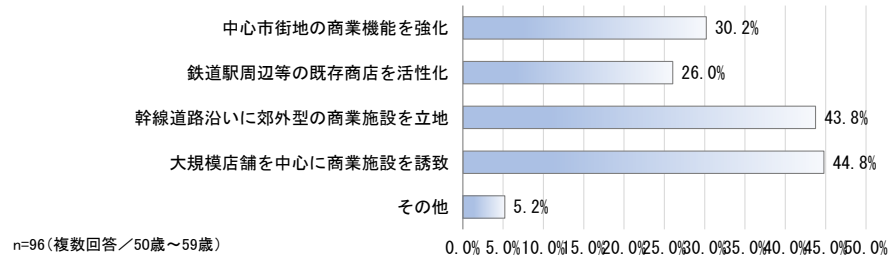
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



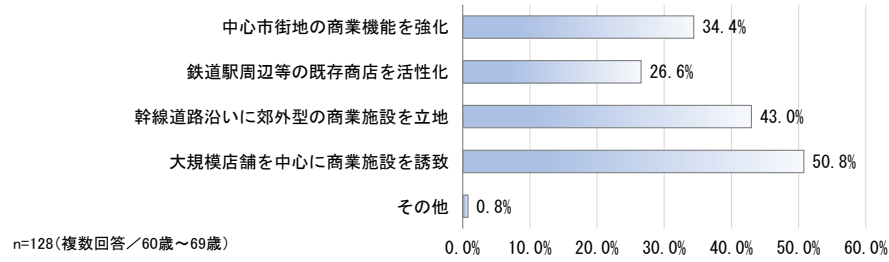
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



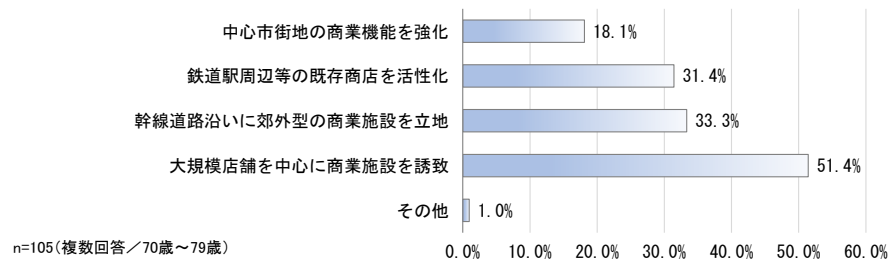
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



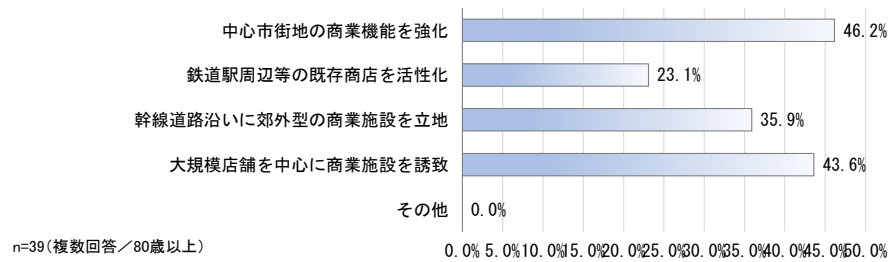
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



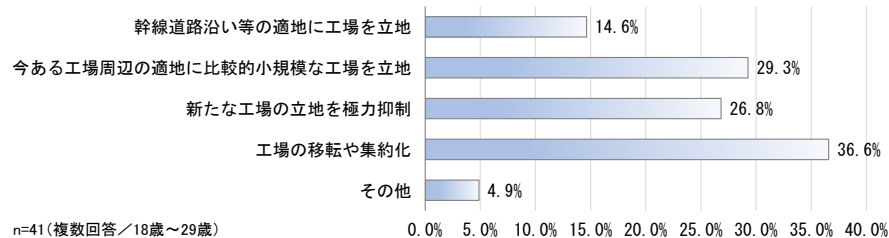
○今後、進めてほしいと思うこと【商業地】

商業地の分野については18歳～79歳では「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」が最も多く、80歳以上では「中心市街地の商業機能を強化」が最も多かった。また、30歳～69歳で「幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地」が40%以上となっている。

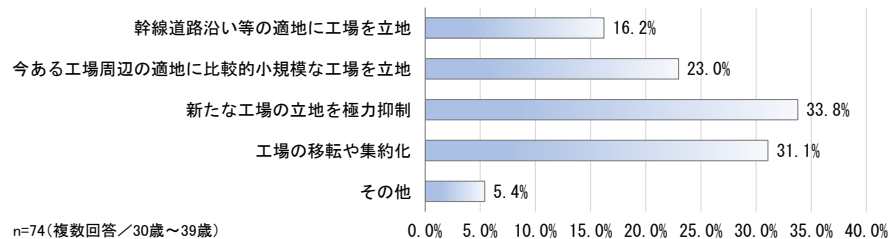
【工業地】〈2つまで〇〉

区分		幹線道路沿い等の適地に工場を立地	今ある工場周辺の適地に比較的小規模な工場を立地	新たな工場の立地を極力抑制	工場の移転や集約化	その他	合計
18歳～29歳	計	6	12	11	15	2	46
	割合	14.6%	29.3%	26.8%	36.6%	4.9%	
30歳～39歳	計	12	17	25	23	4	81
	割合	16.2%	23.0%	33.8%	31.1%	5.4%	
40歳～49歳	計	34	28	21	35	8	126
	割合	30.4%	25.0%	18.8%	31.3%	7.1%	
50歳～59歳	計	24	21	30	31	7	113
	割合	25.0%	21.9%	31.3%	32.3%	7.3%	
60歳～69歳	計	44	29	40	36	3	152
	割合	34.4%	22.7%	31.3%	28.1%	2.3%	
70歳～79歳	計	38	16	21	34	0	109
	割合	36.2%	15.2%	20.0%	32.4%	0.0%	
80歳以上	計	12	10	10	11	1	44
	割合	30.8%	25.6%	25.6%	28.2%	2.6%	

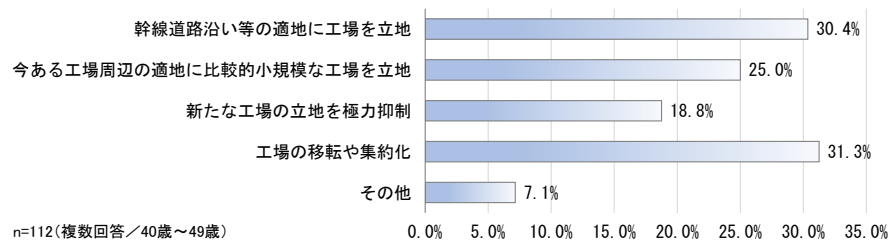
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



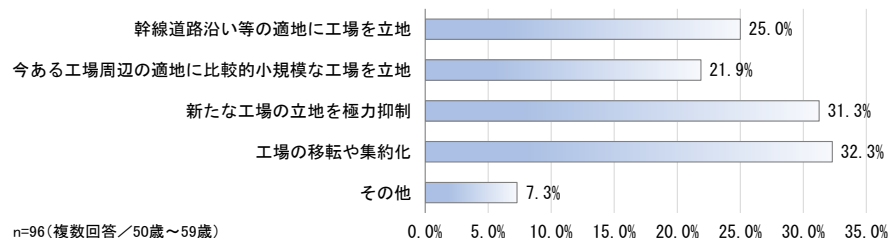
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



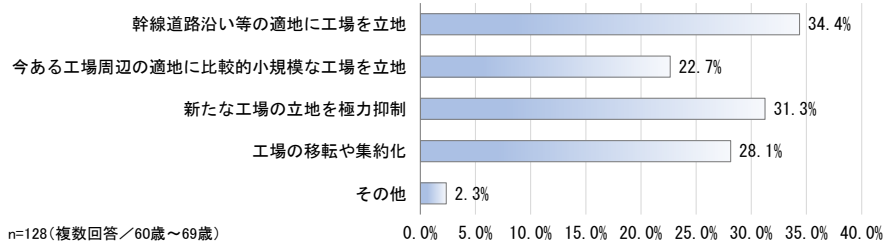
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



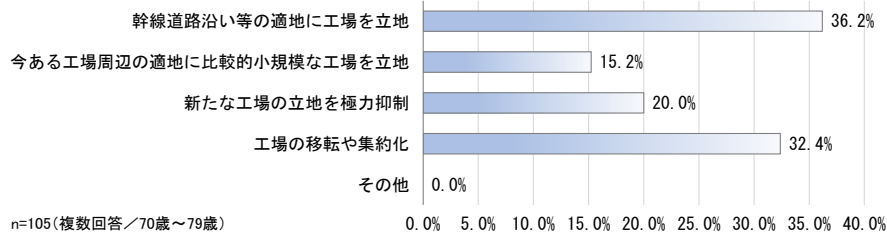
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



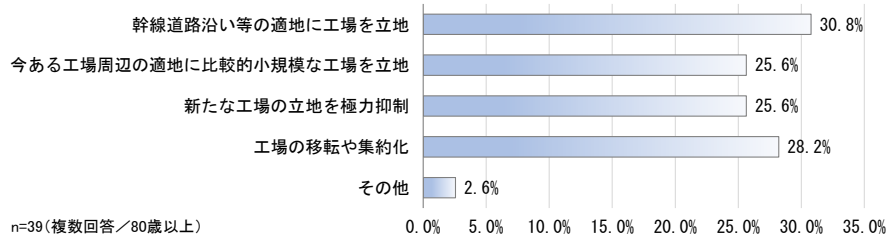
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



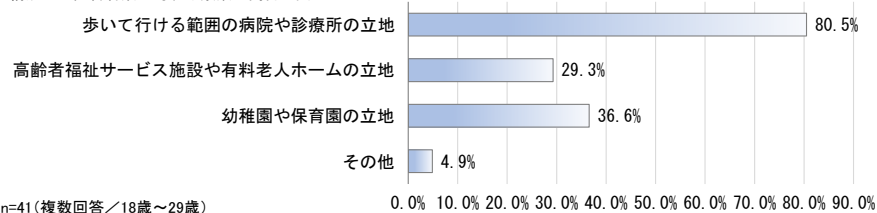
○今後、進めてほしいと思うこと【工業地】

工業地の分野については29歳以下、40歳~59歳では「工場の移転や集約化」、60歳以上では「幹線道路沿い等の適地に工場を立地」、30歳~39歳では「新たな工場の立地を極力抑制」がそれぞれ30%以上と最も多かった。

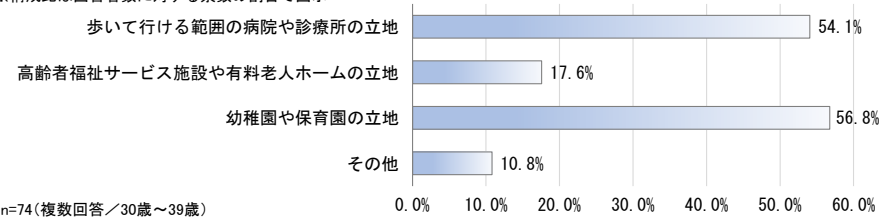
【生活サービス施設等】〈2つまで〇〉

区分		歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地	高齢者福祉サービス施設や有料老人ホームの立地	幼稚園や保育園の立地	その他	合計
18歳～29歳	計	33	12	15	2	62
	割合	80.5%	29.3%	36.6%	4.9%	
30歳～39歳	計	40	13	42	8	103
	割合	54.1%	17.6%	56.8%	10.8%	
40歳～49歳	計	76	33	21	12	142
	割合	67.9%	29.5%	18.8%	10.7%	
50歳～59歳	計	67	44	15	6	132
	割合	69.8%	45.8%	15.6%	6.3%	
60歳～69歳	計	91	74	17	4	186
	割合	71.1%	57.8%	13.3%	3.1%	
70歳～79歳	計	79	56	17	1	153
	割合	75.2%	53.3%	16.2%	1.0%	
80歳以上	計	29	26	3	1	59
	割合	74.4%	66.7%	7.7%	2.6%	

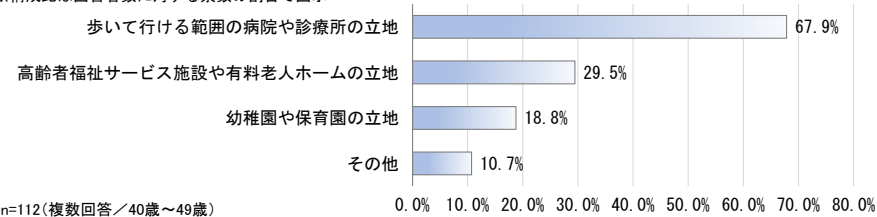
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



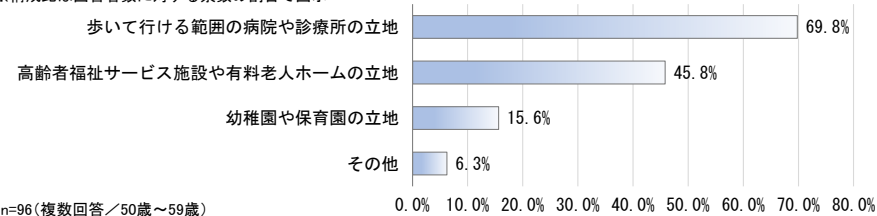
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



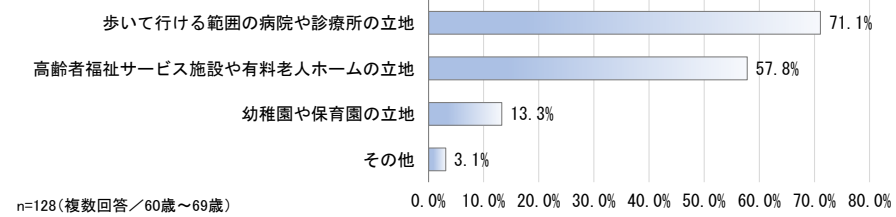
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



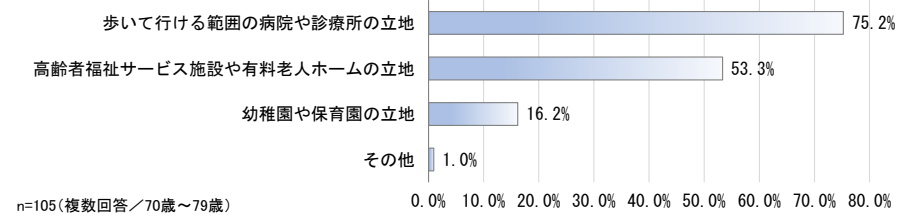
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



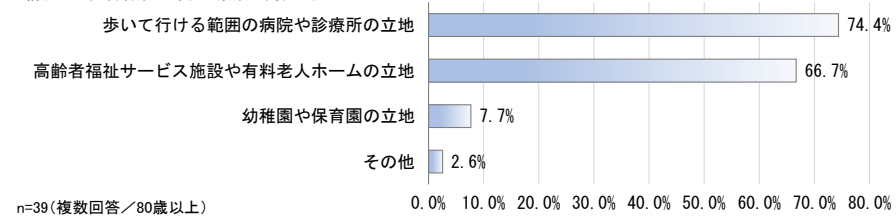
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



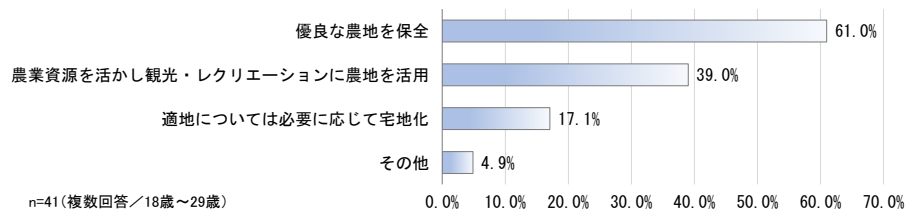
○今後、進めてほしいと思うこと【生活サービス施設等】

生活サービス施設等の分野については、ほとんどの年代では「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が60%以上と最も多くなっており、30歳~39歳では「幼稚園や保育園の立地」が56.8%と最も多かった。また、60歳以上では「高齢者福祉サービス施設や有料老人ホームの立地」が50%以上となっている。

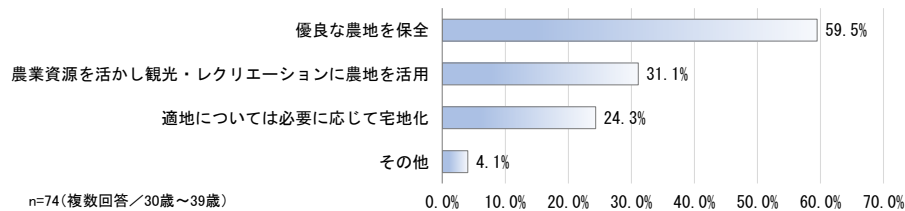
【農地】〈2つまで〇〉

区分		優良な農地を保全	農業資源を活かし観光・レクリエーションに農地を活用	適地については必要に応じて宅地化	その他	合計
18歳～29歳	計	25	16	7	2	50
	割合	61.0%	39.0%	17.1%	4.9%	
30歳～39歳	計	44	23	18	3	88
	割合	59.5%	31.1%	24.3%	4.1%	
40歳～49歳	計	72	47	20	2	141
	割合	64.3%	42.0%	17.9%	1.8%	
50歳～59歳	計	49	44	26	5	124
	割合	51.0%	45.8%	27.1%	5.2%	
60歳～69歳	計	84	51	28	2	165
	割合	65.6%	39.8%	21.9%	1.6%	
70歳～79歳	計	60	38	25	2	125
	割合	57.1%	36.2%	23.8%	1.9%	
80歳以上	計	23	12	10	2	47
	割合	59.0%	30.8%	25.6%	5.1%	

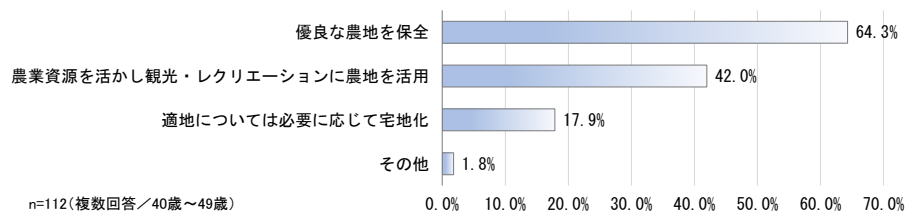
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



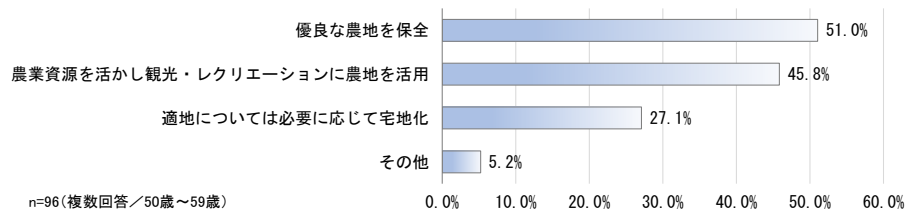
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



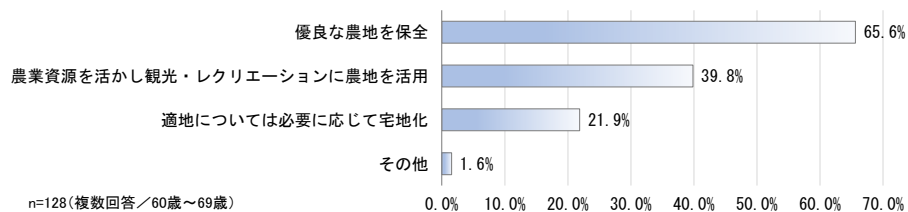
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



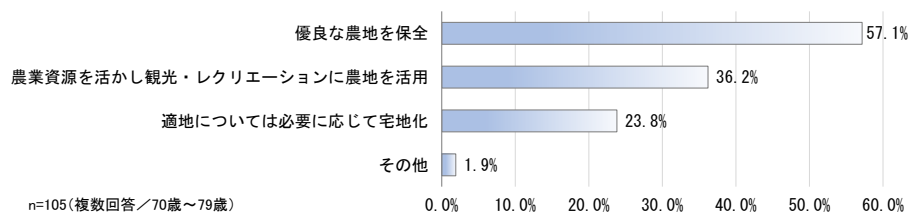
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



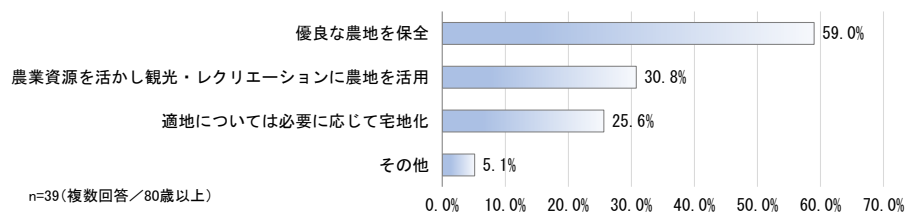
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



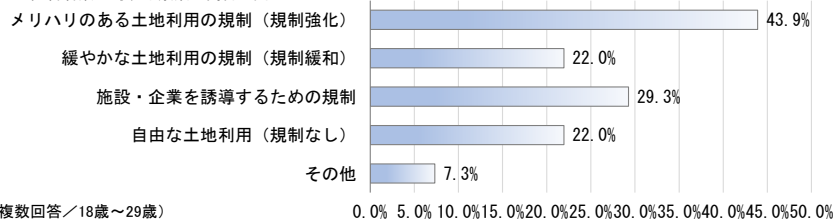
○今後、進めてほしいと思うこと【農地】

農地の分野については、すべての年代で「優良な農地を保全」が 50%以上と最も多く、次いで「農業資源を活かし観光・レクリエーションに農地を活用」が 30%を超えている。

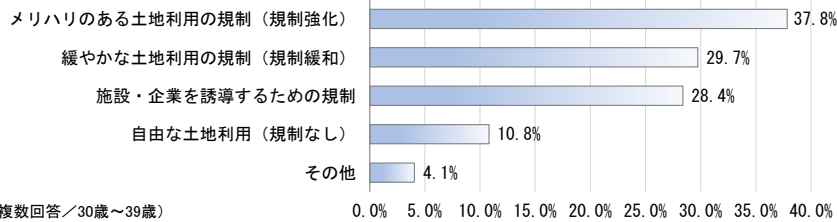
【土地利用の規制・誘導】〈2つまで〇〉

区分		メリハリのある土地利用の規制 (規制強化)	緩やかな土地利用の規制 (規制緩和)	施設・企業を誘導するための規制	自由な土地利用 (規制なし)	その他	合計
18歳～29歳	計	18	9	12	9	3	51
	割合	43.9%	22.0%	29.3%	22.0%	7.3%	
30歳～39歳	計	28	22	21	8	3	82
	割合	37.8%	29.7%	28.4%	10.8%	4.1%	
40歳～49歳	計	46	28	36	13	5	128
	割合	41.1%	25.0%	32.1%	11.6%	4.5%	
50歳～59歳	計	45	24	35	7	5	116
	割合	46.9%	25.0%	36.5%	7.3%	5.2%	
60歳～69歳	計	52	47	43	17	2	161
	割合	40.6%	36.7%	33.6%	13.3%	1.6%	
70歳～79歳	計	41	27	25	22	2	117
	割合	39.0%	25.7%	23.8%	21.0%	1.9%	
80歳以上	計	13	15	11	6	2	47
	割合	33.3%	38.5%	28.2%	15.4%	5.1%	

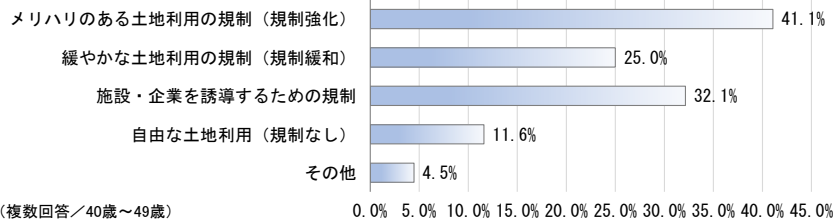
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



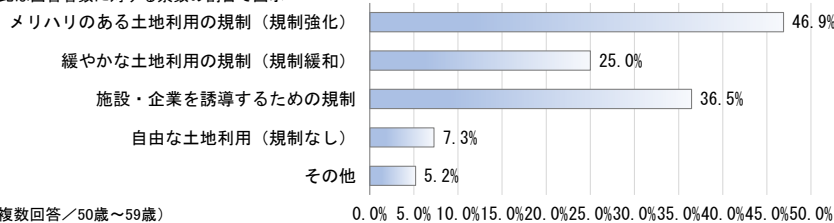
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示

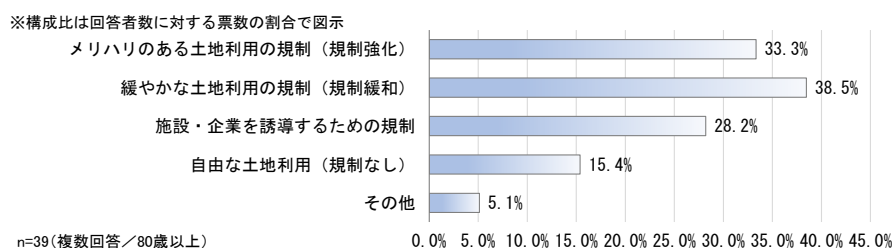
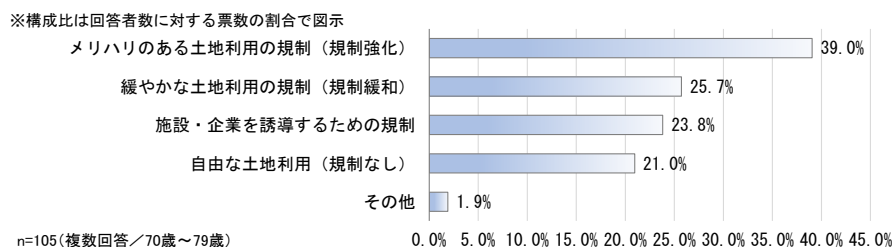
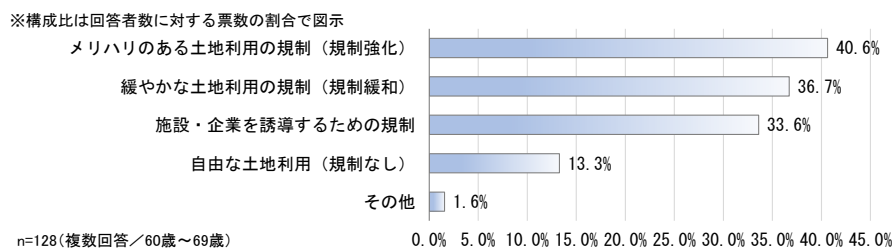


※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示





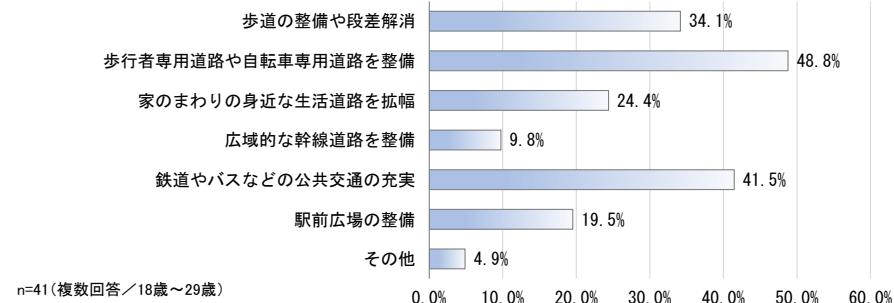
○今後、進めてほしいと思うこと【土地利用の規制・誘導】

土地利用の規制・誘導の分野については、18歳~79歳では「メリハリのある土地利用の規制（規制強化）」がおおよそ40%以上と最も多く80歳以上では、「緩やかな土地利用の規制（規制緩和）」が38.5%と最も多くなっている。

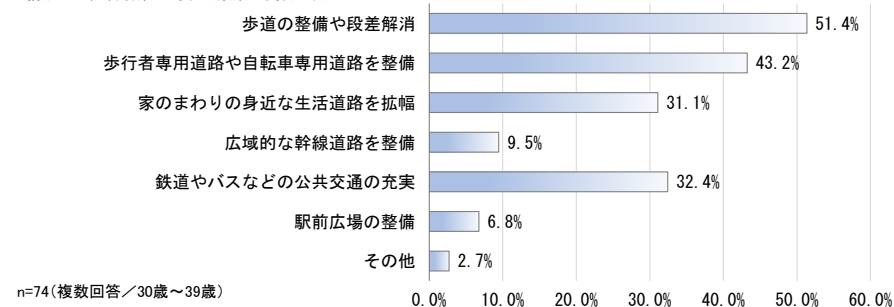
【道路交通】〈2つまで〉

区分		歩道の整備や段差解消	歩行者専用道路や自転車専用道路を整備	家のまわりの身近な生活道路を拡幅	広域的な幹線道路を整備	鉄道やバスなどの公共交通の充実	駅前広場の整備	その他	合計
18歳～29歳	計	14	20	10	4	17	8	2	75
	割合	34.1%	48.8%	24.4%	9.8%	41.5%	19.5%	4.9%	
30歳～39歳	計	38	32	23	7	24	5	2	131
	割合	51.4%	43.2%	31.1%	9.5%	32.4%	6.8%	2.7%	
40歳～49歳	計	38	44	33	12	41	17	5	190
	割合	33.9%	39.3%	29.5%	10.7%	36.6%	15.2%	4.5%	
50歳～59歳	計	42	38	31	9	47	7	3	177
	割合	43.8%	39.6%	32.3%	9.4%	49.0%	7.3%	3.1%	
60歳～69歳	計	61	57	35	19	43	11	1	227
	割合	47.7%	44.5%	27.3%	14.8%	33.6%	8.6%	0.8%	
70歳～79歳	計	45	47	28	8	32	10	4	174
	割合	42.9%	44.8%	26.7%	7.6%	30.5%	9.5%	3.8%	
80歳以上	計	23	16	11	5	8	5	0	68
	割合	59.0%	41.0%	28.2%	12.8%	20.5%	12.8%	0.0%	

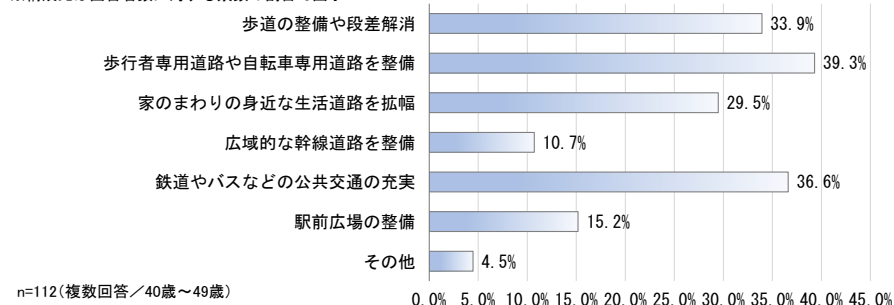
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



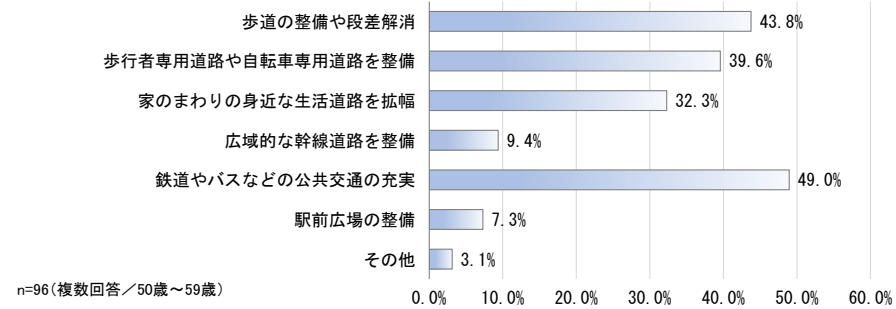
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



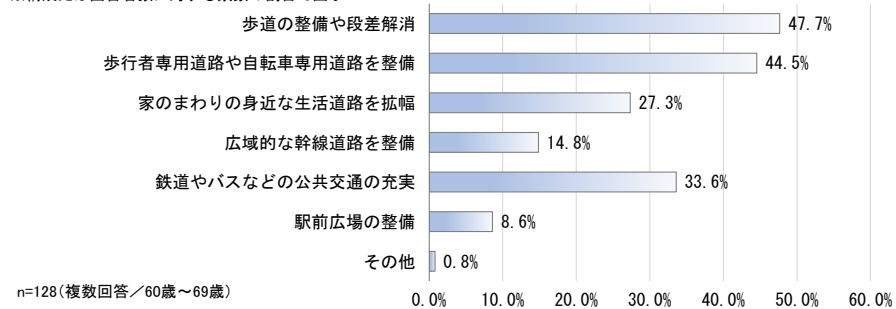
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



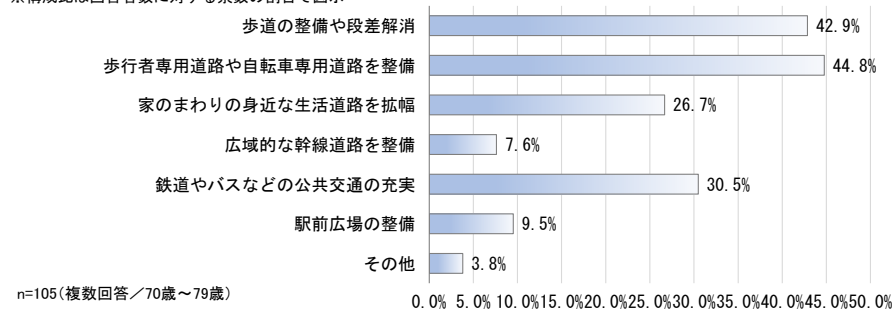
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



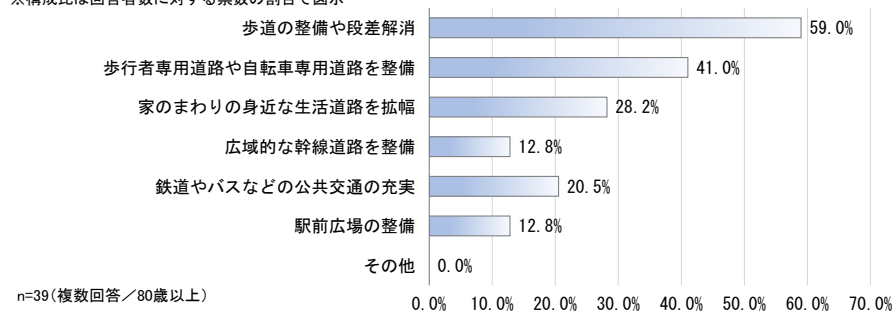
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



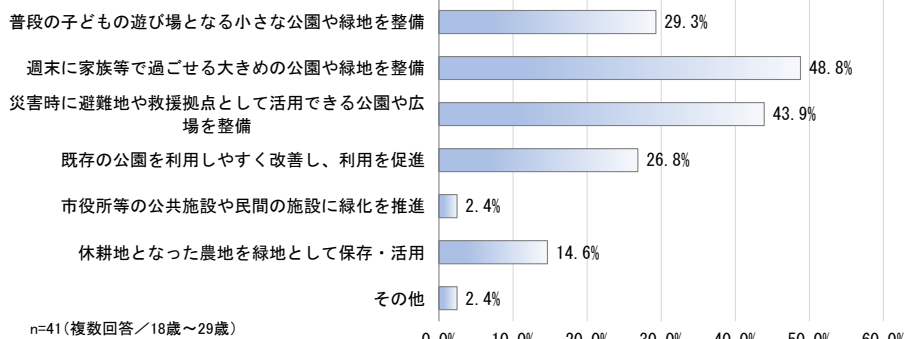
○今後、進めてほしいと思うこと【道路交通】

道路交通の分野については 29 歳以下、40~49 歳、70 歳~79 歳では「歩行者専用道路や自転車専用道路を整備」、30 歳~39 歳、60~69 歳、80 歳以上では「歩道の整備や段差解消」、50 歳~59 歳では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が、それぞれおよそ 40%以上となっており、最も多かった。

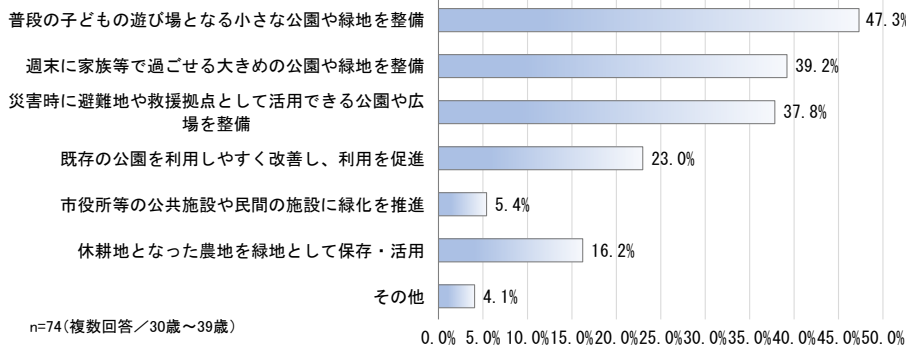
【公園・緑地】〈2つまで〉〇

区分		普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備	週末に家族等で過ごす大きめの公園や緑地を整備	災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備	既存の公園を利用しやすく改善し、利用を促進	市役所等の公共施設や民間の施設に緑化を推進	休耕地となった農地を緑地として保存・活用	その他	合計
18歳～29歳	計	12	20	18	11	1	6	1	69
	割合	29.3%	48.8%	43.9%	26.8%	2.4%	14.6%	2.4%	
30歳～39歳	計	35	29	28	17	4	12	3	128
	割合	47.3%	39.2%	37.8%	23.0%	5.4%	16.2%	4.1%	
40歳～49歳	計	30	34	49	33	4	35	5	190
	割合	26.8%	30.4%	43.8%	29.5%	3.6%	31.3%	4.5%	
50歳～59歳	計	22	42	46	17	7	26	4	164
	割合	22.9%	43.8%	47.9%	17.7%	7.3%	27.1%	4.2%	
60歳～69歳	計	26	47	74	25	10	35	1	218
	割合	20.3%	36.7%	57.8%	19.5%	7.8%	27.3%	0.8%	
70歳～79歳	計	21	27	49	19	6	40	0	162
	割合	20.0%	25.7%	46.7%	18.1%	5.7%	38.1%	0.0%	
80歳以上	計	12	7	25	4	2	13	2	65
	割合	30.8%	17.9%	64.1%	10.3%	5.1%	33.3%	5.1%	

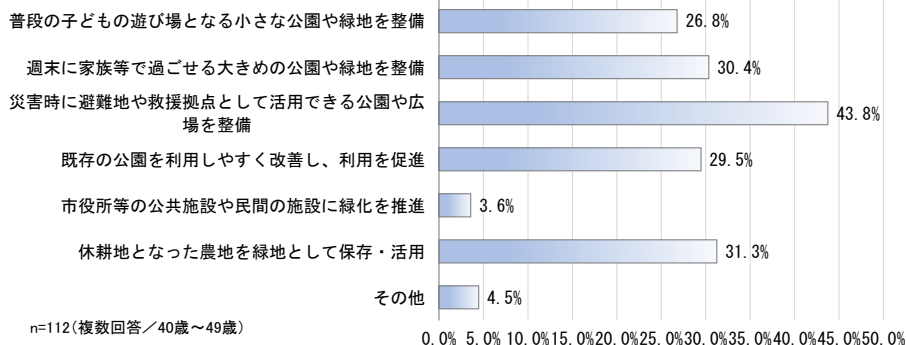
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



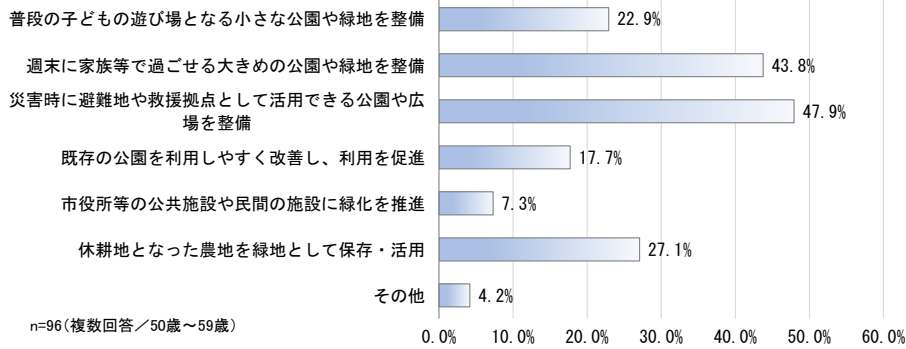
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



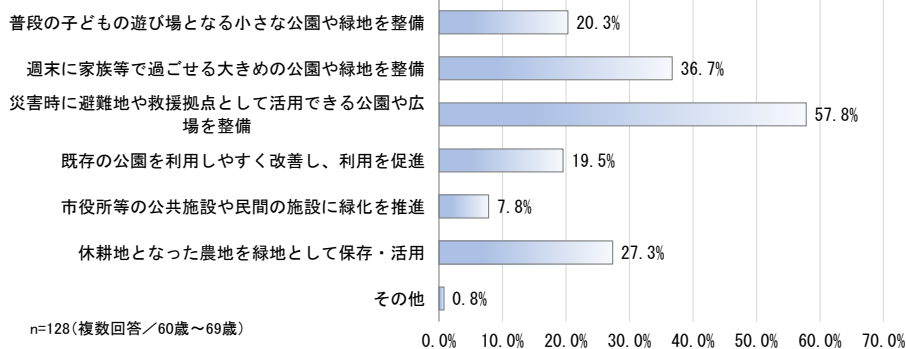
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



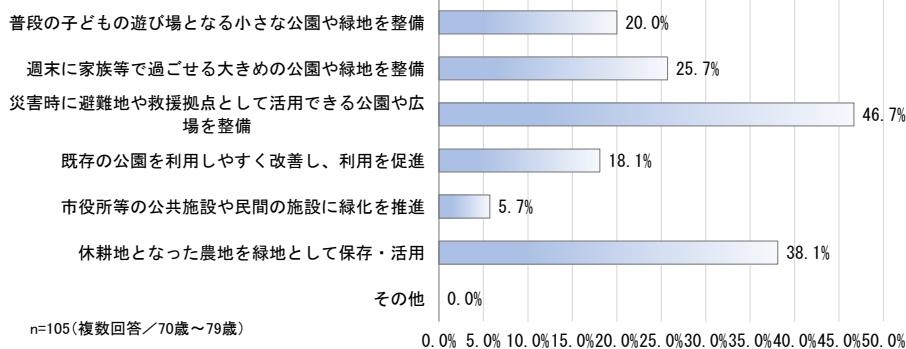
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



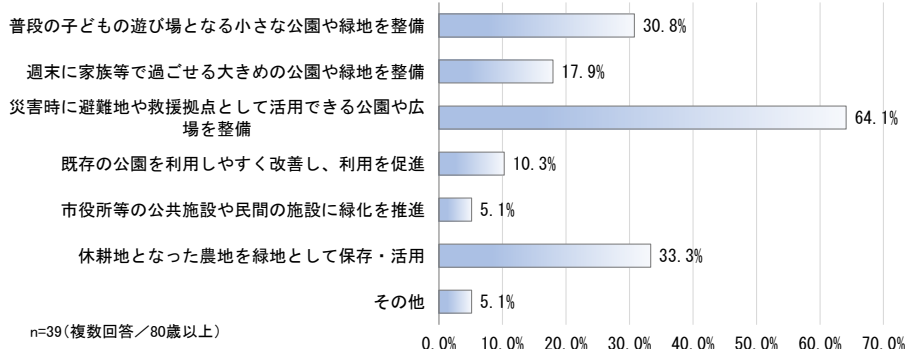
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



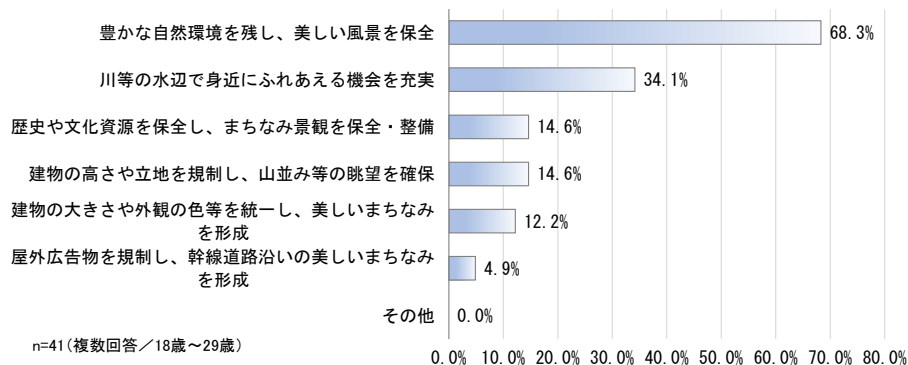
○今後、進めてほしいと思うこと【公園・緑地】

公園・緑地の分野については 40 歳以上が「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備」、29 歳以下は「週末に家族等で過ごせる大きめの公園や緑地を整備」、30 歳~39 歳が「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備」が、それぞれ 40%以上と最も多くなっている。

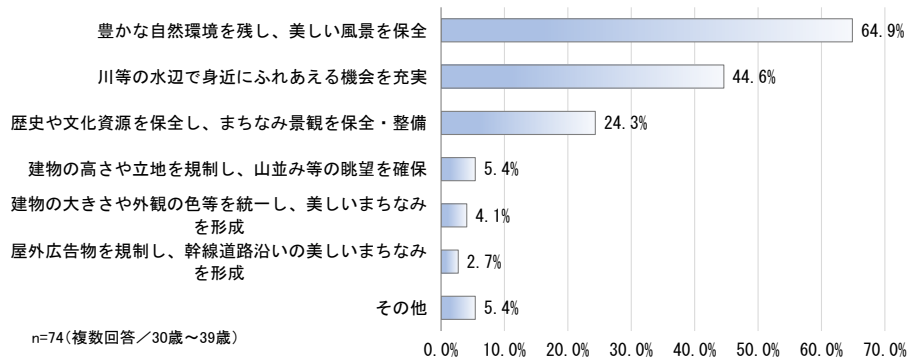
【水や緑の自然環境、景観】〈2つまで〇〉

区分	豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全	川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実	歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備	建物の高さや立地を規制し、山並み等の眺望を確保	建物の大きさや外観の色等を統一し、美しいまちなみを形成	屋外広告物を規制し、幹線道路沿いの美しいまちなみを形成	その他	合計	
18歳～29歳	計	28	14	6	6	5	2	0	61
	割合	68.3%	34.1%	14.6%	14.6%	12.2%	4.9%	0.0%	
30歳～39歳	計	48	33	18	4	3	2	4	112
	割合	64.9%	44.6%	24.3%	5.4%	4.1%	2.7%	5.4%	
40歳～49歳	計	73	39	32	6	6	7	4	167
	割合	65.2%	34.8%	28.6%	5.4%	5.4%	6.3%	3.6%	
50歳～59歳	計	64	33	26	4	8	12	4	151
	割合	66.7%	34.4%	27.1%	4.2%	8.3%	12.5%	4.2%	
60歳～69歳	計	88	38	41	14	4	20	1	206
	割合	68.8%	29.7%	32.0%	10.9%	3.1%	15.6%	0.8%	
70歳～79歳	計	66	14	32	10	16	17	1	156
	割合	62.9%	13.3%	30.5%	9.5%	15.2%	16.2%	1.0%	
80歳以上	計	23	6	13	7	5	3	0	57
	割合	59.0%	15.4%	33.3%	17.9%	12.8%	7.7%	0.0%	

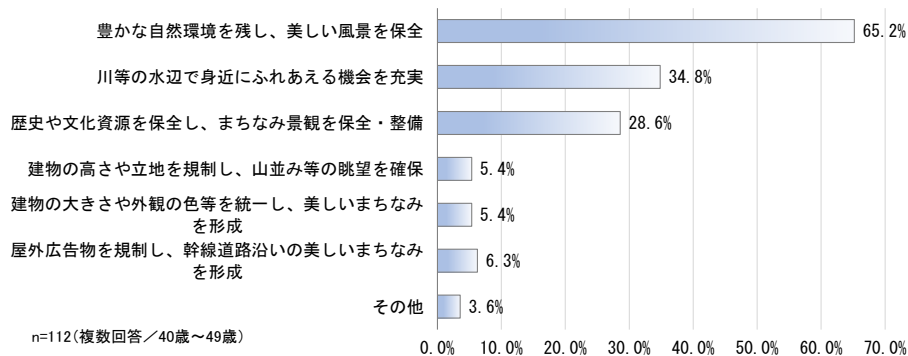
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



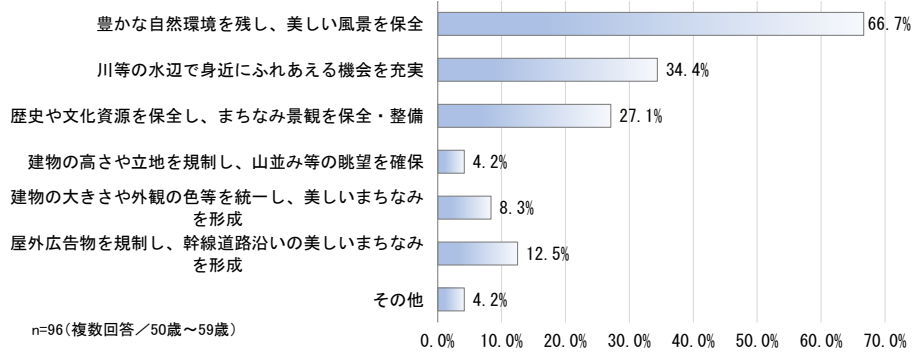
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



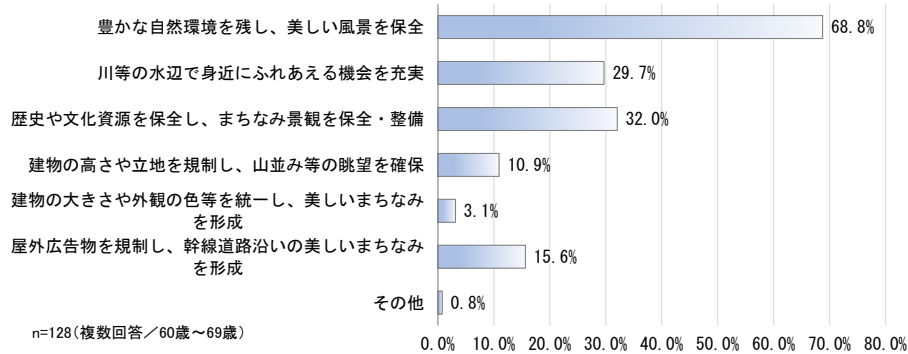
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



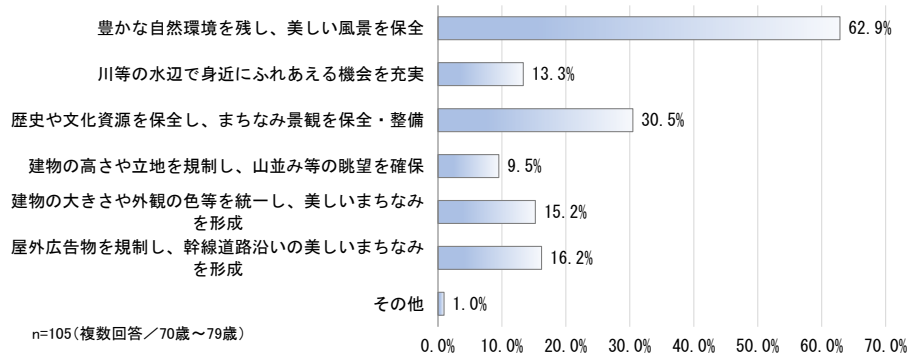
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



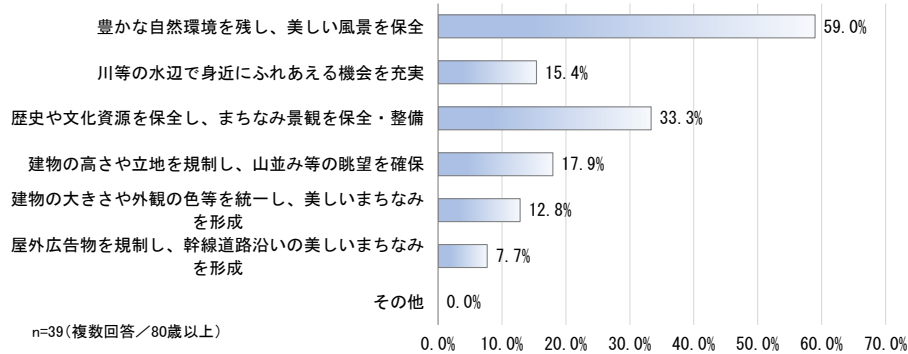
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



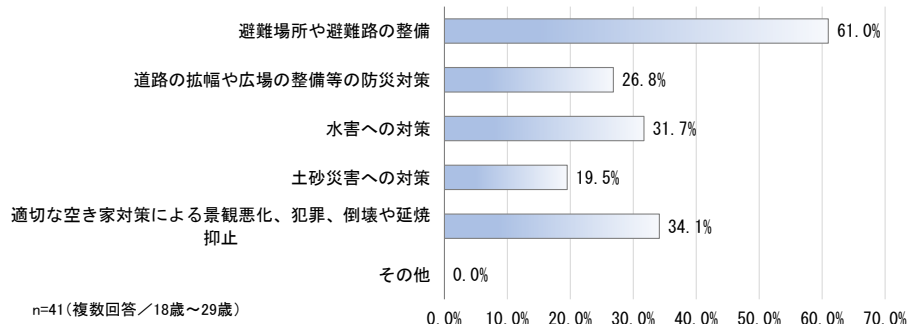
○今後、進めてほしいと思うこと【水や緑の自然環境、景観】

水や緑の自然環境、景観の分野についてはすべての年代で「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」がおよそ60%以上で最も多かった。また、18歳～59歳では「川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実」、60歳以上では「歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備」がそれぞれ30%以上となっている。

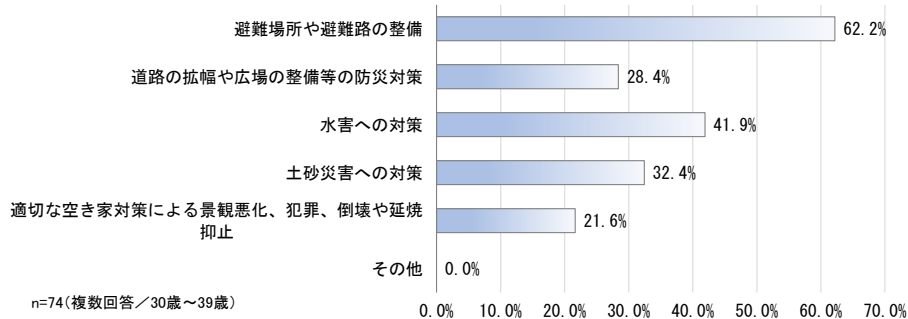
【防災・減災】〈2つまで〇〉

区分		避難場所や避難路の整備	道路の拡幅や広場の整備等の防災対策	水害への対策	土砂災害への対策	適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止	その他	合計
18歳～29歳	計	25	11	13	8	14	0	71
	割合	61.0%	26.8%	31.7%	19.5%	34.1%	0.0%	
30歳～39歳	計	46	21	31	24	16	0	138
	割合	62.2%	28.4%	41.9%	32.4%	21.6%	0.0%	
40歳～49歳	計	44	38	32	33	40	1	188
	割合	39.3%	33.9%	28.6%	29.5%	35.7%	0.9%	
50歳～59歳	計	46	36	33	16	27	2	160
	割合	47.9%	37.5%	34.4%	16.7%	28.1%	2.1%	
60歳～69歳	計	64	48	44	25	47	0	228
	割合	50.0%	37.5%	34.4%	19.5%	36.7%	0.0%	
70歳～79歳	計	57	31	23	14	40	1	166
	割合	54.3%	29.5%	21.9%	13.3%	38.1%	1.0%	
80歳以上	計	16	13	12	6	15	0	62
	割合	41.0%	33.3%	30.8%	15.4%	38.5%	0.0%	

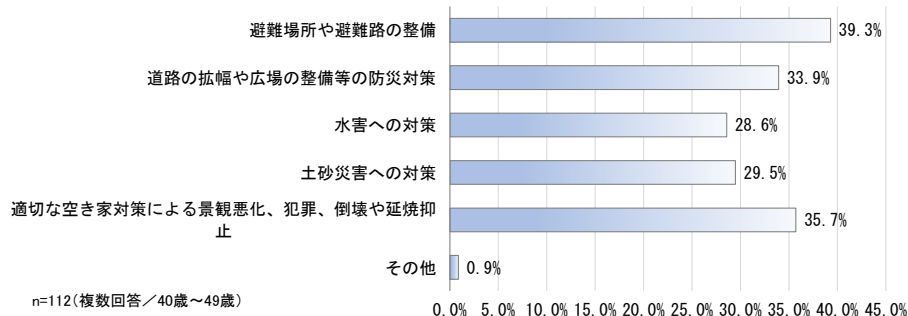
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



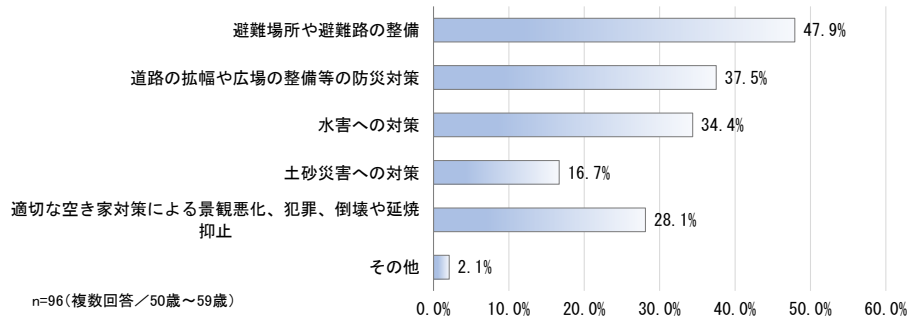
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



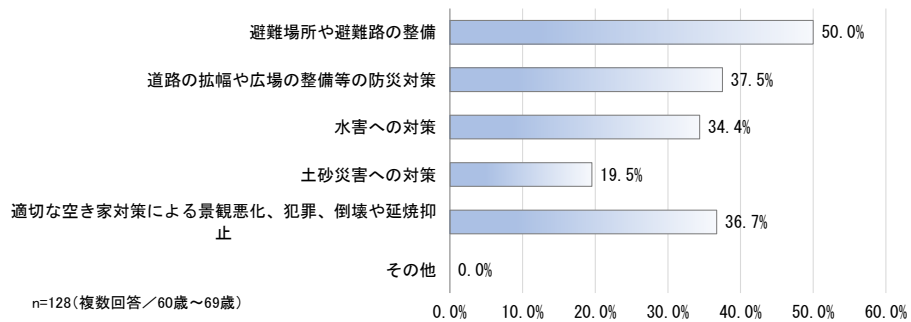
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



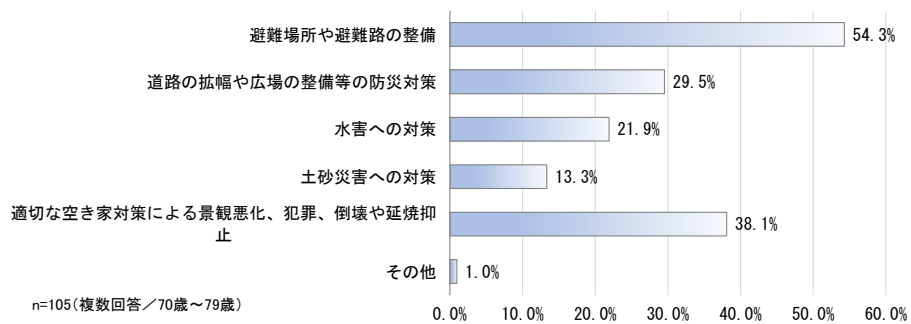
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



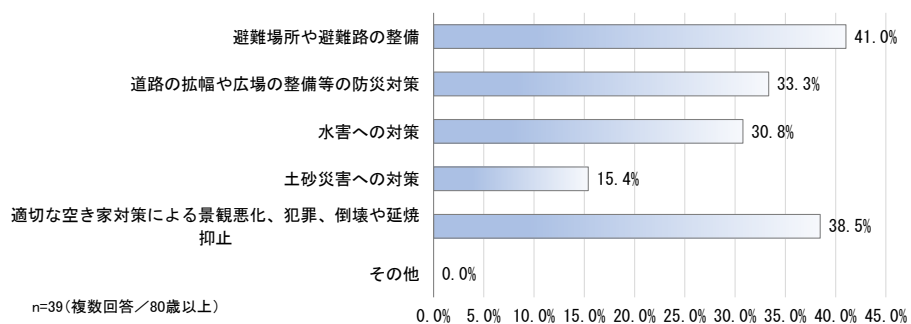
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



○今後、進めてほしいと思うこと【防災・減災】

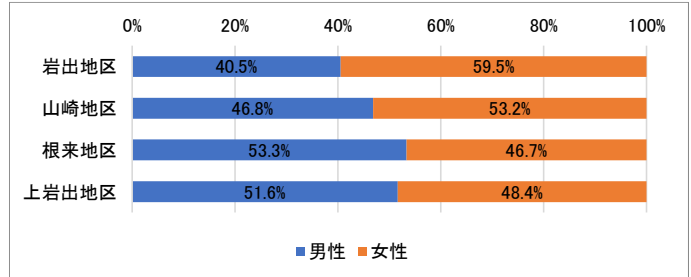
防災・減災の分野についてはすべての年代で「避難場所や避難路の整備」が最も多かった。また、ほとんどの年代で「適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止」や「道路の拡幅や広場の整備等の防災対策」を多く挙げる中、30歳 39 歳では「水害の対策が」40%以上と「避難場所や避難路の整備」に次いで多くなっている。

5. クロス集計結果(地区別)

【属性】

◆問1 あなたの性別を教えてください。(1つだけに○)

区分	計		割合	
	男性	女性	男性	女性
岩出地区	60	88	40.5%	59.5%
山崎地区	74	84	46.8%	53.2%
根来地区	72	63	53.3%	46.7%
上岩出地区	79	74	51.6%	48.4%



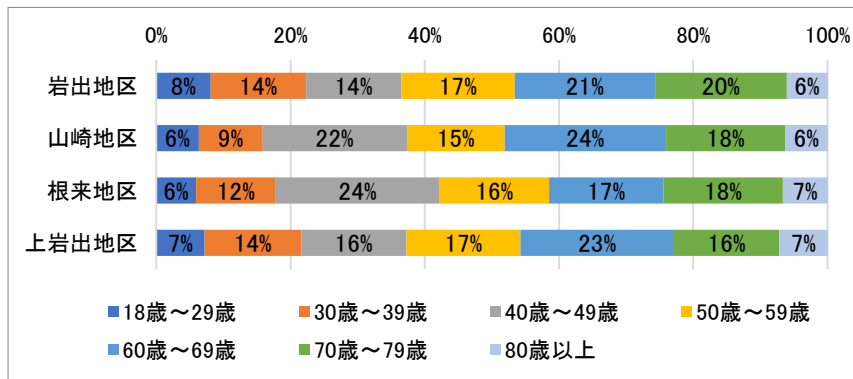
○問1 性別

回答者の性別は、岩出地区、山崎地区では「女性」、根来地区、上岩出地区では「男性」が多くなっている。

◆問2 あなたの年齢を教えてください。(1つだけに○ 令和3年9月1日時点)

区分	計						
	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
岩出地区	12	21	21	25	31	29	9
山崎地区	10	15	34	23	38	28	10
根来地区	8	16	33	22	23	24	9
上岩出地区	11	22	24	26	35	24	11

区分	割合						
	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
岩出地区	8.1%	14.2%	14.2%	16.9%	20.9%	19.6%	6.1%
山崎地区	6.3%	9.5%	21.5%	14.6%	24.1%	17.7%	6.3%
根来地区	5.9%	11.9%	24.4%	16.3%	17.0%	17.8%	6.7%
上岩出地区	7.2%	14.4%	15.7%	17.0%	22.9%	15.7%	7.2%

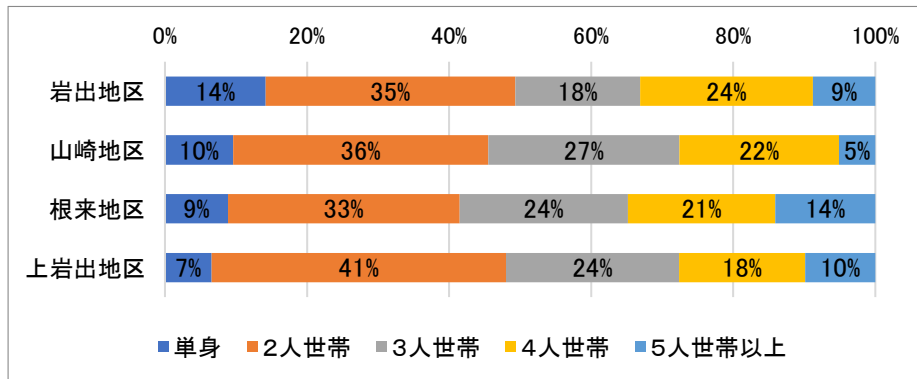


○問2 年齢

回答者の年齢は地区による大きな差はみられない。

◆問3 あなたは何人世帯でお住まいになっていますか。〈1つだけに○〉

区分	計					割合				
	単身	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上	単身	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上
岩出地区	21	52	26	36	13	14.2%	35.1%	17.6%	24.3%	8.8%
山崎地区	15	56	42	35	8	9.6%	35.9%	26.9%	22.4%	5.1%
根来地区	12	44	32	28	19	8.9%	32.6%	23.7%	20.7%	14.1%
上岩出地区	10	63	37	27	15	6.6%	41.4%	24.3%	17.8%	9.9%

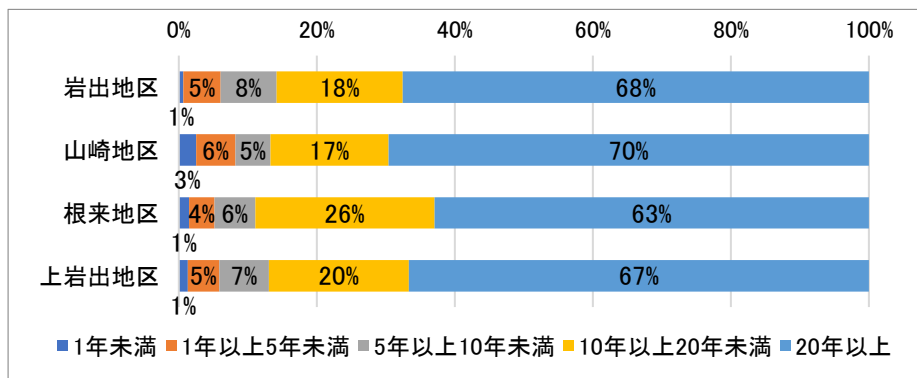


○問3 世帯人員

回答者の世帯人員は、すべての地区で「2人世帯」が30%以上と最も多くなっている。また、根来地区では3人以上世帯が60%弱と他の地区より多く、岩出地区では「単身」が14%と他の地区よりも多くなっている。

◆問4 あなたは岩出市に通算で何年お住まいになっていますか。〈1つだけに○〉

区分	計					割合				
	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
岩出地区	1	8	12	27	100	0.7%	5.4%	8.1%	18.2%	67.6%
山崎地区	4	9	8	27	110	2.5%	5.7%	5.1%	17.1%	69.6%
根来地区	2	5	8	35	85	1.5%	3.7%	5.9%	25.9%	63.0%
上岩出地区	2	7	11	31	102	1.3%	4.6%	7.2%	20.3%	66.7%

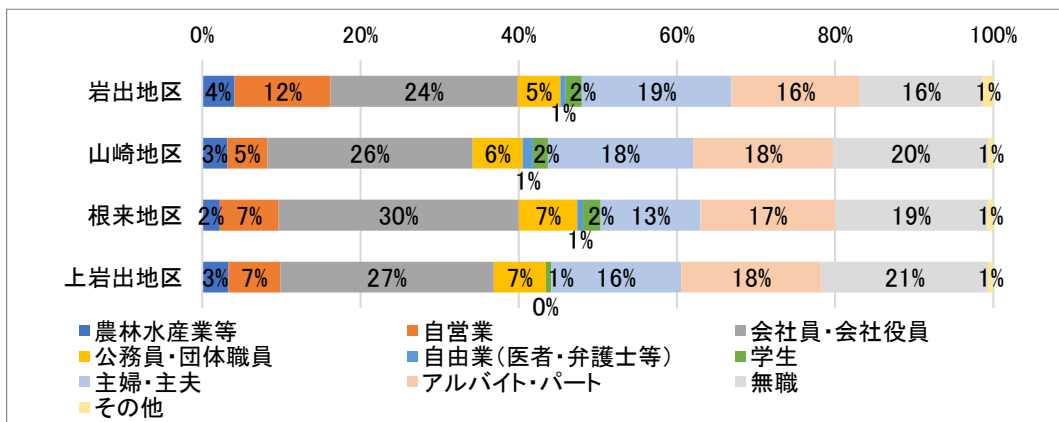


○問4 通算居住年数

回答者の岩出市での通算居住年数については、地区による大きな差はみられない。

◆問6 あなたの職業を教えてください。〈1つだけに○〉

区分	計									
	農林水産業等	自営業	会社員・会社役員	公務員・団体職員	自由業(医者・弁護士等)	学生	主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他
岩出地区	6	18	35	8	1	3	28	24	23	2
山崎地区	5	8	41	10	2	3	29	28	31	1
根来地区	3	10	41	10	1	3	17	23	26	1
上岩出地区	5	10	41	10	0	1	25	27	32	1
区分	割合									
	農林水産業等	自営業	会社員・会社役員	公務員・団体職員	自由業(医者・弁護士等)	学生	主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他
岩出地区	4.1%	12.2%	23.6%	5.4%	0.7%	2.0%	18.9%	16.2%	15.5%	1.4%
山崎地区	3.2%	5.1%	25.9%	6.3%	1.3%	1.9%	18.4%	17.7%	19.6%	0.6%
根来地区	2.2%	7.4%	30.4%	7.4%	0.7%	2.2%	12.6%	17.0%	19.3%	0.7%
上岩出地区	3.3%	6.6%	27.0%	6.6%	0.0%	0.7%	16.4%	17.8%	21.1%	0.7%



○問6 職業

回答者の職業については、すべての地区で「会社員・会社役員」が最も多くなっており、岩出地区では「自営業」が他の地区よりも多くなっている。

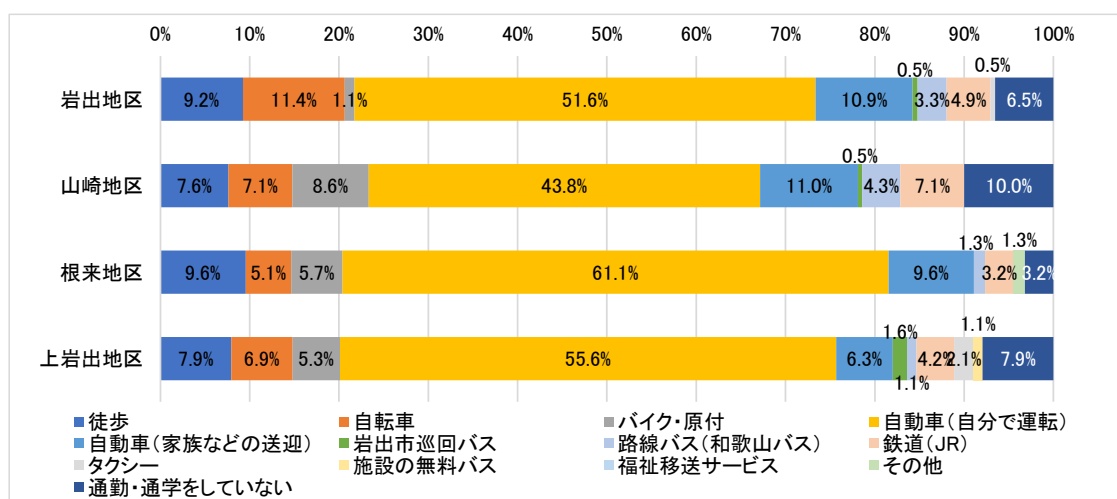
◆問7 あなたの日常の移動手段について教えてください。

①通勤・通学する場合（習い事も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計													合計
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	
岩出地区	17	21	2	95	20	1	6	9	1	0	0	0	12	184
山崎地区	16	15	18	92	23	1	9	15	0	0	0	0	21	210
根来地区	15	8	9	96	15	0	2	5	0	0	0	2	5	157
上岩出地区	15	13	10	105	12	3	2	8	4	2	0	0	15	189

区分	割合													合計
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	
岩出地区	9.2%	11.4%	1.1%	51.6%	10.9%	0.5%	3.3%	4.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	100.0%
山崎地区	7.6%	7.1%	8.6%	43.8%	11.0%	0.5%	4.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
根来地区	9.6%	5.1%	5.7%	61.1%	9.6%	0.0%	1.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	3.2%	100.0%
上岩出地区	7.9%	6.9%	5.3%	55.6%	6.3%	1.6%	1.1%	4.2%	2.1%	1.1%	0.0%	0.0%	7.9%	100.0%

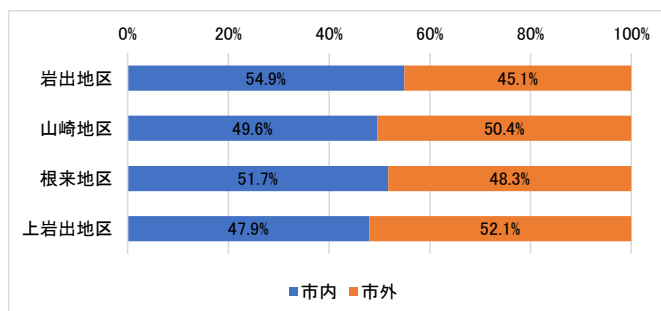


○問7-①-1 交通手段(通勤・通学する場合)

回答者の通勤・通学する場合の交通手段についてはすべての地区で「自動車(自分で運転)」が最も多い。また、岩出地区では「自転車」が11.4%と他の地区より多く、「徒歩」と合わせると20%以上となる。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
岩出地区	67	55	54.9%	45.1%
山崎地区	60	61	49.6%	50.4%
根来地区	60	56	51.7%	48.3%
上岩出地区	58	63	47.9%	52.1%

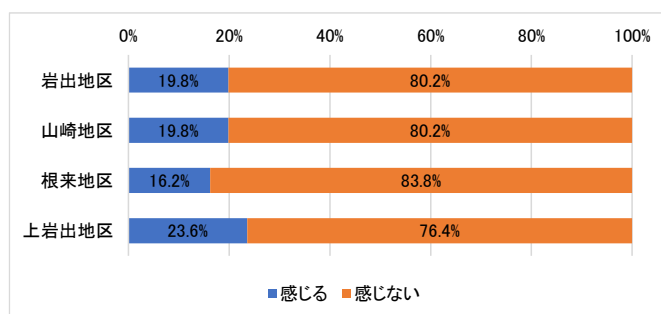


○問7-①-2 目的地(通勤・通学する場合)

回答者の通勤・通学する場合の目的地は、地区による大きな差はみられない。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
岩出地区	24	97	19.8%	80.2%
山崎地区	24	97	19.8%	80.2%
根来地区	19	98	16.2%	83.8%
上岩出地区	29	94	23.6%	76.4%



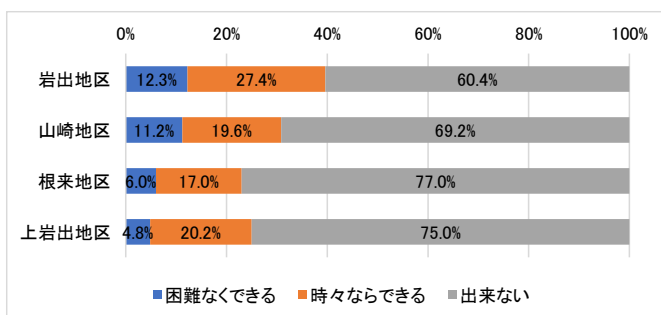
○問7-①-3 移動に不便を感じる（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の移動に不便を感じているかについては、地区による大きな差はみられない。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なくできる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
岩出地区	13	29	64	12.3%	27.4%	60.4%
山崎地区	12	21	74	11.2%	19.6%	69.2%
根来地区	6	17	77	6.0%	17.0%	77.0%
上岩出地区	5	21	78	4.8%	20.2%	75.0%



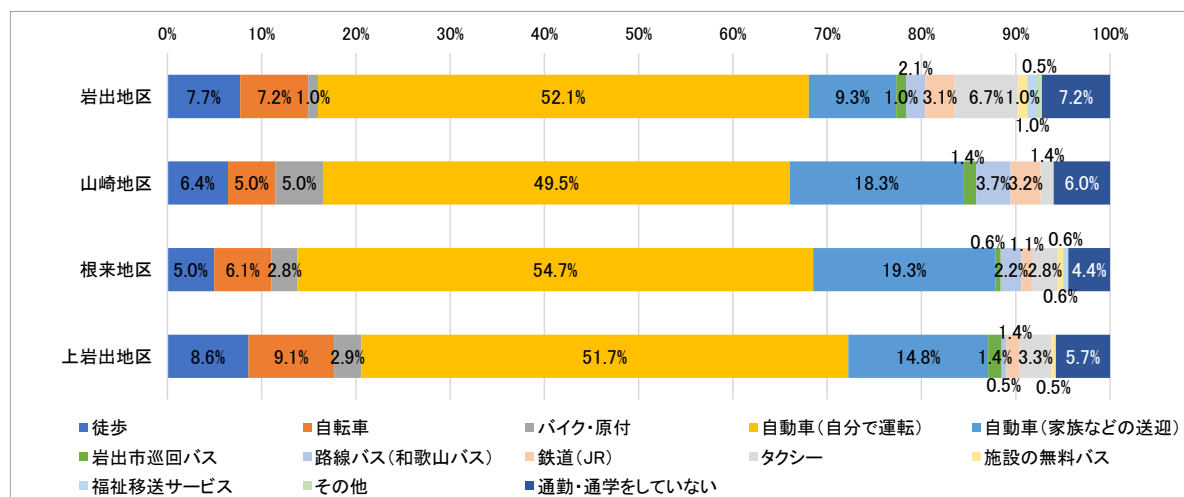
○問7-①-4 公共交通への変更（通勤・通学する場合）

回答者の通勤・通学する場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性についてはどの地区も「できない」が最も多い。一方で、岩出地区では「困難なくできる」「時々ならできる」が併せて40%弱と他の地区よりも多くなっている。

②通院する場合

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

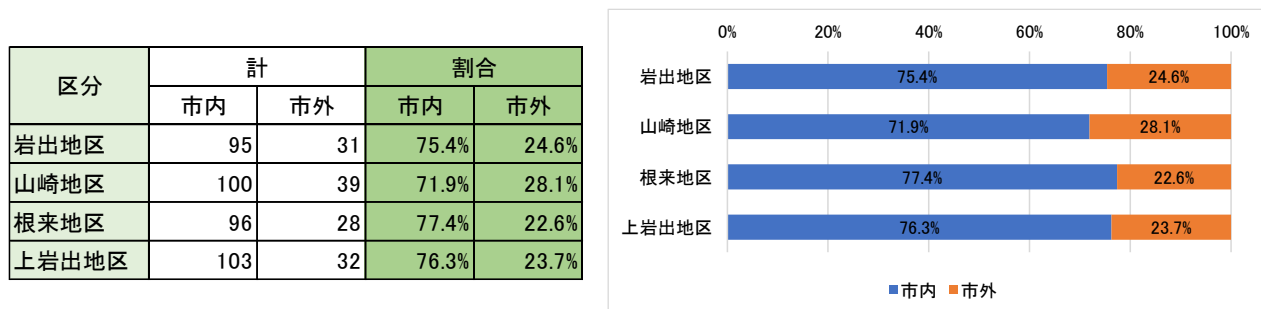
区分	計													合計
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	
岩出地区	15	14	2	101	18	2	4	6	13	2	2	1	14	194
山崎地区	14	11	11	108	40	3	8	7	3	0	0	0	13	218
根来地区	9	11	5	99	35	1	4	2	5	1	1	0	8	181
上岩出地区	18	19	6	108	31	3	1	3	7	1	0	0	12	209
区分	割合													合計
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	
岩出地区	7.7%	7.2%	1.0%	52.1%	9.3%	1.0%	2.1%	3.1%	6.7%	1.0%	1.0%	0.5%	7.2%	100.0%
山崎地区	6.4%	5.0%	5.0%	49.5%	18.3%	1.4%	3.7%	3.2%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	100.0%
根来地区	5.0%	6.1%	2.8%	54.7%	19.3%	0.6%	2.2%	1.1%	2.8%	0.6%	0.6%	0.0%	4.4%	100.0%
上岩出地区	8.6%	9.1%	2.9%	51.7%	14.8%	1.4%	0.5%	1.4%	3.3%	0.5%	0.0%	0.0%	5.7%	100.0%



○問7-②-1 交通手段(通院する場合)

回答者の通院する場合の交通手段については、どの地区も「自動車(自分で運転)」が最も多い。また、岩出地区、上岩出地区では「徒歩」「自転車」が他の地区よりも多く、岩出地区については、「自動車(家族などの送迎)」が他の地区よりも少なく、「タクシー」が多くなっている。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

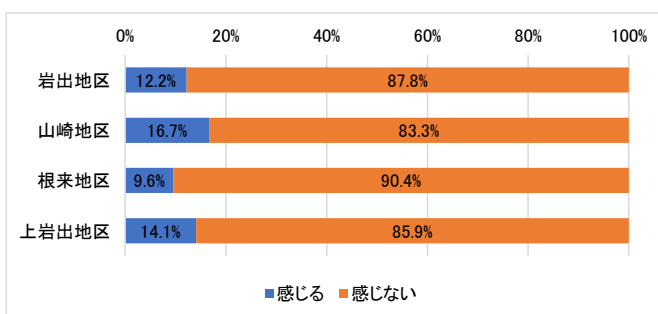


○問7-②-2 目的地(通院する場合)

回答者の通院する場合の目的地は、地区による大きな差はみられない。

3) 移動に不便を感じていますか(「感じる」と回答した方はその理由)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
岩出地区	15	108	12.2%	87.8%
山崎地区	22	110	16.7%	83.3%
根来地区	12	113	9.6%	90.4%
上岩出地区	19	116	14.1%	85.9%



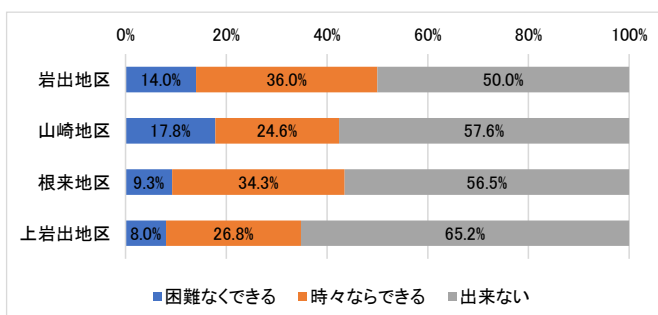
○問7-②-3 移動に不便を感じる(通院する場合)

回答者の通院する場合の移動に不便を感じているかについては、地域による大きな差はみられないが、根来地区が「感じない」が90%以上で他の地区よりもやや多くなっている。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なくできる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
岩出地区	14	36	50	14.0%	36.0%	50.0%
山崎地区	21	29	68	17.8%	24.6%	57.6%
根来地区	10	37	61	9.3%	34.3%	56.5%
上岩出地区	9	30	73	8.0%	26.8%	65.2%



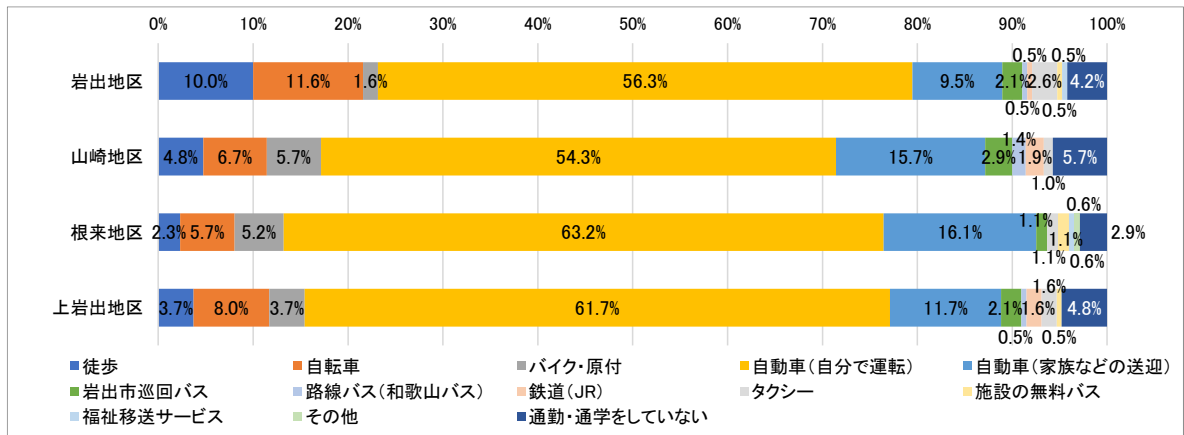
○問7-②-4 公共交通への変更(通院する場合)

回答者の通院する場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性についてはどの地区も「できない」が50%以上で最も多く、中でも上岩出地区では65.2%と他の地区よりも多くなっている。

③公共施設に行く場合(市役所など)

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計												合計	
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他		通勤・通学をしていない
岩出地区	19	22	3	107	18	4	1	1	5	1	1	0	8	190
山崎地区	10	14	12	114	33	6	3	4	2	0	0	0	12	210
根来地区	4	10	9	110	28	2	0	0	2	2	1	1	5	174
上岩出地区	7	15	7	116	22	4	1	3	3	1	0	0	9	188
区分	割合												合計	
区分	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他		通勤・通学をしていない
岩出地区	10.0%	11.6%	1.6%	56.3%	9.5%	2.1%	0.5%	0.5%	2.6%	0.5%	0.5%	0.0%	4.2%	100.0%
山崎地区	4.8%	6.7%	5.7%	54.3%	15.7%	2.9%	1.4%	1.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	100.0%
根来地区	2.3%	5.7%	5.2%	63.2%	16.1%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	0.6%	0.6%	2.9%	100.0%
上岩出地区	3.7%	8.0%	3.7%	61.7%	11.7%	2.1%	0.5%	1.6%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%

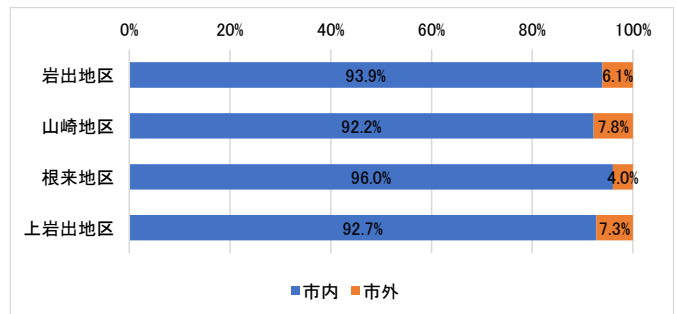


○問7-③-1 交通手段(公共施設に行く場合)

回答者の公共施設に行く場合の交通手段はどの地区も「自動車(自分で運転)」が最も多い。また、岩出地区では「徒歩」「自転車」の割合が他の地区よりも多く、「自動車(家族などの送迎)」少なくなっている。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
岩出地区	124	8	93.9%	6.1%
山崎地区	130	11	92.2%	7.8%
根来地区	121	5	96.0%	4.0%
上岩出地区	127	10	92.7%	7.3%

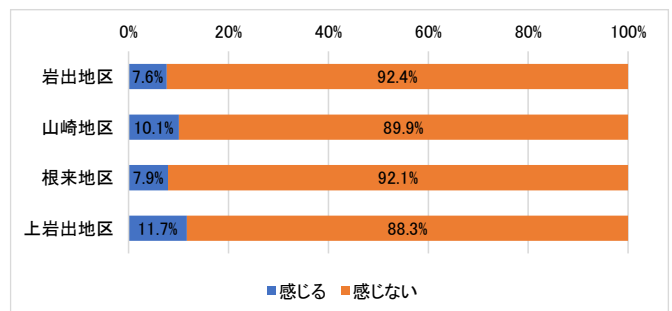


○問7-③-2 目的地(公共施設に行く場合)

回答者の公共施設に行く場合の目的地は、地区による大きな差はみられない。

3) 移動に不便を感じていますか(「感じる」と回答した方はその理由)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
岩出地区	10	121	7.6%	92.4%
山崎地区	14	125	10.1%	89.9%
根来地区	10	117	7.9%	92.1%
上岩出地区	16	121	11.7%	88.3%



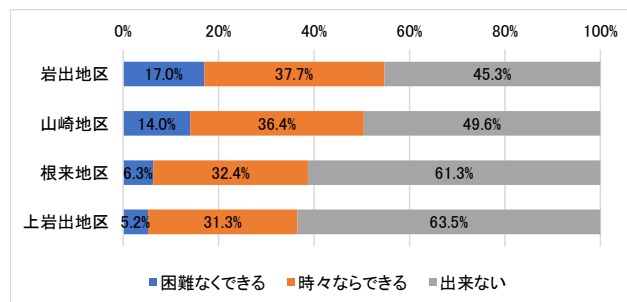
○問7-③-3 移動に不便を感じる(公共施設に行く場合)

回答者の公共施設に行く場合の移動に不便を感じているかについては、地区による大きな差はみられない。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なく できる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
岩出地区	18	40	48	17.0%	37.7%	45.3%
山崎地区	17	44	60	14.0%	36.4%	49.6%
根来地区	7	36	68	6.3%	32.4%	61.3%
上岩出地区	6	36	73	5.2%	31.3%	63.5%



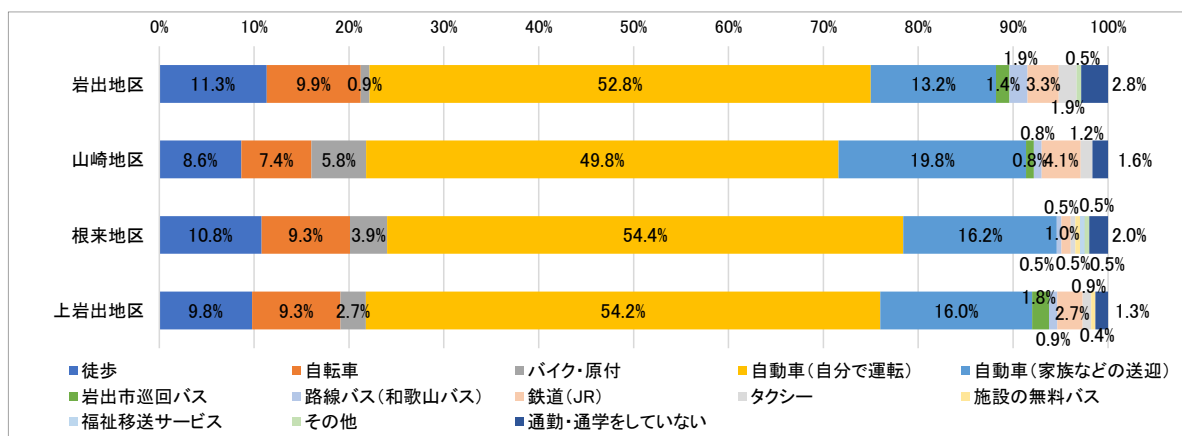
○問7-③-4 公共交通への変更(公共施設に行く場合)

回答者の公共施設に行く場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性についてはどの地区も「できない」が最も多い。一方で、岩出地区、山崎地区では「困難なくできる」「時々ならできる」が合わせて40%以上となる。

④買い物に行く場合（外食など余暇や娯楽目的の外出も含む）

1) 利用する交通手段〈当てはまるものすべてに○〉

区分	計														合計
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない		
岩出地区	24	21	2	112	28	3	4	7	4	0	0	1	6	212	
山崎地区	21	18	14	121	48	2	2	10	3	0	0	0	4	243	
根来地区	22	19	8	111	33	0	1	2	1	1	1	1	4	204	
上岩出地区	22	21	6	122	36	4	2	6	2	1	0	0	3	225	
区分	割合														
	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車(自分で運転)	自動車(家族などの送迎)	岩出市巡回バス	路線バス(和歌山バス)	鉄道(JR)	タクシー	施設の無料バス	福祉移送サービス	その他	通勤・通学をしていない	合計	
岩出地区	11.3%	9.9%	0.9%	52.8%	13.2%	1.4%	1.9%	3.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.5%	2.8%	100.0%	
山崎地区	8.6%	7.4%	5.8%	49.8%	19.8%	0.8%	0.8%	4.1%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%	
根来地区	10.8%	9.3%	3.9%	54.4%	16.2%	0.0%	0.5%	1.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2.0%	100.0%	
上岩出地区	9.8%	9.3%	2.7%	54.2%	16.0%	1.8%	0.9%	2.7%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%	

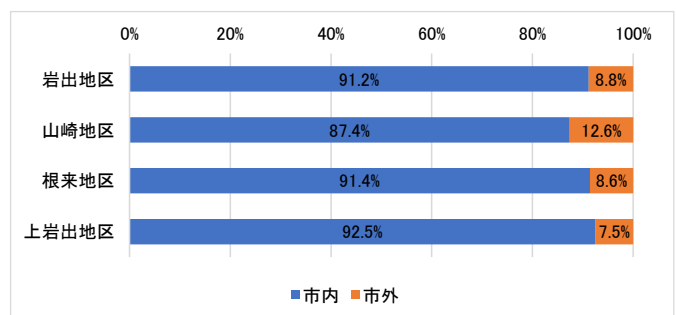


○問7-④-1 交通手段(買い物に行く場合)

回答者の買い物に行く場合の交通手段は、どの地区も大きな差はみられない。

2) 主な目的地(市外の場合は市町村名)〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	市内	市外	市内	市外
岩出地区	124	12	91.2%	8.8%
山崎地区	132	19	87.4%	12.6%
根来地区	117	11	91.4%	8.6%
上岩出地区	135	11	92.5%	7.5%

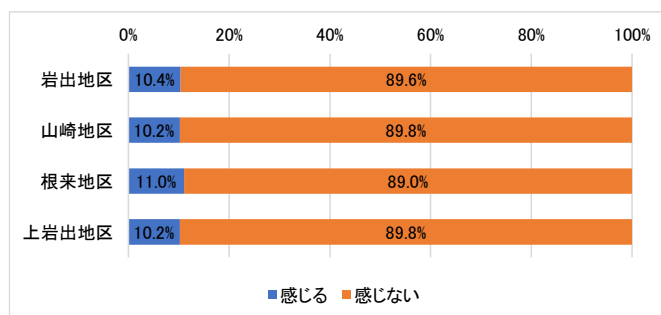


○問7-④-2 目的地(買い物に行く場合)

回答者の買い物に行く場合の目的地は、どの地区も大きな差はみられない。

3) 移動に不便を感じていますか（「感じる」と回答した方はその理由）〈1つだけに○〉

区分	計		割合	
	感じる	感じない	感じる	感じない
岩出地区	14	121	10.4%	89.6%
山崎地区	15	132	10.2%	89.8%
根来地区	14	113	11.0%	89.0%
上岩出地区	15	132	10.2%	89.8%



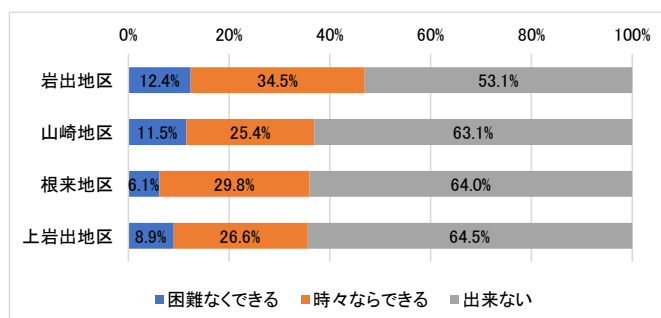
○問7-④-3 移動に不便を感じる（買い物に行く場合）

回答者の買い物に行く場合の移動に不便を感じているかについては、どの地区も大きな差はみられない。

4) 移動手段に自家用車やバイク・原付と答えた方にお聞きします。〈1つだけに○〉

移動手段を公共交通に変更することはできますか？

区分	計			割合		
	困難なく できる	時々なら できる	出来ない	困難なく できる	時々なら できる	出来ない
岩出地区	14	39	60	12.4%	34.5%	53.1%
山崎地区	15	33	82	11.5%	25.4%	63.1%
根来地区	7	34	73	6.1%	29.8%	64.0%
上岩出地区	11	33	80	8.9%	26.6%	64.5%



○問7-④-4 公共交通への変更（買い物に行く場合）

回答者の買い物に行く場合の移動手段を、自家用車やバイク・原付から公共交通へ変更することの可能性については、どの地区も「できない」が50%以上で最も多い。一方で、岩出地区では「困難なくできる」「時々ならできる」が併せて40%以上と、他の地区よりも多くなっている。

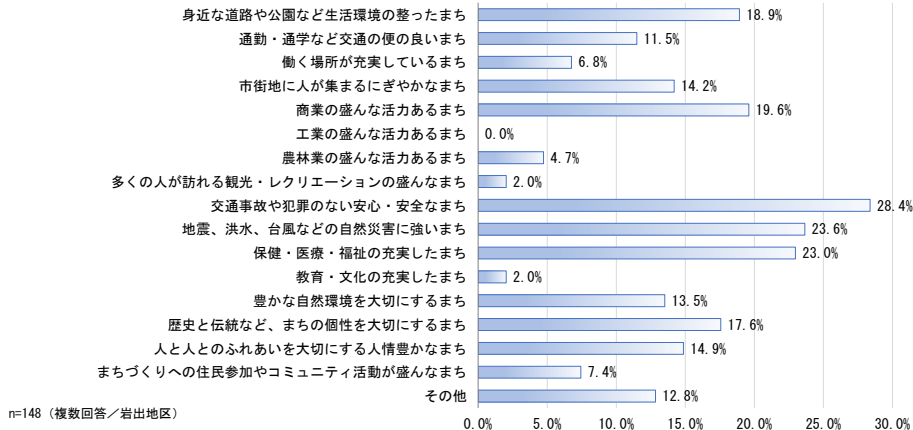
【岩出市の暮らしについて】

◆問8 あなたにとって、現在の岩出市のイメージは、次のうちどれですか。〈3つまで〉

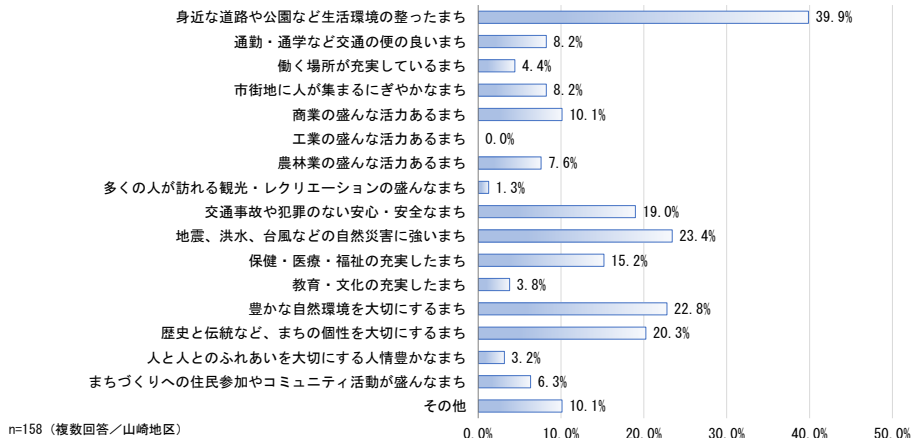
区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
岩出地区	計 28	17	10	21	29	0	7	3	42
	割合 18.9%	11.5%	6.8%	14.2%	19.6%	0.0%	4.7%	2.0%	28.4%
山崎地区	計 63	13	7	13	16	0	12	2	30
	割合 39.9%	8.2%	4.4%	8.2%	10.1%	0.0%	7.6%	1.3%	19.0%
根来地区	計 41	17	10	12	20	1	5	3	20
	割合 30.4%	12.6%	7.4%	8.9%	14.8%	0.7%	3.7%	2.2%	14.8%
上岩出地区	計 46	17	6	32	18	1	8	6	32
	割合 30.1%	11.1%	3.9%	20.9%	11.8%	0.7%	5.2%	3.9%	20.9%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にすまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にすまち	人と人とのふれあいを大切にす人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
35	34	3	20	26	22	11	19	327
23.6%	23.0%	2.0%	13.5%	17.6%	14.9%	7.4%	12.8%	
37	24	6	36	32	5	10	16	322
23.4%	15.2%	3.8%	22.8%	20.3%	3.2%	6.3%	10.1%	
36	21	3	26	32	8	5	14	274
26.7%	15.6%	2.2%	19.3%	23.7%	5.9%	3.7%	10.4%	
42	26	5	27	32	13	6	20	337
27.5%	17.0%	3.3%	17.6%	20.9%	8.5%	3.9%	13.1%	

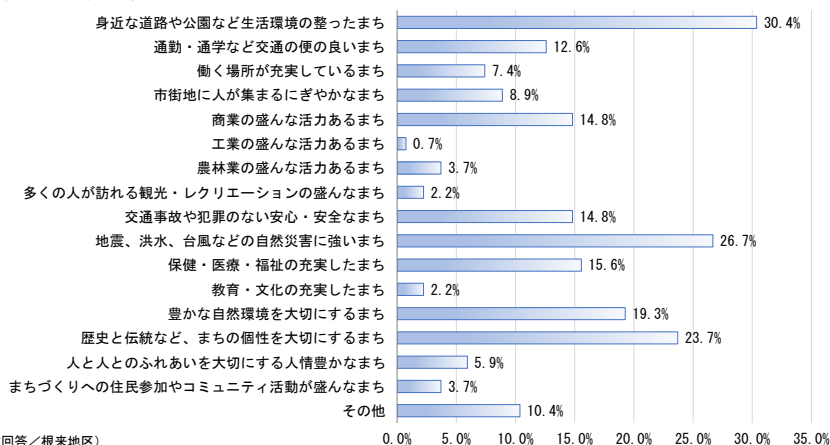
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



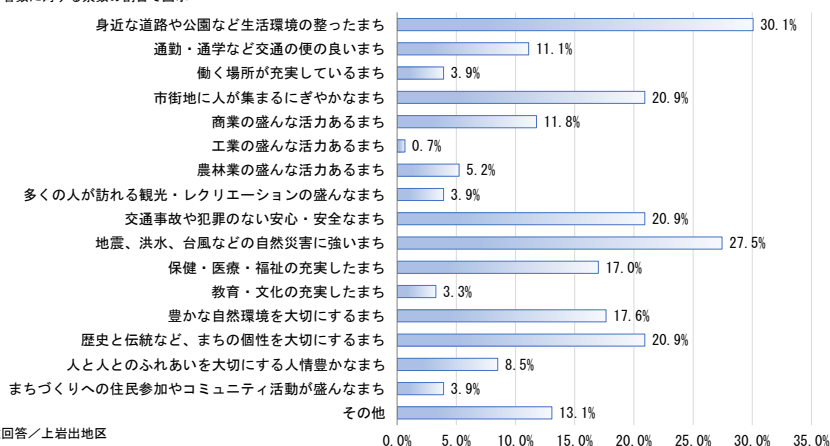
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



○問8 現在の岩出市のイメージ

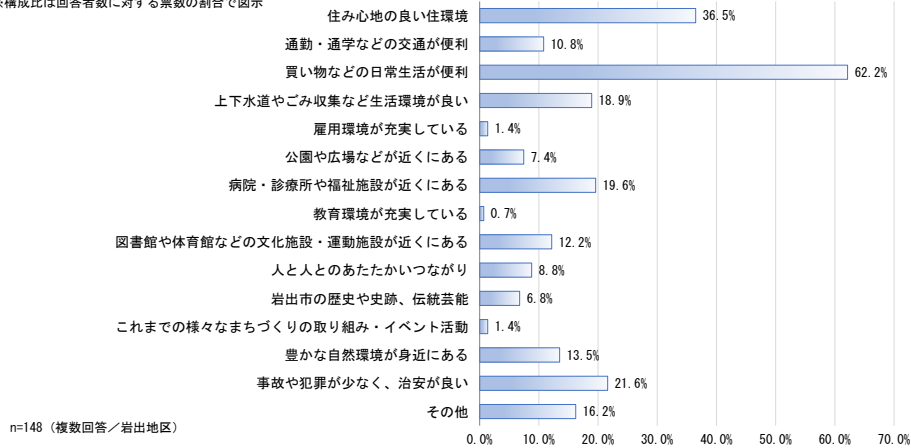
現在の岩出市のイメージについては、岩出地区では「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」が 28.4%と最も多く、他の 3 地区では「身近な道路や公園など生活環境の整ったまち」が 30%以上と最も多かった。

◆問9 あなたにとって、現在の岩出市の魅力は、次のうちどれですか。〈3つまで〉〇

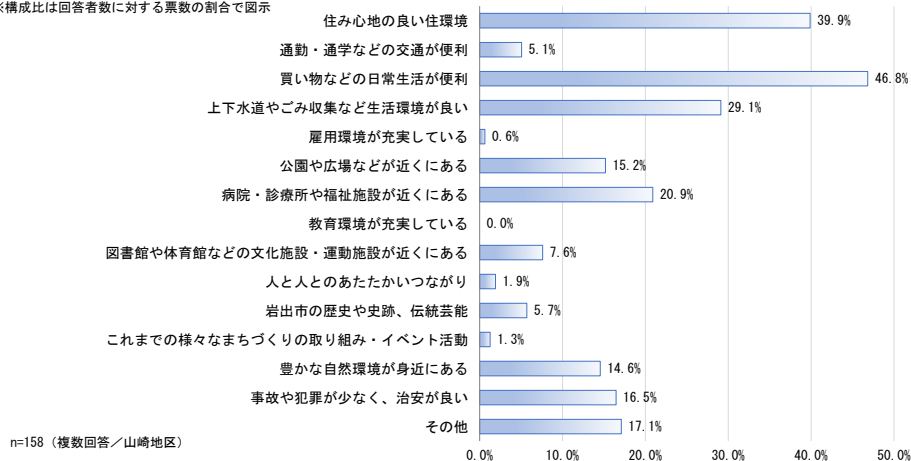
区分	住み心地の良い住環境	通勤・通学などの交通が便利	買い物などの日常生活が便利	上下水道やごみ収集など生活環境が良い	雇用環境が充実している	公園や広場などが近くにある	病院・診療所や福祉施設が近くにある	教育環境が充実している	
岩出地区	計	54	16	92	28	2	11	29	1
	割合	36.5%	10.8%	62.2%	18.9%	1.4%	7.4%	19.6%	0.7%
山崎地区	計	63	8	74	46	1	24	33	0
	割合	39.9%	5.1%	46.8%	29.1%	0.6%	15.2%	20.9%	0.0%
根来地区	計	46	9	82	15	3	11	28	1
	割合	34.1%	6.7%	60.7%	11.1%	2.2%	8.1%	20.7%	0.7%
上岩出地区	計	53	6	91	36	1	15	42	3
	割合	34.6%	3.9%	59.5%	23.5%	0.7%	9.8%	27.5%	2.0%

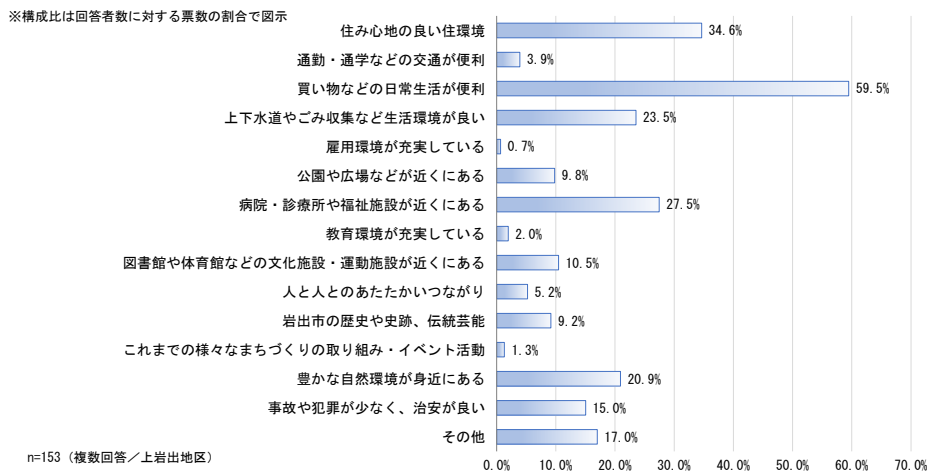
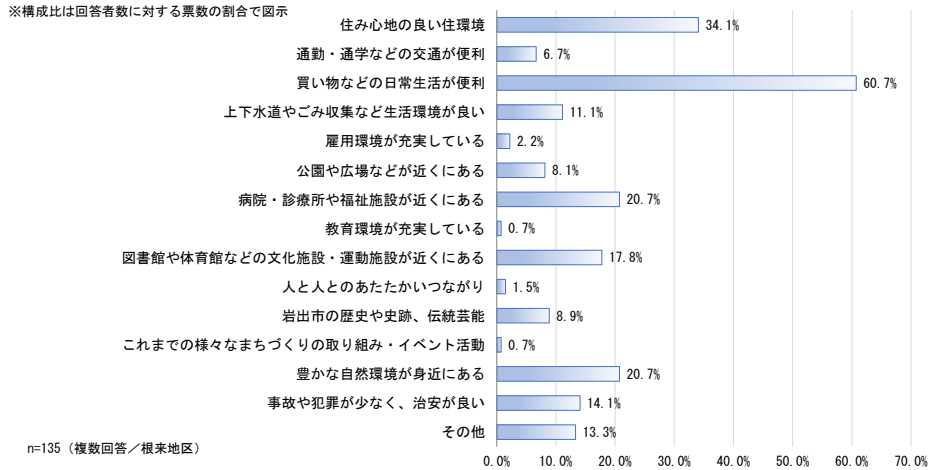
図書館や体育館などの文化施設・運動施設が近くにある	人と人とのあたたかいつながり	岩出市の歴史や史跡、伝統芸能	これまでの様々なまちづくりの取り組み・イベント活動	豊かな自然環境が身近にある	事故や犯罪が少なく、治安が良い	その他	合計
18	13	10	2	20	32	24	352
12.2%	8.8%	6.8%	1.4%	13.5%	21.6%	16.2%	
12	3	9	2	23	26	27	351
7.6%	1.9%	5.7%	1.3%	14.6%	16.5%	17.1%	
24	2	12	1	28	19	18	299
17.8%	1.5%	8.9%	0.7%	20.7%	14.1%	13.3%	
16	8	14	2	32	23	26	368
10.5%	5.2%	9.2%	1.3%	20.9%	15.0%	17.0%	

※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示





○問9 現在の岩出市の魅力

現在の岩出市の魅力についてはすべての地区で「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、次いで「住み心地の良い住環境」が多かった。また、山崎地区では「上下水道やごみ収集など生活環境が良い」、上岩出地区では「病院・診療所や福祉施設が近くにある」が他の地区よりも多くなっている。

◆問 10 あなたは現在のお住まいの生活環境について、(1)～(29)のそれぞれの項目についてどの程度満足されていますか。また、どれくらい重要であると思われますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

○ CS グラフ【CS グラフ】

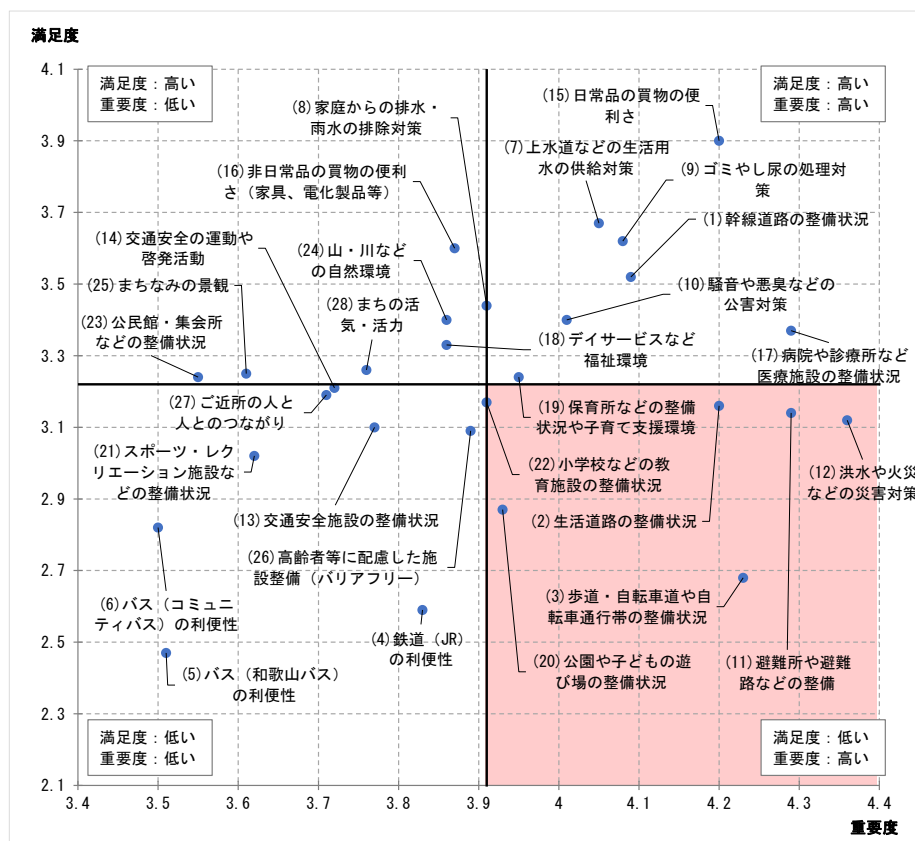
満足 「+5」、やや満足 「+4」、どちらとも言えない「+3」、やや不満 「+2」、不満 「+1」
 重要 「+5」、やや重要 「+4」、どちらとも言えない「+3」、あまり重要でない 「+2」、重要でない 「+1」

回答のあったお住まいの生活環境の満足度と重要度について、項目別に加重平均を行い、CS グラフを作成した。グラフは縦軸に満足度、横軸に重要度をとり、各項目を点数化したものをプロットした。満足度・重要度の平均値をそれぞれ 2 軸にプロットした。

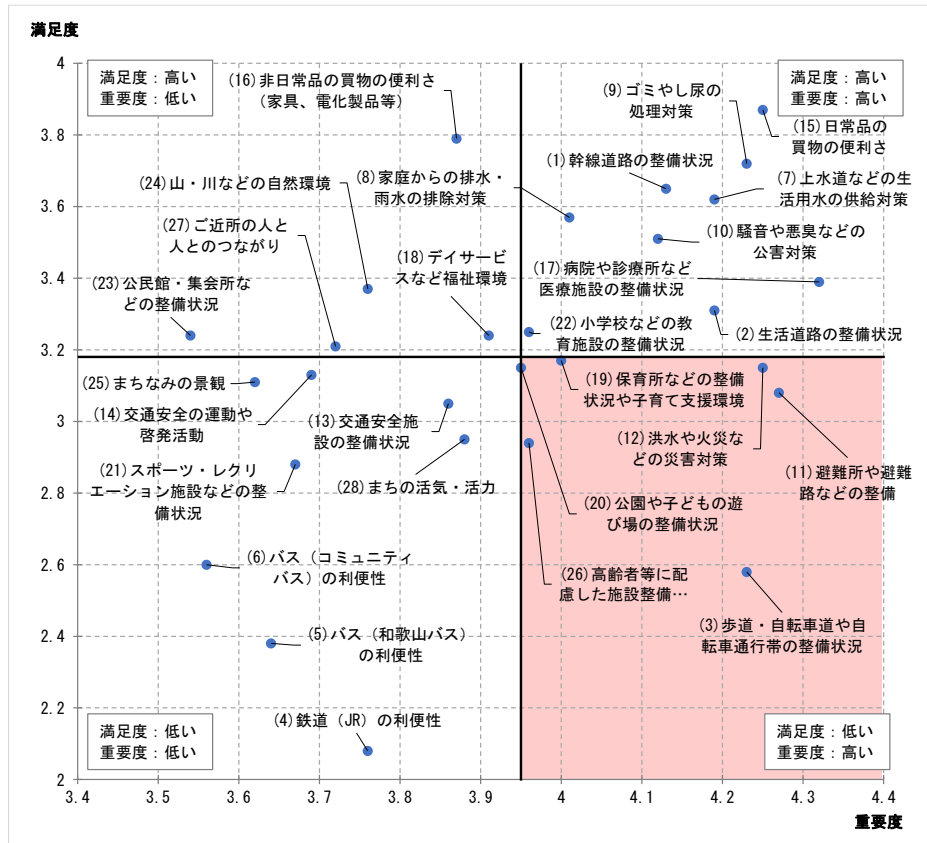
全ての地区において「(3)歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」の満足度が低く、重要度が高いと回答しており、特に重要な改善項目として挙げられる。

根来地区の改善項目は(3)のみとなっており、他の地区に比べ、改善項目が少ない。その他の地区では「(11)避難所や避難路などの整備」「(12)洪水や火災などの災害対策」についても、満足度が低い、もしくは重要度が高いと回答している。岩出地区では「(2)生活道路の整備」「(20)公園や子供の遊び場の整備状況」、山崎地区、上岩出地区では「(26)高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)」「(19)保育所などの整備状況や子育て支援環境」が、改善項目として挙がっている。

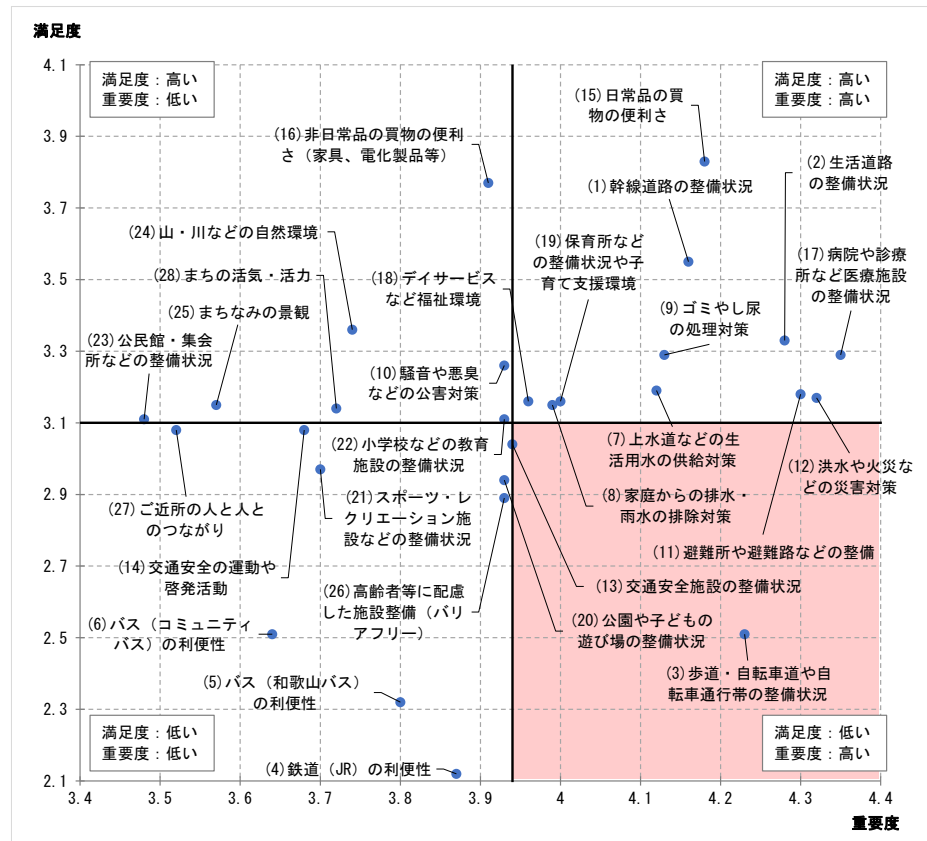
岩出地区



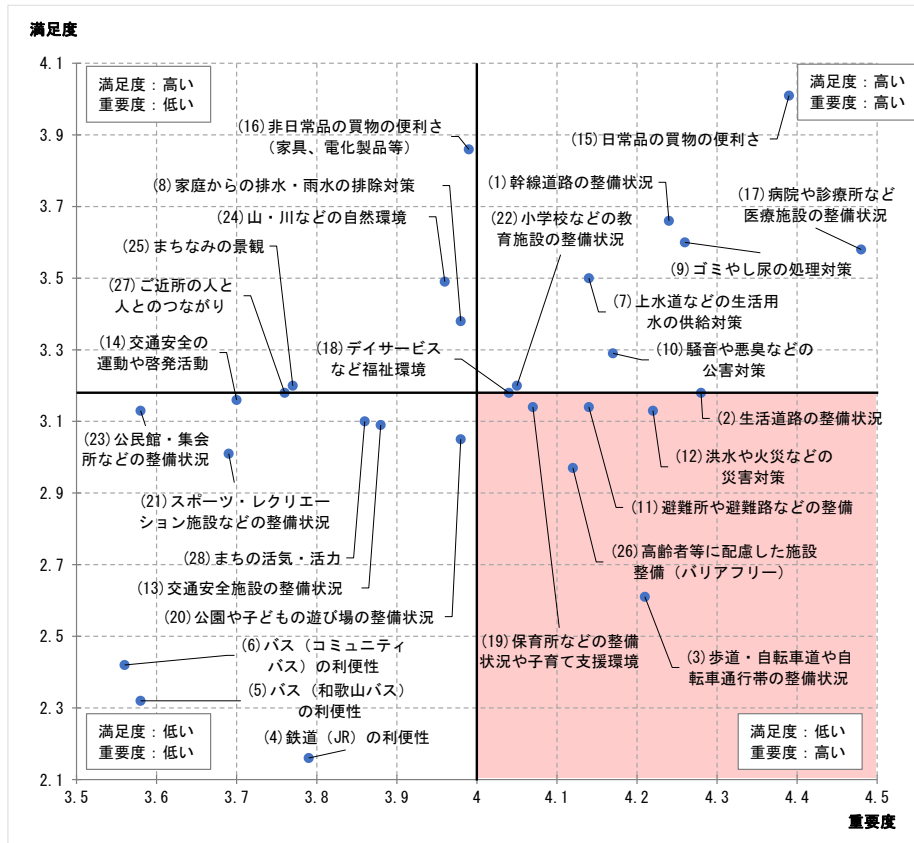
山崎地区



根来地区



上岩出地区



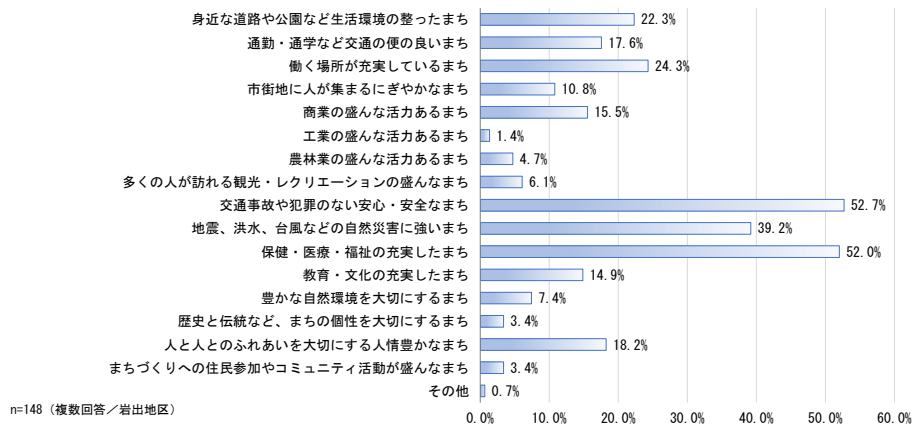
【岩出市の将来について】

◆問 11 あなたが「こうなって欲しい」と思う岩出市の将来イメージを教えてください。(3つまで)

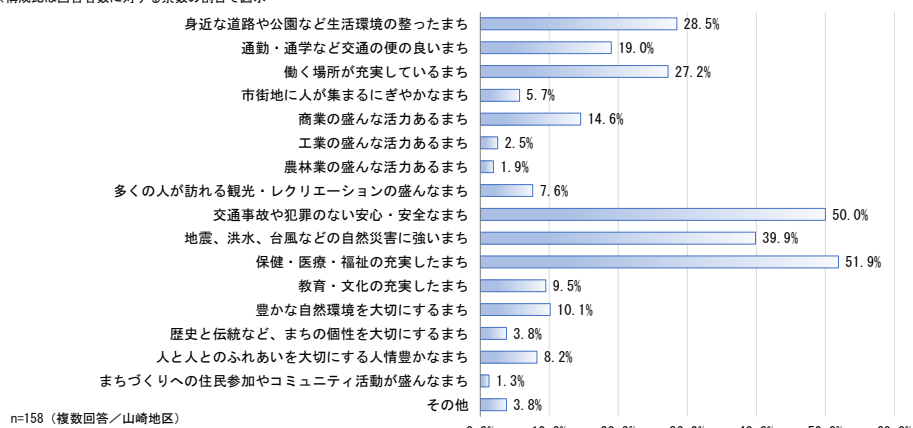
区分	身近な道路や公園など生活環境の整ったまち	通勤・通学など交通の便の良いまち	働く場所が充実しているまち	市街地に人が集まるにぎやかなまち	商業の盛んな活力あるまち	工業の盛んな活力あるまち	農林業の盛んな活力あるまち	多くの人が訪れる観光・レクリエーションの盛んなまち	交通事故や犯罪のない安心・安全なまち
岩出地区	計 33	26	36	16	23	2	7	9	78
	割合 22.3%	17.6%	24.3%	10.8%	15.5%	1.4%	4.7%	6.1%	52.7%
山崎地区	計 45	30	43	9	23	4	3	12	79
	割合 28.5%	19.0%	27.2%	5.7%	14.6%	2.5%	1.9%	7.6%	50.0%
根来地区	計 40	37	22	6	14	2	1	10	65
	割合 29.6%	27.4%	16.3%	4.4%	10.4%	1.5%	0.7%	7.4%	48.1%
上岩出地区	計 40	30	32	14	23	5	6	8	76
	割合 26.1%	19.6%	20.9%	9.2%	15.0%	3.3%	3.9%	5.2%	49.7%

地震、洪水、台風などの自然災害に強いまち	保健・医療・福祉の充実したまち	教育・文化の充実したまち	豊かな自然環境を大切にすまち	歴史と伝統など、まちの個性を大切にすまち	人と人とのふれあいを大切にす人情豊かなまち	まちづくりへの住民参加やコミュニティ活動が盛んなまち	その他	合計
58	77	22	11	5	27	5	1	436
39.2%	52.0%	14.9%	7.4%	3.4%	18.2%	3.4%	0.7%	
63	82	15	16	6	13	2	6	451
39.9%	51.9%	9.5%	10.1%	3.8%	8.2%	1.3%	3.8%	
59	77	25	4	6	10	2	3	383
43.7%	57.0%	18.5%	3.0%	4.4%	7.4%	1.5%	2.2%	
57	75	19	24	7	13	4	6	439
37.3%	49.0%	12.4%	15.7%	4.6%	8.5%	2.6%	3.9%	

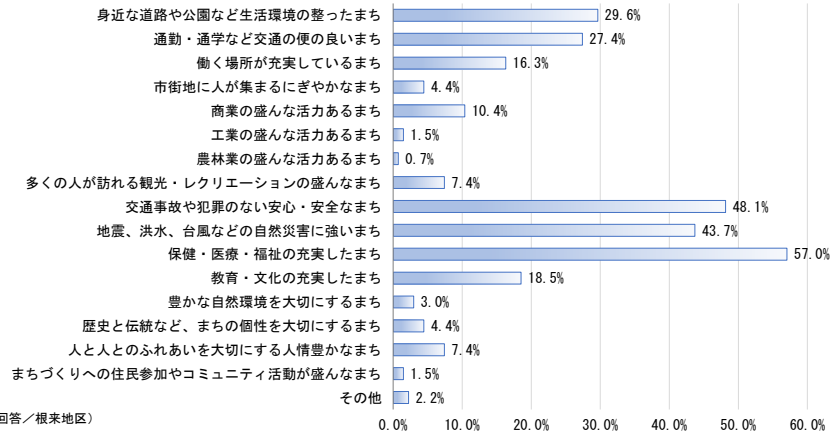
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



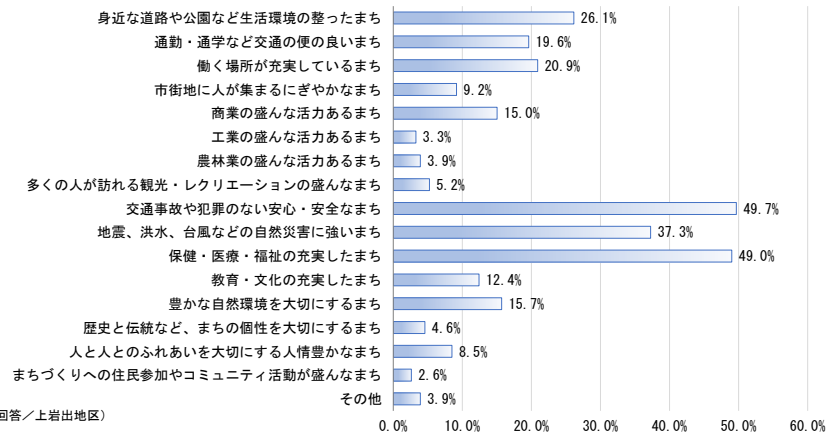
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



○問 11 岩出市の将来イメージ

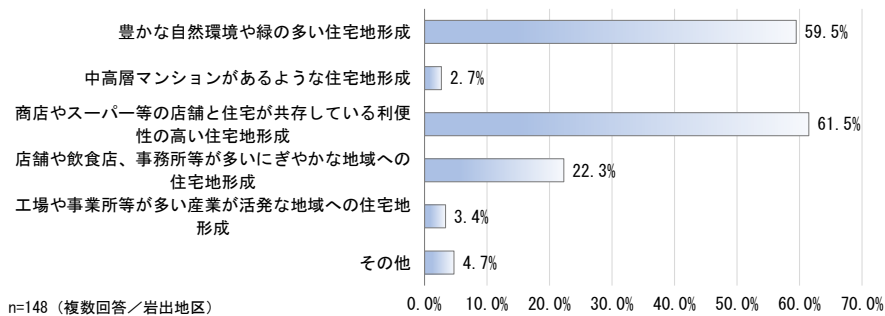
岩出市の将来イメージについては、岩出地区、上岩出地区では「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」、山崎地区、根来地区では「保健・医療・福祉の充実したまち」がそれぞれ最も多かった。また、根来地区では「通勤・通学などの交通の良いまち」が他の地区に比べ、多くなっている。

◆問 12 あなたがお住まいの地区について、今後進めてほしいことを分野ごとに教えてください。

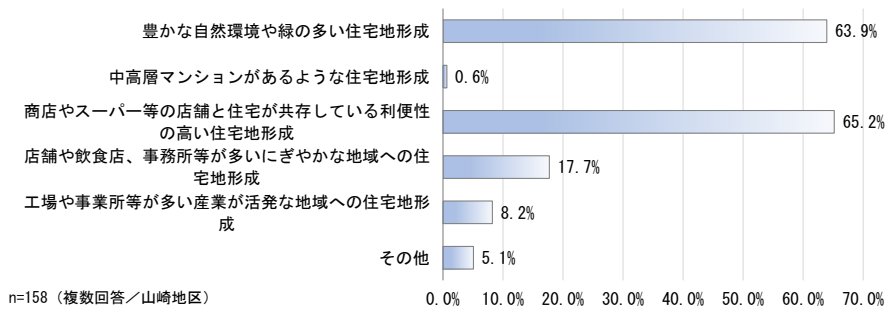
【住宅地】〈2 つまで〇〉

区分		豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成	中高層マンションがあるような住宅地形成	商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成	店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成	工場や事業所等が多い産業が活発な地域への住宅地形成	その他	合計
岩出地区	計	88	4	91	33	5	7	228
	割合	59.5%	2.7%	61.5%	22.3%	3.4%	4.7%	
山崎地区	計	101	1	103	28	13	8	254
	割合	63.9%	0.6%	65.2%	17.7%	8.2%	5.1%	
根来地区	計	75	2	76	26	11	10	200
	割合	55.6%	1.5%	56.3%	19.3%	8.1%	7.4%	
上岩出地区	計	96	4	87	30	9	10	236
	割合	62.7%	2.6%	56.9%	19.6%	5.9%	6.5%	

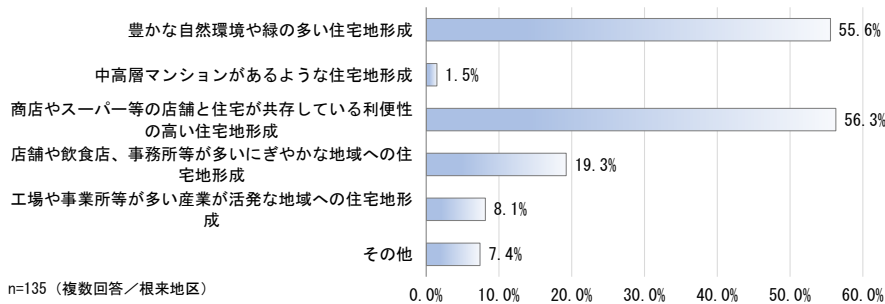
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



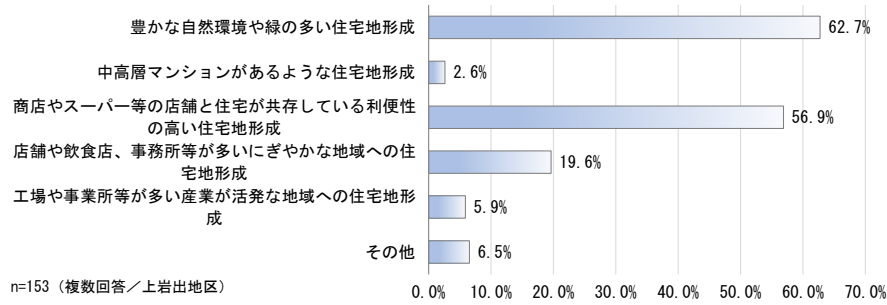
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



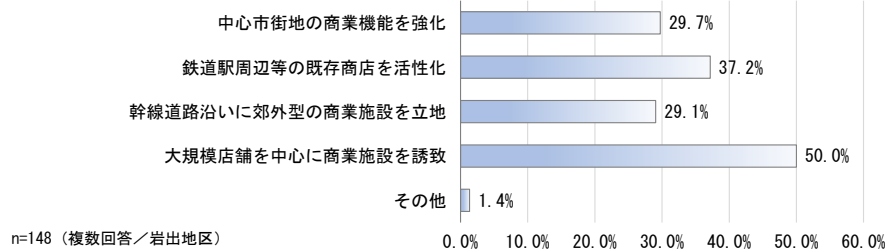
○今後、進めてほしいと思うこと【住宅地】

住宅地の分野については上岩出地区では「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」が最も多く、他の地区では「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」が最も多くなっているが、どの地区も比較的同じ傾向にあり、大きな差はみられない。

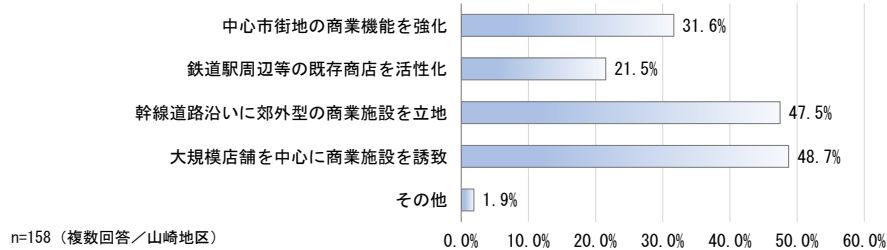
【商業地】〈2つまで〉

区分		中心市街地の商業機能を強化	鉄道駅周辺等の既存商店を活性化	幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地	大規模店舗を中心に商業施設を誘致	その他	合計
岩出地区	計	44	55	43	74	2	218
	割合	29.7%	37.2%	29.1%	50.0%	1.4%	
山崎地区	計	50	34	75	77	3	239
	割合	31.6%	21.5%	47.5%	48.7%	1.9%	
根来地区	計	44	26	57	75	5	207
	割合	32.6%	19.3%	42.2%	55.6%	3.7%	
上岩出地区	計	43	41	60	80	4	228
	割合	28.1%	26.8%	39.2%	52.3%	2.6%	

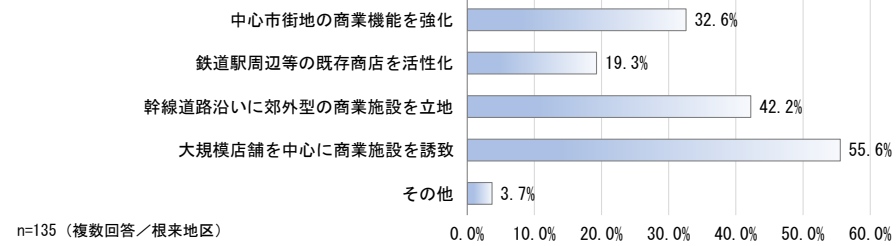
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



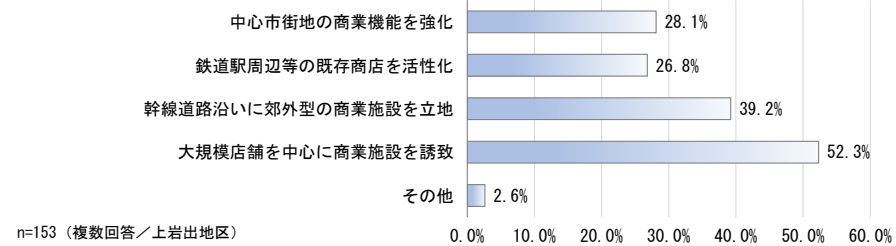
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



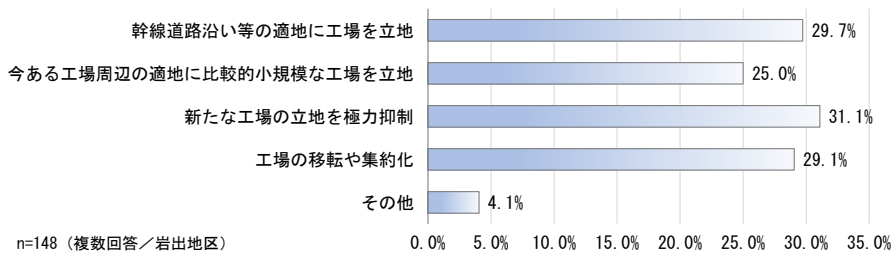
○今後、進めてほしいと思うこと【商業地】

商業地の分野については、どの地区も「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」が約 50%以上で最も多かった。また、岩出地区では「鉄道周辺等の既存商店を活性化」が 37.2%と他の地区に比べ多く、他の地区で「幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地」が約 40%以上となっている一方で、岩出地区では 29.1%と少なくなっている。

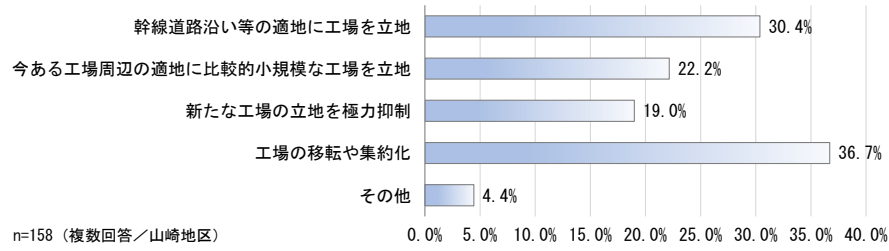
【工業地】〈2 つまで〉

区分		幹線道路沿い等の適地に工場を立地	今ある工場周辺の適地に比較的小規模な工場を立地	新たな工場の立地を極力抑制	工場の移転や集約化	その他	合計
岩出地区	計	44	37	46	43	6	176
	割合	29.7%	25.0%	31.1%	29.1%	4.1%	
山崎地区	計	48	35	30	58	7	178
	割合	30.4%	22.2%	19.0%	36.7%	4.4%	
根来地区	計	40	31	34	40	7	152
	割合	29.6%	23.0%	25.2%	29.6%	5.2%	
上岩出地区	計	38	30	48	44	5	165
	割合	24.8%	19.6%	31.4%	28.8%	3.3%	

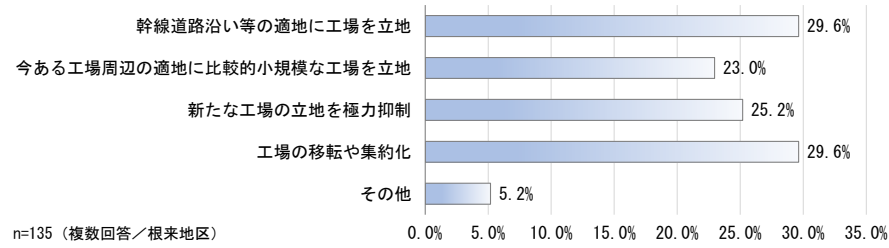
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



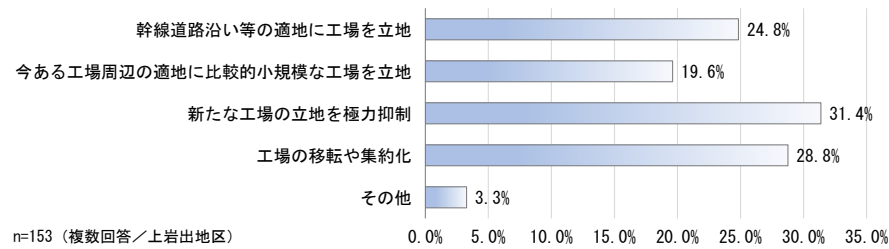
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



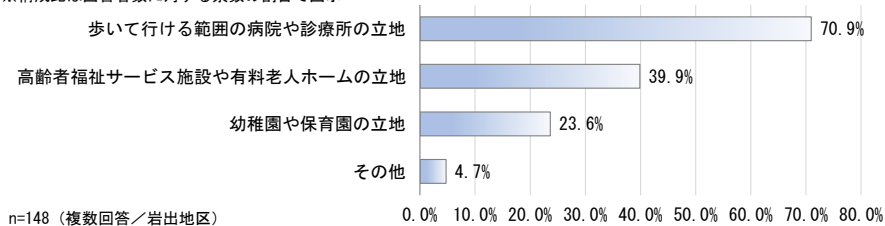
○今後、進めてほしいと思うこと【工業地】

工業地の分野については、山崎地区では「工場の移転や集約化」が 36.7%と多く、岩出地区、上岩出地区では「新たな工場の立地を極力抑制」が 30%以上、岩出地区、根来地区で「幹線道路沿い等の適地に工場を立地」「工場の移転や集約化」がそれぞれ 30%弱となっている。

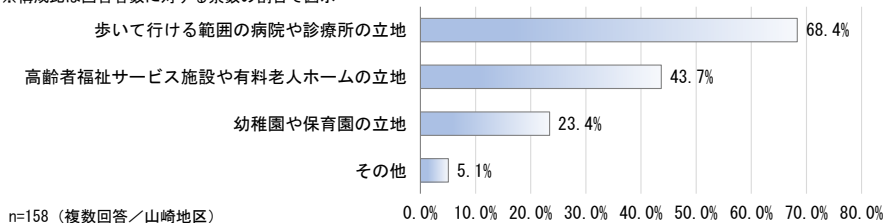
【生活サービス施設等】〈2 つまで〇〉

区分		歩いて行ける 範囲の病院や 診療所の立地	高齢者福祉 サービス施設 や有料老人 ホームの立地	幼稚園や保育 園の立地	その他	合計
岩出地区	計	105	59	35	7	206
	割合	70.9%	39.9%	23.6%	4.7%	
山崎地区	計	108	69	37	8	222
	割合	68.4%	43.7%	23.4%	5.1%	
根来地区	計	95	59	23	8	185
	割合	70.4%	43.7%	17.0%	5.9%	
上岩出地区	計	106	70	35	11	222
	割合	69.3%	45.8%	22.9%	7.2%	

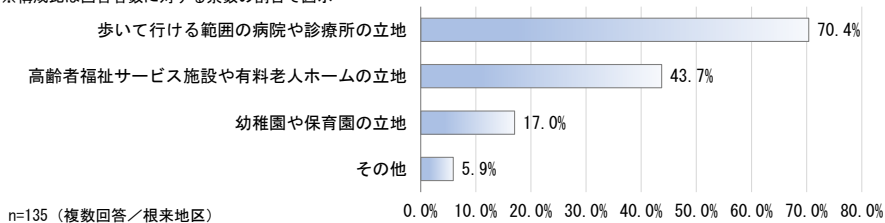
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



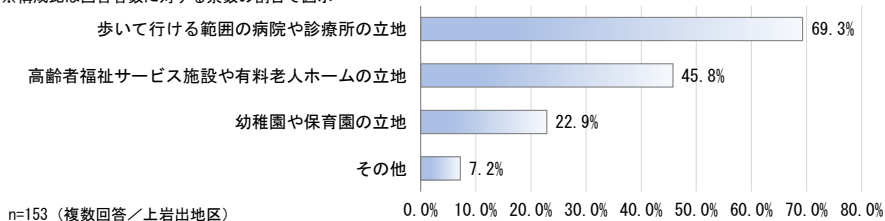
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



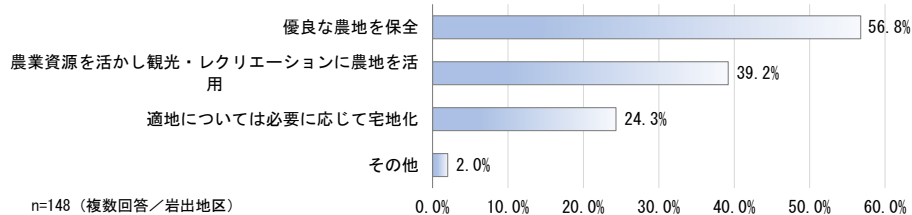
○今後、進めてほしいと思うこと【生活サービス施設等】

生活サービス施設等の分野については、どの地区も「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が最も高く、他の項目においても、地区ごとに大きな差はみられない。

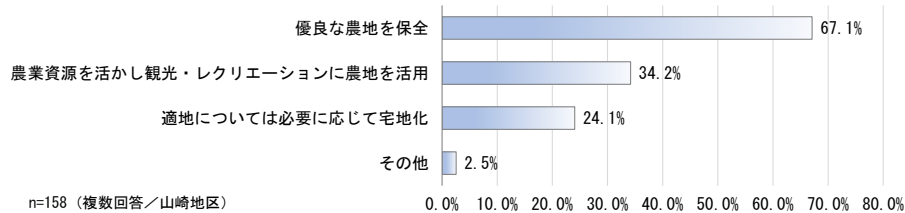
【農地】〈2つまで〇〉

区分		優良な農地を 保全	農業資源を活 かし観光・レ クリエーションに農地を活 用	適地について は必要に応じ て宅地化	その他	合計
岩出地区	計	84	58	36	3	181
	割合	56.8%	39.2%	24.3%	2.0%	
山崎地区	計	106	54	38	4	202
	割合	67.1%	34.2%	24.1%	2.5%	
根来地区	計	77	59	27	5	168
	割合	57.0%	43.7%	20.0%	3.7%	
上岩出地区	計	90	60	33	6	189
	割合	58.8%	39.2%	21.6%	3.9%	

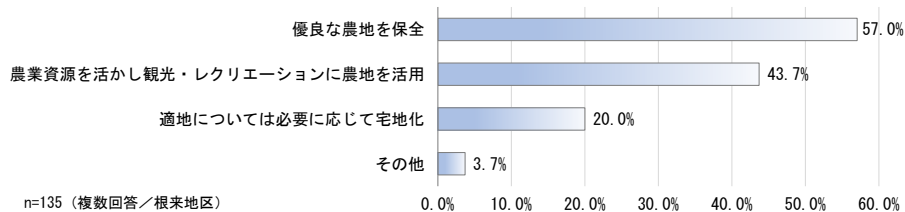
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



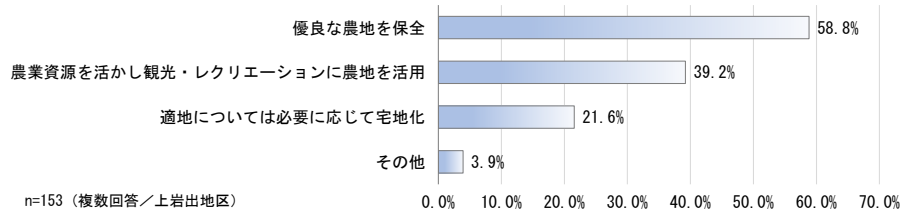
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



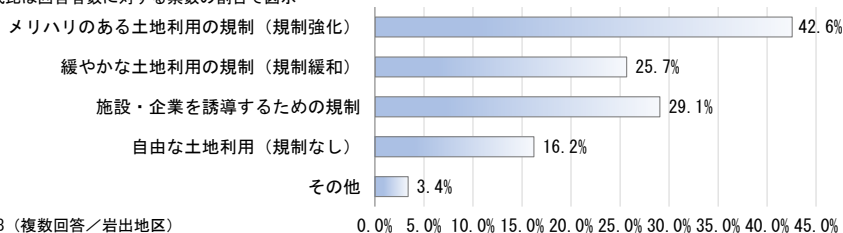
○今後、進めてほしいと思うこと【農地】

農地の分野については、どの地区も「優良な農地を保全」が最も多く、他の項目においても、地区ごとに大きな差はみられない。

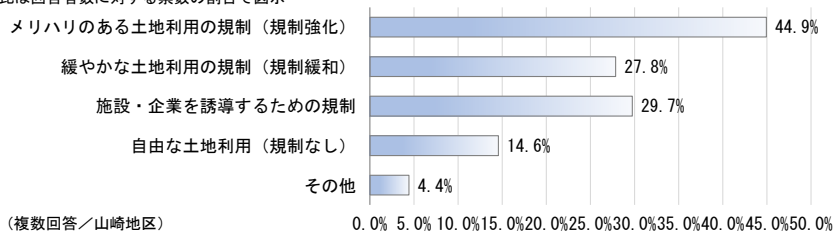
【土地利用の規制・誘導】〈2 つまで〇〉

区分		メリハリのある土地利用の規制（規制強化）	緩やかな土地利用の規制（規制緩和）	施設・企業を誘導するための規制	自由な土地利用（規制なし）	その他	合計
岩出地区	計	63	38	43	24	5	173
	割合	42.6%	25.7%	29.1%	16.2%	3.4%	
山崎地区	計	71	44	47	23	7	192
	割合	44.9%	27.8%	29.7%	14.6%	4.4%	
根来地区	計	51	39	42	18	5	155
	割合	37.8%	28.9%	31.1%	13.3%	3.7%	
上岩出地区	計	58	51	51	17	5	182
	割合	37.9%	33.3%	33.3%	11.1%	3.3%	

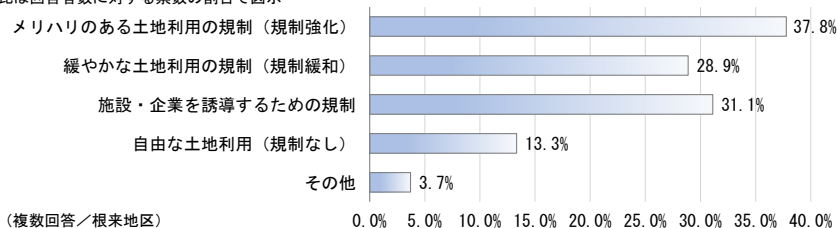
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



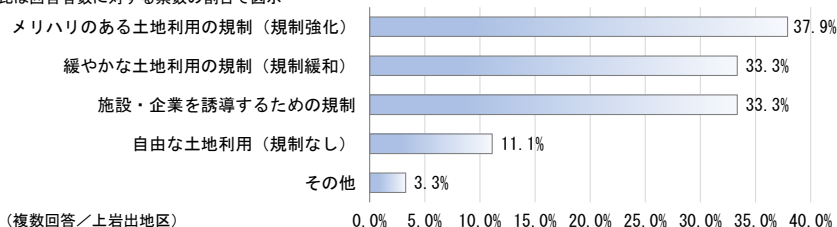
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



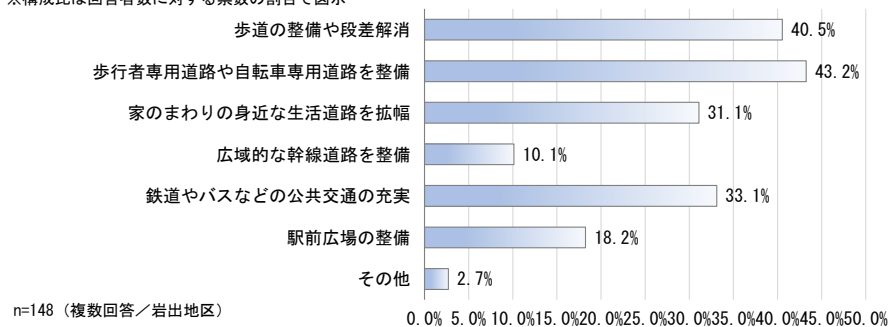
○今後、進めてほしいと思うこと【土地利用の規制・誘導】

土地利用の規制・誘導の分野については、どの地区も「メリハリのある土地利用の規制（規制強化）」が最も多かった。また、他の項目についても地区ごとに大きな差はみられない。

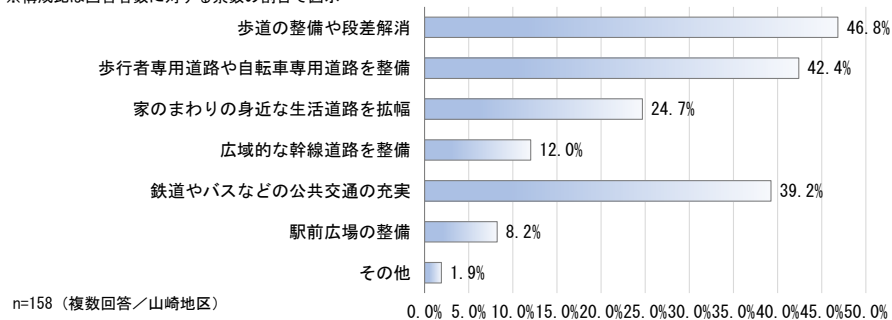
【道路交通】〈2つまで〇〉

区分		歩道の整備や 段差解消	歩行者専用道 路や自転車専 用道路を整備	家のまわりの 身近な生活道 路を拡幅	広域的な幹線 道路を整備	鉄道やバスな どの公共交通 の充実	駅前広場の整 備	その他
岩出地区	計	60	64	46	15	49	27	4
	割合	40.5%	43.2%	31.1%	10.1%	33.1%	18.2%	2.7%
山崎地区	計	74	67	39	19	62	13	3
	割合	46.8%	42.4%	24.7%	12.0%	39.2%	8.2%	1.9%
根来地区	計	52	57	38	15	56	5	7
	割合	38.5%	42.2%	28.1%	11.1%	41.5%	3.7%	5.2%
上岩出地区	計	74	66	47	15	45	18	3
	割合	48.4%	43.1%	30.7%	9.8%	29.4%	11.8%	2.0%

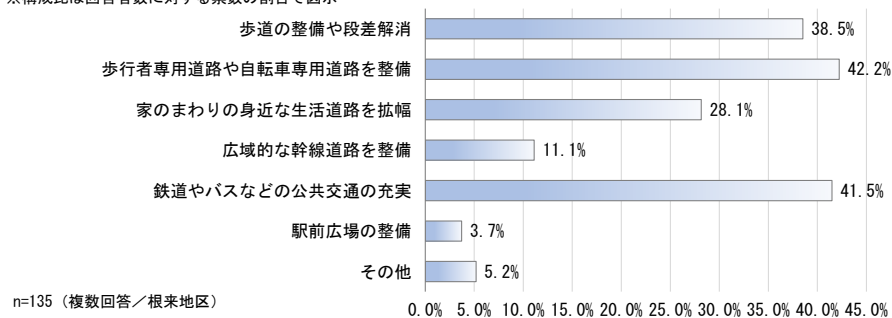
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



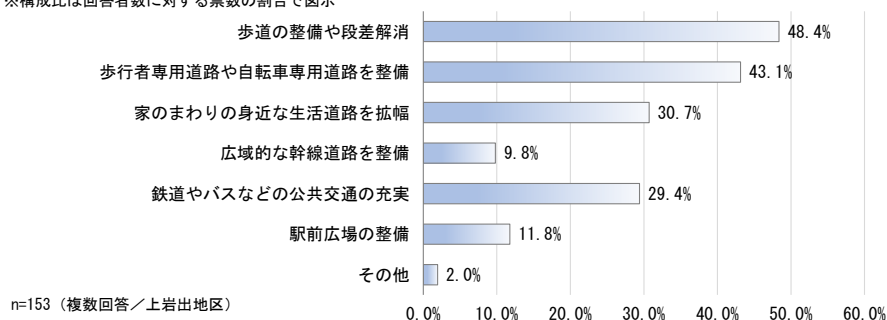
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



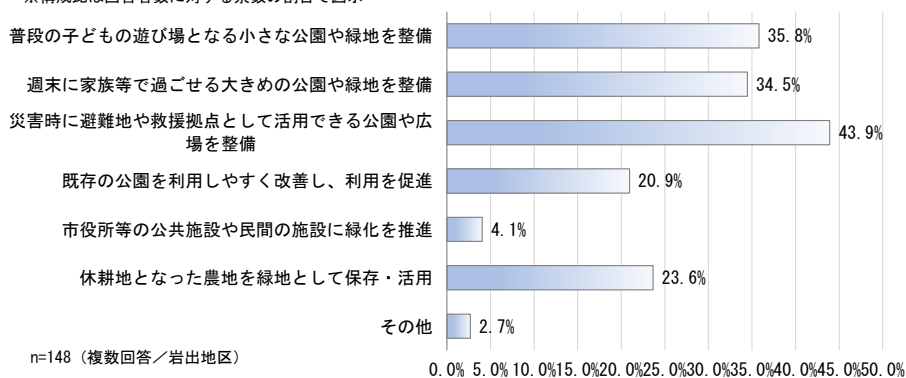
○今後、進めてほしいと思うこと【道路交通】

道路交通の分野については、山崎地区、上岩出地区で「歩道の整備や段差解消」、岩出地区、根来地区で「歩行者専用道路や自転車専用道路を整備」それぞれ 40%以上と最も多い。また、山崎地区、根来地区では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が約 40%と他の地区よりも多くなっている。

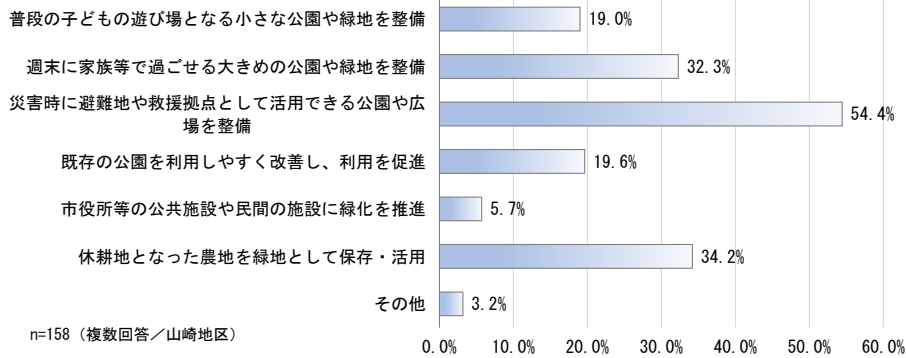
【公園・緑地】〈2 つまで〉

区分		普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備	週末に家族等で過ごせる大きめの公園や緑地を整備	災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備	既存の公園を利用しやすく改善し、利用を促進	市役所等の公共施設や民間の施設に緑化を推進	休耕地となった農地を緑地として保存・活用	その他	合計
岩出地区	計	53	51	65	31	6	35	4	245
	割合	35.8%	34.5%	43.9%	20.9%	4.1%	23.6%	2.7%	
山崎地区	計	30	51	86	31	9	54	5	266
	割合	19.0%	32.3%	54.4%	19.6%	5.7%	34.2%	3.2%	
根来地区	計	37	49	70	30	6	31	5	228
	割合	27.4%	36.3%	51.9%	22.2%	4.4%	23.0%	3.7%	
上岩出地区	計	38	54	67	34	13	47	2	255
	割合	24.8%	35.3%	43.8%	22.2%	8.5%	30.7%	1.3%	

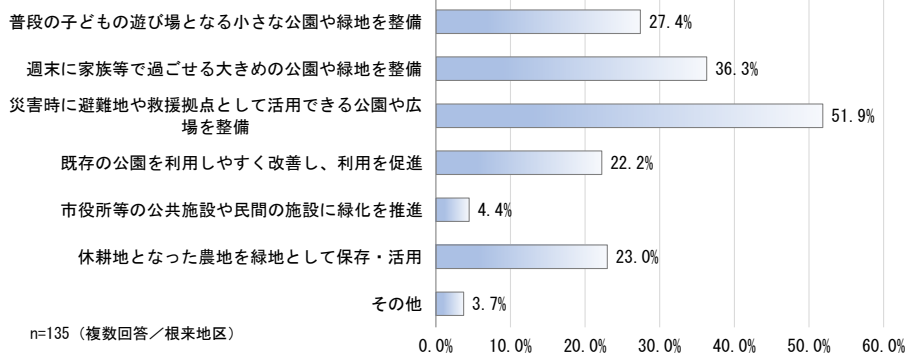
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



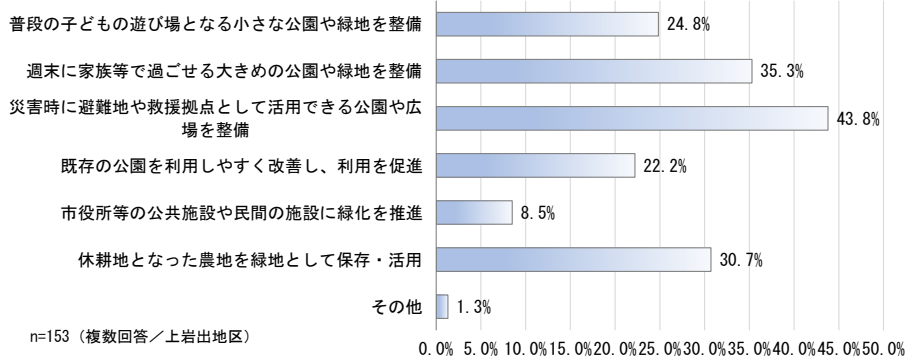
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



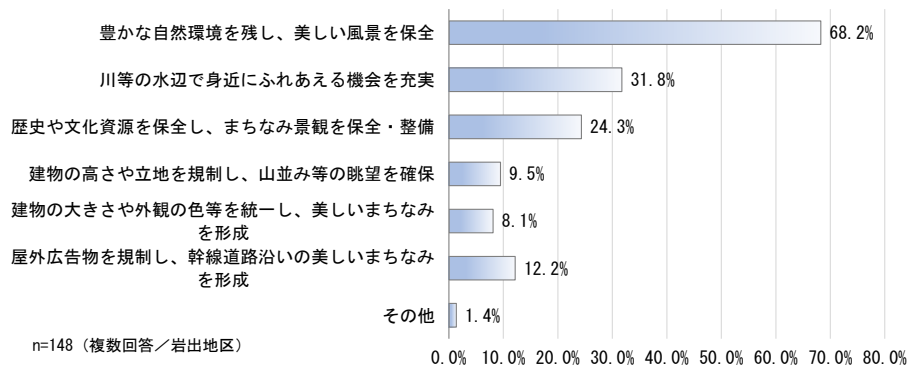
○今後、進めてほしいと思うこと【公園・緑地】

公園・緑地の分野については、どの地区も「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備」が40%以上で最も多かった。また、岩出地区では「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備」が他の地区に比べて多くなっている。

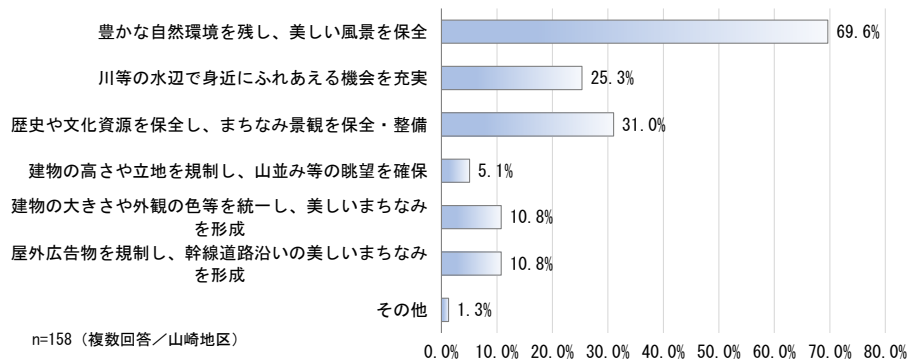
【水や緑の自然環境、景観】〈2つまで〇〉

区分		豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全	川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実	歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備	建物の高さや立地を規制し、山並み等の眺望を確保	建物の大きさや外観の色等を統一し、美しいまちなみを形成	屋外広告物を規制し、幹線道路沿いの美しいまちなみを形成	その他	合計
岩出地区	計	101	47	36	14	12	18	2	230
	割合	68.2%	31.8%	24.3%	9.5%	8.1%	12.2%	1.4%	
山崎地区	計	110	40	49	8	17	17	2	243
	割合	69.6%	25.3%	31.0%	5.1%	10.8%	10.8%	1.3%	
根来地区	計	76	42	44	15	6	13	7	203
	割合	56.3%	31.1%	32.6%	11.1%	4.4%	9.6%	5.2%	
上岩出地区	計	102	48	39	14	11	15	3	232
	割合	66.7%	31.4%	25.5%	9.2%	7.2%	9.8%	2.0%	

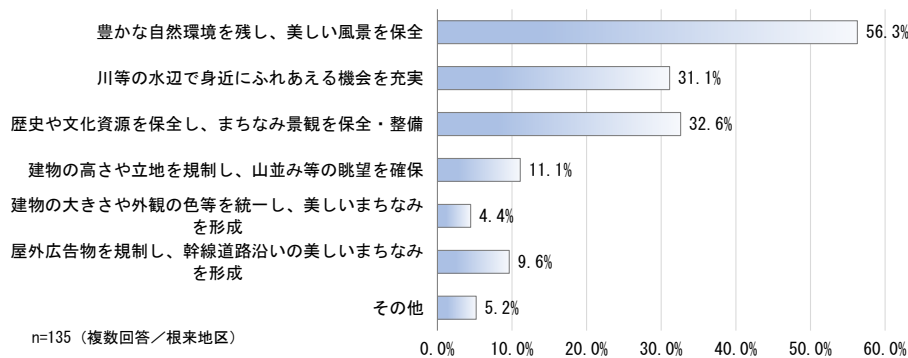
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



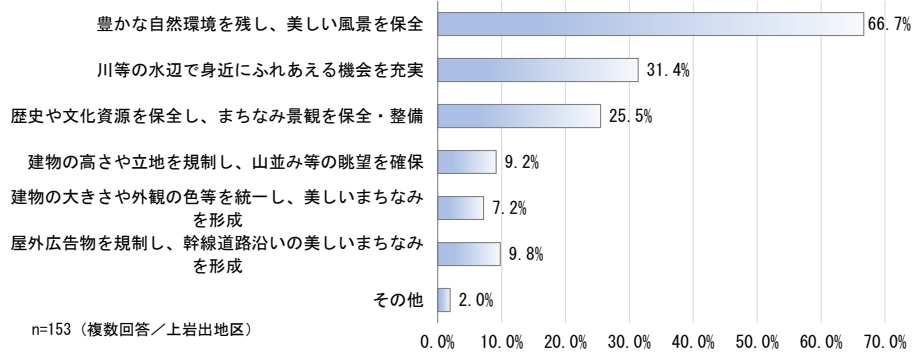
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



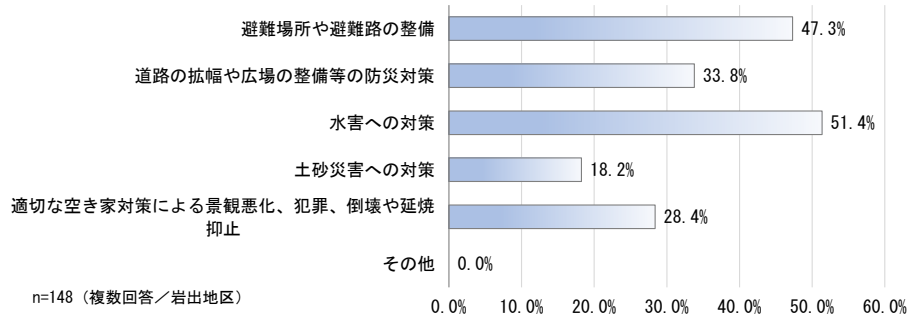
○今後、進めてほしいと思うこと【水や緑の自然環境、景観】

水や緑の自然環境、景観の分野については、どの地区も「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」が55%以上で最も多かった。また、岩出地区、上岩出地区では「川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実」、山崎地区、根来地区では「歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備」がそれぞれ30%以上と2番目に多くなっている。

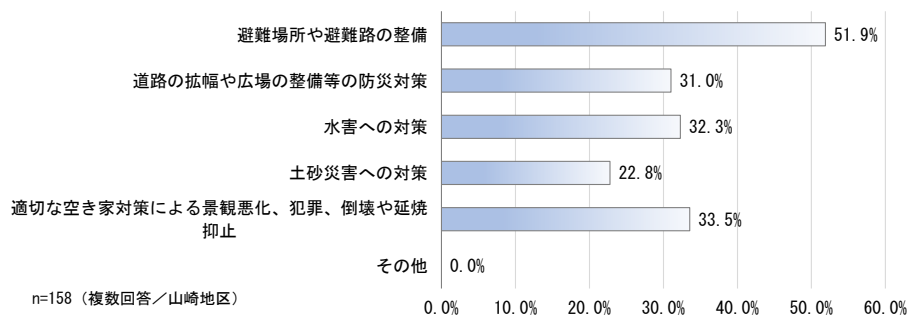
【防災・減災】〈2つまで〉

区分		避難場所や避難路の整備	道路の拡幅や広場の整備等の防災対策	水害への対策	土砂災害への対策	適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止	その他	合計
岩出地区	計	70	50	76	27	42	0	265
	割合	47.3%	33.8%	51.4%	18.2%	28.4%	0.0%	
山崎地区	計	82	49	51	36	53	0	271
	割合	51.9%	31.0%	32.3%	22.8%	33.5%	0.0%	
根来地区	計	64	45	29	32	43	3	216
	割合	47.4%	33.3%	21.5%	23.7%	31.9%	2.2%	
上岩出地区	計	81	54	32	31	60	1	259
	割合	52.9%	35.3%	20.9%	20.3%	39.2%	0.7%	

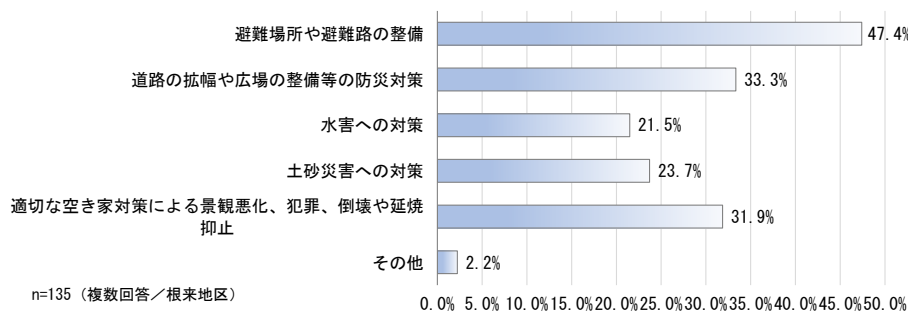
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



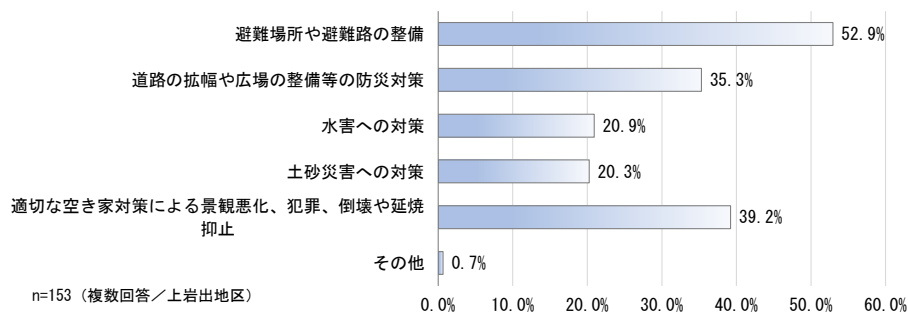
※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



※構成比は回答者数に対する票数の割合で図示



○今後、進めてほしいと思うこと【防災・減災】

防災・減災の分野については、岩出地区では「水害への対策」が 51.4%と最も多く、その他の地区では「避難場所や避難路の整備」が約 50%で最も多かった。また、上岩出地区では「適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止」が 40%弱と他の地区よりも多くなっている。

6. 調査結果まとめ

【回答者の属性】

回答者の年齢構成は、29歳以下が6.9%、30歳代が12.4%、40歳代が18.8%、50歳代が16.1%、60歳代が21.5%、70歳代が17.6%、80歳以上が6.6%となっており、人口ピラミッドに近い構成となっている。

居住年数は50歳代以上で「20年以上」居住している方が70%以上を占めており、40歳代では「10年以上」が87%占めており、30歳代では「10年以上」が52%に止まっていることから20歳代から30歳代に掛けて岩出市に移ってきていると想定される。また、地区別の居住年数も偏りがなく、全体アンケートと同じ結果となっている。

回答者の居住地区は、山崎地区がやや多いものの、各年代とも概ね均等となっている。

日常の移動手段は、通勤・通学については、自分で運転する場合と家族による送迎を合わせた自動車によるものが全体で76.8%と最も高い結果となっていたが、年齢別では、20歳代と80歳以上では、自分で運転する場合と家族による送迎を合わせた自動車によるものが50%に満たず、かつ、公共交通機関による移動もしていない結果となっている。地区別では山崎地区が54.8%と低く、代わりに電車や路線バス等の公共交通手段の割合が比較的高くなっている。岩出地区では自転車の利用割合が他の地区に比べ高くなっている。

移動に不便を感じるかという設問に対しては、通勤・通学では、「不便を感じる」と回答したのは、年齢別では29歳以下が25.9%、80歳以上が32.3%と他の年代に比較して高くなっている。地区別では上岩出地区が23.6%とややたかいもの大差ない結果となっている。

【岩出市の暮らしについて】

今回の調査では、岩出市の魅力についてはすべての地区で「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、次いで「住み心地の良い住環境」が多かった。また、山崎地区では「上下水道やごみ収集など生活環境が良い」、上岩出地区では「病院・診療所や福祉施設が近くにある」が他の地区よりも多くなっている。

年齢別では18歳~79歳では「買い物などの日常生活が便利」が最も多く、80歳以上でも2番目に高い評価となっている。80歳以上では「上下水道やごみ収集など生活環境が良い」が最も多かった。また、すべての世代で30%以上が「住み心地の良い住環境」と回答している。

アンケート結果を満足度と重要度の相関についてCS分析した結果、年齢別では79歳以下で「歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」の満足度が低く、重要度が高いと回答しており、80歳以上でも重要度は平均以下ではあるが満足度が低くなっており、特に重要な改善項目として挙げられる。「避難所や避難路などの整備」「洪水や火災などの災害対策」についても、ほとんどの年代で満足度が低い、もしくは重要度が高いと回答している。また、18歳~49歳では「保育所などの整備状況や子育て支援環境」「公園や子供の遊び場の整備状況」が、50歳~79歳では「高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)」が、改善項目として挙がっている。

全ての地区において「歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況」の満足度が低く、重要度が高いと回答しており、特に重要な改善項目として挙げられる。根来地区の改善項目はそれのみとなっており、他の地区に比べ、改善項目が少ない。その他の地区では「避難所や避難路などの整備」「洪水や火災などの災害対策」についても、満足度が低い、もしくは重要度が高いと回答している。岩出地区では「生活道路の整備」「公園や子供の遊び場の整備状況」、山崎地区、上岩出地区では「高齢者等に配慮した施設整備(バリアフリー)」「保育所などの整備状況や子育て支援環境」が、改善項目として挙がっている。

【岩出市の将来について】

岩出市の将来イメージについては、29歳以下、60歳～79歳で「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」が、30歳～59歳、80歳以上で「保健・医療・福祉の充実したまち」がそれぞれ40%以上と最も多かった。また、29歳以下、40歳代では「通勤・通学など交通の便の良いまち」の回答が他の年代に比べ多くなっている。

地区別では、岩出地区、上岩出地区で「交通事故や犯罪のない安心・安全なまち」、山崎地区、根来地区で「保健・医療・福祉の充実したまち」がそれぞれ最も多かった。また、根来地区では「通勤・通学などの交通の良いまち」が他の地区に比べ、多くなっている。

分野ごとの今後進めてほしいことでは、住宅地の分野については29歳以下、50歳～69歳で「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」が、30歳～49歳、70歳以上で「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」がそれぞれ50%以上と最も多かった。また、29歳以下で「店舗や飲食店、事務所等が多いにぎやかな地域への住宅地形成」が他の年齢に比べ多くなっている。

商業地の分野については18歳～79歳では「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」が最も多く、80歳以上では「中心市街地の商業機能を強化」が最も多かった。また、30歳～69歳で「幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地」が40%以上となっている。

生活サービス施設等の分野については、ほとんどの年代では「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が60%以上と最も多くなっており、30歳代では「幼稚園や保育園の立地」が56.8%と最も多かった。また、60歳以上では「高齢者福祉サービス施設や有料老人ホームの立地」が50%以上となっている。

農地の分野については、すべての年代で「優良な農地を保全」が50%以上と最も多く、次いで「農業資源を活かし観光・レクリエーションに農地を活用」が30%を超えている。

土地利用の規制・誘導の分野については、18歳～79歳では「メリハリのある土地利用の規制（規制強化）」がおおよそ40%以上と最も多く80歳以上では、「緩やかな土地利用の規制（規制緩和）」が38.5%と最も多くなっている。

道路交通の分野については29歳以下、40歳代、70歳代で「歩行者専用道路や自転車専用道路を整備」、30歳代、60歳代、80歳以上では「歩道の整備や段差解消」、50歳代で「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が、それぞれおおよそ40%以上となっており、最も多かった。

公園・緑地の分野については40歳以上が「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備」、29歳以下は「週末に家族等で過ごせる大きめの公園や緑地を整備」、30歳代が「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備」が、それぞれ40%以上と最も多くなっている。

水や緑の自然環境、景観の分野についてはすべての年代で「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」がおおよそ60%以上で最も多かった。また、18歳～59歳では「川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実」、60歳以上では「歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備」がそれぞれ30%以上となっている。

防災・減災の分野についてはすべての年代で「避難場所や避難路の整備」が最も多かった。また、ほとんどの年代で「適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止」や「道路の拡幅や広場の整備等の防災対策」を多く挙げる中、30歳代では「水害の対策」が40%以上と「避難場所や避難路の整備」に次いで多くなっている。

地区別では、住宅地の分野については上岩出地区では「豊かな自然環境や緑の多い住宅地形成」が最も多く、他の地区では「商店やスーパー等の店舗と住宅が共存している利便性の高い住宅地形成」が最も多くなって

いるが、どの地区も比較的同じ傾向にあり、大きな差はみられない。

商業地の分野については、どの地区も「大規模店舗を中心に商業施設を誘致」が約 50%以上で最も多かった。また、岩出地区では「鉄道周辺等の既存商店を活性化」が 37.2%と他の地区に比べ多く、他の地区で「幹線道路沿いに郊外型の商業施設を立地」が約 40%以上となっている一方で、岩出地区では 29.1%と少なくなっている。

生活サービス施設等の分野については、どの地区も「歩いて行ける範囲の病院や診療所の立地」が最も高く、他の項目においても、地区ごとに大きな差はみられない。

農地の分野については、どの地区も「優良な農地を保全」が最も多く、他の項目においても、地区ごとに大きな差はみられない。

土地利用の規制・誘導の分野については、どの地区も「メリハリのある土地利用の規制（規制強化）」が最も多かった。また、他の項目についても地区ごとに大きな差はみられない。

道路交通の分野については、山崎地区、上岩出地区で「歩道の整備や段差解消」、岩出地区、根来地区で「歩行者専用道路や自転車専用道路を整備」それぞれ 40%以上と最も多い。また、山崎地区、根来地区では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が約 40%と他の地区よりも多くなっている。

公園・緑地の分野については、どの地区も「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場を整備」が 40%以上で最も多かった。また、岩出地区では「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地を整備」が他の地区に比べ多くなっている。

水や緑の自然環境、景観の分野については、どの地区も「豊かな自然環境を残し、美しい風景を保全」が 55%以上で最も多かった。また、岩出地区、上岩出地区では「川等の水辺で身近にふれあえる機会を充実」、山崎地区、根来地区では「歴史や文化資源を保全し、まちなみ景観を保全・整備」がそれぞれ 30%以上と 2 番目に多くなっている。

防災・減災の分野については、岩出地区では「水害への対策」が 51.4%と最も多く、その他の地区では「避難場所や避難路の整備」が約 50%で最も多かった。また、上岩出地区では「適切な空き家対策による景観悪化、犯罪、倒壊や延焼抑止」が 40%弱と他の地区よりも多くなっている。

【アンケート結果のまとめ】

アンケートでは年代別では、その年代の生活スタイルに応じた差が若干ついているのに対し、地区別ではほとんどの分野において傾向の差が感じられない結果となっています。

公共交通機関の利便性が低いにもかかわらず移動に不便を感じておらず、買い物などの日常生活が便利となっており、自動車を利用した日常生活の利便性の高さが本市の魅力で満足度が高い結果となっています。

しかしながら、公共交通手段の利便性の悪さや、歩道・自転車道や自転車通行帯の整備状況に関する取り組みが課題として強く認識されています。

また、優良な農地の保全、豊かな自然環境や美しい風景の保全に対する関心も非常に高く、日常生活の利便性を確保しつつ、良好な住環境や自然環境の確保が求められています。

今後も「住んで良かったと思えるまちづくり」「安全で安心して暮らせるまちづくり」「にぎわいと輝きのあるまちづくり」に取り組むためには都市の環境整備においてバランスのとれたまちづくりが求められています。

